Color Printia LASER

B5WY-0641-01 Z0

Color Printia LASER XLシリーズ

オンラインマニュアル

ページプリンタ XL-C7400

FUJITSU

製品を安全に使用していただくために

●本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なことがらが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。
特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで製品を使用してください。
本書は、お読みになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。富士通は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、本書の説明に従ってください。
Microsoft、Windows、MS-DOS、Windows NT、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
IntranetWare、NetWare は、米国ノベル社の登録商標です。
Adobe、Acrobat および Reader は、アドビシステムズ社の商標です。
その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

● ＶＣＣＩ 適合基準について

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

●電源の瞬時低下について

本製品は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。ただし、ページプリンタは突入電源が大きいため、その仕様を満足する交流無停電電源装置等をご使用ください。

（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

●電源高調波について

本製品は、高調波ガイドライン適合品です。

●国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

●製品およびオプション品のハイセイフティ用途での使用について

本製品およびオプション品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり､ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

・ 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

●リサイクル部品の使用について

地球環境への配慮から本製品には一部リサイクル部品を使用しています。

●レーザ規格について

本製品は、危険なレーザ光を出さない「クラスⅠ」のレーザシステムです。本書に従って操作してください。本書に書かれた以外の操作は行わないでください。思わぬ故障や事故を起こす原因になります。

●コンピュータウィルスに関連する被害

コンピュータウィルスに感染することによって発生した障害については､当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

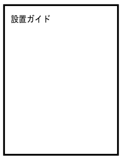
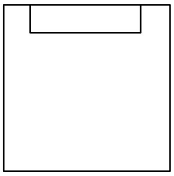
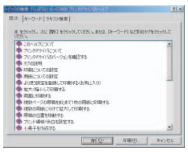
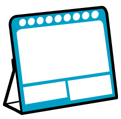
はじめに

このたびは、弊社のページプリンタ XL-C7400 をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
本プリンタはカラー／モノクロ印刷時最大 24 枚／分（片面印刷時）の高速印刷が可能なページプリンタです。
本書では、プリンタの設置や取り扱いに関することがらと、プリンタドライバなどのソフトウェアに関することがらについて説明しています。
本書にしたがって正しく取り扱い、本プリンタを有効にご利用ください。
なお、プリンタ本体設置終了後の説明で本書で使用しているイラストは、オプションの両面ユニットおよび拡張給紙ユニット（3 トレイ）を取り付けた場合を例にしています。

2004 年 5 月

マニュアルの種類

本プリンタでは、次のマニュアルを用意しています。目的に応じて参照してください。

	**設置ガイド** 同梱品のご案内と箱を開けてから印刷できるまでの手順および取扱説明書での参照先を紹介しています。まず、このマニュアルを見て同梱品を確認してください。
	**取扱説明書** プリンタの設置と運用について、基本的なことを説明した印刷物です。
	**オンラインマニュアル（PDF）** 添付のCD-ROM内にPDFファイルとして収められています。 参照 「添付ソフトウェア（CD-ROM）のご紹介」（44ページ）参照 本製品の設置・運用に必要な手順および本プリンタの持つすべての機能について説明しています。
	**オンラインヘルプ** 「オンラインヘルプ」では、プリンタドライバのプロパティの各機能について調べることができます。ヘルプを参照するには、次の２つの方法があります。 ・[?] をクリックする ・各画面にある［ヘルプ］ボタンをクリックする
	**ご利用のガイド＆メンテナンス** 用紙がつまったときの対処方法や、サプライ品の交換などについて説明しています。見やすい場所に置いてご覧ください。 本データは、添付ソフトウェア CD-ROM のマニュアル用フォルダ内にも収められています。 参照 「添付ソフトウェア（CD-ROM）のご紹介」（44ページ）参照

マニュアルの構成

本マニュアルの構成を以下に説明します。

目次		内容	取扱説明書
第１章	お使いになる前に	この章では、プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことについて説明します。	○
第２章	プリンタ設置の準備	この章では、プリンタを設置し、プリンタが正しく動作するまでの概要を説明します。	○
第３章	プリンタ本体の設置	この章では、プリンタ本体の設置方法と、プリンタが単体で正しく動作することを確認するまでの手順を説明します。	○
第４章	オプションの装着	本プリンタのオプションの種類および取り付けかたについて説明します。	△
第５章	ネットワークを利用せずにプリンタを接続する	この章では、ネットワークを利用せずにプリンタを接続し、プリンタドライバをインストールするまでの手順を説明します。	×
第６章	ネットワークを利用してプリンタを接続する	この章では、ネットワークを使用して、プリンタドライバをインストールするまでの手順を説明します。	×
第７章	プリンタ共有の設定	この章では、プリンタをサーバ上で共有し、他のパソコンから印刷するために必要な手順について説明します。	×
第８章	日常の操作	この章では、本プリンタで印刷するうえで必要となる操作について説明します。	△
第９章	オペレータパネルの操作	この章では、液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作のしかたについて説明します。	○
第 10 章	プリンタドライバの機能と利用方法	この章では、プリンタドライバの詳細と機能の利用方法について説明しています。	×
第 11 章	インターネットサービスの設定	この章では、Internet Services を利用し、Web ブラウザからプリンタや印刷の状態を確認、設定するサービスについて説明します。	×
第 12 章	日常のメンテナンス	この章では、プリンタを使用するうえで日常的に必要となる操作について説明します。	○
第 13 章	用紙について	この章では、本プリンタで使用できる用紙とその保管のしかた、および用紙のセットのしかたについて説明します。	○
第 14 章	こんなときには	この章では、故障が発生したと思われるとき、紙づまりのとき、各種メッセージが表示されたときの処置のしかたについて説明します。	○
付録		ここでは、プリンタを使用する際に補助的に必要となることがらについて説明します。	△

○：すべての内容が取扱説明書に記載されています。
△：一部の内容が取扱説明書に記載されています。
×：取扱説明書には記載されていません。

オンラインマニュアルの見かた

オンラインマニュアルは、本プリンタに添付されているCD-ROMに、PDFファイルとして収録されています。
PDFファイルの内容を参照するには、「Acrobat Reader」というソフトウェアが必要です。お使いのパソコンに「Acrobat Reader」がインストールされていない場合は、本製品添付のCD-ROMからインストールしてください。

● Acrobat Readerのインストール

オンラインマニュアルの表示や印刷をするためには、お使いのパソコンにAcrobat Reader（5.1またはそれ以降）があらかじめインストールされていることが必要です。
添付のプリンタソフトウェアCD-ROMから次の手順でAcrobat Reader 5.1をインストールすることができます。

1. 添付のプリンタソフトウェアCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする
2. エクスプローラでCD-ROMの「ACROBAT」フォルダにある「AR51JPN.EXE」をダブルクリックし、インストールする

Acrobat Reader 5.1インストーラが起動します。
画面の指示に従ってインストールを行ってください。

ガイド

- Acrobat ReaderはPDF（Portable Document Format）形式のファイルを閲覧・印刷するソフトウェアです。Acrobat Reader 5.1は、アドビシステムズ社よりライセンスされ、無償配布するものです。
- 最新版のAcrobat Readerの入手方法およびその他情報につきましては、アドビシステムズ社にお問い合わせください。
  アドビシステムズ社　URL：http://www.adobe.co.jp

●オンラインマニュアルの使いかた

オンラインマニュアルは、Acrobat Reader がインストールされたパソコンから次の手順で表示します。

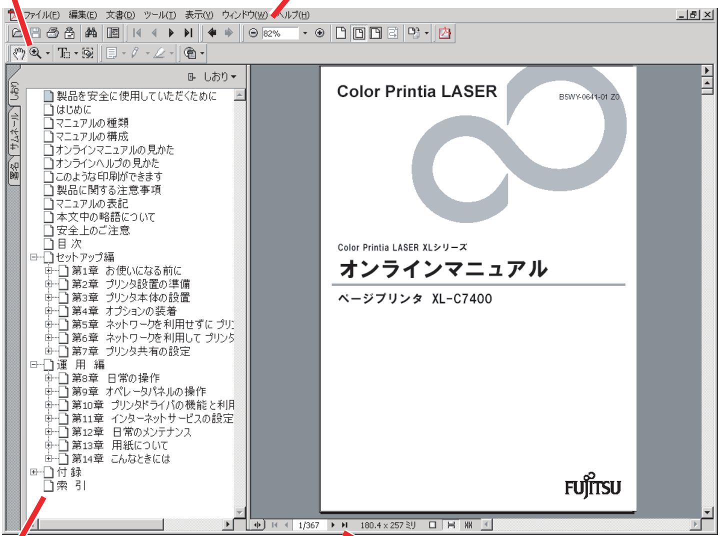
1. 添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

2. CD-ROM の「¥XL-C7400¥Manual」フォルダにある「o_xl-c7400.pdf」をエクスプローラから実行する

Acrobat Reader が起動し、オンラインマニュアルが表示されます。

ツールバー
🔍をクリックすると表示を拡大します。
また、検索などの操作を行うことができます。

メニューバー
プルダウンメニューから印刷やAcrobat Readerのヘルプの表示などを行うことができます。



しおり
見出しをクリックすると、そのページを表示します。
⊞が表示されている場合、これをクリックすると次のレベルの見出しが表示されます。

ステータスバー
▶をクリックすると次のページを表示します。

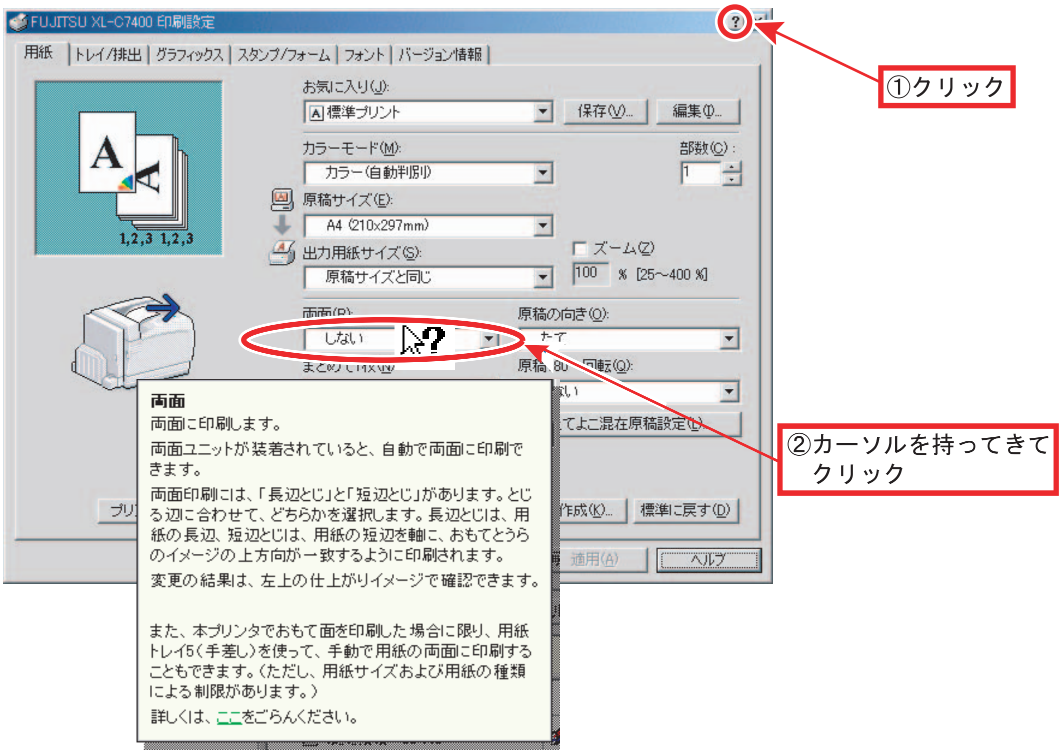
オンラインヘルプの見かた

オンラインヘルプを参照する方法を、以降に示します。

● [?] をクリックする

ダイアログの右上にある ? をクリックするとカーソルの形が ? に変わります。その状態のまま、説明が必要な項目をクリックするとダイアログ上にポップアップウィンドウが表示されます。

(例) 両面についてのヘルプをみる場合

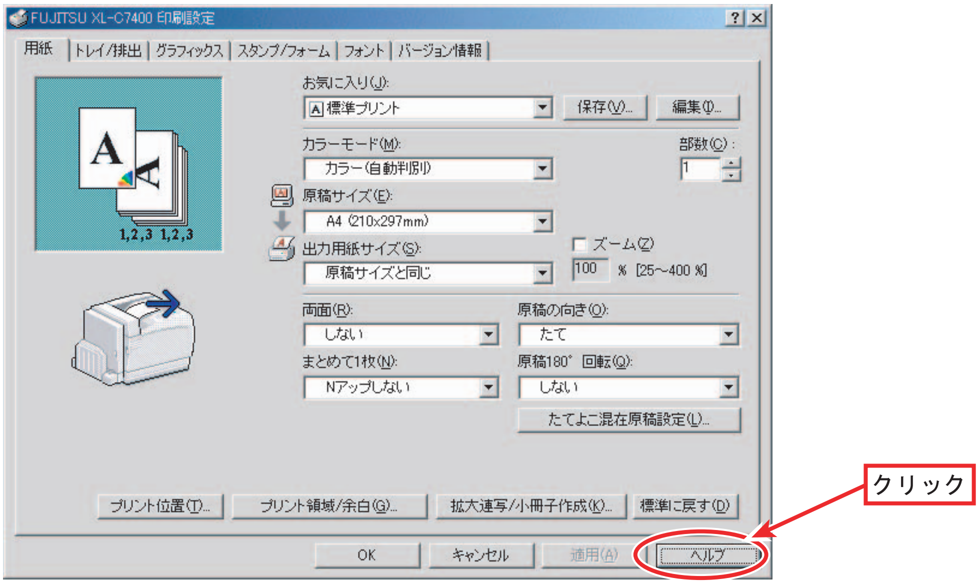


● 各ダイアログにある［ヘルプ］ボタンをクリックする

［ヘルプ］ボタンは以下のダイアログにあります。

- ［用紙］ダイアログ
- ［トレイ / 排出］ダイアログ
- ［グラフィックス］ダイアログ
- ［スタンプ / フォーム］ダイアログ
- ［フォント］ダイアログ
- ［バージョン情報］ダイアログ

（例）［用紙］ダイアログのヘルプを見る場合



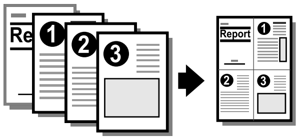
利用方法については、ヘルプの［目次］の「ヘルプの使いかた」を参照してください。

このような印刷ができます

次のような印刷をすることができます。「第９章 オペレータパネルの操作」（175 ページ）や「第 10 章 プリンタドライバの機能と利用方法」（203 ページ）を参照してください。

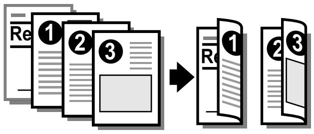
まとめて１枚（N アップ）

１枚の用紙に複数のページを割り付けて印刷します。



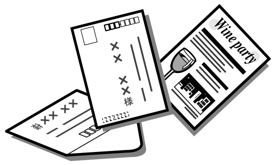
両面印刷

用紙の両面に印刷します。



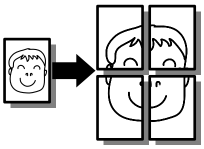
はがき、封筒など

官製はがき、封筒などの特殊紙に印刷できます。



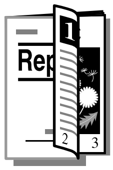
拡大連写

ポスターなどを作製するときに使用します。



小冊子作成

正しいページ順の小冊子になるように、両面印刷とページ配分を組み合わせて印刷します。



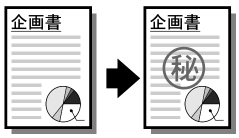
OHP 合紙

OHP フィルムを１枚印刷するごとに、自動的に用紙を挿入します。



スタンプ

印刷データに「社外秘」などの特定の文字を重ね合わせて印刷します。



受信制限

TCP/IP プロトコルを使用する場合、印刷を受け付ける IP アドレスを制限できます。

お気に入り

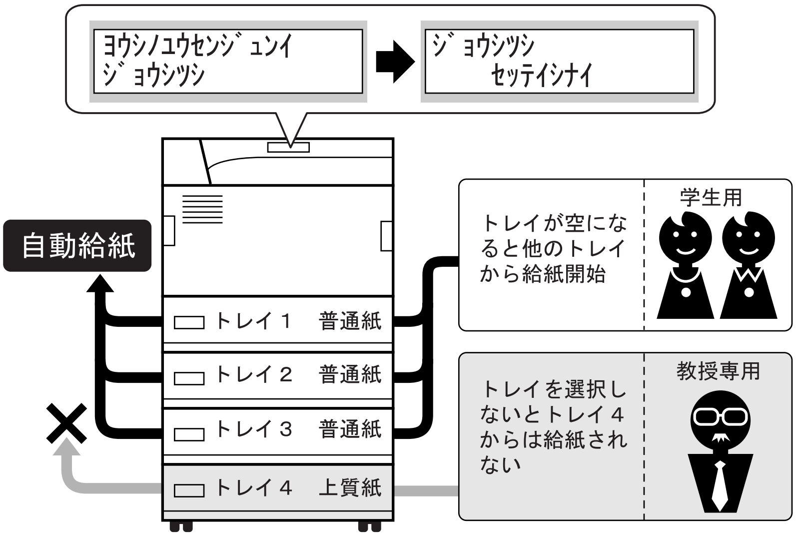
よく使う印刷設定を、プリンタドライバのプロパティで［お気に入り］に登録して印刷できます。

長尺サイズに対応

用紙トレイ５（手差し）を使用すると、長辺が 1200mm までの長尺サイズの用紙に印刷できます。

用紙の保護

オペレータパネルからの操作で特定の用紙を自動給紙の対象から外すことができます。普通紙と上質紙を区別して使用したい場合などに便利です。

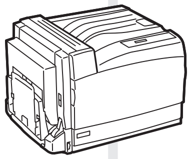


参照「給紙に制限をつける（応用例）」（301 ページ）参照

製品に関する注意事項

ここでは、お客様に特に見ていただきたいことや、注意していただきたい項目について概要を説明します。詳細は、本文をよくお読みになったうえで本プリンタを正しくお使いください。

製品寿命（耐用期間）について



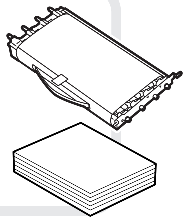
本プリンタの耐用期間（寿命）は、以下のいずれか早いほうです。

- 60万ページ印刷（A4サイズ(LEF)）
- 5年（8時間/日、A4サイズ(LEF)）
  *24時間で運用する場合、装置寿命は5年の1/3になります。

注）耐用期間は、プリンタの設置環境・使用頻度により大幅に変動します。

参照「寿命（耐用期間）について」（357 ページ）参照

サプライ品（消耗品）について



ドラムカートリッジやトナーカートリッジ、用紙などは、本プリンタ専用の純正サプライ品をお使いください。
非純正サプライ品をお使いになったことによる、製品のトラブル、誤動作については当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。

参照「サプライ品一覧」（362 ページ）参照

定期交換部品について

定期交換部品の交換時期の目安は以下になります。

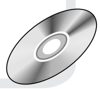
- フューザユニット　　10万ページ
- 転写ユニット　　　　10万ページ
- 中間転写ユニット　　10万ページ
- 現像器（Y、M、C、K）　30万ページ
- 30万定期交換キット　30万ページ

上記は、A4サイズ(LEF)/片面印刷での目安であり、また、印刷条件により交換時期がずれることがあります。

参照「寿命（耐用期間）について」（357 ページ）参照

オンラインマニュアルについて

オンラインマニュアルは、本プリンタに添付されているCD-ROMに、PDFファイルとして収録されています。



参照「オンラインマニュアルの見かた」（7 ページ）参照

プリンタドライバのバージョンを確認する方法



本プリンタに関するお問合せをするときに、お問い合わせの内容によってプリンタドライバのバージョンを聞かれる場合があります。
プリンタドライバのバージョンをご確認のうえ、お問い合わせください。

参照「プリンタドライバのバージョンを確認する方法」（377 ページ）参照

マニュアルの表記

本マニュアルでは、説明する内容により、以下の用語を使用しています。

お願い	本製品を正しく使っていただくための依頼事項を説明しています。操作する前に必ずお読みください。
ガイド	本製品を使う際に参考にしていただきたい内容を説明しています。必要に応じてお読みください。
参照	本書内で参照していただきたい参照先を示します。

本文中の略語について

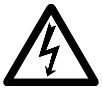
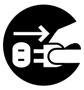
各製品を以下のように略記しています。

製品名称	本文中の表記
Microsoft® Windows Server™ 2003, Standard Edition	Windows Server 2003
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP
Microsoft® Windows® XP Home Edition	
Microsoft® Windows® 2000 Professional	Windows 2000
Microsoft® Windows® 2000 Server	
Microsoft® Windows® NT Workstation Version 4.0	Windows NT 4.0
Microsoft® Windows NT® Server Version 4.0	
Microsoft® Windows® Millennium Edition	Windows Me
Microsoft® Windows® 98	Windows 98
Microsoft® Windows® 98 Second Edition	Windows 98SE
Microsoft® Internet Explorer	Internet Explorer
Netscape® Communicator	Netscape
Adobe® Acrobat® Reader	Acrobat Reader

●警告表示マークについて

本書では、製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。

⚠ 警告	⚠ 注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味	
	△で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⦸ で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

安全上のご注意

プリンタの設置および移動時のご注意

⚠ 警告

プリンタの上に「花びん、植木鉢、コップ」などの水の入った容器、金属物を置かないでください。

　感電・火災の原因となります。

湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないでください。

　感電・火災の原因となります。

電源プラグは、交流100V、15A以上のコンセント以外には差し込まないでください。たこ足配線をしないでください。

　感電・火災の原因となります。本プリンタの定格電源は100V、12Aとなっています。

添付の電源コード以外は使用しないでください。

　感電・火災の原因となります。

プリンタや他の機器の電源コードの上にプリンタをのせないでください。

　電源コードが傷つき、感電、火災、故障の原因となります。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近くにはプリンタを設置しないでください。

　火災の原因となります。

延長コードは、定格（125V、15A）未満のものは使用しないでください。特に容量不足の延長コードは絶対に使用しないでください。

　異常な発熱や火災の原因となります。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

梱包に使用している袋類は、お子様の手の届くところに置かないでください。

　口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。

風呂場、シャワー室などの水場に置かないでください。

　感電・火災の原因となります。

⚠ 警告

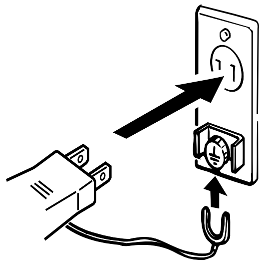
電源プラグから出ている緑色のアース線を、必ず以下のいずれかに取り付けてください。アース接続は必ず電源プラグを電源に差し込む前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から抜いてから行ってください。アース接続できない場合は、「ハードウェア修理相談センター」（378ページ）にご連絡ください。

・電源コンセントのアース線

・銅片などを650mm 以上地中に埋めたもの

・接地工事（第３種）を行っている接地端子

　アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。



プリンタケーブルおよびオプション製品の取り付け、取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体および接続されている機器の電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いた後に行ってください。

　感電の原因となります。

オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。

　火災や感電または故障の原因となります。

近くで雷が起きたときは、電源プラグをコンセントから抜いて、雷がおさまるのを待ってください。

　入れたままにしておきますと、雷によっては機器を破壊し、火災の原因となります。

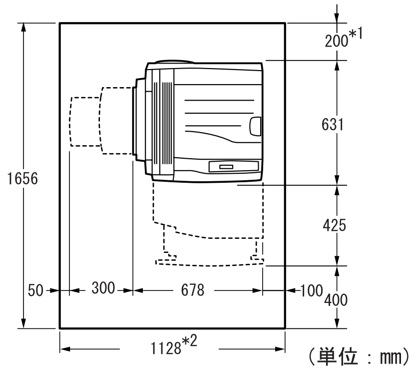
警告

直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。

高温によりカバーなどが過熱、変形、溶解する原因となったり、プリンタ内部が高温となり、火災の原因となることがあります。

プリンタの背面には通風口があります。プリンタの背面は壁から200mm 以上離して設置してください。

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。プリンタの操作および消耗品類の交換、日常の点検など、プリンタを正しく使用し、プリンタの性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。



*1：200mm以上

*2：長尺ガイド設置時：＋200mm以上

⚠ 注意

プリンタの上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。

バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

オプション類の装着、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。

指定された場所以外のネジを外すと、けがの原因または故障の原因となることがあります。

プリンタは、重さ約115kg（すべてのオプション品およびサプライ品、用紙を含む）に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。

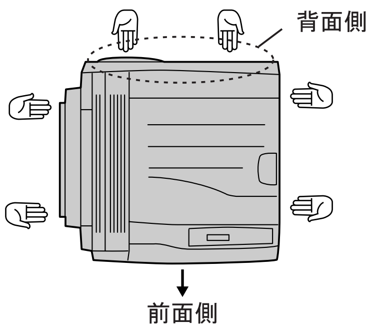
プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。

プリンタを移動する場合は、トナーカートリッジを取り外さないでください。

トナーカートリッジの内部にあるトナーがこぼれるなど故障の原因となることがあります。

プリンタを移動する場合は、プリンタの左右と背面に向かって、左右両側、背面側の下方にあるくぼみをしっかり持ち、３人以上で運んでください。

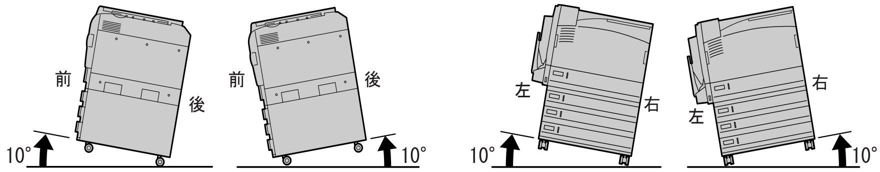
それ以外の箇所を持って移動すると落下などによりけがの原因となることがあります。本プリンタを３人で持ち上げるときは、持ち手のいない面（前面側）に傾きやすいので十分に注意して持ち上げてください。また、本プリンタは前面側より背面側の方が重くなっています。重さの違いに注意してください。



注意

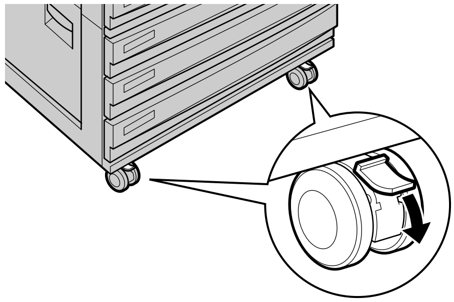
プリンタを移動する場合は、プリンタを10°以上に傾けないでください。

転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。



拡張給紙ユニット-B（3トレイ）を設置したあとは、キャスターについている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。

ストッパーをロックしないと、プリンタが思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。



プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなどもはずしてください。作業は足元に十分注意して行ってください。

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となったり、本プリンタが倒れたりしてけがの原因となることがあります。

モニタやテレビから離して設置してください（47ページのスペース参照）。

十分なスペースをとらないと、磁界の影響でモニタ画面等が周期的にゆれることがあります。

プリンタ使用時のご注意

警告

プリンタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。

火災・感電の原因となります。

開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工しないでください。

重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたり、ねじったり、過熱したりすると、電源コードを傷め、火災や感電の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

そのまま使用しますと、火災・感電の原因となります。修理にはご購入元または「ハードウェア修理相談センター」（378ページ）にご連絡ください。

異常音がするなどの故障状態で使用しないでください。

故障の修理は、ご購入元または「ハードウェア修理相談センター」（378ページ）にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

カバーを外した状態で電源プラグを差したり、電源を入れたりしないでください。

感電・火災の原因となります。

プリンタの近くで強燃性スプレーなどを使用しないでください。

火災の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となります。

ネジで固定されているパネルやカバーなどは、取扱説明書で指示された箇所以外絶対に開けないでください。内部の点検、修理はご購入元または「ハードウェア修理相談センター」（378ページ）にご連絡ください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

プリンタを改造したり、部品を変更して使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

⚠ 警告

電源プラグの金属部、およびその周辺にほこりが付着している場合は、一度電源プラグを抜いた後、乾いた布でよく拭いてください。

　　そのまま使用すると、火災の原因となります。

取り外したカバー、キャップ、ネジ等は、小さなお子様が誤って飲むことがないように、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。

　　万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

万一、プリンタから発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

煙が消えるのを確認して、ご購入元または「ハードウェア修理相談センター」（378ページ）に修理をご依頼ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

　　異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

万一、異物（金属片、水、液体など）が内部に入った場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、ご購入元または「ハードウェア修理相談センター」（378ページ）にご連絡ください。

　　そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

プリンタを落としたり、カバーなどを破損した場合は、プリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、ご購入元または「ハードウェア修理相談センター」（378ページ）にご連絡ください。

　　そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠ 注意

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引っぱると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、火災・感電の原因となることがあります。

使用中のプリンタは布などでおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、火災の原因となることがあります。

プリンタの電源を入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。

発火の原因となることがあります。

プリンタの内部には磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。

プリンタが動作状態になる場合があり、けがの原因となることがあります。

電気を通しやすい紙（折り紙・カーボン紙）は使用しないでください。

紙づまりのときにショートして火災の原因となるおそれがあります。

電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

火災・故障の原因となることがあります。

つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。

紙片が残ったままになっていると火災の原因となることがあります。なお、定着部やローラ部に用紙が巻き付いているときは無理にとらないで、直ちに電源を切り、ご購入元または「ハードウェア修理相談センター」（378ページ）にご連絡ください。

つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、鋭利部に触れないよう注意してください。

けがの原因となることがあります。

つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、ネクタイやネックレスなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。

けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

「高温注意」を促すラベルが貼ってある箇所（定着部やその周辺）には、絶対に触れないでください。

やけどの原因になることがあります。
（26ページ参照）

電源を切った状態で、１カ月に１度は次のような点検をしてください。

- 電源プラグが電源コンセントにしっかり差しこまれていますか。
- 電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどがありませんか。
- 電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。
- 電源コードにき裂や擦り傷などはありませんか。
- アース線は取り付けられていますか。

なお、異常がある場合はご購入元または「ハードウェア修理相談センター」（378ページ）までご連絡ください。

長期間、プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電・火災の原因となることがあります。

プリンタの清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源スイッチを切らずにプリンタの清掃や保守を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。

用紙排出部のローラが作動しているとき作動部には触れないでください。

指を挟み、けがをする原因となることがあります。

カートリッジ類の取り扱い上のご注意

警告

トナーカートリッジを火中に投入しないでください。

火中に投入すると、粉じん爆発により、やけどの原因となります。
使用済みのトナーカートリッジは、使用済みカートリッジの回収サービス（378ページ）をご利用ください。

トナー、廃トナーボックス、またはトナーの入った容器を火中に投入しないでください。

火中に投入すると、粉じん爆発により、やけどの原因となります。
使用済みの廃トナーボックスは、回収サービス（378ページ）をご利用ください。

ドラムカートリッジを火中に投入しないでください。

火中に投入すると、粉じん爆発により、やけどの原因となります。
使用済みのドラムカートリッジは、使用済みカートリッジの回収サービス（378ページ）をご利用ください。

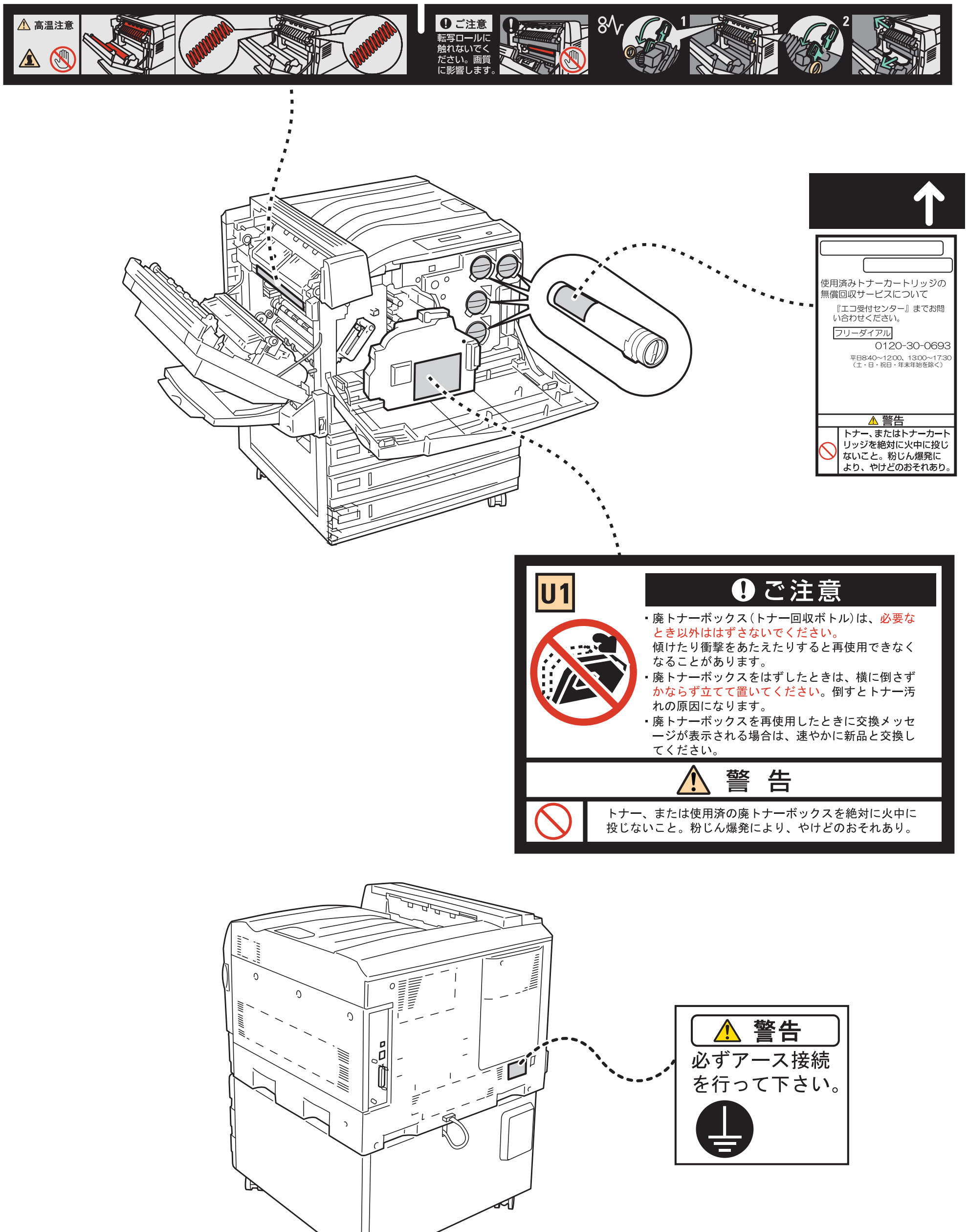
トナーは目や口に入らないように注意してください。

トナーカートリッジの交換時などに、トナーが手に付いた場合は速やかに洗い落としてください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

トナーカートリッジを保管する場合は、小さなお子さまがトナーを誤って飲むことがないように、小さいお子さまの手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

警告および注意ラベルの貼り付け位置



目 次

セットアップ編

運 用 編

セットアップ編

セットアップ編では、本プリンタを梱包箱から取り出し、使用できるようにするまでの設定を説明しています。

第1章
お使いになる前に

この章では、プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことについて説明します。

本機の特長

本プリンタの特長を以下に示します。

1　高速で高品位な印刷

フルカラーリアル 1,200dpi、カラー、モノクロともに 24 枚 / 分（A4 片面連続印刷）の高速印刷が可能です。
また、電源オンから 30 秒で使用可能、カラーのファースト・プリントアウト・タイム 12 秒以下と印刷までの時間も高速です。

2　高画質

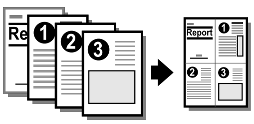
様々なデータに対応するリアル 1,200dpi と 600dpi 多値の高画質を実現しました。
なめらかな色調の写真印刷や、シャープで精緻な線画印刷が可能です。また、再生紙にも高画質な印刷を提供いたします。

3　充実した印刷機能

厚紙や 1,200mm の長尺紙に対応し、オプションの拡張給紙ユニットを取り付けると最大 2,420 枚（用紙坪量：64g/m² 時）の給紙が可能になります。
また、次のような印刷機能も備えています。

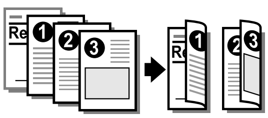
まとめて1枚（Nアップ）

1枚の用紙に、複数のページを割り付けて印刷します。



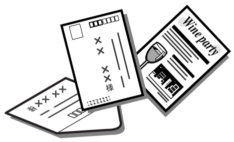
両面印刷

用紙の両面に印刷します。
（両面ユニットを取り付けた場合）



はがき、封筒への印刷

官製はがき、封筒などの特殊紙に印刷できます。



4　多彩な接続インタフェース

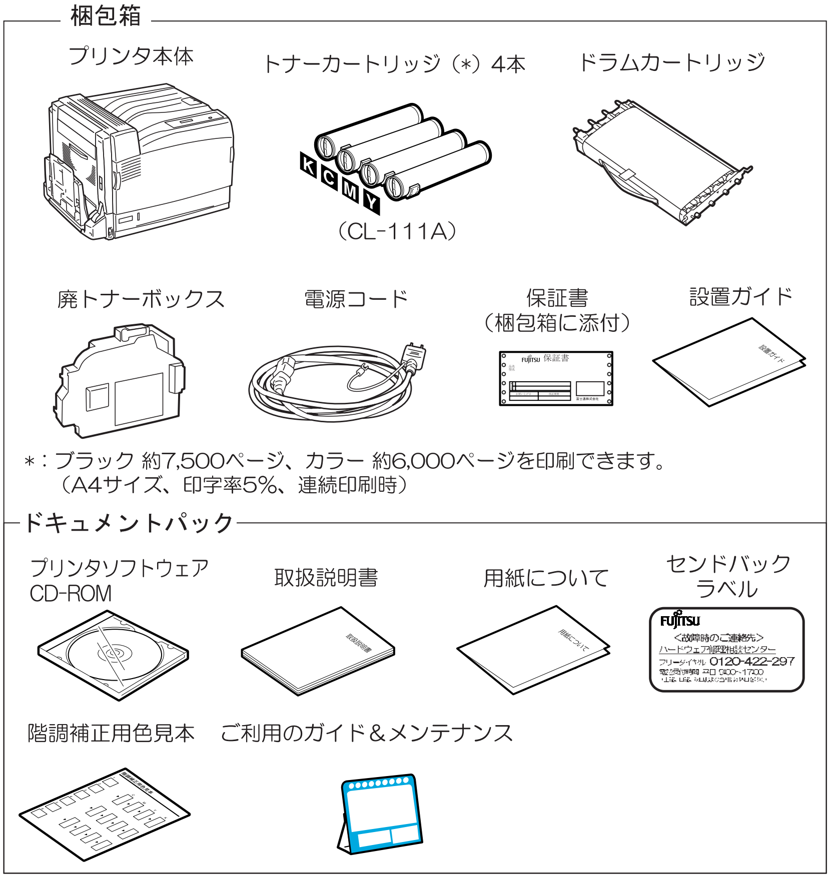
100BASE-TX を標準装備し、パラレル、USB 1.1 の 3 つのポートに対応しています。また、オプションの USB2.0 拡張キットを取り付けると USB2.0 にも対応します。
インターネットを利用した印刷や、PC からプリンタの状態監視や設定変更を行う多彩な機能も備えています。

5　エコロジーに配慮

消費電力や環境に配慮した省電力設計のもと、待機時動作音 25dB(A) 以下の低騒音設計を実現しました。
サプライ品も標準容量トナーのほかに、大量印刷に対応した 2 種類のトナーカートリッジを用意し、ビジネスシーンでのニーズに合わせたご利用が可能になりました。

製品の確認（梱包されている製品）

本プリンタは、添付品とともに梱包材で保護し、梱包してあります。梱包箱から取り出して、製品が揃っていることを確認してください。万一、不良品や不足品がありましたら、ご購入元にご連絡ください。



お願い

- 本プリンタには、パソコンとの接続ケーブル（プリンタケーブル、プリンタ USB ケーブル）は添付されていません。
- パソコンに添付されているケーブルか別売ケーブルをお使いください。

参照　「プリンタインタフェースケーブル」（76 ページ）参照

ガイド

移転など、プリンタを運搬する可能性がある場合は、梱包箱を保管しておくと便利です。

参照「プリンタを長時間使用しないとき」（276 ページ）参照

1

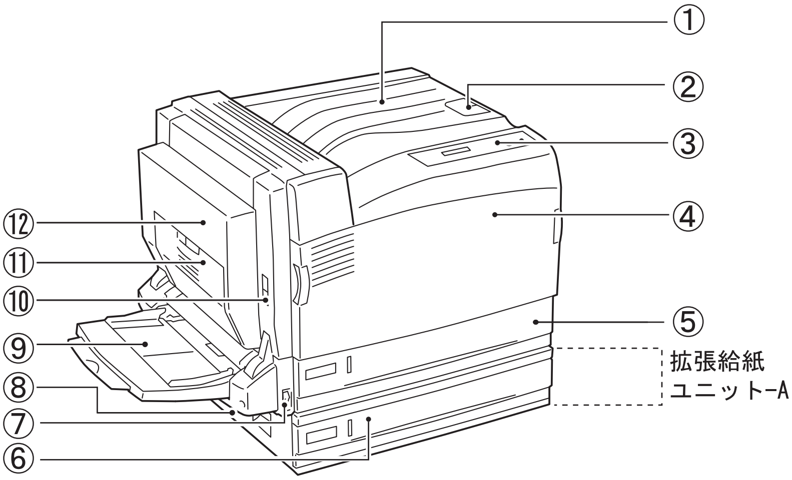
セットアップ編

各部の名称と機能

本製品の主要各部の名称と機能について説明します。
ここでは、オプションの両面ユニットを取り付けた場合を例にしています。

●前面

拡張給紙ユニット -A（1 トレイ）を取り付けた場合

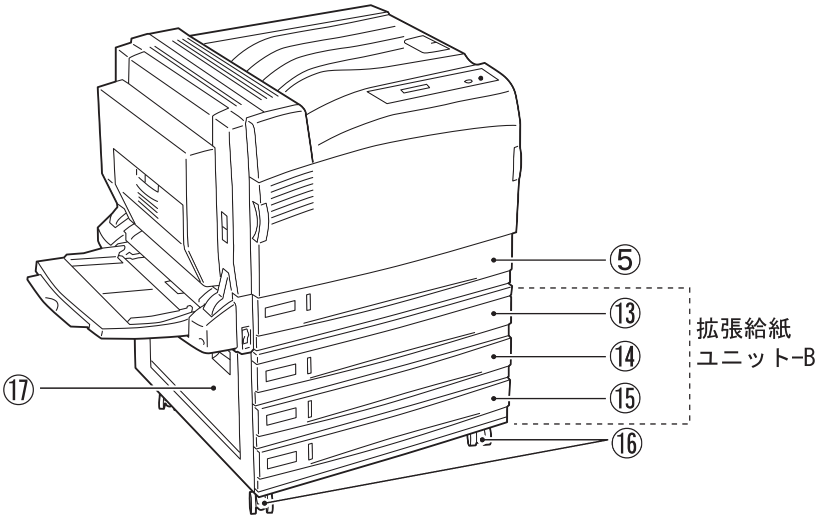


①	排出トレイ	印刷されたものが印刷面を下にしてここに排出されます。
②	用紙止め	印刷するときに立てて使用します。
③	オペレータパネル	操作に必要なスイッチと、メッセージが表示されるディスプレイがあります。 参照「第９章 オペレータパネルの操作」（175 ページ）参照
④	フロントカバー	プリンタの前面のカバーです。サプライ品を交換するときに開けます。
⑤	用紙トレイ 1（標準）	用紙をセットします。
⑥	用紙トレイ 2（オプション）	オプションの拡張給紙ユニット -A（1 トレイ）の用紙トレイです。用紙をセットします。オペレータパネル、プリンタドライバでは、トレイ 2 と表示されます。
⑦	電源スイッチ	プリンタの電源を入 / 切するスイッチです。
⑧	C（左側）カバー	紙づまりを処置するときに開けます。
⑨	用紙トレイ 5（手差し）	手差し印刷時に使用します。はがき、封筒、OHP フィルムなどは、用紙トレイ 5（手差し）にセットします。オペレータパネル、プリンタドライバでは、トレイ 5 と表示されます。
⑩	A（左側）カバー	消耗品の交換や、紙づまりを処置するときに開けます。
⑪	B（両面ユニット）カバー	両面ユニット取り付け時の場合、紙づまりを処置するときに開けます。
⑫	両面ユニット（オプション）	オプションの両面ユニットです。両面印刷を行うときに使用します。

ガイド

拡張給紙ユニット- A と拡張給紙ユニット -B を同時にプリンタに取り付けることはできません。

拡張給紙ユニット -B（3 トレイ）を取り付けた場合

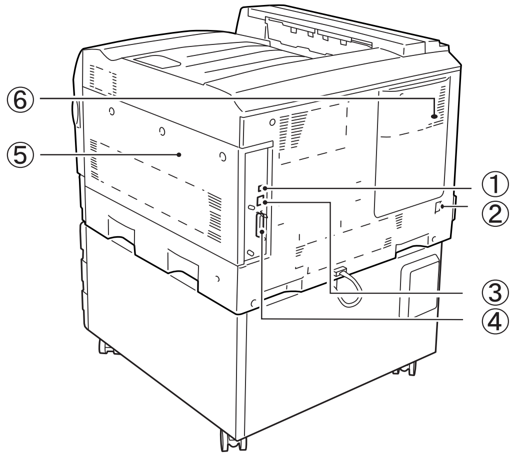


⑤	用紙トレイ 1（標準）	用紙をセットします。
⑬	用紙トレイ 2（オプション）	オプションの拡張給紙ユニット -B（3 トレイ）の用紙トレイです。用紙をセットします。オペレータパネル、プリンタドライバでは、トレイ 2 と表示されます。
⑭	用紙トレイ 3（オプション）	オプションの拡張給紙ユニット -B（3 トレイ）の用紙トレイです。用紙をセットします。オペレータパネル、プリンタドライバでは、トレイ 3 と表示されます。
⑮	用紙トレイ 4（オプション）	オプションの拡張給紙ユニット -B（3 トレイ）の用紙トレイです。用紙をセットします。オペレータパネル、プリンタドライバでは、トレイ 4 と表示されます。
⑯	キャスター	移動時に使用します。設置後はロックしてください。
⑰	C（左下）カバー	紙づまりを処置するときに開けます。

ガイド

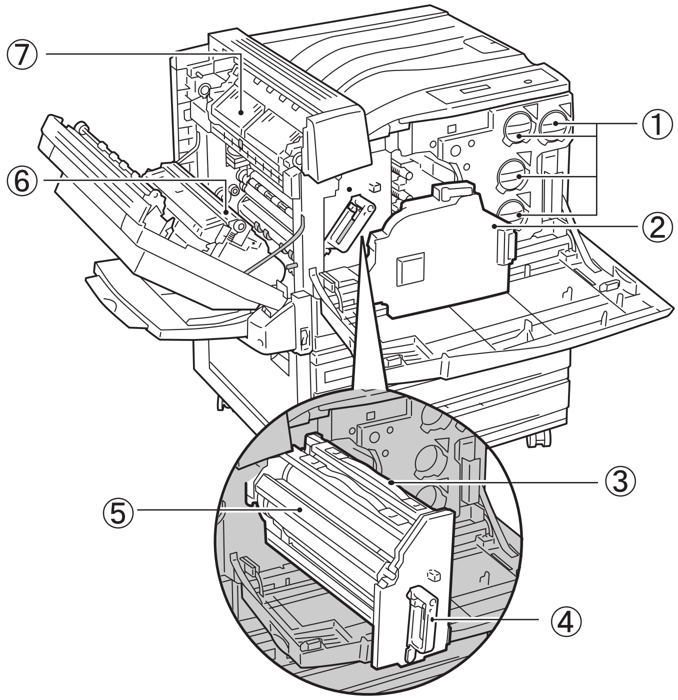
拡張給紙ユニット- A と拡張給紙ユニット -B を同時にプリンタに取り付けることはできません。

●背面



①	USB インタフェースコネクタ	プリンタとパソコンを USB インタフェースで接続するためのコネクタです。
②	電源コネクタ	電源コードを差し込みます。
③	LAN インタフェースコネクタ	10Base-T/100Base-TX に準拠した LAN ケーブルを接続します。
④	パラレルインタフェースコネクタ	プリンタとパソコンをパラレルインタフェースで接続するためのコネクタです。
⑤	右カバー	プリンタ RAM モジュール（オプション）などを取り付けるときに、開けます。
⑥	通風口	プリンタ内部の加熱を防ぐため、熱を放出します。設置時には、通風口をふさがないようにしてください。

●内部



①	トナーカートリッジ	ブラック (K)、シアン (C)、マゼンタ (M)、イエロー (Y) の 4 色のトナー（画像形成剤）が入っています。
②	廃トナーボックス	使用済みのトナーを回収するボトルです。
③	ドラムカートリッジ	ブラック (K)、シアン (C)、マゼンタ (M)、イエロー (Y) の 4 色の感光体がセットされています。
④	中間転写ユニットのハンドル	ドラムカートリッジを取り付けるときなどに引き出します。
⑤	中間転写ユニット	4 色の感光体で作られた像を 1 つに重ね合わせ、転写ユニットで用紙に転写するための準備をします。
⑥	転写ユニット	ドラム面に作られた像を用紙に転写します。
⑦	フューザユニット（定着器）	トナーを用紙に定着させる部分です。高温なので触れないように注意してください。

添付ソフトウェア（CD-ROM）のご紹介

本製品には「Color Printia LASER プリンタソフトウェア」CD - ROM が同梱されています。この中に収められているおもなファイルは次のとおりです。

Printia	
XL-C7400	XL-C7400用フォルダ
driver	XL-C7400プリンタドライバ用フォルダ
Win98_Me	・Windows 98/Me用プリンタドライバ(Ver1.0.0)
WinNT40	・Windows NT 4.0用プリンタドライバ(Ver1.0.0)
Win2K_XP	・Windows 2000/XP、Windows Server 2003用プリンタドライバ(Ver1.0.0)
DPU	
Win9x	TCP/IP Direct Print Utility(Windows 98/Me用)
USBUTil	USBプリントユーティリティ(セットアップ用)
Manual	「XL-C7400用オンラインマニュアル」等のPDFマニュアル
XL-C3200	XL-C3200用フォルダ
・ ・ ・	
PrtSUtil	プリンタ検索ユーティリティ
ACROBAT	Acrobat Reader V5.1
HPRINT	HyperPrintお試し版
REPOAGNT	RepoAgentお試し版
Readme.txt	CD-ROM全体のREADMEファイル

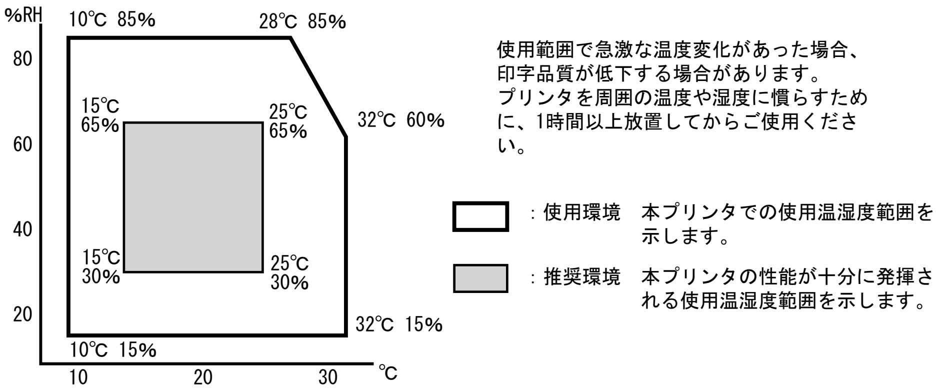
第2章
プリンタ設置の準備

この章では、プリンタを設置し、プリンタが正しく動作するまでの概要を説明します。

設置上のお願い

安全に快適にプリンタをご利用いただくために、安全上のご注意とともに、以下の点に注意して設置してください。

・ 温度や湿度が以下の使用範囲におさまる環境下でご使用ください。



冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、プリンタの内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。

・ サーバ接続などによりプリンタの 24 時間運用や無人運用をする場合は、不慮の事故に対する安全性を高める必要から、適切な防災対策（ 耐震対策、煙感知機、温度センサーなど）が施された場所に設置してください。
また、防災管理者（警備員、管理人など）が建物内に待機していることも必要です。

・ プリンタを前後左右に 5° 以上傾けないでください。

・ プリンタは凹凸のない、平らな場所に設置してください。
斜行等により印字ズレが大きくなったり、画質不良が起こるなどして、故障の原因となります。

・ ラジオの雑音、テレビやディスプレイ（CRT）のチラツキやゆがみなど電波や磁気による障害が発生し、原因が本プリンタであると考えられる場合は、本製品の電源を切って障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると電波や磁気による障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。
  - プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ (CRT) の距離を離してみる。
  - プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ (CRT) の位置や向きを変えてみる。
  - プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ (CRT) の電源を別系統のものに変えてみる。
  - 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
  - ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

・ 化学薬品や油分を、使用または保管している環境では使用しないでください。故障の原因となります。

・ プリンタや他の機器の電源コードの上にプリンタをのせないでください。
電源コードが傷つき、感電・火災・故障の原因になります。

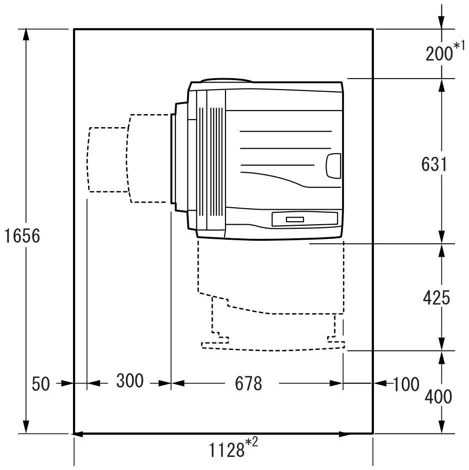
お願い

超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。
ご使用の際には、純水のご使用をお勧めします。

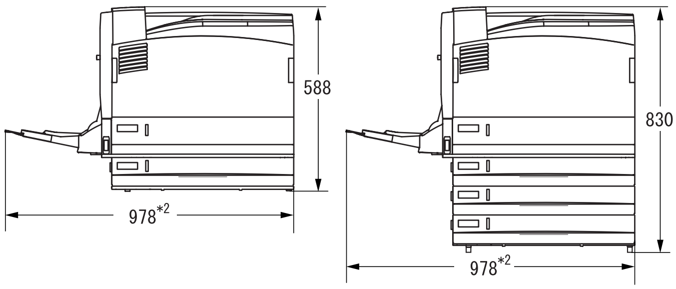
プリンタの寸法

装置の寸法を示します。設置のときに参考にしてください。

（単位：mm）



〈上面図〉



拡張給紙ユニット-A
（1トレイ）装着の場合

拡張給紙ユニット-B
（3トレイ）装着の場合

〈前面図〉

*1：200mm以上
*2：長尺ガイド設置時：＋200mm以上

⚠ 注意		
	火　災	製品の背面には通風口があります。プリンタは壁から十分離して設置してください。
	参照	「安全上のご注意」（16 ページ）参照

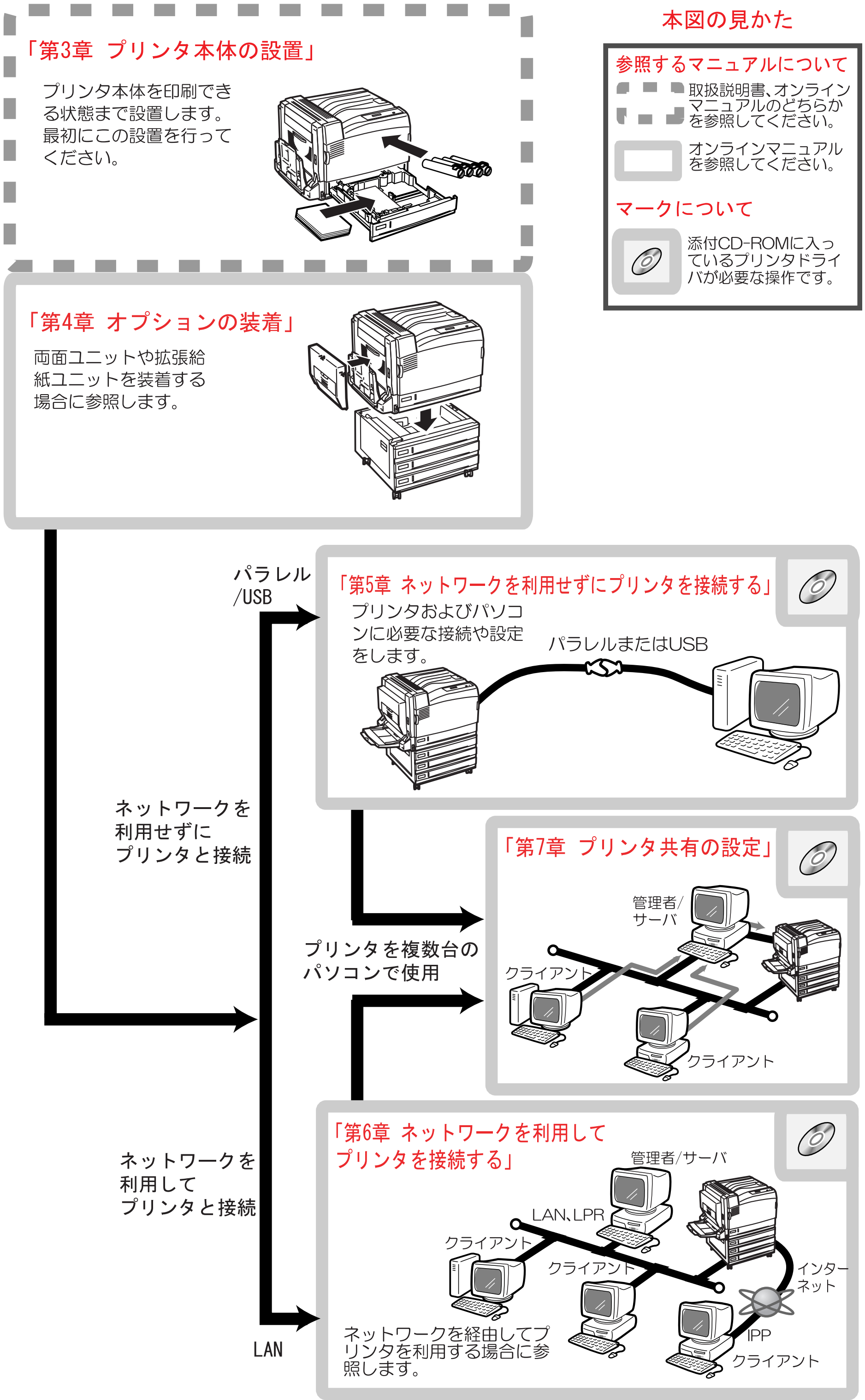
プリンタの設置からインストールまで

プリンタの設置から印刷するために必要な設定までの流れを説明します。
プリンタの接続・運用形態によって手順が異なります。次の図を参照し、必要な設定を行ってください。

ガイド

・接続、運用形態は、お使いの環境に合わせて以下を目安に選択してください。
  - プリンタケーブル / プリンタ USB ケーブルで接続
    １台のパソコンからのみ印刷する場合や、プリンタ用に IP アドレスを使いたくない場合に選択します。
    より速く印刷したい場合は、プリンタ USB ケーブルによる接続をおすすめします。
  - LAN ケーブルで接続
    プリンタの設置場所を自由に動かしたい場合や、インターネットを利用して印刷する場合に選択します。
    LAN ケーブルを利用するとデータの転送速度が高速になります。

・サーバ経由で印刷すると、クライアント側の設定／管理が比較的容易になります。また、大規模なネットワークに適しています。



本図の見かた

参照するマニュアルについて

取扱説明書、オンラインマニュアルのどちらかを参照してください。

オンラインマニュアルを参照してください。

マークについて

添付CD-ROMに入っているプリンタドライバが必要な操作です。

第３章

プリンタ本体の設置

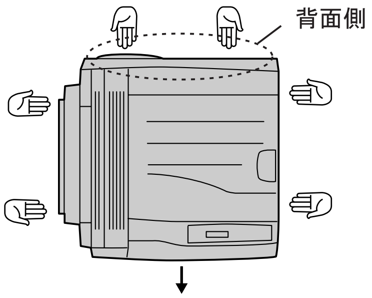
この章では、プリンタ本体の設置方法と、プリンタが単体で正しく動作することを確認するまでの手順を説明します。

梱包箱の確認

製品がすべて揃っていることを確認してください。
梱包されている製品は、「製品の確認（梱包されている製品）」（39 ページ）に記載してあります。

本体の取り出し

1. 梱包箱を開ける
2. ビニール袋を取り外す
3. プリンタの左右および背面下部のくぼみを持ち、水平に保ちながら取り出す



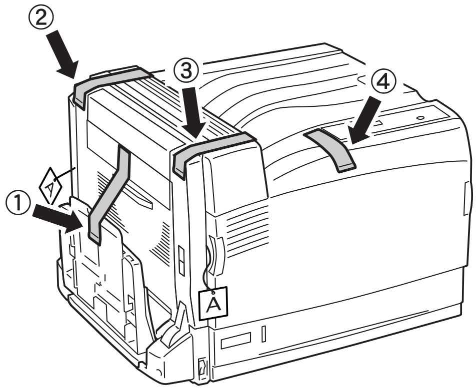
お願い

本体は約 55kg の重さがあります。必ず３人以上の人数で図の向きで取っ手を持ち、背中や腰を痛めないように注意して運んでください。本プリンタを３人で持ち上げるときは、持ち手のいない面（前面側）に傾きやすいので十分に注意して持ち上げてください。また本プリンタは前面側よりも背面側のほうが重くなっています。運搬する場合は、重さの違いに注意してください。

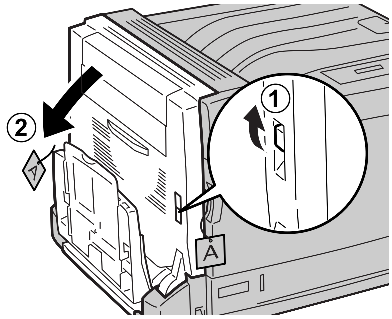
4. 水平で丈夫な場所に静かに置く

固定テープ、保護材の取り外し

1 保護テープ（4 か所）をはがす



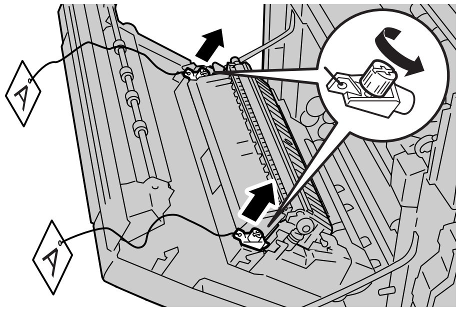
2 本体の A（左側）カバーのレバーを押し上げ（①）、A（左側）カバーを開ける（②）



3 転写ユニット部左右の転写ユニットスペーサーを、ねじをゆるめて取り除く

ガイド

本体の A（左側）カバーは、ドラムカートリッジの取り付けを行うときのために開けたままの状態にしてください。

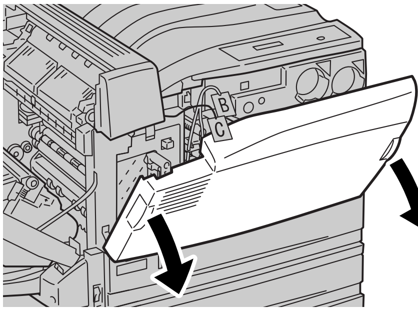


ドラムカートリッジの取り付け

次の手順で、ドラムカートリッジを取り付けます。

⚠ 注意	故　障	保護用のカートリッジを取り除き、プリンタの設置が終了するまでは、絶対にプリンタの電源スイッチを入れないでください。プリンタが故障するおそれがあります。

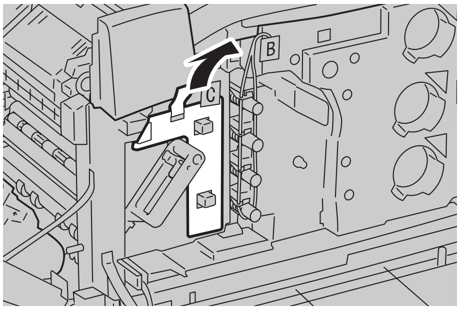
1 A（左側）カバーが開いていることを確認して、フロントカバーを開ける



2 図の保護材（C）を斜め上方向に引いて取り除く

お願い

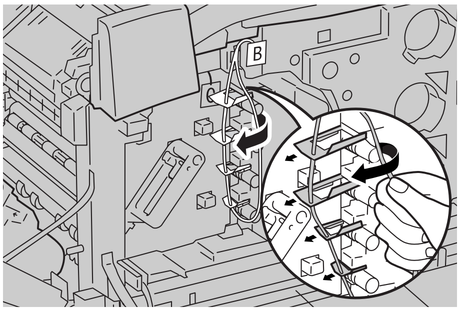
・取り外した保護材は、プラスチックごみとして廃棄してください。
・保護材は必ず斜め上方に引いてください。



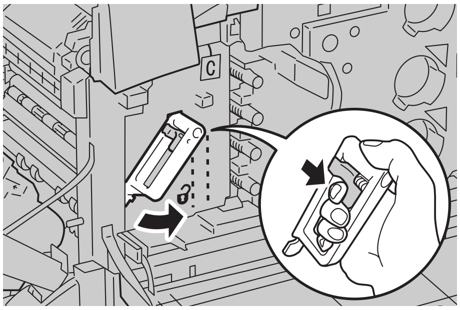
3 図の保護材（B）を、輪の右側から手前に回すように引いて取り除く

お願い

取り外した保護材は、プラスチックごみとして廃棄してください。



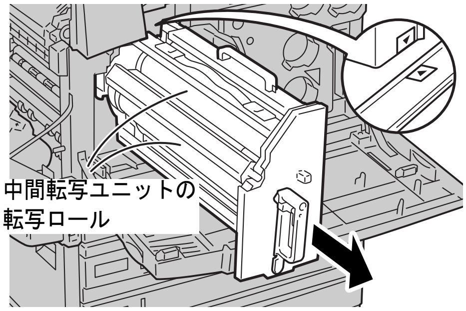
4 ハンドルの内側のレバーを手前に引きながら、ハンドルを鍵印（🔓印）のガイドラインの位置まで回す



ガイド

レバーが引きにくいときは、ハンドルを少し左に持ち上げてからレバーを引いてください。

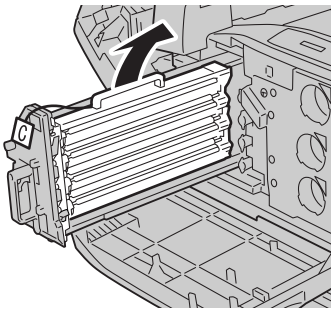
5 ハンドルを持ち、ゆっくりと確実に止まるまで中間転写ユニットを引き出す



お願い

- 図の矢印の位置が合うところまで中間転写ユニットが引き出されていることを確認してください。
- 中間転写ユニットの転写ロールに触らないでください。きれいな印刷ができなくなることがあります。
- 中間転写ユニットを引き出した場合は、A（左側）カバーを絶対に閉めないでください。

6 保護用のカートリッジの取っ手を持ち、取り外す

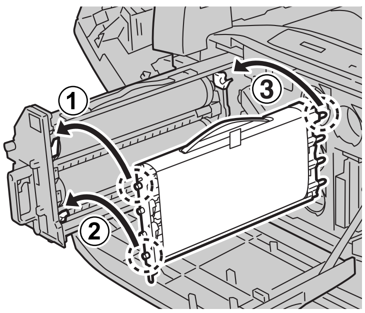


お願い

取り外した保護用のカートリッジは、プラスチックごみとして廃棄してください。

7 ドラムカートリッジを袋から取り出す

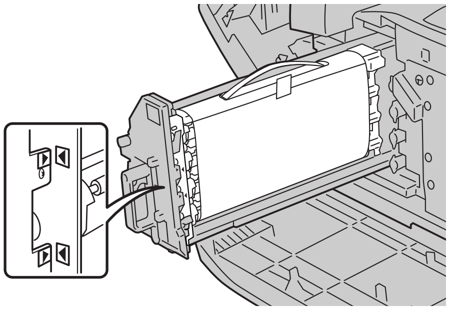
8 保護紙を付けたままドラムカートリッジの取っ手を持ち、図のように突起をのせてから（①、②）、奥側の突起をのせる（③）



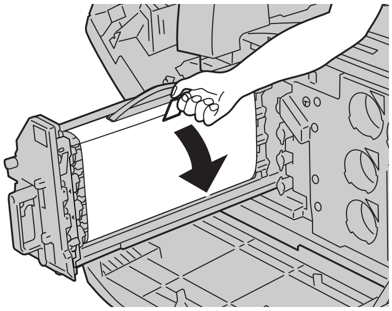
3

セットアップ編

9 本体とドラムカートリッジの 2 か所の矢印の位置が合っていることを確認する



10 ドラムカートリッジの保護紙のテープをはがす



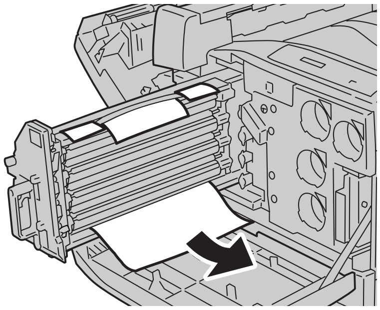
11 保護紙を下側から引き抜く

ガイド

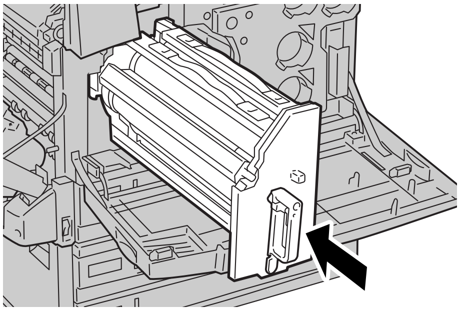
保護紙がうまく引き抜けない場合は、一度ドラムカートリッジを軽く浮かし、下側に引っ張るようにして抜いてください。

お願い

保護紙を外したあとは、長い時間（3 分以上）そのままにしたり、強い光を当てたりしないでください。きれいな印刷ができなくなることがあります。

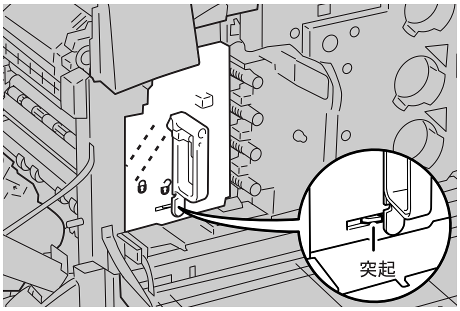


12 中間転写ユニットをゆっくりと奥に突き当たるまで押し込む



お願い

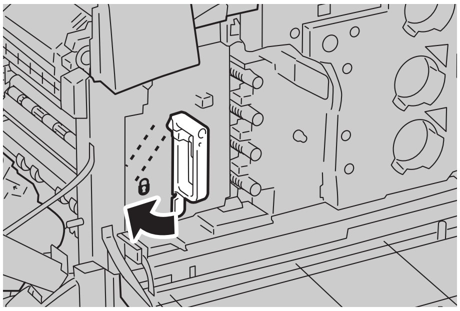
中間転写ユニットの転写ロールや、ドラムカートリッジのドラムに触らないでください。正常に印刷できなくなることがあります。



ガイド

中間転写ユニットが正しい位置に突き当たると、図の突起が元に戻ります。

13 中間転写ユニットのハンドルを、鍵印（🔒印）のガイドラインの位置まで回す



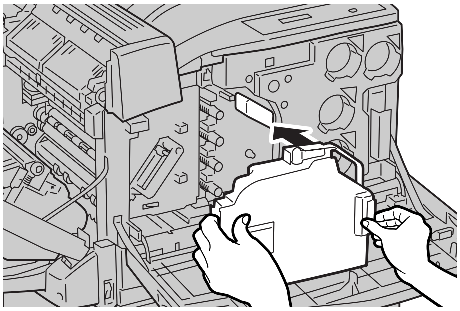
ガイド

- ハンドルが回りにくいときは、もう一度中間転写ユニットを引き出し、プリンタの奥までしっかりと押し込んでください。
- ハンドルを正しい位置まで戻すと、ハンドルが固定されます。

廃トナーボックスの取り付け

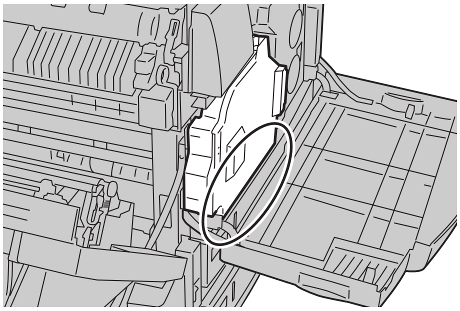
1. 廃トナーボックスを袋から取り出す

2. 図の位置を持って、廃トナーボックスを取り付ける



お願い

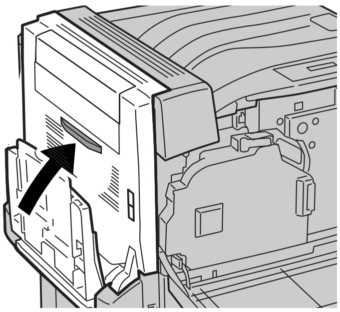
廃トナーボックスが正しくセットされていないと、フロントカバーが閉まらなかったり、オペレータパネルにメッセージが表示されたりします。図のように、廃トナーボックスはプリンタのフレーム内に正しくセットしてください。



3. 「ここを押して閉めてください。」と書かれた部分を強く押し、A（左側）カバーを閉じる

ガイド

A（左側）カバーは上部中央を持って閉じてください。
端を持って閉じると、きちんと閉まらないことがあります。



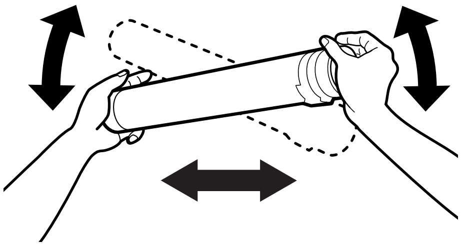
トナーカートリッジの取り付け

次の手順で、トナーカートリッジを取り付けます。

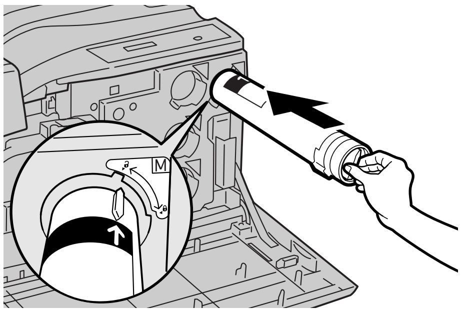
警告	やけど　トナーカートリッジを絶対に火中に投じないでください。カートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

1 トナーカートリッジ４本（Y、M、C、K）を、袋から取り出す

2 図のように上下左右に軽く 3 ～ 4 回振り、中のトナーを均一にする



3 本体前面のトナーカートリッジ差し込み位置と同じ色のトナーカートリッジを、矢印を鍵印（印）の位置に合わせてプリンタの奥に突き当たるまで差し込む

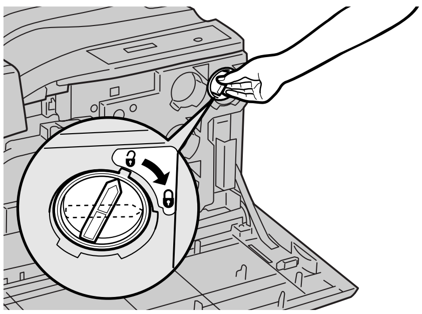


ガイド

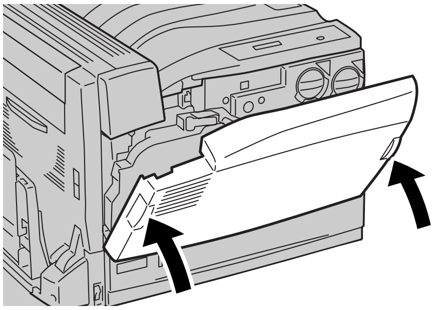
プリンタに添付されたトナーカートリッジでは、ブラック約 7500 ページ、カラー約 6000 ページの印刷ができます。（A4 サイズ、印字率 5%、連続印刷時）

4 トナーカートリッジを、鍵印（印）まで右方向に突き当たるまで回して固定する

5 ②～④を繰り返して、４本のトナーカートリッジをすべて取り付ける



6 フロントカバーを閉じる



オプション品の取り付け

複数のオプションを取り付ける場合は、それぞれ以下の参照ページの手順に従って設置してください。

参照　オプションについては、「第４章　オプションの装着」（73 ページ）参照

1 拡張給紙ユニット -A（1 トレイ）、または拡張給紙ユニット -B（3 トレイ）を取り付ける

参照　「拡張給紙ユニットの取り付けかた」（87 ページ）参照

2 プリンタ RAM モジュールを取り付ける

参照　「プリンタ RAM モジュールの取り付けかた」（78 ページ）参照

3 USB2.0 拡張キットを取り付ける

参照　「USB2.0 拡張キットの取り付けかた」（94 ページ）参照

4 両面ユニットを取り付ける

参照　「両面ユニットの取り付けかた」（81 ページ）参照

5 長尺ガイドを取り付ける

参照　「長尺ガイドの取り付けかた」（92 ページ）参照

電源を入れる

電源コードを接続し、プリンタの電源が入るかどうか確認します。

電源コードの接続

次の手順で、電源コードを接続します。
本プリンタの電圧定格値は、AC100V です。
上記の定格は、プリンタの後部にある製造銘板に表示してあります。使用するコンセントの電圧が、プリンタの定格電圧と一致するか確認してください。

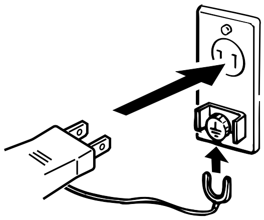
警告

火　災　電源プラグは、定格電圧 100V で、定格電流 15A 以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本プリンタの定格電源は、100V、12A となっています。

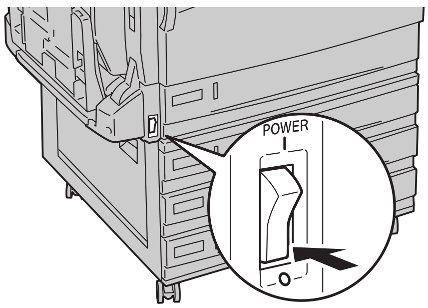
感　電　万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、電源プラグから出ているアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。アース接続できない場合は、「ハードウェア修理相談センター」（378 ページ）にご連絡ください。

・電源コンセントのアース端子
・銅片などを 650mm 以上地中に埋めたもの
・接地工事（D 種）を行っている接地端子

アース接続は必ず電源プラグを電源に差し込む前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から抜いてから行ってください。
アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、火災・感電の原因となります。



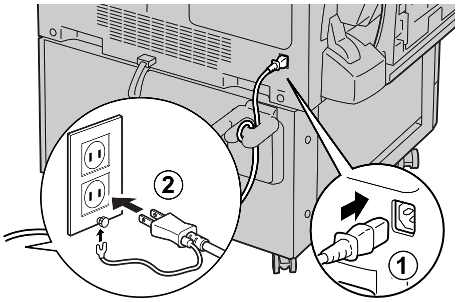
1 本体前面の左側に貼られているシールをはがし、電源スイッチがオフ（「○」側）であることを確認する



2 本体背面の電源コネクタに電源コード を差し込む（①）。電源プラグを、電源コンセントに差し込む（②）

お願い

アース接続は、必ず電源プラグを電源に差し込む前に行ってください。



3

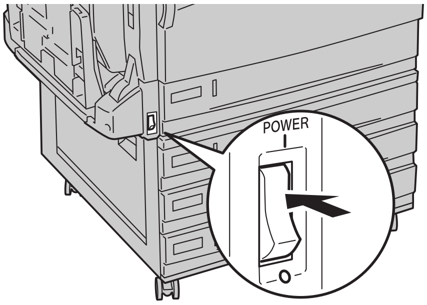
電源スイッチをオンにする

1 電源スイッチの「｜」側を押す

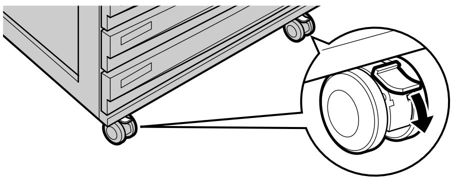
電源が入り、［プリント デキマス］と表示されます。

ガイド

- お使いのネットワーク環境によっては、印刷可能になるまでに数分かかることがあります。
- ［プリントデキマス IP アドレス シュトクフカ］と表示されることがありますが、そのまま操作を続けてください。



2 拡張給紙ユニット -B（3 トレイ）を取り付けている場合は、キャスターをロックする

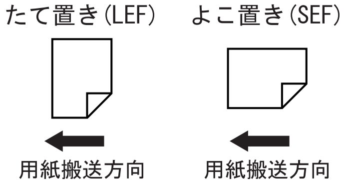


⚠ 注意	けが　プリンタを設置したあとは、キャスターについている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。ストッパーをロックしないと、プリンタが思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。

セットアップ編

用紙トレイに用紙をセットする

ここでは、用紙トレイ１を例に、A4 サイズの用紙をたて向きにセットする方法について説明します。用紙の向きは、プリンタの前面に立った場合を基準に下の図のように表します。



＊：オペレータパネル上の表示は、たて置き（LEF）が「タテ」、よこ置き（SEF）が「ヨコ」と、それぞれ表示されます。

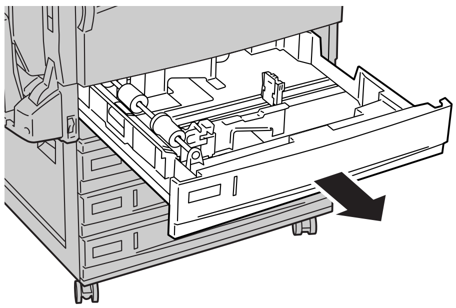
ガイド

A4 サイズの用紙をよこ置きにして使用した場合、ドラムカートリッジや装置、定期交換部品の寿命が約半分となります。

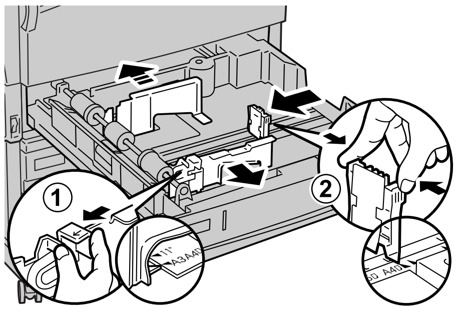
参照 「寿命（耐用期間）について」（357 ページ）参照

参照 用紙トレイ１に A4 以外の用紙をセットする場合や用紙トレイ２から４（オプション）に用紙をセットする方法については、「用紙のセット」（289 ページ）参照

1 用紙トレイ １ を、手前に止まるまで引き出す



2 2 か所（①、②）の用紙ガイドのクリップをつまみながら、用紙ガイドの先端をセットする用紙サイズの目盛りに合わせる



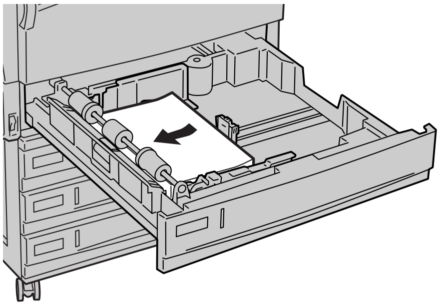
お願い

用紙ガイドが、目盛りの穴にぴったりはまっていることを確認してください。用紙ガイドがサイズの目盛りに合っていないと、用紙サイズを自動検出できない場合があります。このときは、用紙ガイドをずらしてから、再度目盛りに合わせてください。

ガイド

用紙トレイ１に少量の用紙をセットする場合に用紙がたわむことがありますが、問題ありません。

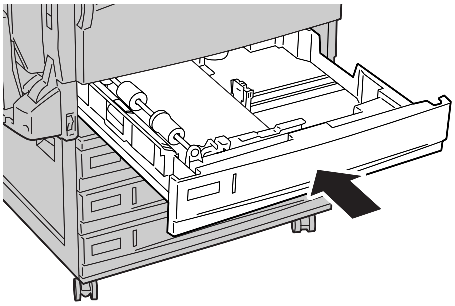
3 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にして用紙をセットする



お願い

折りめやしわが入った用紙や、カールしている用紙は使用しないでください。また、用紙上限を超えて、用紙をセットしないでください。

4 奥に突き当たるところまで、用紙トレイをゆっくりと押し込む



お願い

用紙トレイを、無理な力でいきおいよく押し込まないようにしてください。

用紙の種類の確認と設定をする

本プリンタは、用紙トレイ１～４にセットする用紙の種類をあらかじめオペレータパネルでトレイに対応させて設定しておく必要があります。正しい画質の処理をするため、必ず用紙種類を確認し、オペレータパネルから種類を設定してください。

ガイド

- 設定した用紙種類とトレイにセットされている用紙の種類が合っていないと、正しく画質の処理がされません。その場合、トナーが用紙に定着しなかったり、用紙が汚れたり、印字品質が悪くなることがあります。
- 用紙トレイ１～４にセットした用紙のサイズと向きは、プリンタが自動的に検知します。
- 用紙トレイ５（手差し）にセットする用紙の種類は、オペレータパネル、またはプリンタドライバから設定します。

用紙種類を確認する

用紙トレイに対する用紙種類の工場出荷時の設定は、［普通紙］です。下表を参考にして、セットする用紙の種類と設定変更が必要かどうかを確認してください。設定変更が必要な場合は、「用紙種類の設定を変更する」（67 ページ）に進んでください。
ここでは、普通紙、上質紙、再生紙を例に説明します。

参照　用紙トレイ１に A4 以外の用紙をセットする場合や用紙トレイ２から４（オプション）に用紙をセットする方法については、「第 13 章　用紙について」（279 ページ）参照

主な用紙名	用紙の目安 上段：重さ（坪量） 下段：500 枚の厚さ	オペレータパネルで設定する用紙種類	設定変更の操作
オフィス用紙 W など	64 ～ 80g/m^2 43.5mm（オフィス用紙 W）	フツウシ	不要
カラーオフィス用紙など	81 ～ 105g/m^2 48.5mm（カラーオフィス用紙）	ジョウシツシ	用紙種類の設定変更が必要です。
EC100 など	64 ～ 80g/m^2 49mm（EC100）	サイセイシ	用紙種類の設定変更が必要です。

用紙種類の設定を変更する

参照　オペレータパネルに関する詳細については「第９章　オペレータパネルの操作」（175ページ）参照

1 プリンタが印刷可能状態であることを確認する

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ

2「メニュー」スイッチを押し、メニューモードにする

ﾒﾆｭｰ
ﾚﾎﾟｰﾄ / ﾘｽﾄ

3 「▲」または「▼」スイッチを何度か押し、「キカイ　カンリシャ　メニュー」を選択する

ﾒﾆｭｰ
ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ

4 「▶」スイッチを押す

ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
ﾈｯﾄﾜｰｸ / ﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ

5 「▲」または「▼」スイッチを何度か押し、[プリント　セッテイ] を選択する

ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｾｯﾃｲ

6 「▶」スイッチを押す

ﾌﾟﾘﾝﾄ ｾｯﾃｲ
ﾖｳｼ / ｵｷｶｴ

7 「▲」または「▼」スイッチを何度か押し、設定する項目（例：[トレイノ　ヨウシシュルイ]）を選択する

ﾌﾟﾘﾝﾄ ｾｯﾃｲ
ﾄﾚｲﾉ ﾖｳｼｼｭﾙｲ

8 「▶」スイッチを押す

ﾄﾚｲﾉ ﾖｳｼｼｭﾙｲ
ﾄﾚｲ 1

次ページへ

前ページから

9 「▲」または「▼」スイッチを何度か押し、設定するトレイ（例：[トレイ 2]）を選択する

```
ﾄﾚｲﾉ ﾖｳｼｼｭﾙｲ
    ﾄﾚｲ 2
```

10 「▶」スイッチを押す

```
ﾄﾚｲ 2
         ﾌﾂｳｼ ＊
```

11 「▲」または「▼」スイッチを何度か押し、セットする用紙種類（例：[ジョウシツシ]）を選択する

```
ﾄﾚｲ 2
       ｼﾞｮｳｼﾂｼ
```

12 「排出 / セット」スイッチを押す

［トレイ 2］に対して上質紙が確定し、＊が表示されます。

13 他のトレイの用紙種類も設定するときは、「◀」スイッチを 1 回押し、9 ～ 11 を繰り返す

```
ﾄﾚｲ 2
       ｼﾞｮｳｼﾂｼ ＊
```

14 「メニュー」スイッチを押して、印刷可能状態に戻す

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
```

設定の一覧を印刷する

次の操作で設定の一覧（機能設定リスト）を印刷し、プリンタが正しく動作することを確認します。機能設定リストの印刷サンプルは、次ページを参照してください。

1 プリンタが印刷可能状態であることを確認する

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
```

2 「メニュー」スイッチを押し、メニューモードにする

```
ﾒﾆｭｰ
 ﾚﾎﾟｰﾄ ﾘｽﾄ
```

3 「▶」スイッチを押す

```
ﾚﾎﾟｰﾄ ﾘｽﾄ
  ｼﾞｮﾌﾞ ﾘﾚｷ ﾚﾎﾟｰﾄ
```

4 「▲」または「▼」スイッチを何度か押し、［ キノウ セッテイ リスト ］を選択する

```
ﾚﾎﾟｰﾄ ﾘｽﾄ
     ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ
```

5 「▶」スイッチを押す

```
ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ
 [ｾｯﾄ] ﾃﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄｶｲｼ
```

6 「排出 / セット」スイッチを押す

```
ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ
 ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ ﾄﾚｲ＊
```

（プリント設定の表示）

機能設定リストが印刷されます。

```
ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ
 [ｾｯﾄ] ﾃﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄｶｲｼ
```

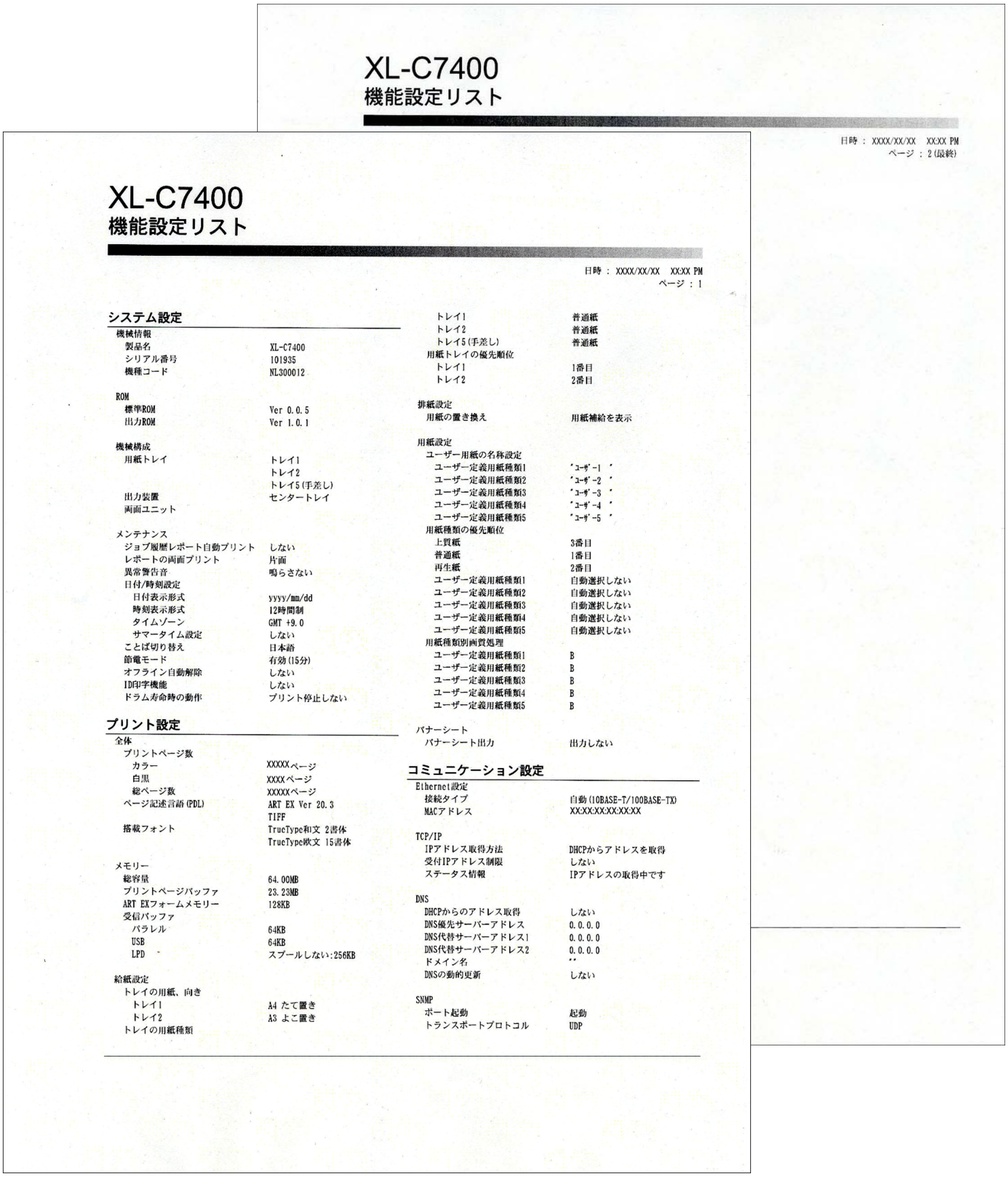
7 「メニュー」スイッチを押して、印刷可能状態に戻す

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
```

お願い

機能設定リストの印刷が完了したら、「カラーレジを補正する」（269ページ）を参照し、カラーレジの補正を行ってください。

機能設定リスト 印刷サンプル



XL-C7400
機能設定リスト

日時 : XXXX/XX/XX　XX:XX PM
ページ : 2(最終)

XL-C7400
機能設定リスト

日時 : XXXX/XX/XX　XX:XX PM
ページ : 1

システム設定

機械情報	
製品名	XL-C7400
シリアル番号	101935
機種コード	NL300012
ROM	
標準ROM	Ver 0.0.5
出力ROM	Ver 1.0.1
機械構成	
用紙トレイ	トレイ1
	トレイ2
	トレイ5(手差し)
出力装置	センタートレイ
両面ユニット	
メンテナンス	
ジョブ履歴レポート自動プリント	しない
レポートの両面プリント	片面
異常警告音	鳴らさない
日付/時刻設定	
日付表示形式	yyyy/mm/dd
時刻表示形式	12時間制
タイムゾーン	GMT +9.0
サマータイム設定	しない
ことば切り替え	日本語
節電モード	有効(15分)
オフライン自動解除	しない
ID印字機能	しない
ドラム寿命時の動作	プリント停止しない

プリント設定

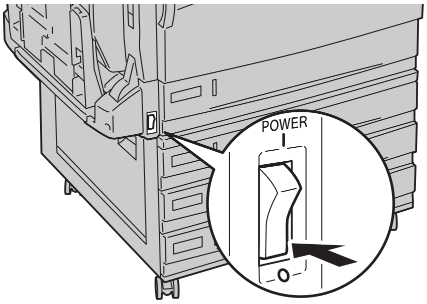
全体	
プリントページ数	
カラー	XXXXXページ
白黒	XXXXページ
総ページ数	XXXXXページ
ページ記述言語(PDL)	ART EX Ver 20.3
	TIFF
搭載フォント	TrueType和文 2書体
	TrueType欧文 15書体
メモリー	
総容量	64.00MB
プリントページバッファ	23.23MB
ART EXフォームメモリー	128KB
受信バッファ	
パラレル	64KB
USB	64KB
LPD	スプールしない:256KB
給紙設定	
トレイの用紙、向き	
トレイ1	A4 たて置き
トレイ2	A3 よこ置き
トレイの用紙種類	
トレイ1	普通紙
トレイ2	普通紙
トレイ5(手差し)	普通紙
用紙トレイの優先順位	
トレイ1	1番目
トレイ2	2番目
排紙設定	
用紙の置き換え	用紙補給を表示
用紙設定	
ユーザー用紙の名称設定	
ユーザー定義用紙種類1	"ﾕｰｻﾞ-1 "
ユーザー定義用紙種類2	"ﾕｰｻﾞ-2 "
ユーザー定義用紙種類3	"ﾕｰｻﾞ-3 "
ユーザー定義用紙種類4	"ﾕｰｻﾞ-4 "
ユーザー定義用紙種類5	"ﾕｰｻﾞ-5 "
用紙種類の優先順位	
上質紙	3番目
普通紙	1番目
再生紙	2番目
ユーザー定義用紙種類1	自動選択しない
ユーザー定義用紙種類2	自動選択しない
ユーザー定義用紙種類3	自動選択しない
ユーザー定義用紙種類4	自動選択しない
ユーザー定義用紙種類5	自動選択しない
用紙種類別画質処理	
ユーザー定義用紙種類1	B
ユーザー定義用紙種類2	B
ユーザー定義用紙種類3	B
ユーザー定義用紙種類4	B
ユーザー定義用紙種類5	B
バナーシート	
バナーシート出力	出力しない

コミュニケーション設定

Ethernet設定	
接続タイプ	自動(10BASE-T/100BASE-TX)
MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX
TCP/IP	
IPアドレス取得方法	DHCPからアドレスを取得
受付IPアドレス制限	しない
ステータス情報	IPアドレスの取得中です
DNS	
DHCPからのアドレス取得	しない
DNS優先サーバーアドレス	0.0.0.0
DNS代替サーバーアドレス1	0.0.0.0
DNS代替サーバーアドレス2	0.0.0.0
ドメイン名	""
DNSの動的更新	しない
SNMP	
ポート起動	起動
トランスポートプロトコル	UDP

電源を切る

電源を切るときは、電源スイッチをオフ（「○」側）に倒します。



電源が切断されると、オペレータパネルのすべてのランプおよび液晶ディスプレイが消灯します。

お願い

- 印刷中は電源を切らないでください。電源を切った場合は、一度電源を入れ、オペレータパネルの指示に従ってつまった用紙を取り除いた後、オペレータパネル上に「プリント デキマス」と表示されることを確認してから電源を切ってください。
- 電源を切った後は、A（左側）カバーの開閉をしないでください。

以上でプリンタ本体の設置は完了です。目的に合わせて次の設定に進んでください。

参照　「第５章　ネットワークを利用せずにプリンタを接続する」（99 ページ）参照
「第６章　ネットワークを利用してプリンタを接続する」（115 ページ）参照

第 4 章
オプションの装着

この章では、プリンタ本体の設置方法と、プリンタが単体で正しく動作することを確認するまでの手順を説明します。

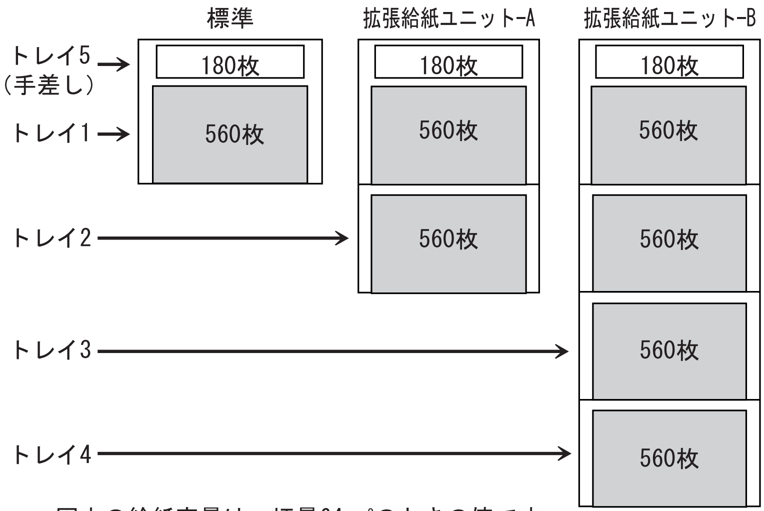
オプションのご紹介

本プリンタは、次のオプションを用意しています。必要に応じてお買い求めください。

拡張給紙ユニット

品名	型名	内容
拡張給紙ユニット -A（1 トレイ）	XL-EF56CA	2 段目の用紙トレイとして使用できます。
拡張給紙ユニット -B（3 トレイ）	XL-EF168CA	2 段目、3 段目、4 段目の用紙トレイとして使用できます。

●形態



＊：図中の給紙容量は、坪量64g/m²のときの値です。

参照　各トレイにセットできる用紙の種類、サイズについては、「プリンタの基本仕様」（354 ページ）参照

ガイド

- 異なる用紙種類、サイズの用紙を、同時に１つの用紙トレイにセットすることはできません。
- 印刷中でも、用紙が走行していない用紙トレイであれば、印刷を停止することなく用紙をセットすることができます。
- 拡張給紙ユニット -A と拡張給紙ユニット -B は、プリンタに同時に取り付けることはできません。

両面ユニット

品名	型名	内容
両面ユニット	XL-DUPCA	両面印刷用のユニットです。両面ユニットを装着する場合は、メモリを増設してください。

プリンタ RAM モジュール

品名	型名	内容
プリンタ RAM モジュール -256MB	XL-EM256M7	RAM を 256MB 搭載したメモリモジュールです。

●用途

プリンタ RAM モジュールの容量を増やすことにより、印刷可能範囲が増えます。

●プリンタ RAM モジュールによる印刷可能範囲の目安

搭載されている RAM の容量によって、印刷できる用紙サイズが異なります。これらの関係を次の表に示します。

解像度	用紙サイズ	片面出力	両面出力
標準	A5	64MB	64MB ＋ 256MB
	B5	64MB	64MB ＋ 256MB
	A4	64MB	64MB ＋ 256MB
	B4	64MB	64MB ＋ 256MB
	A3	64MB	64MB ＋ 256MB
	不定形（A3 サイズ以上）	64MB	64MB ＋ 256MB
	長尺(297 × 1200mm)	64MB ＋ 256MB	―
高画質（600dpi）	A5	64MB	64MB ＋ 256MB
	B5	64MB	64MB ＋ 256MB
	A4	64MB	64MB ＋ 256MB
	B4	64MB ＋ 256MB	64MB ＋ 256MB
	A3	64MB ＋ 256MB	64MB ＋ 256MB
	不定形（A3 サイズ以上）	64MB ＋ 256MB	64MB ＋ 256MB
	長尺(297 × 1200mm)	64MB ＋ 256MB	―
高精細（1200dpi）	A5	64MB	64MB ＋ 256MB
	B5	64MB	64MB ＋ 256MB
	A4	64MB ＋ 256MB	64MB ＋ 256MB
	B4	64MB ＋ 256MB	64MB ＋ 256MB
	A3	64MB ＋ 256MB	64MB ＋ 256MB
	不定形（A3 サイズ以上）	64MB ＋ 256MB	64MB ＋ 256MB
	長尺(297 × 1200mm)	―	―

― :本設定では印刷できません。

参照　「[グラフィックス] ダイアログ」（219 ページ）参照

長尺ガイド

品名	型名	内容
長尺ガイド	XL-PG10CA	最大 297mm × 1200mm までの長尺紙を、10 枚までセットできます。長尺サイズの用紙に印刷するには、プリンタ RAM モジュール - 256MB の搭載が必要です。

USB2.0 拡張キット

品名	型名	内容
USB2.0 拡張キット	XL-USB2CA	USB2.0 を使用できるようになります。ただし本キットを追加した場合は、標準の USB1.1 ポートは使用できません。

プリンタインタフェースケーブル

お願い

- 本製品にはプリンタケーブルは添付されていません。パソコン本体に添付のケーブルか、別売ケーブルをお使いください。
- 以下の長さのシールドケーブルをお使いください。
  パラレルインタフェースケーブル　：1.5m 以下
  プリンタ USB ケーブル　：5m 以下

別売ケーブルは以下のものが用意されています。

●パラレルインタフェースケーブル

品名	型名	内容
プリンタケーブル	FMV-CBL712（1.5m）	FMV シリーズ、各社 AT 互換機に接続できます。
プリンタケーブル	FMS-CBL711（3m）	PRIMERGY GRANPOWER 5000 シリーズに接続できます。

● USB ケーブル

品名	型名	内容
プリンタUSBケーブル	XL-CBLU2（1.5m）	Windows 98/Me/2000/XP/Windows Server 2003 が動作するパソコンに接続できます。

オプション取り付け上のご注意

オプションを取り付けるときは、次のことがらを守ってください。

⚠警告	感電	オプションを接続する場合には、当社推奨品以外の製品は接続しないでください。 当社推奨品以外を接続すると、感電・火災・故障の原因となります。

⚠注意	けが	オプション類の取り付け、取り外しを行う場合は、指定された場所以外のネジは外さないでください。 指定された場所以外のネジを外すと、ケガや故障の原因となることがあります。

お願い

オプションの取り付け、取り外しを行う場合は、必ず電源を切った状態で作業してください。

プリンタ RAM モジュールの取り付けかた

メモリを増設するためのプリンタ RAM モジュールの取り付けについて説明します。

警告

感　電	プリンタ RAM モジュールの取り付けおよび取り外しは、電源スイッチが「O」側に倒れていることを確認し、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。 電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。

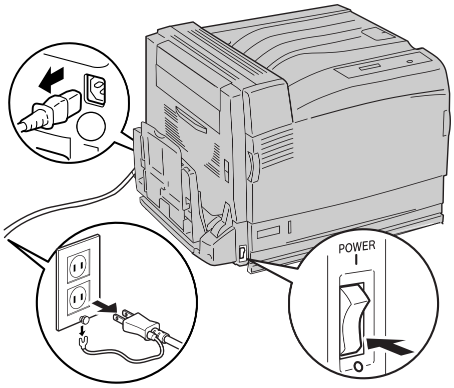
お願い

- 本製品に取り付ける直前まで、袋からモジュールを取り出さないでください。
- モジュールに触れる前に、金属製のもの（ロッカーなど）に触れて、人体の静電気を取り除いてください。
- モジュールを持つときは、必ずモジュールの端を持ってください。モジュールの電気回路部品および配線部分に手を触れないでください。

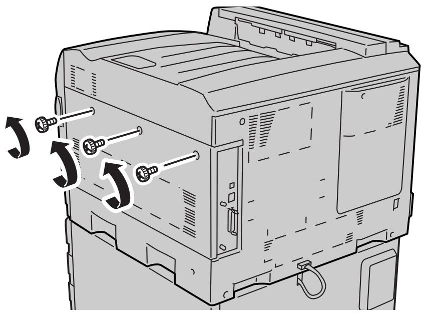
プリンタ RAM モジュールは、次の手順で取り付けます。

1 **プリンタの電源を切り、ケーブルを外す**

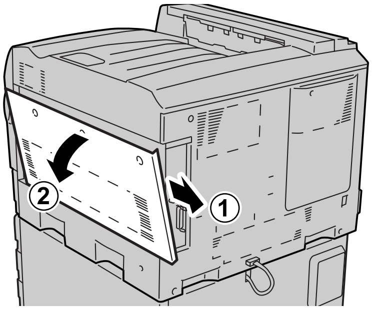
プリンタの電源スイッチを「O」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コネクタから抜きます。
プリンタケーブル、LAN ケーブル、およびプリンタ USB ケーブルを外します。



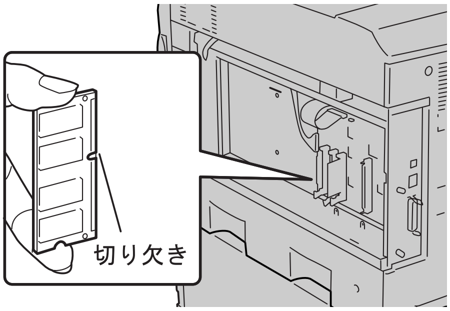
2 **右カバーの 3 か所のねじを外す**



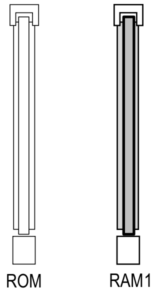
3 右カバーを背面側にずらし（①）、手前に倒して外す（②）



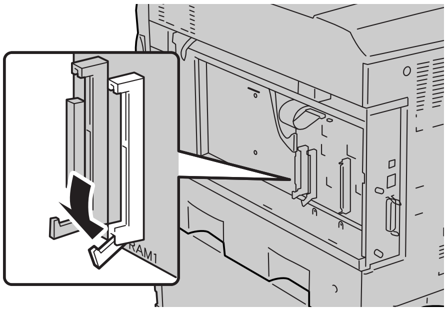
4 プリンタ RAM モジュールの切り欠きが上側になるように持つ



5 プリンタ RAM モジュールの取り付け位置（RAM1）を確認する



6 スロットの下側にあるツメを外側に倒す

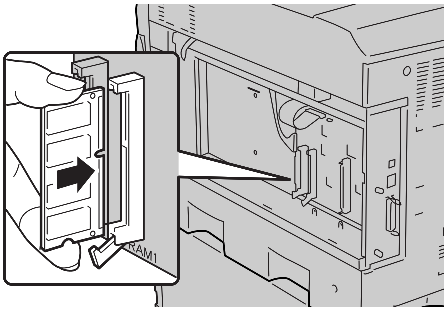


4

セットアップ編

7 プリンタ RAM モジュールをスロットに真っすぐに軽く差し込み、上、下の順に強く押し込む

プリンタ RAM モジュールが確実に差し込まれると、下側にあるツメが立ち上がります。

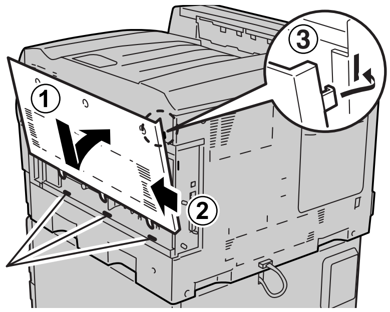


お願い

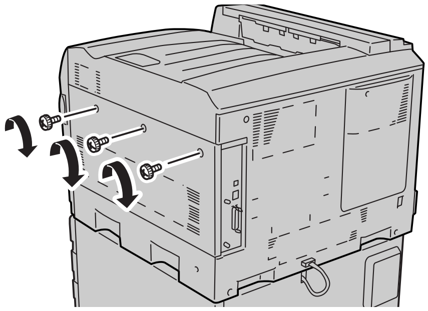
プリンタ RAM モジュールは、確実に押し込んでください。

8 右カバー下部の突起を本体側の切り欠きに合わせて差し込み（①）、前面側にずらして本体にしっかりとはめ込む（②）

このとき、右カバー上部の突起が、本体側の切り欠きに差し込まれていることを確認してください（③）。



9 右カバーの 3 か所のねじを締める



ガイド

・取り外す場合は、取り付けと反対の手順で取り外してください。
・機能設定リストを印刷すると、プリンタ RAM モジュールが正しく取り付けられたかどうか確認できます。

参照 「設定の一覧を印刷する」（69 ページ）参照

お願い

プリンタ RAM モジュールの取り付けが完了したら、プリンタドライバのプロパティでオプション構成を変更してください。

参照 「［プリンタ構成］ダイアログ」（210 ページ）参照

両面ユニットの取り付けかた

オプションの両面ユニットをプリンタに取り付けると、用紙の両面に印刷できるようになります。

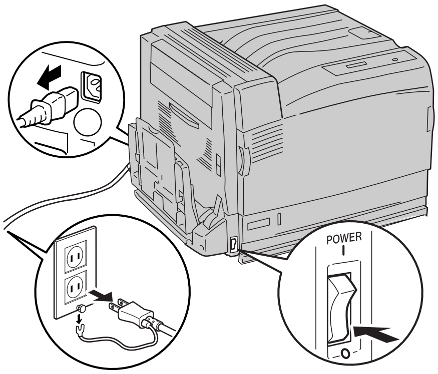
⚠ 警告	感　電	両面ユニットを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチが「O」側に倒れていることを確認し、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。

両面ユニットを取り付ける

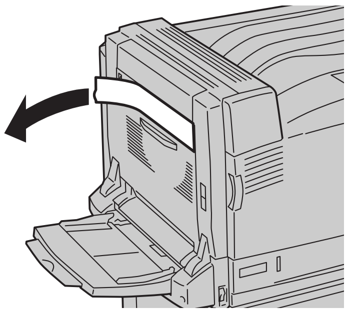
両面ユニットは、次の手順で取り付けます。

1　プリンタの電源を切り、ケーブルを外す

プリンタの電源スイッチを「O」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コネクタから抜きます。
プリンタケーブル、LAN ケーブル、およびプリンタ USB ケーブルを外します。

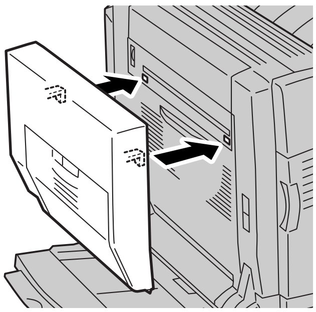


2　プリンタ本体左側の保護シートをはがす



3　両面ユニット左右の突起をプリンタ本体の穴に合わせて差し込む

両面ユニットの突起は、図のように本体側に引っかかるようになっています。



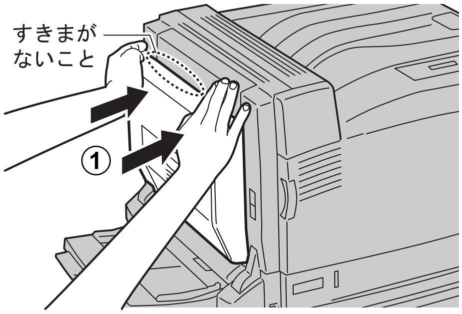
ガイド

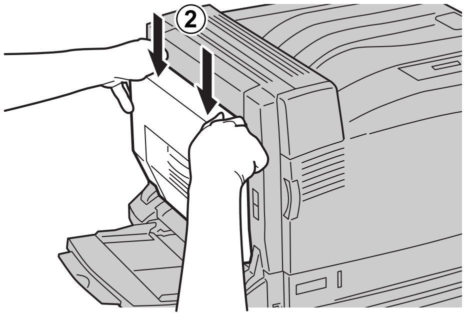
両面ユニットの爪が、引っかかりにくい場合があります。その場合は両面ユニットをやや強めに装置側に押し付けるとスムーズに引っかかります。

お願い

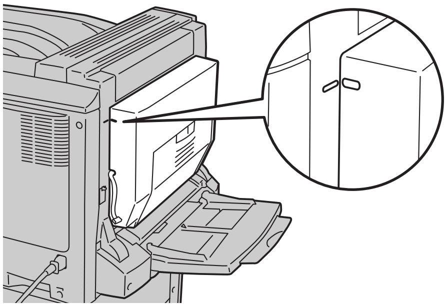
両面ユニットのコネクタケーブルは外側に出してから取り付けてください。

4 両面ユニットをプリンタ本体とのすきまがなくなるまで押しながら（①）、さらに上から押し込む（②）

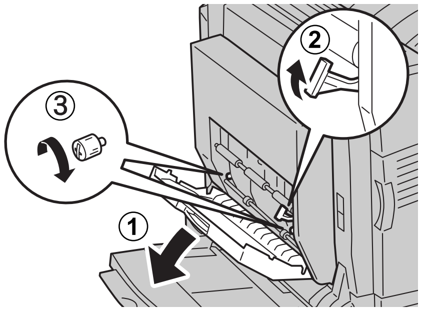




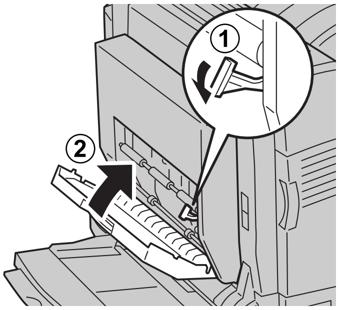
両面ユニットとプリンタ本体側のラインが合っていることを確認してください。



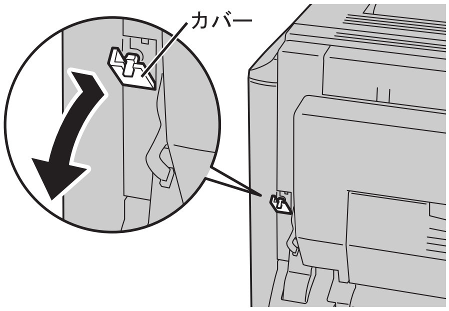
5 両面ユニットカバーを開ける（①）。図のレバーを上に上げて（②）、付属の 2 本のねじで両面ユニットを固定する（③）



6 図のレバーを元に戻し（①）、両面ユニットカバーを閉じる（②）



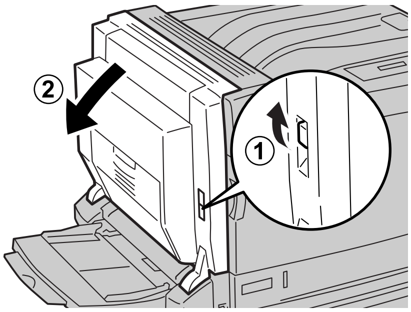
7 プリンタ本体左側にあるの図のカバーを、上部のつめを押して手前に倒して外す



ガイド

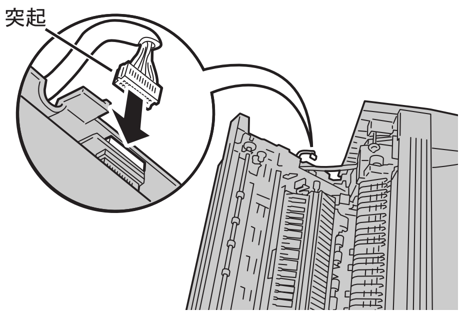
両面ユニットを取り外したときにカバーが必要となります。なくさないように保管してください。

8 A（左側）カバーのレバーを斜めに押し上げ（①）、A（左側）カバーを開ける（②）

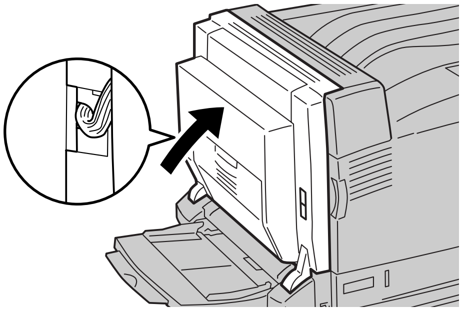


9 両面ユニットのコネクタをプリンタ本体側のコネクタに接続する

カチッと音がするまで奥に押し込んでください。



10 「ここを押して閉めてください。」と書かれた部分を強く押し、A（左側）カバーを閉じる



お願い

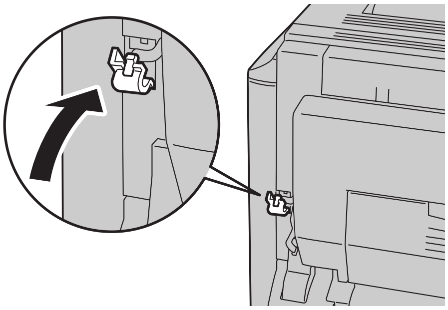
左側カバーを閉じるとき、両面ユニットのケーブルを挟まないようにしてください。

4

セットアップ編

11 両面ユニットに付属しているカバーを取り付ける

12 電源プラグをコンセントに差し込み、プリンタの電源スイッチを入れる



ガイド

機能設定リストを印刷すると、両面ユニットが正しく取り付けられたかどうか確認できます。

参照 「設定の一覧を印刷する」（69 ページ）参照

お願い

両面ユニットの取り付けが完了したら、プリンタドライバのプロパティでオプション構成を変更してください。

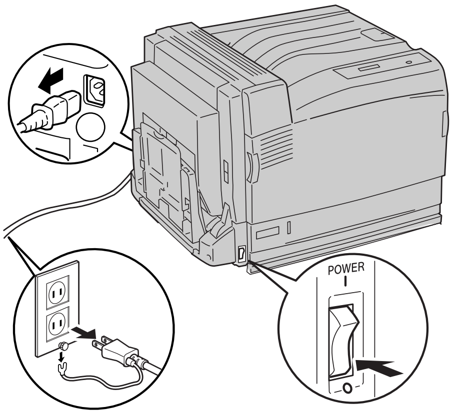
参照 「[プリンタ構成] ダイアログ」（210 ページ）参照

両面ユニットを取り外す

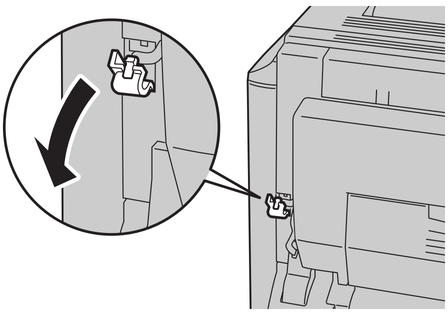
両面ユニットは、次の手順で取り外します。

1 プリンタの電源を切り、ケーブルを外す

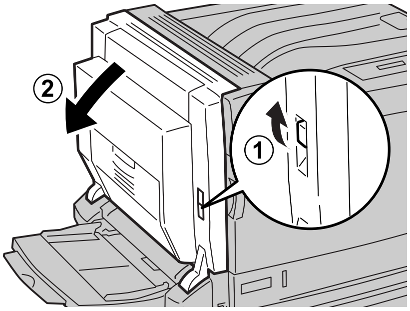
プリンタの電源スイッチを「O」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コネクタから抜きます。
プリンタケーブル、LAN ケーブル、およびプリンタ USB ケーブルを外します。



2 両面ユニットに付属しているカバーを取り外す



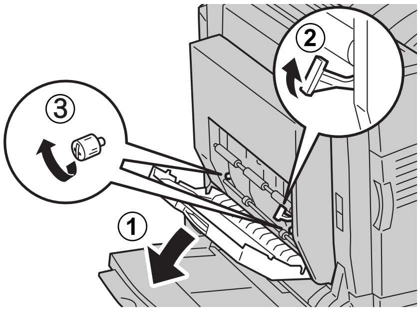
3. プリンタ本体の A（左側）カバーのレバーを斜めに押し上げ（①）、左側カバーを開ける（②）



4. 両面ユニットのコネクタを外す



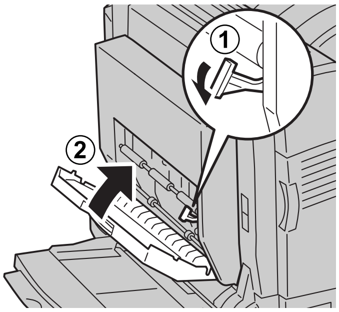
5. 両面ユニットカバーを開ける（①）。図のレバーを上に上げて（②）、左右 2 箇所のネジを取り外す（③）



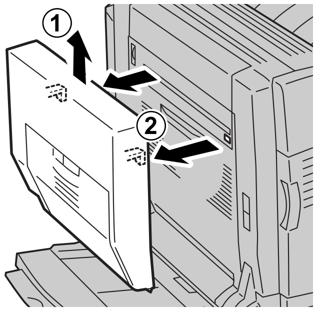
お願い

取り外したねじは、両面ユニットをプリンタ本体に取り付ける時に必要になりますので、袋に入れて大切に保管してください。

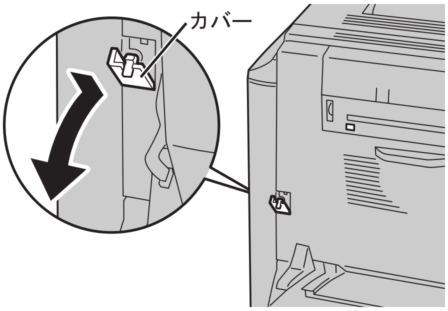
6. 図のレバーを元に戻し（①）、両面ユニットカバーを閉じる（②）



7. 両面ユニットを上に持ち上げて突起をはずし（①）、手前に引いて取りはずす



8. 両面ユニット取り付け時に外して保管しておいたカバーを取り付ける



拡張給紙ユニットの取り付けかた

本プリンタに取り付けることができる拡張給紙ユニットには、拡張給紙ユニット -A（1 トレイ）と拡張給紙ユニット -B（3 トレイ）があります。プリンタへの取り付け / 取り外しかたや用紙のセットのしかたは、どちらの拡張給紙ユニットの場合も同様です。

参照　拡張給紙ユニットの取り付け形態については、「オプションのご紹介」（74 ページ）参照

警告

感　電	拡張給紙ユニットを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチが「O」側に倒れていることを確認し、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。 電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。

注意

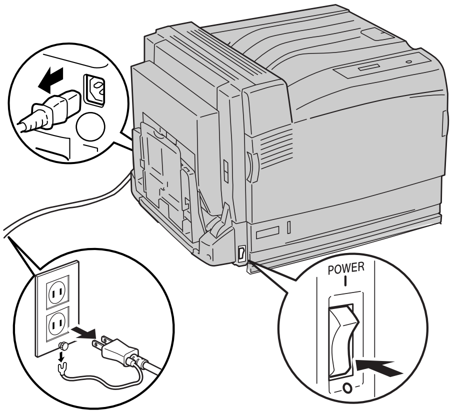
故　障	拡張給紙ユニットは、本製品用の製品を取り付けてください。指定外の拡張給紙ユニットを取り付けると、拡張給紙ユニットおよびプリンタ本体の故障の原因となります。
け　が	・拡張給紙ユニットの金属部分に手を触れる場合は、十分に注意してください。手を傷つける恐れがあります。 ・プリンタと拡張給紙ユニットの間に指を挟まないように注意してください。けがの原因となることがあります。 ・本プリンタは、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で約 55kg あります。プリンタを動かす場合は、必ず 3 人以上で持ち運んでください。本プリンタを 3 人で持ち上げるときは、持ち手のいない面（前面側）に傾きやすいので十分に注意して持ち上げてください。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように十分に膝を折り、プリンタ本体のくぼみをしっかり持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりケガの原因になることがあります。

拡張給紙ユニットを取り付ける

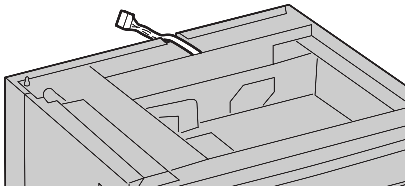
拡張給紙ユニットは、次の手順で取り付けます。ここでは、拡張給紙ユニット -B（3 トレイ）を例に説明します。

1 プリンタの電源を切り、ケーブルを外す

プリンタの電源スイッチを「O」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コネクタから抜きます。
プリンタケーブル、LAN ケーブル、およびプリンタ USB ケーブルを外します。



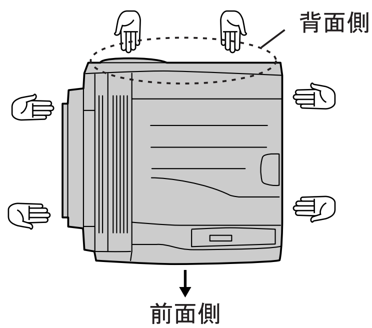
2 拡張給紙ユニットのコネクタケーブルが外側に出ていることを確認する

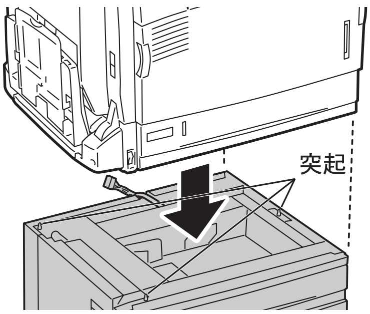


3 プリンタ本体の左右および背面のくぼみを持って持ち上げる。拡張給紙ユニットの突起（3ヶ所）が本体底部の穴に入るように位置を合わせ、プリンタを拡張給紙ユニットの上に水平にゆっくり降ろす

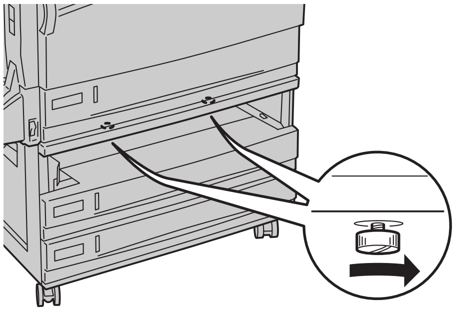
お願い

本体は約 60kg （消耗品含む）の重さがあります。必ず 3 人以上の人数で図の向きで取っ手を持ち、背中や腰を痛めないように注意して運んでください。本プリンタを 3 人で持ち上げるときは、持ち手のいない面（前面側）に傾きやすいので十分に注意して持ち上げてください。また、本プリンタは前面側よりも背面側のほうが重くなっています。運搬する場合は、重さの違いに注意してください。





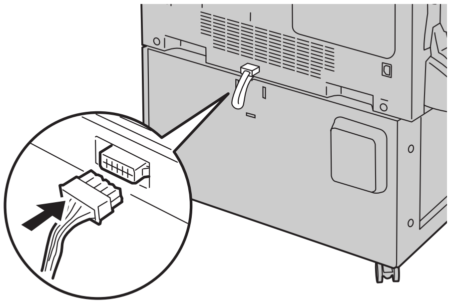
4. 拡張給紙ユニット 1 段目の用紙トレイ を引き出して、トレイ上部の手前に付いている 2 つのねじを締めて固定する



5. 拡張給紙ユニットにあるコネクタをプリンタ本体側コネクタに接続する

お願い

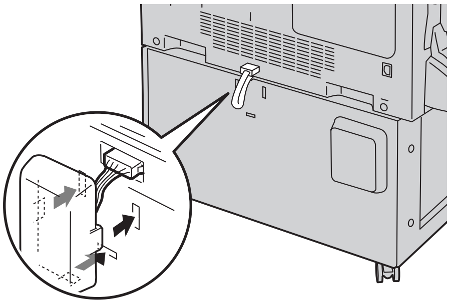
コネクタを強い力で押し込まないでください。指やツメを傷つけるおそれがあります。



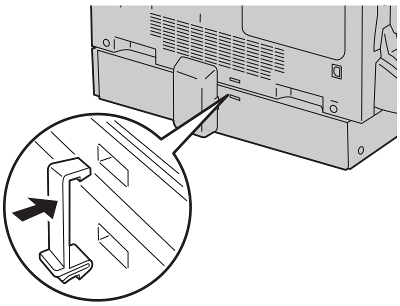
6. コネクタカバーを取り付ける

お願い

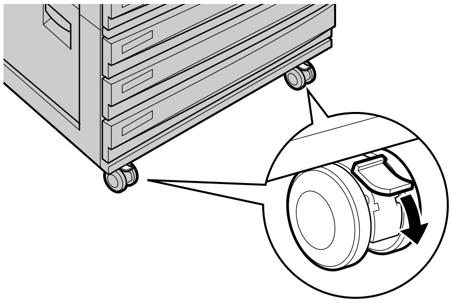
コネクタのケーブルを挟まないようにしてください。



7. 拡張給紙ユニット -A（1 トレイ）を取り付けた場合は、ジョイントで拡張給紙ユニットとプリンタ本体を接続する



8 拡張給紙ユニット-B（3トレイ）を取り付けた場合は、キャスターをロックする

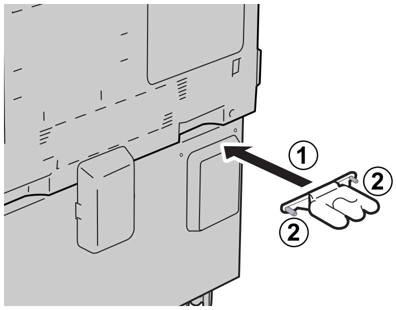


⚠ 注意

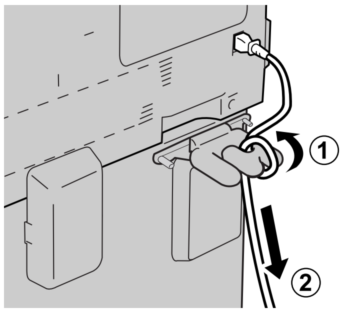
け　が	プリンタを設置したあとは、キャスターについている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。ストッパーをロックしないと、プリンタが思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。

9 拡張給紙ユニット-B（3トレイ）の場合は、次にコードフックを取り付ける

1）拡張給紙ユニット-B（3トレイ）背面にあるネジ穴にコードフックを取り付け（①）、両端にあるネジを締める（②）



2）プリンタ本体背面の電源コネクタに電源コードを差し込み、電源コードを図のようにコードフックに巻きつけ（①）、軽く引っ張る（②）



10 電源プラグをコンセントに差し込み、プリンタの電源スイッチを入れる

ガイド

機能設定リストを印刷すると、拡張給紙ユニットが正しく取り付けられたかどうか確認できます。

参照「設定の一覧を印刷する」（69ページ）参照

お願い

拡張給紙ユニットの取り付けが完了したら、プリンタドライバのプロパティでオプション構成を変更してください。

参照「［プリンタ構成］ダイアログ」（210ページ）参照

拡張給紙ユニットを取り外す

拡張給紙ユニットは、次の手順で取り外します。

1. **プリンタの電源を切り、ケーブルを外す**

   プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コネクタから抜きます。
   プリンタケーブル、LAN ケーブル、およびプリンタ USB ケーブルを外します。

2. **取り付けと逆の手順で拡張給紙ユニットを取り外す**

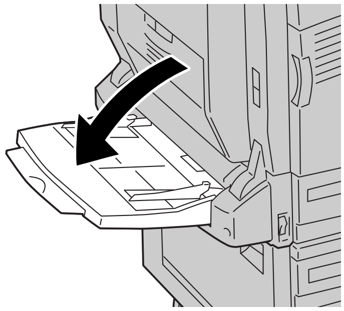
長尺ガイドの取り付けかた

長尺ガイドは、次の手順で取り付けます。

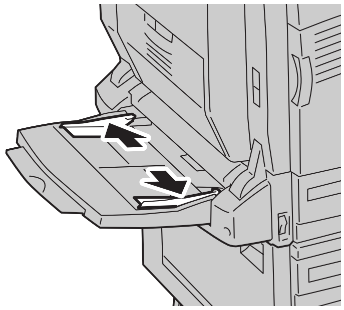
お願い

ガイドと用紙受けは簡単に外れます。取り付ける際は注意してください。

1 用紙トレイ 5（手差し）を開く



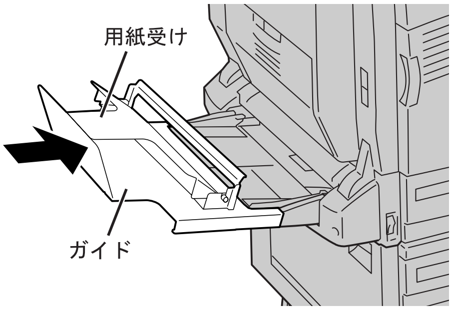
2 用紙トレイ 5（手差し）の用紙ガイドを、いっぱいまで開く



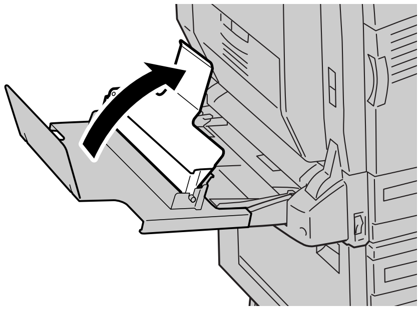
3 長尺ガイドを用紙トレイ　5（手差し）に差し込む

お願い

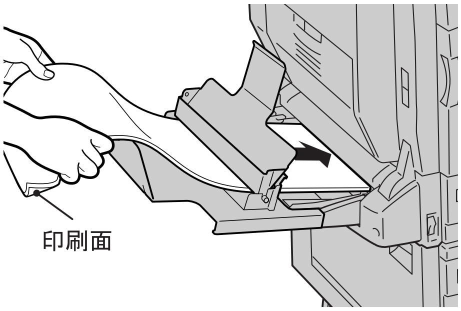
プリンタ本体に突き当たるまで、しっかりと差し込んでください。



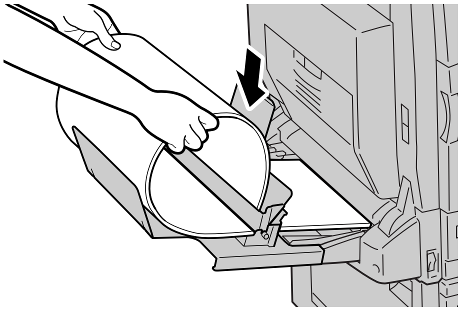
4 長尺ガイドの用紙受けをプリンタ本体に向けて立てる



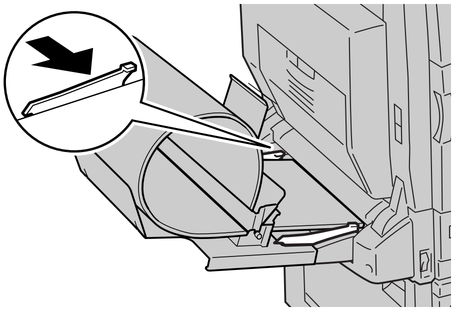
5 長尺紙の印刷する面を下に向け、用紙受けの下を通し、用紙ガイドに沿って軽く奥に突き当たるまで差し込む



6 用紙の後端を図のように丸め、用紙受けに差し込む



7 用紙トレイ５（手差し）の用紙ガイドを、セットした用紙のサイズに合わせる



お願い

- 紙づまりを防ぐために、排出された用紙は１枚ずつ受け取ってください。
- 印刷終了後は、必ず長尺ガイドを取り外し、安全な場所に保管してください。

USB2.0 拡張キットの取り付けかた

USB2.0 拡張キットは、プリンタ拡張用ボードと USB2.0 カードで構成されています。

⚠ 警告	感　電	USB2.0拡張キットを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認し、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。 電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。

お願い

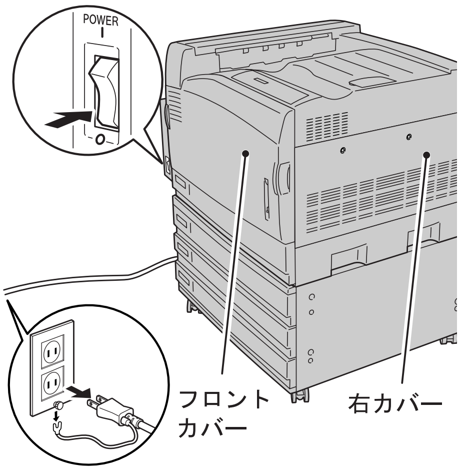
- 本製品に取り付ける直前まで、袋からキットを取り出さないでください。
- キットに触れる前に、金属製のもの（ロッカーなど）に触れて、人体の静電気を取り除いてください。
- キットを持つときは、必ずキットの端を持ってください。キットの電気回路部品および配線部分に手を触れないでください。

ガイド

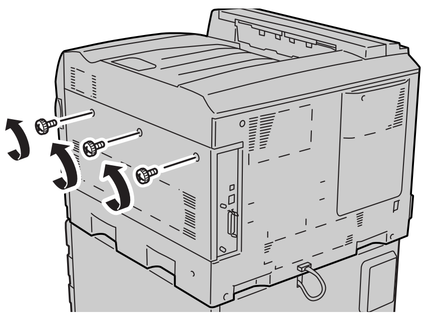
USB2.0 カードを取り付けると、標準のUSBコネクタは使用できません。

USB2.0 拡張キットは、次の手順で取り付けます。

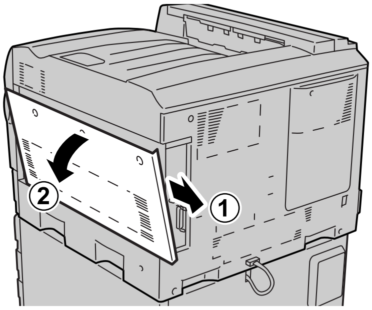
1 プリンタ本体左側にある電源スイッチの［ ○ ］側を押して電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜き取る



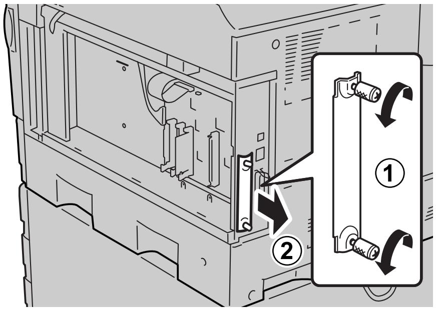
2 右カバーにある 3 か所のねじを外す



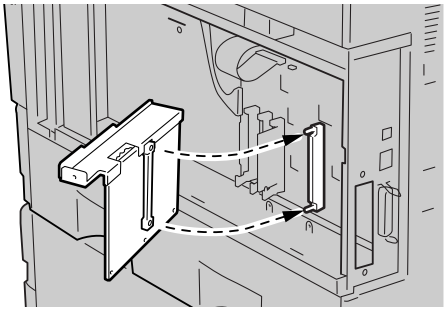
3 右カバーを背面側にずらし（①）、手前に倒して外す（②）



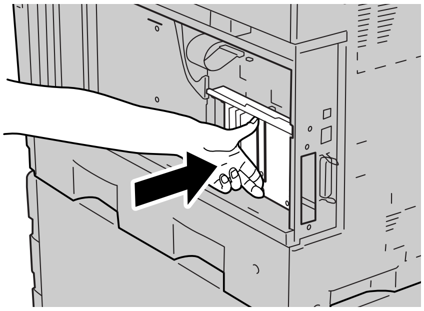
4 プリンタ背面の金属カバーを、ねじを外して（①）、取り外す（②）



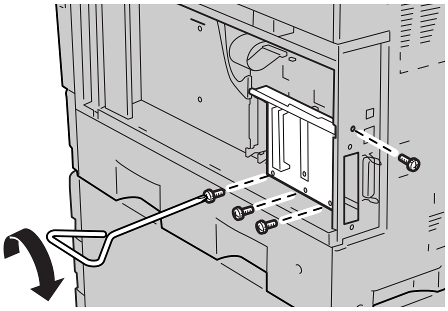
5 図のようにピンの位置を合わせながら、プリンタ拡張用ボードを、プリンタ本体に取り付ける



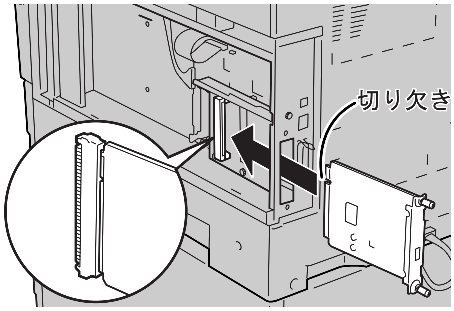
プリンタ拡張用ボードのラベル部分を押して、ボードのコネクタをプリンタ本体にあるコネクタに確実に差し込んでください。



6 プリンタ拡張用ボードを付属のねじと工具で固定する（4 か所）



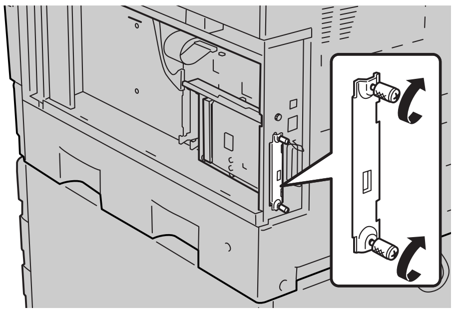
7 USB2.0 カードを、切り欠きが上にくるように持ち、プリンタ本体に取り付けたプリンタ拡張用ボードのソケットに強く押し込む



お願い

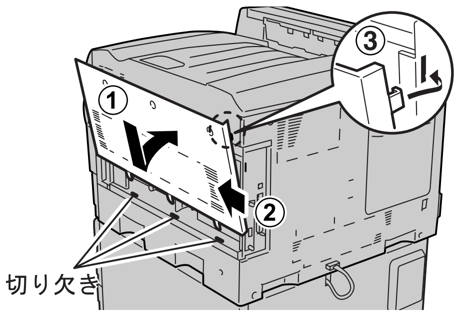
USB2.0 カードは奥まで確実に差し込んでください。

8 USB2.0 カードを付属のねじで固定する（2 か所）

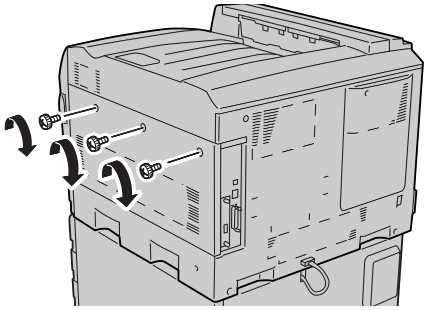


9 右カバー下部の突起を、プリンタ本体の切り欠きに合わせて差し込み（①）、前面側にずらして本体にしっかりとはめ込む（②）

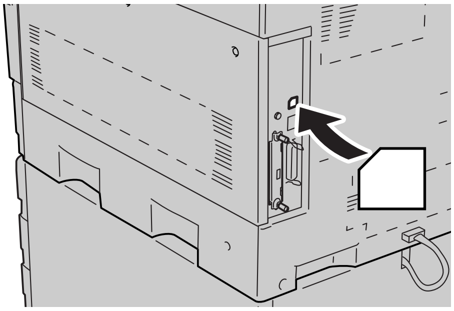
このとき、右カバー上部の突起が、本体側の切り欠きに差し込まれていることを確認してください（③）。



10 右カバーの 3 か所のねじを締める



11 付属のシールを貼って、標準の USB コネクタをふさぐ



12 電源プラグをコンセントに差し込み、プリンタの電源スイッチを入れる

お願い

機能設定リストを印刷し、「USB1.1」が「USB2.0」に変わっていることを確認してください。

第5章

ネットワークを利用せずにプリンタを接続する

この章では、ネットワークを利用せずにプリンタを接続し、プリンタドライバをインストールするまでの手順を説明します。

パソコンとの接続方法

パソコンとプリンタの接続方法、およびプリンタドライバのインストール手順は、
接続するインタフェースによって異なります。ローカルプリンタとして使用する場合は、プリンタケーブル、またはプリンタ USB ケーブルでプリンタとパソコンを直接接続します。

●パラレルインタフェースによる接続

参照　「パラレルインタフェースによる接続とインストール」（101 ページ）参照

・パソコン
双方向パラレルインタフェースをサポートする PC/AT 互換機
・OS
Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP/Windows Server 2003 日本語版
・セットアップ方法
ウィザードによるセットアップ (Windows 98/Me/NT 4.0/2000)
プラグアンドプレイによるセットアップ (Windows XP/Windows Server 2003)

● USB による接続

参照　「USB による接続とインストール」（106 ページ）参照

・パソコン
USB インタフェースを内蔵する PC/AT 互換機
・OS
Windows 98SE/Me/2000/XP/Windows Server 2003 日本語版
・セットアップ方法
ウィザードによるセットアップ（Windows 98SE/Me）
プラグアンドプレイによるセットアップ（Windows 2000/XP/Windows Server 2003）

お願い

本プリンタドライバは他機種のプリンタで使用できません。また同様に、他機種用のプリンタドライバは本プリンタで使用できません。

パラレルインタフェースによる接続とインストール

ここでは、プリンタケーブルを使用したプリンタとパソコンの接続方法、およびその場合のプリンタドライバのインストール方法を説明します。

パソコンとの接続

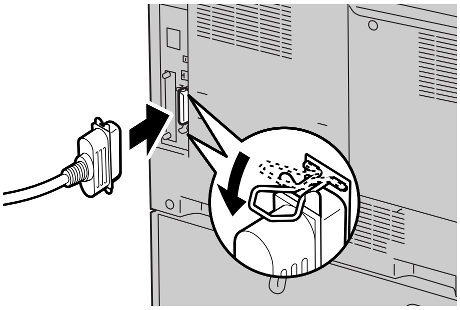
パラレルインタフェースにプリンタケーブルを接続する手順は、次のとおりです。

ガイド

プリンタケーブルは、パソコンに添付のケーブルか別売のオプション品を使用してください。

1. **プリンタ背面にあるパラレルインタフェースコネクタに、プリンタケーブルを接続する**

   プリンタケーブルを接続後、コネクタ両端のツメを起こして固定します。



2. **パソコンのパラレルインタフェースコネクタに、プリンタケーブルを接続する**

ガイド

プリンタケーブルの接続が終了したら、プリンタドライバのインストールを行ってください。ご使用のパソコンにインストールされているWindows のバージョンによっては、インストール手順や表示内容がことなる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

ウィザードによるセットアップ（パラレル接続：Windows 98/Me/NT 4.0/2000）

ここでは、Windows 98/Me/NT 4.0/2000 のいずれかが動作するパソコンをご使用になっている場合の、プリンタドライバのインストール方法について説明します。
添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を準備してください。
ここでは、Windows 98 を例に説明します。

お願い

・インストールの前に、メモ帳などによりCD-ROMの「README」をお読みください。
Windows 98/Me の場合 Readme9x.txt
Windows NT 4.0 の場合 ....ReadmeNT.txt
Windows 2000/XP/Windows Server 2003 の場合 Readme2k.txt
・プリンタドライバを再インストールする場合は、前のプリンタドライバを削除してからインストールしてください。

1 プリンタの電源を入れた状態で Windows 98 を起動する

ガイド

Windows NT 4.0/2000 をお使いの場合は、管理者権限でログオンしてください。

2 ［マイコンピュータ］の［プリンタ］アイコンをダブルクリックし、［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックする

3 ［次へ］をクリックする

4 ［ローカルプリンタ］を選択して［次へ］をクリックする

プリンタをネットワーク上で共有している場合は、［ネットワークプリンタ］を選択します。（以降の操作が簡単になります。）パソコンがネットワークに接続されていないときは、このダイアログは表示されません。

ガイド

・スタンドアロン（パソコンとプリンタを１対１で接続）のときや、パソコンをプリンタサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。
・［ネットワークプリンタ］を選んでインストールするには、プリンタサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。

ネットワークプリンタを選択した場合、以降の操作はダイアログの指示に従ってください。ここでは、ローカルプリンタを選択した場合の操作方法を説明します。

5 ［ディスク使用］をクリックする

6 添付のプリンタソフトウェアCD-ROM をパソコンのCD-ROM ドライブにセットする

7 「配布ファイルのコピー元」にCD-ROMドライブ名とドライバのフォルダ名を入力する（CD-ROM ドライブがF: で Windows 98 の場合、「F:¥XL-C7400¥DRIVER¥WIN98_ME」と入力してください。）

各OSのフォルダ名は次のとおりです。
Windows 98/Me.........WIN98_ME
Windows NT 4.0.........WINNT40
Windows 2000............WIN2K_XP
入力が終わったら［OK］をクリックします。

8 「FUJITSU XL-C7400」を確認して、［次へ］をクリックする

9 使用するポートを選択して［次へ］をクリックする

10 プリンタ名を確認し、通常のプリンタに設定する場合は、［はい］を選択し、［次へ］をクリックする

11 印字テストを行うかどうかを選択し、［完了］をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了すると、［プリンタ］フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。
印字テストの印刷を設定した場合は、テストページが印刷され、その確認を促すダイアログが表示されます。
これでインストールは完了です。

プラグアンドプレイによるセットアップ（パラレル接続：Windows XP/Windows Server 2003）

ここでは、Windows XP/Windows Server 2003 のいずれかが動作するパソコンをご使用になっている場合の、プリンタドライバのインストール方法について説明します。
添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を準備してください。
ここでは、プラグアンドプレイでプンリタドライバをインストールする手順について説明します。

お願い

- インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM の「Readme2k.txt」をお読みください。
- プリンタドライバを再インストールする場合は、前のプリンタドライバを削除してからインストールしてください。

1. **プリンタの電源を入れた状態で Windows を起動する**

   ガイド
   管理者権限でログオンしてください。

2. **［新しいハードウェアの検出ウィザード］が表示されたら、［一覧または特定の場所からインストールする（詳細）］を選択し、［次へ］をクリックする**

   参照 ［新しいハードウェア検出ウィザード］が表示されない場合は、「［新しいハードウェアの検出ウィザード］が表示されない場合」（105 ページ）参照

3. **添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする**

4. **［次の場所で最適のドライバを検索する］を選択し、［リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）を検索］を☐にする**

5. **［次の場所を含める］を☑にし、「F:¥XL-C7400¥DRIVER¥WIN2K_XP」と入力し、［次へ］をクリックする（CD-ROM ドライブが F: の場合）**

6. **［ハードウェアのインストール］が表示されたら、［続行］をクリックする**

   ファイルのコピーが開始されます。

   参照 ディスクの挿入が表示されたら、「［ディスクの挿入］が表示された場合」（105 ページ）参照

7 ［完了］をクリックする

これでインストールは完了です。

ガイド

通常使うプリンタに設定する場合は、［スタート］－［プリンタと FAX］を選択し、［FUJITSU XL-C7400］アイコンをダブルクリックし、［プリンタ］メニュー－［通常使うプリンタに設定］の順に選択します。

［ディスクの挿入］が表示された場合

インストールの途中で［ディスクの挿入］が表示された場合は、次の手順に従ってインストールしてください。

1 ［ディスクの挿入］が表示されたら、添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をセットし、［OK］をクリックする

2 ［コピー元］に「F:¥XL-C7400¥DRIVER¥WIN2K_XP」と入力し、［OK］をクリックする（CD-ROM ドライブが F: の場合）

ファイルのコピーが開始されます。

3 ［完了］をクリックする

これでインストールは完了です。

［新しいハードウェアの検出ウィザード］が表示されない場合

プラグアンドプレイでインストールしようとした場合に［新しいハードウェアの検出ウィザード］が表示されない場合は、次の手順に従ってください。

1 ［スタート］－［マイコンピュータ］を右クリックし、［プロパティ］を選択する

2 ［ハードウェア］タブの［デバイスマネージャ］をクリックする

3 ［その他のデバイス］の「FUJITSU XL-C7400」を右クリックし、［削除］を選択する

4 ［デバイスの削除の確認］で［OK］をクリックし、［デバイスマネージャ］を閉じる

5 ［システムのプロパティ］で［OK］をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。

6 Windows を再起動し、［新しいハードウェアの検出ウィザード］から再度インストールする

USB による接続とインストール

ここでは、プリンタ USB ケーブルを使用したプリンタとパソコンの接続方法、およびその場合のプリンタドライバのインストール方法を説明します。

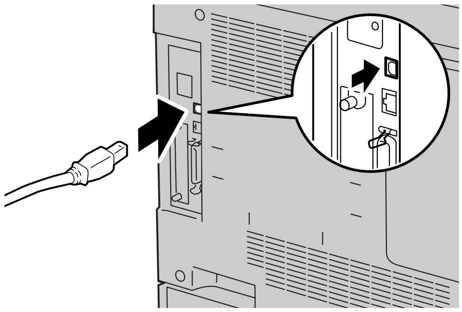
パソコンとの接続

プリンタ USB ケーブルを接続する手順は、次のとおりです。

お願い

Windows 98SE/Me に接続する場合は、プリンタドライバインストール時の手順に従って、プリンタUSBケーブルの接続を行ってください。

1. プリンタ背面にある USB インタフェースコネクタに、プリンタ USB ケーブルを接続する



2. パソコンの USB インタフェースコネクタに、プリンタ USB ケーブルを接続する

ウィザードによるセットアップ（USB 接続：Windows 98SE）

ここでは、Windows 98SE が動作するパソコンをご使用になっている場合の、プリンタドライバのインストール方法について説明します。
添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を準備してください。
プリンタ USB ケーブルを使用する場合は、先にプリンタドライバをインストールしてからプリンタ USB ケーブルを接続します。

お願い

・インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM の「Readme9x.txt」をお読みください。
・プリンタドライバを再インストールする場合は、前のプリンタドライバを削除してからインストールしてください。

1. Windows 98SE を起動する

ガイド
Windows 98 環境では、USB 接続の動作は保証されません。

2. ［マイコンピュータ］－［プリンタ］の順に選択し、［プリンタの追加］をダブルクリックする
3. ［プリンタの追加ウィザード］が表示されたら、［次へ］をクリックする
4. 表示された画面で［ローカルプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックする

ガイド
パソコンがネットワークに接続されていないときは、ローカルプリンタかネットワークプリンタかを選択する画面は表示されません。

5. 「プリンタの製造元とモデルを選択してください。」と表示されたら［ディスク使用］をクリックする
6. 添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をセットする
7. 「配布ファイルのコピー元」が表示されたら、CD-ROM ドライブ名とWindows 98/Me 用ドライバのフォルダ名を入力する（CD-ROM ドライブがF:の場合、「F:¥XL-C7400¥DRIVER¥WIN98_ME」と入力してください。）

   入力が終わったら［OK］をクリックします。
8. ［FUJITSU XL-C7400］と表示されていることを確認し、［次へ］をクリックする
9. プリンタで使用するポートを選択し、［次へ］をクリックする

   ここでは、「LPT1」を選択してください。「LPT1」がない場合は、「FILE」を選択してください。
10. プリンタ名を確認し、通常使うプリンタに設定する場合は［はい］を選択し、［次へ］をクリックする

    他にプリンタがインストールされていない場合は、通常使うプリンタに設定されます。
11. 印字テストを行わず（［いいえ］を選択）に、［完了］をクリックする

    ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了すると、［プリンタ］フォルダにプリンタ名が表示されます。
    プリンタドライバのインストールに続いて、USB Print Utility のインストールを行います。

12 ［スタート］－［ファイル名を指定して実行する］の順に選択し、「F:¥XL-C7400¥USBUTIL¥SETUP.EXE」と入力し、［OK］をクリックする（CD-ROM ドライブが F: の場合）

13 インストール画面が起動したら、［次へ］をクリックする

14 ［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］を選択し、［完了］をクリックする

15 Windows が再起動してからプリンタとパソコンをUSB ケーブルで接続し、［マイコンピュータ］の［プリンタ］アイコンをダブルクリックする

ガイド

プリンタ USB ケーブルの取り付けは、「パソコンとの接続」（101 ページ）参照

16 ［プリンタ］フォルダ内にある「FUJITSU　XL-C7400」を選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックする

17 ［詳細］タブの［印刷先のポート］のプルダウンメニューから「FJUSB***（USB Printer Port）」を選択し、［適用］をクリックする

ガイド

「***」はお使いのパソコンによって変わります。

18 ［全般］タブの［印字テスト］をクリックする

接続の確認のために、テストページを印刷します。

19 テストページが正しく印刷されたら、［はい］をクリックする

20 ［プロパティ］のダイアログボックスで［OK］をクリックする

これで、プリンタおよびプリンタ USB ケーブルのインストール、設定は完了です。

ウィザードによるセットアップ（USB 接続：Windows Me）

ここでは、Windows Me が動作するパソコンをご使用になっている場合の、プリンタドライバのインストール方法について説明します。
添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を準備してください。
プリンタ USB ケーブルを使用する場合は、先にプリンタドライバをインストールしてからプリンタ USB ケーブルを接続します。

お願い

・インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM の「Readme9x.txt」をお読みください。
・プリンタドライバを再インストールする場合は、前のプリンタドライバを削除してからインストールしてください。

1. Windows Me を起動する
2. ［マイコンピュータ］－［プリンタ］の順に選択し、［プリンタの追加］をダブルクリックする
3. ［プリンタの追加ウィザード］が表示されたら、［次へ］をクリックする
4. 表示された画面で［ローカルプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックする

ガイド

パソコンがネットワークに接続されていないときは、ローカルプリンタかネットワークプリンタかを選択する画面は表示されません。

5. 「プリンタの製造元とモデルを選択してください。」と表示されたら［ディスク使用］をクリックする
6. 添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をセットする
7. 「配布ファイルのコピー元」が表示されたら、CD-ROM ドライブ名と Windows 98/Me 用ドライバのフォルダ名を入力する（CD-ROM ドライブが F: の場合、「F:¥XL-C7400¥DRIVER¥WIN98_ME」と入力してください。）
   入力が終わったら［OK］をクリックします。
8. ［FUJITSU XL-C7400］と表示されていることを確認し、［次へ］をクリックする
9. プリンタで使用するポートを選択し、［次へ］をクリックする
   ここでは、「LPT1」を選択してください。「LPT1」がない場合は、「FILE」を選択してください。

10 プリンタ名を確認し、通常使うプリンタに設定する場合は［はい］を選択し、［次へ］をクリックする

他にプリンタがインストールされていない場合は、通常使うプリンタに設定されます。

11 印字テストを行うかどうかを選択し、［完了］をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了すると、［プリンタ］フォルダにプリンタ名が表示されます。
プリンタドライバのインストールに続いて、USB Print Utility のインストールを行います。

12 ［スタート］－［ファイル名を指定して実行する］の順に選択し、「F:¥XL-C7400¥USBUTIL¥SETUP.EXE」と入力し、［OK］をクリックする（CD-ROM ドライブが F: の場合）

13 インストール画面が起動したら、［次へ］をクリックする

14 ［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］を選択し、［完了］をクリックする

15 Windows が再起動してからプリンタとパソコンをUSB ケーブルで接続し、［マイコンピュータ］の［プリンタ］アイコンをダブルクリックする

ガイド

プリンタ USB ケーブルの取り付けは、「パソコンとの接続」（101 ページ）参照

16 ［プリンタ］フォルダ内にある「FUJITSU　XL-C7400」を選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックする

17 ［詳細］タブの［印刷先のポート］のプルダウンメニューから「FJUSB*** （USB Printer Port）」を選択し、［適用］をクリックする

ガイド

「***」はお使いのパソコンによって変わります。

18 ［全般］タブの［印字テスト］をクリックする

接続の確認のために、テストページを印刷します。

19 テストページが正しく印刷されたら、［はい］をクリックする

20 ［プロパティ］のダイアログボックスで［OK］をクリックする

これで、プリンタおよびプリンタ USB ケーブルのインストール、設定は完了です。

プラグアンドプレイによるセットアップ（USB 接続：Windows 2000）

ここでは、Windows 2000 が動作するパソコンをご使用になっている場合の、プリンタドライバのインストール方法について説明します。
添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を準備してください。
ここでは、プラグアンドプレイでプンリタドライバをインストールする手順について説明します。

お願い

- インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM の「Readme2k.txt」をお読みください。
- プリンタドライバを再インストールする場合は、前のプリンタドライバを削除してからインストールしてください。

1 プリンタの電源を入れた状態で Windows 2000 を起動する

ガイド

管理者権限でログオンしてください。

パソコン起動時に「FUJITSU XL-C7400 新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。」と表示されます。次の手順でプリンタドライバをインストールしてください。

2 ［次へ］をクリックする

3 ［デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）］を選択して［次へ］をクリックする

4 添付のプリンタソフトウェアCD-ROM をパソコンのCD-ROM ドライブにセットする

5 ［場所を指定］を☑にし、［次へ］をクリックする

6 「製造元のファイルのコピー元」に CD-ROM ドライブ名と Windows 2000 用ドライバのフォルダ名を入力し、［OK］をクリックする
（CD-ROM ドライブが F: の場合、「F:¥XL-C7400¥DRIVER¥WIN2K_XP」と入力してください。）

7 ドライバが検出されたら、［次へ］をクリックする

8 「デジタル署名が見つかりませんでした」という警告が表示されたら、［はい］をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。

9 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」が表示されたら、［完了］をクリックする

これでインストールは完了です。

プラグアンドプレイによるセットアップ（USB 接続：Windows XP/Windows Server 2003）

ここでは、Windows XP/Windows Server 2003 が動作するパソコンをご使用になっている場合の、プリンタドライバのインストール方法について説明します。
添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を準備してください。
ここでは、プラグアンドプレイでプンリタドライバをインストールする手順について説明します。

お願い

- インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM の「Readme2k.txt」をお読みください。
- プリンタドライバを再インストールする場合は、前のプリンタドライバを削除してからインストールしてください。

1 プリンタの電源を入れた状態で Windows を起動する

ガイド
管理者権限でログオンしてください。

パソコン起動時に「FUJITSU XL-C7400 新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。」と表示されます。そのとき、以下の手順でプリンタドライバをインストールしてください

2 ［一覧または特定の場所からインストールする（詳細）］を選択し、［次へ］をクリックする

参照　［新しいハードウェア検出ウィザード］が表示されない場合は、「［新しいハードウェアの検出ウィザード］が表示されない場合」（113 ページ）参照

3 添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

4 ［次の場所で最適のドライバを検索する］を選択し、［リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）を検索］を☐にする

5 ［次の場所を含める］を☑にし、「F:¥XL-C7400¥DRIVER¥WIN2K_XP」と入力し、［次へ］をクリックする（CD-ROM ドライブが F: の場合）

6 ［ハードウェアのインストール］が表示されたら、［続行］をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。

参照　ディスクの挿入が表示されたら、「［ディスクの挿入］が表示された場合」（112 ページ）参照

7 ［完了］をクリックする

これでインストールは完了です。

［ディスクの挿入］が表示された場合

インストールの途中で［ディスクの挿入］が表示された場合は、次の手順に従ってインストールしてください。

1. ［ディスクの挿入］が表示されたら、添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をセットし、［OK］をクリックする
2. ［コピー元］に「F:¥XL-C7400¥DRIVER¥WIN2K_XP」と入力し、［OK］をクリックする（CD-ROM ドライブが F: の場合）
   ファイルのコピーが開始されます。
3. ［完了］をクリックする
   これでインストールは完了です。

［新しいハードウェアの検出ウィザード］が表示されない場合

プラグアンドプレイでインストールしようとした場合に［新しいハードウェアの検出ウィザード］が表示されない場合は、次の手順に従ってください。

1. ［スタート］－［マイコンピュータ］を右クリックし、［プロパティ］を選択する
2. ［ハードウェア］タブの［デバイスマネージャ］をクリックする
3. ［その他のデバイス］の［FUJITSU XL-C7400］を右クリックし、［削除］を選択する
4. ［デバイスの削除の確認］で［OK］をクリックし、［デバイスマネージャ］を閉じる
5. ［システムのプロパティ］で［OK］をクリックする
   ファイルのコピーが開始されます。
6. Windows を再起動し、［新しいハードウェアの検出ウィザード］から再度インストールする

第 6 章

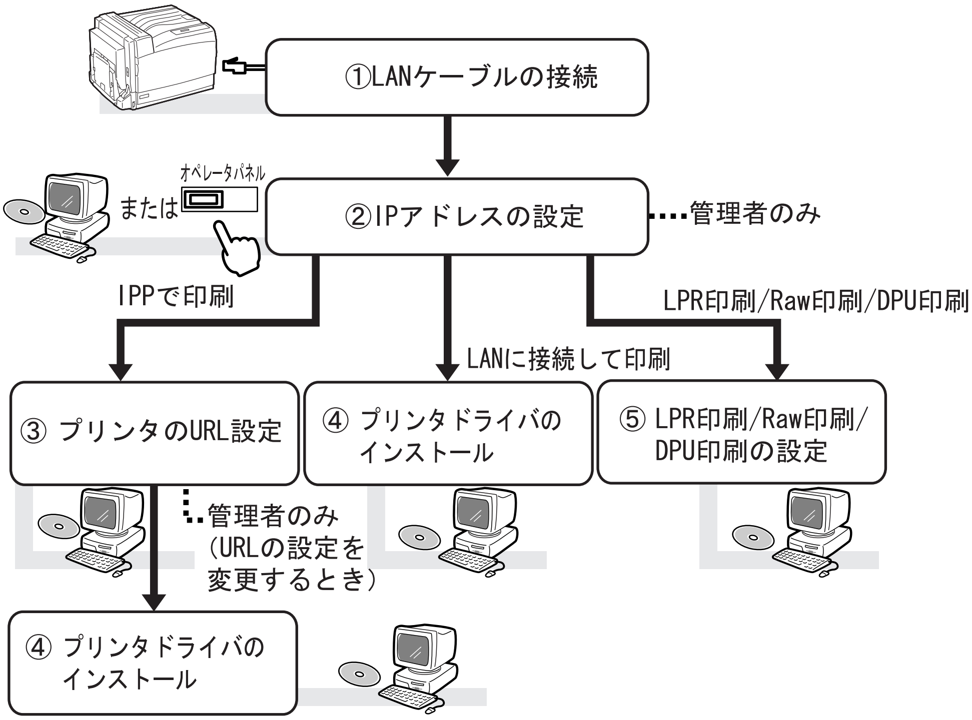
ネットワークを利用してプリンタを接続する

この章では、ネットワークを使用してプリンタドライバをインストールするまでの手順を説明します。

LAN による接続とインストール

プリンタに LAN ケーブルを接続して印刷する場合には、次の方法があります。
・LAN に接続して印刷
・インターネットを利用した IPP による印刷 (工場出荷時 : 停止)
・Raw(Port 9100) 印刷 (工場出荷時 : 停止)
・LPR 印刷
・TCP/IP Direct Print Utility（DPU）による印刷

プリンタに LAN ケーブルを接続し、プリンタドライバをインストールするまでの手順は、次のとおりです。



ガイド

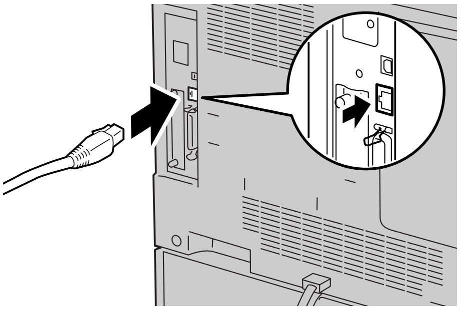
本製品では、NetWare および SMB のプロトコルは使用できません。

LAN ケーブルの接続

プリンタをネットワークに接続する手順について説明します。プリンタをネットワーク経由で接続するときは、ハブユニット間をツイストペアケーブルで接続します。100BASE-TX 対応のハブユニットに接続して 100Mbps でご使用になる場合には、必ずカテゴリー５のツイストペアケーブルをご使用ください。

1. プリンタの電源が切れている（電源スイッチが「○」側）ことを確認する

2. プリンタ背面にある LAN インタフェースコネクタに LAN ケーブルを接続し、電源を入れる



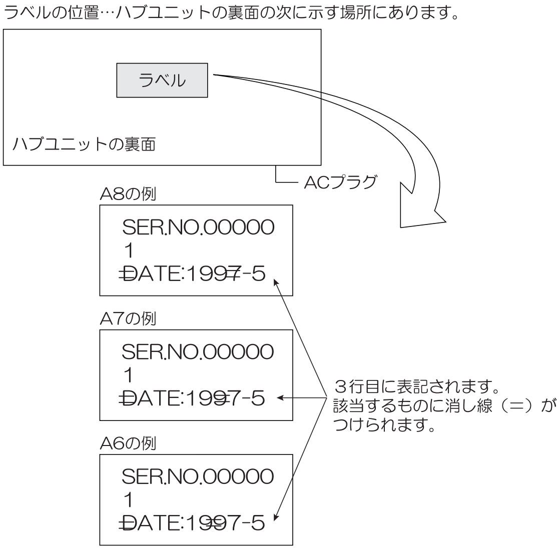
LAN に接続するときの注意事項

LAN ケーブルをハブユニットに接続した場合に、ハブユニット側のリンクランプが点灯せず、ネットワークのサーバなどに接続できないときがあります。このときは、プリンタとハブユニット双方の Ethernet タイプを同じ規格に設定してください。本プリンタの Ethernet タイプは、「自動」「100Mbps」「10Mbps」の中から選ぶことができます。プリンタの Ethernet タイプは、メニューモードの［キカイカンリシャメニュー］の［ネットワーク／ポートセッテイ］にある［Ethernet セッテイ］で変更します。ハブユニット側の設定については、ご使用のハブユニットの取扱説明書をお読みください。

参照　メニューモードについては、
「オペレータパネルからの設定」（178 ページ）参照

- ハブユニット LH1100 と接続する場合は、次の点にご注意ください。
  - ケーブル長 100m のツイストペアケーブルは使用しないでください。100m のツイストペアケーブルでは、ネットワークのサーバなどに接続できないことがあります。
  - ハブユニットのラベルに「A8」以降の表記がある必要があります。「A7」や「A6」の表記がある場合は、「ハードウェア修理相談センター」（378 ページ）にご相談ください。

ラベルの見かたを次の図に示します。



IP アドレスの設定

IP アドレスの設定方法について説明します。
IP アドレスは、オペレータパネルの機械管理者メニューから設定します。

参照　「第９章 オペレータパネルの操作」（175 ページ）参照

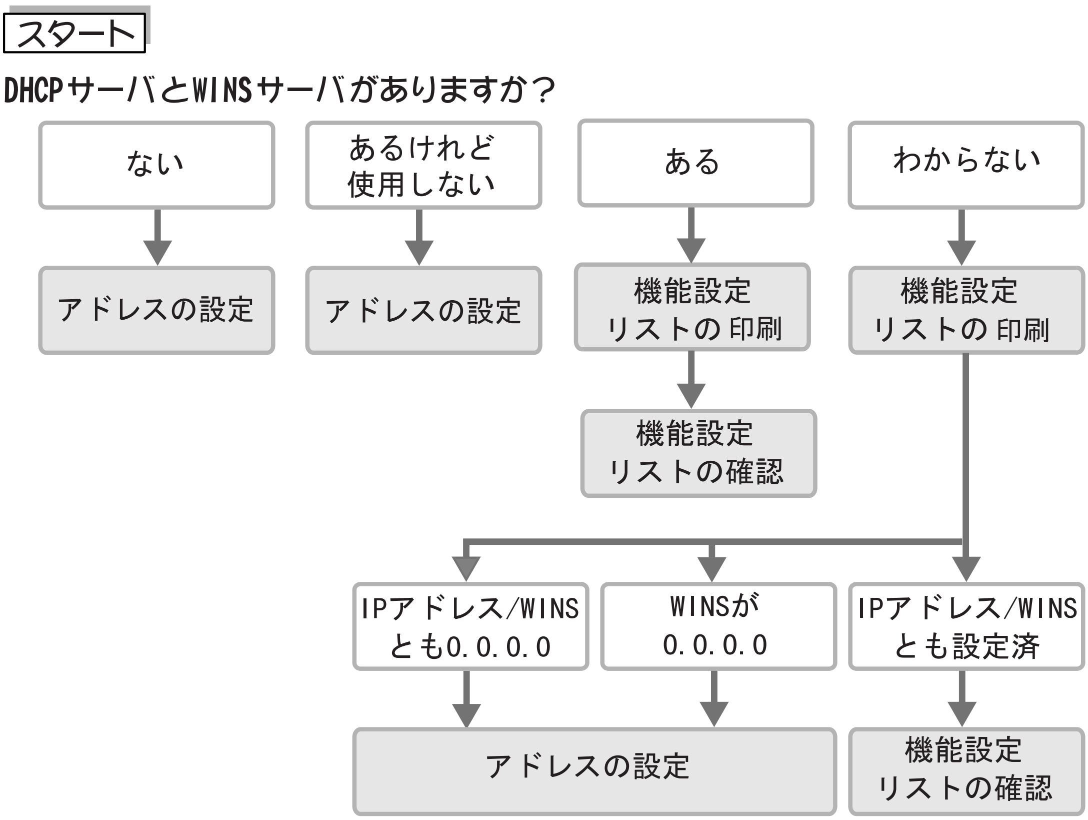
ガイド

- IP アドレスを変更する場合は、Internet Services からも操作できます。Internet Services については、「第 11 章 インターネットサービスの設定 (Internet Services)」（225 ページ）を参照してください。
- ネットワーク環境によっては、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定が必要な場合があります。ネットワーク上に、DHCP 環境がある場合、本プリンタはそのままのアドレス情報を各サーバから取得できます。
- 工場出荷時の設定では、これらのアドレスを DHCP サーバから自動的に取得するようになっています。

設定の流れ

DHCP サーバがあるかどうかわからないときは、ここで説明する操作手順に従って、DHCP サーバの有無を確認します。DHCP サーバがある場合、IP アドレスは自動的に設定されるため、IP アドレスの入力は不要です。DHCP サーバがない場合は、「IP アドレスの設定」（119 ページ）を参照し、IP アドレスを設定してください。

DHCP サーバの確認



お願い

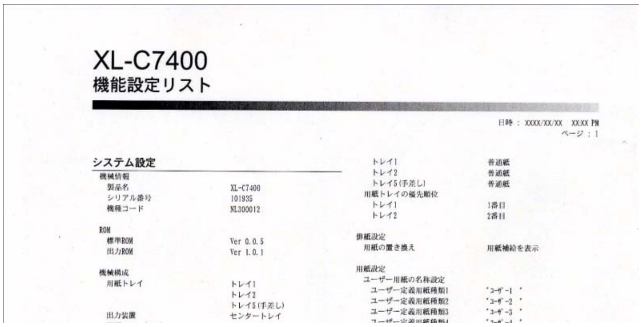
DHCP 環境について不明な場合は、システム管理者に確認してください。

機能設定リストの印刷

1 機能設定リストを印刷する

参照　「設定の一覧を印刷する」（69 ページ）参照

2 機能設定リストに印刷された［コミュニケーション設定］の次の項目のアドレスを確認する
TCP/IP：IP アドレス、TCP/IP：サブネットマスク、TCP/IP：ゲートウェイアドレス、WINS：プライマリー WINS サーバ、WINS：セカンダリー WINS サーバ


XL-C7400
機能設定リスト

日時 ： XXXX/XX/XX　XX:XX PM
ページ ： 1

システム設定

機械情報
製品名　XL-C7400
シリアル番号　101935
機種コード　NL300012

ROM
標準ROM　Ver 0.0.5
出力ROM　Ver 1.0.1

機械構成
用紙トレイ　トレイ1
トレイ2
トレイ5(手差し)
出力装置　センタートレイ

トレイ1　普通紙
トレイ2　普通紙
トレイ5(手差し)　普通紙
用紙トレイの優先順位
トレイ1　1番目
トレイ2　2番目

排紙設定
用紙の置き換え　用紙補給を表示

用紙設定
ユーザー用紙の名称設定
ユーザー定義用紙種類1　"ユーザ-1　"
ユーザー定義用紙種類2　"ユーザ-2　"
ユーザー定義用紙種類3　"ユーザ-3　"

ガイド

- 本プリンタのオプション構成、および設定によって、機能設定リストのレイアウトはサンプルとは異なる場合があります。
- 機能設定リストの確認方法については、次の「機能設定リストの確認」を参照してください。

●機能設定リストの確認

- TCP/IP、WINS ともにアドレスが取得されていない場合
  DHCP サーバと WINS サーバは存在しません。IP アドレスを設定してください。

参照　「IP アドレスの設定」（119 ページ）参照

- TCP/IP にアドレスは取得されているが、WINS にアドレスが取得されていない場合
  WINS サーバは存在しません。本プリンタに割り当てられている IP アドレスが変更になった場合に印刷できなくなる可能性があるため、DHCP 環境を使用せず、手動で本プリンタの IP アドレスを設定してください。

参照　「IP アドレスの設定」（119 ページ）参照

- TCP/IP、WINS 共にアドレスが取得されている場合
  DHCP サーバと WINS サーバが稼動しています。DHCP 環境を使用することをお勧めします。本プリンタの IP アドレスは DHCP サーバが設定します。

アドレスの設定

ここでは、オペレータパネルで IP アドレスを設定する手順について説明します。使用するネットワーク環境によって、サブネットマスクやゲートウェイアドレスの設定が必要です。ネットワーク管理者にご相談のうえ、必要な項目を設定してください。
最初に「プリントデキマス IP アドレス シュトク フカ」と表示された場合も、「メニュー」スイッチを押し、操作してください。

IPアドレスの設定

1. 「メニュー」スイッチを押し、メニュー設定画面にする

```
ﾒﾆｭｰ
 ﾚﾎﾟｰﾄ / ﾘｽﾄ
```

2. 「▲」または「▼」スイッチを何度か押し、「ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ」 を選択する

```
ﾒﾆｭｰ
 ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
```

3. 「▶」スイッチを押す

```
ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
ﾈｯﾄﾜｰｸ / ﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ
```

4. 「▶」スイッチを押す

```
ﾈｯﾄﾜｰｸ / ﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ
      ﾊﾟﾗﾚﾙ
```

5. 「▲」または「▼」スイッチを何度か押す

```
ﾈｯﾄﾜｰｸ / ﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ
  TCP/IP ｾｯﾃｲ
```

6. 「▶」スイッチを押す

```
TCP/IP ｾｯﾃｲ
IP ｱﾄﾞﾚｽ ｼｭﾄｸﾎｳﾎｳ
```

7. 「▶」スイッチを押す

```
IP ｱﾄﾞﾚｽ ｼｭﾄｸﾎｳﾎｳ
           DHCP ＊
```

次ページに

前ページから

8 「▲」または「▼」スイッチを何度か押す

```
IP ｱﾄﾞﾚｽ ｼｭﾄｸﾎｳﾎｳ
          ｼｭﾄﾞｳ
```

9 「排出 / セット」スイッチを押す

```
IP ｱﾄﾞﾚｽ
000.000.000.000*
```

10 「▶」、「◀」、「▲」、「▼」スイッチで IP アドレスを入力する

```
IP ｱﾄﾞﾚｽ
XXX.XXX.XXX.XXX
```

11 「排出 / セット」スイッチを押す

```
IP ｱﾄﾞﾚｽ ｼｭﾄｸﾎｳﾎｳ
          ｼｭﾄﾞｳ *
```

続けてサブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定する場合は、〈◀〉ボタンを押して、次項「サブネットマスク / ゲートウェイアドレスの設定」の 8 に進みます。

12 「メニュー」スイッチを押す

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
```

（データ受信可能な状態に戻ります。）

サブネットマスク／ゲートウェイアドレスの設定

1 「メニュー」スイッチを押し、メニュー設定画面にする

```
ﾒﾆｭｰ
 ﾚﾎﾟｰﾄ / ﾘｽﾄ
```

2 「▲」または「▼」スイッチを何度か押し、「ｷｶｲ　ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ」 を選択する

```
ﾒﾆｭｰ
 ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
```

3 「▶」スイッチを押す

```
ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
ﾈｯﾄﾜｰｸ / ﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ
```

4 「▶」スイッチを押す

```
ﾈｯﾄﾜｰｸ / ﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ
     ﾊﾟﾗﾚﾙ
```

5 「▲」または「▼」スイッチを何度か押す

```
ﾈｯﾄﾜｰｸ / ﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ
  TCP/IP ｾｯﾃｲ
```

6 「▶」スイッチを押す

```
TCP/IP ｾｯﾃｲ
IP ｱﾄﾞﾚｽ ｼｭﾄｸﾎｳﾎｳ
```

7 「▲」または「▼」スイッチを何度か押す

```
TCP/IP ｾｯﾃｲ
    ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ
```

8 「▶」スイッチを押す

```
ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ
000.000.000.000*
```

9 「▲」、「▼」、「▶」、「◀」スイッチでサブネットマスクを入力する

```
ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ
XXX.XXX.XXX.XXX
```

10 「排出 / セット」スイッチを押す

```
ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ
XXX.XXX.XXX.XXX*
```

次ページに

前ページから

11 「◀」スイッチを押す

```
TCP/IP ｾｯﾃｲ
    ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ
```

12 「▲」または「▼」スイッチを何度か押す

```
TCP/IP ｾｯﾃｲ
  ｹﾞｰﾄｳｪｲ ｱﾄﾞﾚｽ
```

13 「▶」スイッチを押す

```
ｹﾞｰﾄｳｪｲ ｱﾄﾞﾚｽ
000.000.000.000*
```

14 「▲」、「▼」、「▶」、「◀」スイッチでゲートウェイアドレスを入力する

```
ｹﾞｰﾄｳｪｲ ｱﾄﾞﾚｽ
XXX.XXX.XXX.XXX
```

15 「排出 / セット」スイッチを押す

```
ｹﾞｰﾄｳｪｲ ｱﾄﾞﾚｽ
XXX.XXX.XXX.XXX*
```

16 「メニュー」スイッチを押す

プリンタが再起動します。

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
```

（データ受信可能な状態に戻ります。）

6

セットアップ編

プリンタの URL 設定（IPP のみ）

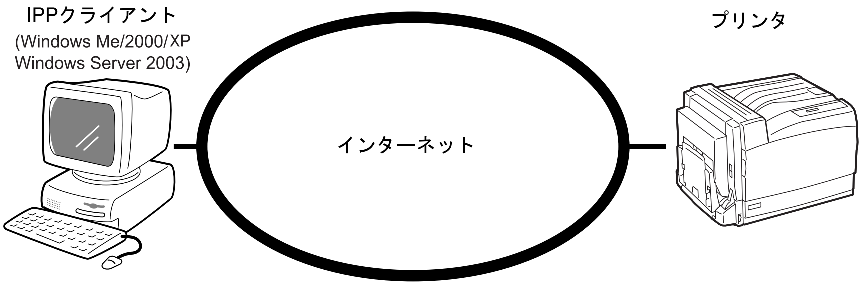
IPP を使って、Windows Me/2000/XP/Windows Server 2003 からインターネット印刷を利用する場合の設定手順を説明します。

システム構成について

本プリンタは、IPP（Internet Printing Protocol）をサポートしています。Windows Me/2000/XP/Windows Server 2003 は、IPP プリンタに印刷するためのホストソフト（IPP ポートモニタ）を装備しているため、［プリンタの追加］ウィザードから、IPP 対応プリンタを指定できます。IPP を利用すれば、インターネット、またはイントラネットを経由して遠隔地のプリンタに印刷できます。

お願い

・Windows Me の場合、インターネット印刷を利用するには、IPP ポートをインストールする必要があります。
・Windows Me の CD-ROM をお持ちの場合：
CD をエクスプローラ等で参照し、¥ADD-ONS¥ipp¥WPNPINS.EXE を実行してください。
・プレインストールモデル等で Windows Me の CD-ROM をお持ちでない場合：
エクスプローラ等で、ハードディスク上にある WPNPINS.EXE を検索し、実行してください。



・トランスポートプロトコル
TCP/IP

設定のながれ

パソコン側の設定

パソコン側で印刷先の設定とプリンタドライバのインストールを行います。

参照　設定方法については、「印刷先の設定とプリンタドライバのインストール」（128 ページ）参照

IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定

ネットワーク環境によっては、IP アドレスに加えて、サブネットマスクやゲートウェイアドレスの設定が必要な場合があります。ネットワーク管理者にご相談のうえ、必要な項目を設定してください。

アドレスの指定方法には、DHCP サーバから自動的に取得する方法と手動で指定する方法があります。設置環境に合わせて指定してください。

参照　IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定については、「IP アドレスの設定」（119 ページ）参照

IPPポートの起動

IPP 印刷を行うには、プリンタの IPP ポートを起動する必要があります。
IPP ポートは、オペレータパネルの機械管理者メニューから起動します。
・IPP ポート（工場出荷時：テイシ）

参照　「第９章 オペレータパネルの操作」（175 ページ）参照

その他の設定項目について

必要に応じて、以下の項目も設定してください。ただし、これらの項目は、通常の使用では、工場出荷時の設定を変更する必要はありません。
・IPP のアクセス権制御（工場出荷時：ムコウ）
・IPP の追加ポート番号（工場出荷時：80）
・IPP のタイムアウト（工場出荷時：60 ビョウ）

参照　設定項目の詳細は、「オペレータパネルからの設定」（178 ページ）参照

「Internet Services」を使うと、さらに詳細な設定ができます。

参照　詳細は、「第 11 章 インターネットサービスの設定 (Internet Services)」（225 ページ）参照

6

セットアップ編

印刷先の設定とプリンタドライバのインストール

パソコン側で、印刷先の設定とプリンタドライバのインストールを行う手順について説明します。

ガイド

・プリンタドライバをインストールする前に、パソコンに「インターネットプロトコル（TCP/IP）」がインストールされていることを確認します。インストールされていない場合は、Windows 添付のマニュアルを参照してインストールしてください。
・インターネット印刷をプロキシサーバを経由して利用する場合に、印刷先を設定すると、「プリンタに接続できません」というエラーメッセージが表示されることがあります。その時は、［スタート］メニューの［設定］から［コントロールパネル］をクリックし、［インターネットオプション］で、本プリンタの IP アドレスをプロキシサーバを経由しない設定にする必要があります。設定方法については、Windows 添付のマニュアルを参照してください。

Windows Me の場合

1. ［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックする

   ［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

2. ［プリンタの追加］を開く

3. ［次へ］をクリックする

   プリンタの接続方法を選択する画面が表示されます。

4. ［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックする

   プリンタの検索方法を指定するダイアログが表示されます。

5. ［ネットワークパスまたはキューの名前］に以下の URL を入力し、［次へ］をクリックする

   http://［本プリンタの IP アドレス］/ipp

   ガイド

   パソコン上で DNS 設定がされていて、ホスト名指定が有効であれば、ホスト名を入力することもできます。

6. 添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

7. ［ディスク使用］をクリックする

8 表示されたダイアログボックスで「F:¥XL-C7400¥DRIVER¥WIN98_ME」と入力し、[OK] をクリックする（CD-ROM ドライブが F の場合）

プリンタを選択するダイアログが表示されます。

> **ガイド**
> [参照] をクリックし、「XL-C7400¥DRIVER¥WIN98_ME」フォルダを指定することもできます。

9 [FUJITSU XL-C7400] を選択し、[次へ] をクリックする

通常使うプリンタを指定するダイアログが表示されます。

> **ガイド**
> 「デジタル署名が見つかりませんでした」というダイアログ表示されますが、[はい] をクリックし、インストールを続けてください。

10 プリンタ名を入力する

11 プリンタを通常使用する場合は [はい] を、使用しない場合は [いいえ] を選択し、[次へ] をクリックする

12 印字テストを行うかどうかを選択し、[完了] をクリックする

必要なファイルのコピーが開始されます。
コピーが終了すると、インストール完了のダイアログが表示されます。
また、印字テストの印刷を設定した場合は、テストページが印刷され、その確認を促すダイアログが表示されます。

Windows 2000の場合

1 [スタート] ― [設定] ― [プリンタ] の順にクリックする

[プリンタ] ダイアログが表示されます。

2 [プリンタの追加] を開く

3 [次へ] をクリックする

プリンタの接続方法を選択するダイアログが表示されます。

4 [ネットワークプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックする

プリンタの検索方法を指定するダイアログが表示されます。

5 ［インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します］を選択し、［URL］に以下の URL を入力し、［次へ］をクリックする

　　http:// ［本プリンタの IP アドレス］/ipp

プリンタの接続ダイアログが表示されます。

> **ガイド**
> パソコン上で DNS 設定がされていて、ホスト名指定が有効であれば、ホスト名を入力することもできます。

6 ［OK］をクリックする

プリンタの製造元とモデルを選択するダイアログが表示されます。

7 添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

8 ［ディスク使用］をクリックする

9 表示されたダイアログボックスで「F:¥XL-C7400¥DRIVER¥WIN2K_XP」と入力し、［OK］をクリックする（CD-ROM ドライブが F の場合）

プリンタを選択するダイアログが表示されます。

> **ガイド**
> ［参照］をクリックし、「XL-C7400¥DRIVER¥WIN2K_XP」フォルダを指定するともできます。

10 ［FUJITSU XL-C7400］を選択し、［OK］をクリックする

> **ガイド**
> 「デジタル署名が見つかりませんでした」というダイアログが表示されますが、［はい］をクリックして、インストールを続けてください。

11 本プリンタを通常使用する場合は［はい］を、使用しない場合は［いいえ］を選択し、［次へ］をクリックする

12 ［完了］をクリックする

Windows XPの場合

1. ［スタート］－［プリンタとFAX］の順にクリックする
   ［プリンタ］ダイアログが表示されます。
2. ［プリンタのインストール］を開く
3. ［次へ］をクリックする
   プリンタの接続方法を選択するダイアログが表示されます。
4. ［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックする
   プリンタの検索方法を指定するダイアログが表示されます。
5. ［インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します］を選択し、［URL］に以下のURLを入力し、［次へ］をクリックする
   http://［本プリンタのIPアドレス］/ipp
   プリンタの接続ダイアログが表示されます。
6. 添付のプリンタソフトウェアCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする
7. ［ディスク使用］をクリックする
8. 表示されたダイアログで「F:¥XL-C7400¥DRIVER¥WIN2K_XP」と入力し、［OK］をクリックする（CD-ROMドライブがFの場合）
   プリンタを選択するダイアログが表示されます。

   ガイド
   ［参照］をクリックし、「XL-C7400¥DRIVER¥WIN2K_XP」フォルダを指定するともできます。

8. ［FUJITSU XL-C7400］を選択し、［OK］をクリックする

   ガイド
   「デジタル署名が見つかりませんでした」というダイアログが表示されたら、［はい］をクリックし、インストールを続けてください。

10. 本プリンタを通常使用する場合は［はい］を、使用しない場合は［いいえ］を選択し、［次へ］をクリックする
11. ［完了］をクリックする

   ガイド
   プリンタとFAXの一覧表示で、プリンタはIPアドレスが表示されます。名前の変更はできません。

Windows Server 2003の場合

1. ［スタート］－［プリンタと FAX］の順にクリックする

   ［プリンタとFAX］ダイアログが表示されます。

2. ［プリンタの追加］を開く

3. ［次へ］をクリックする

   プリンタの接続方法を選択するダイアログが表示されます。

4. ［ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックする

   プリンタの検索方法を指定するダイアログが表示されます。

5. ［インターネット上または自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する］を選択し、［URL］に次の URL を入力し、［次へ］をクリックします

   http://［本プリンタの IP アドレス］/ipp

   プリンタの接続ダイアログが表示されます。

6. 添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

7. ［ディスク使用］をクリックする

8. 表示されたダイアログで「F:¥XL-C7400¥DRIVER¥WIN2K_XP」と入力し、［OK］をクリックする（CD-ROM ドライブが F の場合）

   プリンタを選択するダイアログが表示されます。

   > **ガイド**
   >
   > ［参照］をクリックし、「XL-C7400¥DRIVER¥WIN2K_XP」フォルダを指定するともできます。

9. ［FUJITSU XL-C7400］を選択し、［OK］をクリックする

   > **ガイド**
   >
   > 「デジタル署名が見つかりませんでした」というダイアログが表示されたら、［はい］をクリックし、インストールを続けてください。

10. 本プリンタを通常使用する場合は［はい］を、使用しない場合は［いいえ］を選択し、［次へ］をクリックする

11. ［完了］をクリックする

    > **ガイド**
    >
    > プリンとFAX の一覧表示で、プリンタは IP アドレスが表示されます。名前の変更はできません。

Raw(Port 9100) 印刷の設定

ここでは、Windows 2000/XP/Windows Server 2003 環境からの Raw(Port 9100) 印刷の設定について説明します。

準　備

・プリンタに IP アドレスを設定しておきます。設定した IP アドレスは固定にしてください。

参照　IP アドレスの設定方法については、「IP アドレスの設定」（119 ページ）参照

・あらかじめプリンタドライバをローカルポート接続（LPT1 等）でインストールしてください。

参照　「第５章 ネットワークを利用せずにプリンタを接続する」（99 ページ）参照

・Raw 印刷を行うには、プリンタの Raw（Port9100）ポートを起動する必要があります。Raw ポートはオペレータパネルの機械管理者メニューから起動します。（工場出荷時：テイシ）

参照　「第９章 オペレータパネルの操作」（175 ページ）参照

ポート設定

次の手順に従ってインストールを行います。

1. Windows の［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックする（Windows XP、Windows Server 2003 の場合は、［スタート］－［プリンタと FAX］の順にクリックします。）
   ［プリンタ］ダイアログが表示されます。
2. 「XL-C7400」のアイコンを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックする
   ［プロパティ］ダイアログが表示されます。
3. ［ポート］タブをクリックする
4. ［印刷するポート］から Raw（Port9100）印刷に対応したポートを選択し、［ポートの構成］をクリックする
5. ［プロトコル］で［Raw］を選択したあと、［Raw 設定］の［ポート番号］の設定値を確認し、［OK］をクリックする
   ポート番号は、プリンタ側のネットワークの設定と合わせてください。
   テストページを印刷し、正しく印刷されれば Raw(Port 9100) 印刷の設定は完了です。
   プロパティを閉じてください。

LPR 印刷の設定

ここでは、Windows NT 4.0/2000/XP/Windows Server 2003 環境からの LPR 印刷の設定について説明します。

準　備

LPR 印刷を行うには、LPR ポートが起動していることを確認して、使用している OS にあわせて次の準備を行ってください。

参照　「第９章 オペレータパネルの操作」（175 ページ）参照

Windows 2000/XP/Windows Server 2003の場合

「UNIX 用印刷サービス」と「簡易 TCP/IP サービス」を組み込んでおきます。次の手順で確認と組み込みを行います。

1. ［オプションネットワークコンポーネント］ウィザードを表示する

   ［スタート］－［設定］－［ネットワークとダイヤルアップ接続］の順にクリックし、［ネットワークとダイヤルアップ接続］ダイアログの［詳細設定］メニューから［オプションネットワークコンポーネント］を選択します。

2. ［UNIX 用印刷サービス］が組み込まれているか確認する

   ［そのほかのネットワークファイルと印刷サービス］を選択し、［詳細］をクリックして［UNIX 用印刷サービス］が組み込まれているか（チェックボックスが☑になっているか）確認します。
   組み込まれていないときは、チェックして［OK］をクリックします。
   すでに組み込まれているときは、［キャンセル］をクリックします。

3. ［簡易 TCP/IP サービス］が組み込まれているか確認する

   ［ネットワークサービス］を選択し、［詳細］をクリックして［簡易 TCP/IP サービス］が組み込まれているか（チェックボックスが☑になっているか）確認します。
   組み込まれていないときは、チェックして［OK］をクリックします。
   すでに組み込まれているときは、［キャンセル］をクリックします。

   以降は、［次へ］をクリックして画面の指示に従って、操作をしてください。

Windows NT 4.0の場合

「Microsoft TCP/IP 印刷サービス」と「簡易 TCP/IP サービス」を組み込んでおきます。

1. ［ネットワーク］画面を表示する

   ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］の順にクリックし、［ネットワーク］をダブルクリックします。

2 [Microsoft TCP/IP 印刷]と[簡易 TCP/IP サービス]が組み込まれていることを確認する

[サービス]タブをクリックして表示される[ネットワークサービス]の一覧に、[Microsoft TCP/IP 印刷]と[簡易 TCP/IP サービス]が表示されることを確認します。表示されない場合は、組み込んでください。

インストール

次の手順に従ってインストールを行います。

1 Windows を起動する

ガイド

管理者権限でログオンしてください。

2 添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、プリンタドライバをインストールする

参照 「第５章 ネットワークを利用せずにプリンタを接続する」（99 ページ）参照
「第６章 ネットワークを利用してプリンタを接続する」（115 ページ）参照

ガイド

インストールするプリンタを選択後、プリンタの設定でポート名を「LPT1:」に設定してください。

以降は表示されるダイアログの指示にしたがってインストールします。

3 プリンタのポートの設定を変更する

1.[スタート]から[設定]－[プリンタ]の順にクリックし、LPR 印刷を行うプリンタを選択します。
2.[ファイル]メニューで[プロパティ]を選択し、プリンタのプロパティを表示します。
3.[ポート]タブを表示し、[ポートの追加]をクリックします。[プリンタポート]ダイアログボックスから「LPR Port」を選択し、[新しいポート]をクリックします。

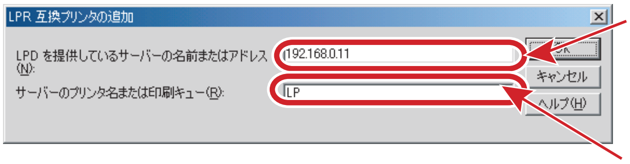


[LPR 互換プリンタの追加]ダイアログが表示されます。
次の内容を入力し、[OK]をクリックします。

お願い

プリンタの電源を入れ、ネットワークに接続されている状態にしておいてください。

LPR 互換プリンタの追加画面



IP アドレスを入力する
プリンタのIPアドレスを半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力します。

「LP」と入力する

ガイド

「サーバのプリンタ名または印刷キュー」(Windows NT 4.0 の場合は「サーバのプリンタ名またはプリンタキュー名」)には、必ず半角英字で「LP」と入力してください。

4 印刷データのスプール方法を変更する

- Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のとき
  プリンタのプロパティから［詳細設定］タブをクリックし、「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」と「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」を選択します。
- Windows NT 4.0 のとき
  プリンタのプロパティから［スケジュール］タブをクリックし、「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」と「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」を選択します。

設定が終わったら［OK］をクリックし、プリンタのプロパティを終了します。
以上で設定は終了です。
テスト印刷を行い、正常に印刷されることを確認してください。

プリンタ検索ユーティリティの使用

プリンタ検索ユーティリティは、TCP/IP 環境で使用可能な本プリンタの IP アドレスを検索するアプリケーションです。
次の操作を行う時に有効です。

- Windows 98/Me 環境で DPU 印刷を行う場合

参照　「TCP/IP Direct Print Utility の使用」（140 ページ）参照

- Windows Me/2000/XP/Windows Server 2003 環境で IPP 印刷を行なう場合

参照　「プリンタの URL 設定（IPP のみ）」（126 ページ）参照

- Internet Services を用いてプリンタの状態表示や設定を行う場合

参照　「第 11 章 インターネットサービスの設定（Internet Services）」（225 ページ）参照

ガイド

プリンタ検索ユーティリティを使用する場合は、事前にプリンタの IP アドレスを設定しておく必要があります。

参照　「IP アドレスの設定」（122 ページ）参照

プリンタ検索ユーティリティをインストールする

次の手順にしたがって、インストールします。

1. 添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする
2. ［スタート］－［ファイル名を指定して実行］の順にクリックする
3. ［名前］に、「F:¥PRTSUTIL¥SETUP.EXE」と入力し、[OK] をクリックする（CD-ROM ドライブ名が F の場合）
   ［プリンタ検索ユーティリティセットアップ］ダイアログが表示されます。
4. ［次へ］をクリックする
5. ［インストール先のフォルダ］を確認し、［次へ］をクリックする
   インストールが始まります。

ガイド

インストール先を変更する場合は、［参照］をクリックしてインストール先のフォルダを指定してから、［次へ］をクリックします。

6 インストールが終了すると、完了を示すダイアログが表示されるので、[完了] をクリックする

7 CD-ROM ドライブからプリンタソフトウェア CD-ROM を取り出す

プリンタを検索する

プリンタ検索ユーティリティを使用して、TCP/IP 環境に接続されている本プリンタを検索します。
ユーティリティについての詳細は、プリンタ検索ユーティリティのオンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプは、プリンタ検索ユーティリティの各ダイアログの [ヘルプ] をクリックすると表示できます。
次の手順にしたがって、検索します。

1 [スタート] − [プログラム] − [FUJITSU] −[プリンタ検索ユーティリティ] の順にクリックする

プリンタ検索ユーティリティが起動され、メインウィンドウが表示されます。

2 メインウィンドウで、[検索] をクリックする



3 プリンタの検索アドレスを入力し、[検索開始] をクリックする

デフォルトでは、「255.255.255.255」が設定されており、使用しているパソコンに接続されているサブネット全体が検索対象となります。
ネットワーク上に接続されているプリンタが検索され、メインウィンドウの [プリンタリスト] に表示されます。
工場出荷時に、本プリンタには「XL-C7400」という名前が設定されます。

ガイド

- TCP/IP 環境に複数台の XL-C7400 を接続している場合、[プリンタリスト] に複数のアドレスが表示されます。
- 本ユーティリティでアドレスが検出できない場合は、機能設定リストを印刷して確認するか、ネットワーク管理者に確認してください。

参照 機能設定リストを印刷するには、「設定の一覧を確認する」（68 ページ) 参照

Internet Services を起動する

プリンタリストで機種を選択し、[Internet Services] を起動します。

1. プリンタリストの一覧に表示される機種から、対象のプリンタを選択する

   選択したプリンタの左端に、プリンタのアイコンが表示されます。

2. [Internet Services] をクリックする

   選択したプリンタの [Internet Services] 画面が表示されます。



ガイド

Internet Services 機能をサポートしていないプリンタの場合は、「ページを表示できません」というようなメッセージがブラウザ画面に表示されます。

プリンタ検索ユーティリティをアンインストールする

[アプリケーションの追加と削除] を使用して、アンインストールを行います。

1. [スタート]-[設定]-[コントロールパネル] の順にクリックする
2. [コントロールパネル] の [アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックする
3. [アプリケーションの追加と削除プロパティ] の [インストールと削除] タブを選択する
4. リストの中から [プリンタ検索ユーティリティ] を選択し、[追加と削除] をクリックする
5. アンインストールを実行する場合は、[ファイルの削除の確認] で [OK] をクリックする

   アンインストールが終了すると、アンインストールの終了を知らせるダイアログが表示されます。
   これで、アンインストールは終了です。

TCP/IP Direct Print Utility の使用

ここでは Windows 98/Me 環境で TCP/IP Direct Print Utility を使って、ネットワークプリンタから印刷する方法について説明します。

ガイド

プリンタ側の準備として、以下の設定確認を行ってください。
・IIP アドレスの設定（119 ページ参照）
・LPR ポート /Raw（Port9100）ポートの起動（「第９章 オペレータパネルの操作」（175 ページ参照）

TCP/IP プロトコルを設定する

TCP/IP Direct Print Utility ポートの設定を行うためには、パソコンに「TCP/IP プロトコル」が組み込まれている必要があります。「TCP/IP プロトコル」が組み込まれていないことを知らせるメッセージが表示された場合は、次の手順にしたがって組み込んでください。

参照　TCP/IP プロトコルのインストール方法の詳細については、Windows 98/Me の取扱説明書を参照してください。

1 Windows を起動し、[コントロールパネル] の [ネットワーク] アイコンを開く

2 [ネットワークの設定] タブの [追加] をクリックする

OS によって、次のダイアログボックスが表示されます。
　Windows 98 の場合：[ネットワークコンポーネントの選択]
　Windows Me の場合：[ネットワークコンポーネントの種類の選択]

3 **2** で表示させたダイアログボックスから [プロトコル] を選択して、[追加] をクリックする

[ネットワークプロトコルの選択] ダイアログが表示されます。

4 [ネットワークプロトコルの選択] の [製造元] から [Microsoft] を選択する

[ネットワークプロトコル] に [TCP/IP] が表示されます。

5 [TCP/IP] を選択し、[OK] をクリックする。

指示にしたがってファイルをコピーします。

6 [ネットワークの設定] タブの [OK] をクリックする

7 Windows を再起動する

プリンタドライバを確認する

TCP/IP Direct Print Utility ポートの設定を行うためには、ソフトウェアのインストールを行う前に、プリンタドライバをインストールしておく必要があります。
プリンタドライバがインストールされていない場合は、プリンタウィザードを使用し、ローカルプリンタを LPT1：ポートに追加してください。

参照　プリンタドライバのインストール方法については、「第５章 ネットワークを利用せずにプリンタを接続する」（99 ページ）参照

TCP/IP Direct Print Utility をインストールする

TCP/IP Direct Print Utility のインストールを行うためには、Windows 98/Me の [ファイル名を指定して実行] を使用します。
次の手順にしたがって、インストールします。

1. [スタート]ー[ファイル名を指定して実行] の順にクリックする
2. [名前] に、TCP/IP Direct Print Utility のインストール実行ファイルを格納したドライブ名とパス名を入力し、[OK] をクリックする（CD-ROM ドライブが F の場合、「F:¥XL-C7400¥DPU¥WIN9X¥SETUP.EXE」と入力してください。）

   画面に表示される指示に従って操作を続けます。
3. [はい、直ちにコンピュータを再起動します。] を選択し、[OK] をクリックする

ガイド
Windows を再起動しないと設定は有効になりません。

これでインストールは終了です。次にポートの設定を行ってください。

TCP/IP Direct Print Utility ポートを設定する

次の手順にしたがって、TCP/IP Direct Print Utility ポートを設定します。

1. [マイコンピュータ] の [プリンタ] アイコンをダブルクリックする
2. 本プリンタのアイコンをクリックし、[ファイル] メニューから [プロパティ] を選択する
3. [詳細] タブをクリックする
4. [ポートの追加] をクリックする

5 **［その他］を選択し、[FUJITSU TCP/IP DPU Port］を選択し、[OK］をクリックする**

[FUJITSU TCP/IP DPU ポートの設定］ダイアログボックスが表示されます。

6 **次の説明を参考に必要な項目を設定し、[OK］をクリックする**

［ポート名］　プリンタを識別するための名前を入力してください。
[IP アドレス］　プリンタの IP アドレスを入力してください。

ガイド

- IP アドレスとは、0 ～ 255 の 4 つの数値をピリオドで区切った番号（xxx.xxx.xxx.xxx）です。プリンタの IP アドレスがわからない場合は、ネットワークのシステム管理者に尋ねるか、「プリンタ検索ユーティリティ」を使って IP アドレスを検索するか、「機能設定リスト」を印刷して、IP アドレスを参照してください。

  参照　プリンタ検索ユーティリティの使用方法については、「プリンタ検索ユーティリティの使用」（137 ページ）参照

  参照　機能設定リストの出力方法については、「設定の一覧を印刷する」（69 ページ）参照
- 富士通製 TCP/IP Direct Print Utility ポートを複数追加する場合は、あとから追加するポートに次のようなポート名は使用しないでください。
  - すでに存在するポート名の最後に文字を追加したポート名
    （例）既存のポート名が「printer」の場合、「printer1」「printer-01」など
  - すでに存在するポート名の先頭から 1 文字以上を抽出したポート名
    （例）既存のポート名が「printer」の場合、「prin」、「print」など

※上記いずれの場合も大文字小文字の区別はありません。

これでポートの設定は終了です。

インストール後にポートの設定を変更する

インストール後に、ポートの設定（IP アドレス）を変更する場合は、次の手順にしたがってください。

1 **［マイコンピュータ］の［プリンタ］アイコンをダブルクリックする**

2 **本プリンタのアイコンをクリックし、[ファイル］メニューから［プロパティ］を選択する**

3 **［詳細］タブをクリックする**

4 **［ポートの設定］をクリックする**

[FUJITSU TCP/IP DPU ポートの設定］ダイアログボックスが表示されます。

5 [IP アドレス] に変更したい IP アドレスを入力し、プロトコルを設定する

ガイド
- プロトコル設定の詳細は、TCP/IP Direct Print Utility ポートの設定時のオンラインヘルプを参照してください。
- プロトコルとして Raw 印刷を選択した場合、ポート番号は通常変更しないでください。

6 [OK] をクリックする

これで、ポートの設定の変更は終了です。

TCP/IP Direct Print Utility をアンインストールする

ここでは、TCP/IP Direct Print Utility を Windows 98/Me 上から削除する方法について説明します。
手順の流れは以下のとおりです。
① TCP/IP Direct Print Utility のプリンタポートをすべて削除する。
② レジストリからキーを削除する。
③ システムを再起動する。
④ TCP/IP Direct Print Utility 関連ファイルを削除する。

次の手順にしたがって、アンインストールします。

1 Windows 98/Me を起動し、[マイコンピュータ] の [プリンタ] アイコンをダブルクリックする。(Windows Me の場合は、[マイコンピュータ][コントロールパネル][プリンタ] の順に選択)

2 本プリンタアイコンをクリックし、[ファイル] メニューから [プロパティ] を選択する

3 [プロパティ] ダイアログの [詳細] タブをクリックし、[ポートの削除] を使用し、「FUJITSU TCP/IP DPU Port」をすべて削除する

お願い
必ずすべての TCP/IP Direct Print Utility ポートが削除されていることを確認してから次へ進んでください。

ガイド
ポートがプリンタに使用されているために削除できない場合は、[印刷先のポート] を他に変更し、更新してから削除を行ってください。

4 [スタート] ー [ファイル名を指定して実行] の順にクリックし、[regedit] と入力し、[Enter] キーを押す

[レジストリエディタ] が起動します。

5. ［レジストリエディタ］から、HKEY_LOCAL_MACHINE ＞ SYSTEM ＞ CurrentControlSet ＞ Control ＞ Print ＞ Monitors の中の［FUJITSU TCP/IP DPU Port］キーを削除する

お願い

・レジストリの操作中に、レジストリの内容を誤って変更したり、削除したりすると、Windows 98/Me に悪影響をおよぼし、システムを正常に起動できなくなることがあります。
・レジストリの操作を行う前にバックアップを取るなどして、操作を慎重に行ってください。

ガイド

レジストリエディタの使用方法については、ヘルプを参照してください。

6. ［レジストリエディタ］を終了し、Windows を再起動する

7. Windows 98/Me を起動し、［スタート］－［プログラム］－［エクスプローラ］の順にクリックし（Windows Me の場合は、［スタート］－［プログラム］－［アクセサリ］－［エクスプローラ］の順に選択）、エクスプローラを起動するシステムルート（例：Windows）の中の SYSTEM ディレクトリにある以下の TCP/IP Direct Print Utility 関連ファイルを削除する

・XCDPUMON.DLL
・XCDPUMON.HLP

ネットワークソフトウェア独自の機能と制限事項

プリンタの状態について

プリンタの状態表示は、TCP/IP Direct Print Utility でポートを設定したパソコンから印刷した場合のみ表示されます。ポートを設定したパソコンで、プリンタを共有使用に設定して、共有先から印刷する場合は、プリンタの状態は表示されません。

プリンタスプールの設定について

プリンタプロパティの [詳細] タブの中にある [スプールの設定] において、[プリンタに直接印刷データを送る] を指定すると印刷が正常に行われないことがあります。この場合はプリンタプロパティの [詳細] タブにある [スプールの設定] を選択して表示される [プリンタスプールの設定] ダイアログボックス上の設定を、[印刷ジョブをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う] にして使用してください。

第7章
プリンタ共有の設定

この章では、プリンタをサーバ上で共有し、他のパソコンから印刷するために必要な設定について説明します。

Windows 98/Me のとき

ここでは、OS が Windows 98/Me のパソコンをサーバとして運用する場合と、クライアントとして運用する場合に必要となる設定について説明します。

サーバ側の設定

サーバとして運用する場合に必要な設定について説明します。

準 備

ネットワークの設定で、プリンタの共有ができるように設定します。

1. ［ネットワーク］プロパティを開く

   ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］の順に選択し、［ネットワーク］をダブルクリックします。

2. ［ファイルとプリンタの共有］をクリックする
3. ［プリンタを共有できるようにする］を選択し、［OK］をクリックする
4. ［ネットワーク］ダイアログの［OK］をクリックする
5. Windows を再起動する

設 定

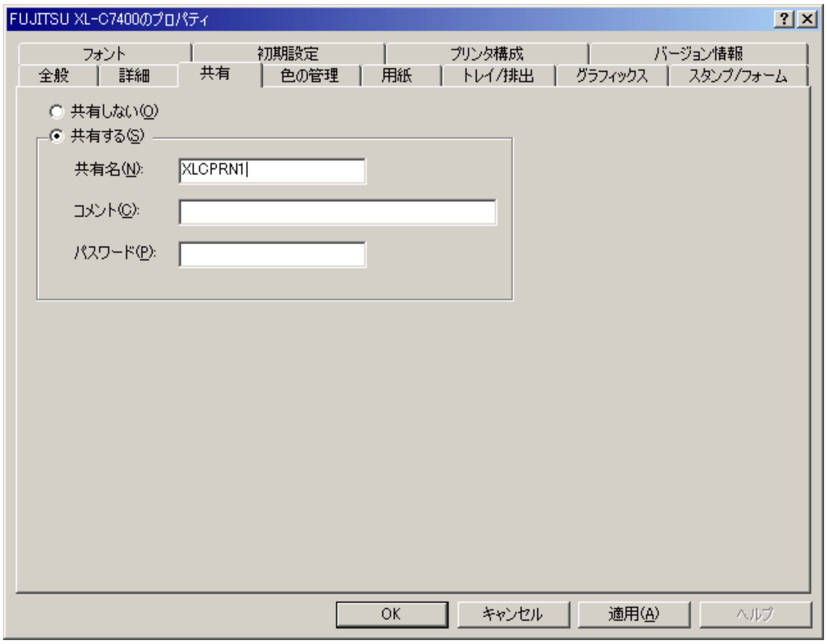
共有プリンタの設定手順は次のとおりです。

1. ［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順に選択し、共有するプリンタをクリックする

2. ［ファイル］メニュー－［共有］を選択する

3. 「共有する」を選択し、共有名を入力する

   必要に応じてコメント、パスワードを入力します。



・共有名
　共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここに指定した名前が表示されます。
・コメント
　プリンタの種類や設置場所などの共有プリンタに関するコメントを入力できます。
・パスワード
　他のユーザがこの共有プリンタに接続するときに使うパスワードを指定します。パスワードを使わないときは、空白のままにします。

4. 入力が終わったら、［OK］をクリックする

クライアント側の設定

Windows 98/Me をクライアントとして使用し、共有プリンタに印刷するときの設定について説明します。
Windows 98/Me のクライアントから Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP/
Windows Server 2003 のサーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークインストールによってプリンタドライバのインストールをサーバから簡単に行うことができます。

参照　代替インストールについては、「サーバ側の設定」参照
（Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のとき（151 ページ）、
Windows NT 4.0 のとき（155 ページ））

準 備

設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ	Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP/Windows Server 2003 が動作するパソコンです。あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。
クライアント	Windows 98/Me が動作するパソコンです。

設 定

1 エクスプローラを起動する

・Windows 98 の場合
［スタート］－［プログラム］－［エクスプローラ］の順に選択する
・Windows Me の場合
［スタート］－［プログラム］－［アクセサリ］－［エクスプローラ］の順に選択する

2 サーバで利用可能な共有プリンタを表示する

［ネットワークコンピュータ］（Windows Me は［マイネットワーク］）をダブルクリックし、ネットワーク上のコンピュータを表示します。一覧から共有プリンタのサーバをダブルクリックすると、利用可能な共有プリンタが表示されます。

3 設定を行う共有プリンタをダブルクリックし、ダイアログの指示にしたがってインストールする

ファイルがコピーされ、［プリンタ］フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。

Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のとき

ここでは、OS が Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のパソコンをサーバとして運用する場合と、クライアントとして運用する場合に必要となる設定について説明します。

サーバ側の設定

サーバとして運用する場合に必要な設定について説明します。

1 Windows 2000/XP/Windows Server 2003 を起動する

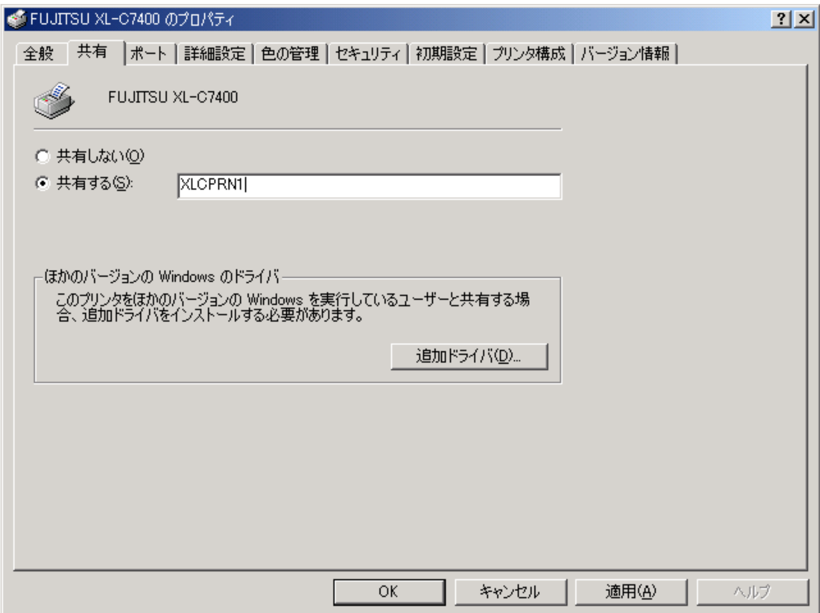
> **ガイド**
> 管理者権限でログオンしてください。

2 共有プリンタを選択する

・Windows 2000 の場合
［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順に選択し、共有するプリンタをクリックする
・Windows XP/Windows Server 2003 の場合
［スタート］－［プリンタと FAX］を選択し、共有するプリンタをクリックする

3 ［ファイル］メニュー－［共有］を選択する

4 「共有する」を選択し、共有名を入力する



共有名　共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここで指定した名前が表示されます。ただし、全角７文字以上、半角13文字以上の名前を設定すると、Windows 98/Me のパソコン（クライアント）からプリンタのネットワークパスを参照できなくなりますのでご注意ください。

クライアントのOSがWindows 98/Me/NT 4.0の場合は、引き続き 5 以降の操作で追加ドライバのインストールを行ってください。
（ダイアログはWindows 98/Meの追加ドライバをインストールする場合）

ガイド

- 追加ドライバをインストールしないときは、［OK］をクリックして設定を終了します。
- 共有するプリンタドライバの名称と、追加ドライバのリストに表示されているプリンタドライバの名称が異なる場合、追加ドライバをインストールできません。

5 ［追加ドライバ］をクリックする

6 「追加ドライバ」リストからクライアントのOSを☑にし、［OK］をクリックする

7 「コピー元」にクライアントのOS用プリンタドライバのフォルダ名を直接入力する、または［参照］をクリックしてプリンタドライバのフォルダ名を選択し、［開く］をクリックする

入力が終わったら［OK］をクリックします。
プリンタドライバのフォルダ名は、次のように指定します。（CD-ROMドライブがF:の場合）

Windows 98/Meの場合	F:¥XL-C7400¥DRIVER¥WIN98_ME
Windows NT 4.0の場合	F:¥XL-C7400¥DRIVER¥WINNT40

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了したら、追加ドライバのインストールは終了です。

ガイド

Windows 2000/XP/Windows Server 2003の場合は、必要に応じて次の操作をします。

- Windows 2000の場合
  ［デジタル署名が見つかりませんでした］ダイアログが表示されたときは、［はい］をクリックします。
- Windows XP/Windows Server 2003の場合
  ［ハードウェアのインストール］ダイアログが表示されたときは、［続行］をクリックします。

クライアント側の設定

Windows 2000/XP/Windows Server 2003 をクライアントとして使用し、共有プリンタに印刷するときの設定について説明します。
Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のクライアントから Windows 2000/XP/Windows Server 2003 サーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークインストールによってプリンタドライバのインストールをサーバから簡単に行うことができます。

ネットワークインストール

Windows 2000/XP のクライアントから Windows 2000/XP/Windows Server 2003 サーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークインストールによってプリンタドライバのインストールをサーバから簡単に行うことができます。

お願い

サーバが Windows 2000/XP/Windows Server 2003 以外の場合は、ネットワークインストールでは正しくインストールできません。「ポート変更による方法」でインストールしてください。

7

●準 備

設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ　Windows 2000/XP/Windows Server 2003 が動作するパソコンです。あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。

クライアント　Windows 2000/XP/Windows Server 2003 が動作するパソコンです。

●設 定

1 エクスプローラを起動する

・Windows 2000 の場合
［スタート］－［プログラム］－［アクセサリ］－［エクスプローラ］の順に選択する
・Windows XP/Windows Server 2003 の場合
［スタート］－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［エクスプローラ］の順に選択する

2 ［マイネットワーク］の［ネットワーク全体］を表示し、［コンピュータの検索］（Windows XP/Windows Server 2003 の場合は［検索］）をクリックし、「コンピュータ名」に共有プリンタのサーバ名を入力して検索する

検索結果から共有プリンタのサーバをダブルクリックすると、利用可能な共有プリンタが表示されます。

3 設定を行う共有プリンタをダブルクリックし、ダイアログの指示にしたがってインストールする

ファイルがコピーされ、［プリンタ］フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。

セットアップ編

ポート変更による方法

Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のクライアントからサーバが Windows 2000/XP/Windows Server 2003 以外の共有プリンタを使用する場合は、ローカルのプリンタポートを仮に指定して CD-ROM からプリンタドライバのインストールを行ってください。その後、ポートを変更して共有プリンタに接続します。
この場合は、管理者権限でログオンしてください。

●準 備

設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ　Windows 98/Me/NT 4.0 が動作するパソコンです。あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。

クライアント　Windows 2000/XP/Windows Server 2003 が動作するパソコンです。

●設 定

1 プリンタドライバをインストールする

参照　プリンタドライバのインストールについては、
「第５章 ネットワークを利用せずにプリンタを接続する」（99 ページ）参照
「第６章 ネットワークを利用してプリンタを接続する」（115 ページ）参照

インストール中に印刷先ポートの指定、およびテスト印刷を行うかどうかを尋ねられます。印刷先ポートはLPT1 を、テスト印刷は「いいえ」（テスト印刷をしない）を選択します。

お願い

2の操作の前にテストページを印刷すると、「応答なし」エラーが表示され印刷できません。そのときは、「印刷中止」をクリックしてください。

2 印刷先のポートを共有プリンタのネットワークパスに変更する

① プリンタを選択する
・Windows 2000 の場合
［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順で選択し、設定を行うプリンタを選択する
・Windows XP/Windows Server 2003 の場合
［スタート］－［プリンタと FAX］を選択し、設定を行うプリンタを選択する

② ［ファイル］メニュー－［プロパティ］を選択し、［ポート］タブをクリックする

③ ［ポートの追加］をクリックする

④ 「Local Port」を選択し、［新しいポート］をクリックする

⑤ ［ポート名］ダイアログに共有プリンタのネットワークパス（「¥¥ サーバのネットワークコンピュータ名¥プリンタの共有名」）を入力する
入力が終わったら、［OK］をクリックして設定を終了します。

Windows NT 4.0 のとき

ここでは、OS が Windows NT 4.0 のパソコンをサーバとして運用する場合と、クライアントとして運用する場合に必要となる設定について説明します。

サーバ側の設定

サーバとして運用する場合に必要な設定について説明します。

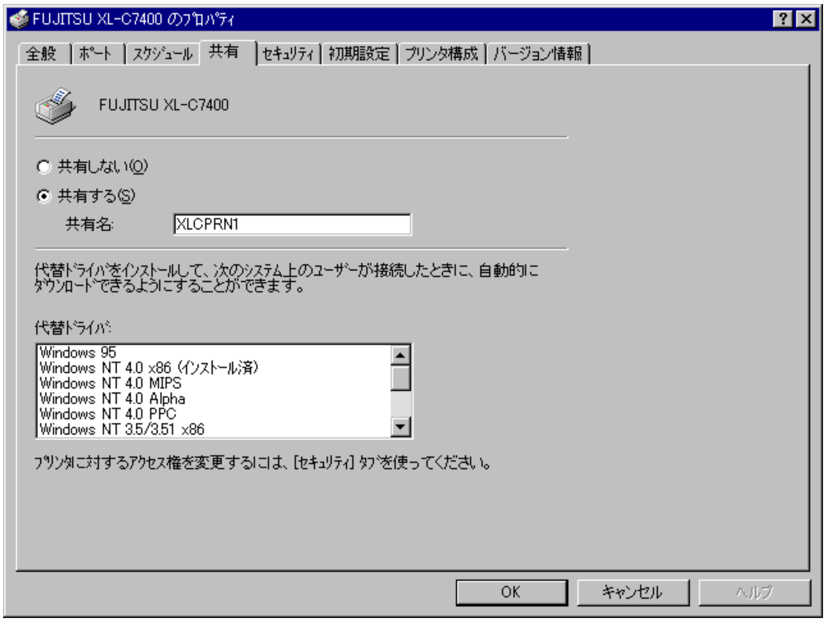
設 定

共有プリンタの設定手順は次のとおりです。

1. Windows NT 4.0 を起動する

> **ガイド**
> 管理者権限でログオンしてください。

2. ［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順に選択し、共有するプリンタをクリックする
3. ［ファイル］メニュー－［共有］を選択する
4. 「共有する」を選択し、共有名を入力する



共有名　共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここに指定した名前が表示されます。ただし、全角７文字以上、半角 13 文字以上の名前を設定すると、Windows 98/Me のパソコン（クライアント）からプリンタのネットワークパスを参照できなくなりますのでご注意ください。クライアントの OS が Windows 98/Me の場合は、引き続き5以降の操作で代替ドライバのインストールを行ってください。

ガイド

代替ドライバをインストールしないときは、[OK] をクリックして設定を終了します。

5 「代替ドライバ」リストからクライアントのOS を選択し、[OK]をクリックする

ガイド

Windows 98/Me の代替ドライバをインストールするときも、「Windows 95」を選択してください。なお、代替ドライバがすでにインストールされている場合は、「(インストール済)」と表示されます。

6 添付のプリンタソフトウェアCD-ROM をパソコンのCD-ROM ドライブにセットする

7 「コピー元」に「F:¥XL-C7400¥DRIVER¥WIN98_ME」と入力する、または［参照］をクリックして「F:¥XL-C7400¥DRIVER¥¥WIN98_ME」を選択する（CD-ROM ドライブが F: の場合）

入力が終わったら［OK］をクリックします。
ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了したら、代替ドライバのインストールは終了です。

クライアント側の設定

Windows NT 4.0 をクライアントとして使用し、共有プリンタに印刷するときの設定について説明します。
Windows NT 4.0 のクライアントから Windows NT 4.0/2000/XP/Windows Server 2003 のサーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークインストールによってプリンタドライバのインストールをサーバから簡単に行えます。

ガイド

サーバが Windows 98/Me の場合は、クライアント側のプリンタドライバのインストールは CD-ROM から行う必要があります。

●準 備

クライアント側の設定には、本製品添付の CD-ROM が必要です。(サーバが Windows 98/Me のとき)
また、設定前にサーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ	Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP/Windows Server 2003 が動作するパソコンです。あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。
クライアント	Windows NT 4.0 が動作するパソコンです。

●設 定

1. [スタート]－[プログラム]－[Windows NT エクスプローラ]の順に選択する

2. [ネットワークコンピュータ] をクリックし、一覧から共有プリンタのサーバをダブルクリックする

   利用可能な共有プリンタが表示されます。

3. 設定を行う共有プリンタをダブルクリックし、ダイアログの指示にしたがってインストールする

   ファイルがコピーされ、[プリンタ] フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。

運　用　編

運用編では、本プリンタを日常的に使用する場合に必要な機能や用紙のセット方法、メンテナンスのしかたなどを説明しています。また、運用中にエラーメッセージが表示されたり、困ったときの対処方法も説明しています。

第８章
日常の操作

この章では、本プリンタで印刷するうえで必要となる操作について説明します。

機能の利用法

本プリンタに搭載している機能で次のことができます。

●きれいに印刷したい

プリンタドライバの［グラフィックス］ダイアログで以下の設定をすると、細かい図面や写真を、よりきれいに印刷できるようになります。

・階調をなめらかに表現したいときは、「高画質」を選択する
・細かい線画や地図などを印刷するときは、「高精細」を選択する

「スムージングする」は、文字や図形の線をなめらかにしますが、写真には向きません。

参照　「［グラフィックス］ダイアログ」（219 ページ）参照

●速く印刷したい

プリンタドライバで解像度を下げる設定をすると、速く印刷できるようになります。なお、解像度を下げると、印刷品質が多少落ちます。

参照　「［グラフィックス］ダイアログ」（219 ページ）参照

●節約したい

プリンタドライバで以下の設定をすると、紙やトナーを節約できます。

・まとめて１枚
　２ページから８ページ分の文書を、１枚の用紙に印刷します。
・両面印刷する
　用紙の両面に印刷します。（オプションの両面ユニットが必要です。）

参照　「［用紙］ダイアログ」（211 ページ）参照

・トナーを節約する
　トナーセーブ機能があります。

参照　「［グラフィックス］ダイアログ」（219 ページ）参照

●部単位で印刷したい

ソート機能を利用すると、複数部数を部単位（ソート）で印刷できます。アプリケーションで部単位印刷をサポートしていない場合でも有効です。

参照　「［トレイ / 排出］ダイアログ」（217 ページ）参照

●拡大縮小印刷したい

作成したデータを拡大または縮小して印刷することができます。

参照　「［用紙］ダイアログ」（211 ページ）参照

印刷手順

アプリケーションで作成したデータを、実際に印刷するときの操作について説明します。印刷手順はアプリケーションによって異なります。
ここでは、Windows 98 環境でワードパッドを使った場合を例に説明します。

1. ワードパッドでデータを作成する
2. ［ファイル］メニューから［印刷］を選択する
3. 「XL-C7400」が選択されていることを確認し、［プロパティ］をクリックする
4. 必要な項目を設定し、［OK］をクリックする

   参照　各設定項目の詳細は、「第 10 章 プリンタドライバの機能と利用方法」（203 ページ）参照

   参照　用紙のセット方法については、「第 13 章 用紙について」（279 ページ）参照

5. ［OK］をクリックする

   印刷が開始されます。

   参照　うまく印刷できないときは、「第 14 章 こんなときには」（305 ページ）参照

印刷を中止する

印刷を中止するには、まずパソコン側で印刷の指示を取り消します。印刷を取り消すことができなかった場合は、プリンタ側で印刷を取り消します。
印刷を指示した印刷データの処理状況はパソコン側で確認できます。

パソコンの画面から中止する

Windowsから中止する

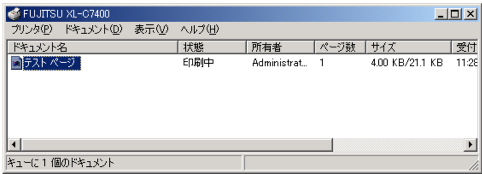
Windows で印刷の指示を取り消す手順について説明します。

1. ［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックする

   Windows XP/Windows Server 2003 では、［スタート］－［プリンタと FAX］の順にクリックします。

2. ［XL-C7400］のアイコンをダブルクリックする

3. 表示されたウィンドウから、任意のドキュメント名をクリックし、削除（「Delete」キーを押す）する



Internet Servicesから中止する

Internet Services を使用して、プリンタに指示した印刷を中止することもできます。

参照　「第 11 章 インターネットサービスの設定（Internet Services）」（225 ページ）参照

オペレータパネルから中止する

処理中の印刷データを中止する

プリンタ側で、処理中の印刷データの印刷を中止するには、プリンタのオペレータパネルの「プリント中止」スイッチを押します。ただし、すでに印刷中のページは印刷されます。

プリンタ内のすべての印刷データを中止する

プリンタに受信されているすべての印刷データに対して、印刷を中止する方法を説明します。この操作によって、印刷データの受信を中断し、バッファを空の状態にできます。

> **ガイド**
> ・バッファとは、パソコンから送信されたデータを蓄えておく場所のことです。
> ・新しい印刷データの受信を中断し、プリンタ内にスプールされている印刷データをすべて印刷してバッファを空の状態にする方法もあります。
> 参照　「印刷データを強制的に排出する」（167 ページ）参照

次の手順にしたがって、印刷を中止します。

1 「オンライン」スイッチを押す

```
ｵﾌﾗｲﾝ
ﾃﾞｰﾀ ｱﾘ
```

（オフライン状態）

2 「プリント中止」スイッチを押す

```
ｽﾍﾞﾃﾉ ﾃﾞｰﾀｦ
ﾁｭｳｼ ｼﾃｲﾏｽ
```

（すべての受信データの印刷が中止されます。）

```
ｵﾌﾗｲﾝ
```

3 「オンライン」スイッチを押す

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
```

運用編

8

印刷データの状態を確認する

Windowsから確認する

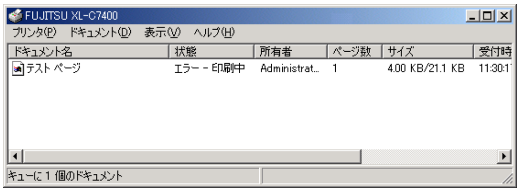
Windows をお使いの場合に印刷を指示したデータの印刷状態を確認する方法について説明します。

1. ［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックする

   Windows XP/Windows Server 2003 では、［スタート］－［プリンタと FAX］の順にクリックします。

2. ［XL-C7400］のアイコンをダブルクリックする

3. 表示されたウィンドウで［状態］を確認する



Internet Servicesから確認する

Internet Services を使用して、プリンタに指示した印刷ジョブの状態を確認できます。

参照　「第 11 章 インターネットサービスの設定（Internet Services）」（225 ページ）参照

印刷データを強制的に排出する

本プリンタが受信しているすべての印刷データを実行して印刷します。

参照　本プリンタが受信したすべてのジョブを消去する方法もあります。消去する方法については、「印刷を中止する」（164 ページ）参照

1「オンライン」スイッチを押す

ｵﾌﾗｲﾝ
ﾃﾞｰﾀ ｱﾘ

（オフライン状態）

2「排出 / セット」スイッチを押す

ｽﾍﾞﾃﾉ ﾃﾞｰﾀｦ
ﾊｲｼｭﾂ ｼﾃｲﾏｽ

（すべての受信データが印刷されます）

ｵﾌﾗｲﾝ

3「オンライン」スイッチを押す

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ

ガイド

- 「オンライン」スイッチを押すと、本プリンタは自動的にデータの受信ができないオフライン状態になります。
- パラレルインタフェース、USB インタフェースを使用している場合、1の「オンライン」スイッチを押すタイミングによって、データ受信がジョブの途中になることがあります。この場合、それ以降の印刷データは「排出 / セット」スイッチを押したあとに、新しい印刷ジョブとして認識され、3のオフライン解除後、新しい印刷ジョブとして処理されます。
- パラレルインタフェース、USB インタフェースを使用している場合、オフライン解除後、新しいジョブとして処理されるデータは、正常に印刷されないことがあります。

節電を解除する

本プリンタは、待機しているときの電力の消費を抑えるために一定の時間印刷データを受信しないとスリープモード（節電モード）に移行します。
工場出荷時は、15 分間データを受信しないと、スリープモードに移行する設定になっています。
スリープモードに移行するかどうか、および移行する場合はスリープモードに切り替わるまでの時間を 15 ～ 240 分の間で設定できます。スリープモード時の消費電力は 4W 以下となり、スリープモードから印刷できる状態になるまでの時間は約 30 秒です。
スリープモード中に印刷データを送信すると、スリープモードが自動的に解除され印刷処理を開始します。
手動で節電状態を解除する場合は、オペレータパネルの「節電」スイッチを押してください。

ガイド

- 本プリンタのオペレータパネルでは、スリープモード状態のとき、節電ランプ（緑色）が点灯します。
- 節電モードの設定の変更手順については、「操作例：節電モードの設定を変更する」（179 ページ）を参照してください。
- 本プリンタには、スリープモードのほかに低電力モードもあります。低電力モードとは、約 15 分間印刷データを受信しないと、自動的にフューザ部の温度を少し下げて電力を節約するモードです。低電力モードに移行したときの状態、および解除方法は、スリープモードと同じです。低電力モードの設定は、変更できません。

プリンタの設定情報を取得する

本プリンタをネットワークプリンタとして使用している場合は、プリンタのオプション構成やオペレータパネルで設定したトレイに対する用紙種類や用紙サイズなどを、プリンタドライバに読み込むことができます。この設定は、[プリンタ構成] ダイアログで行います。

参照　「[プリンタ構成］ダイアログ」（210 ページ）参照

お願い

本プリンタをローカルプリンタとして使用している場合は、この機能は使用できません。プリンタドライバの該当する項目を手動で設定してください。

ガイド

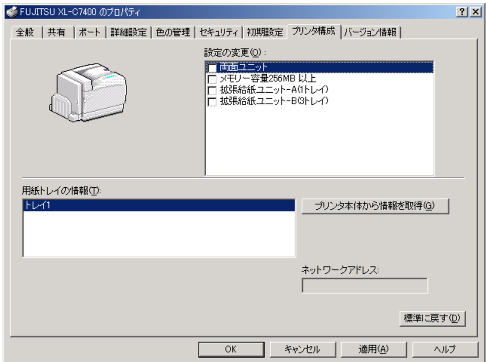
Windows NT 4.0/2000/XP/Windows Server 2003 では、管理者権限があるユーザの場合にだけ設定を変更できます。権限がないユーザは、内容の確認が行えます。

1. ［スタート］メニューの［設定］から、［プリンタ］をクリックし、「XL-C7400」のプロパティを表示する

2. ［プリンタ構成］タブをクリックする

3. ［プリンタ本体から情報を取得］をクリックする

   プリンタ検索ダイアログが表示されます。



4. ブロードキャストアドレスによるプリンタ検索または IP アドレスの直接指定を行う

5. [完了] をクリックする

   本プリンタの情報がプリンタドライバに読み込まれ、取得された情報に従って、[設定の変更]、[用紙トレイの情報] の内容が更新されます。

6 ［OK］をクリックする

プリンタから取得した情報に従って、［プリンタ構成］ダイアログの内容が更新されます。

ガイド

- ［用紙トレイ設定］の用紙サイズと向きは、自動検知されたサイズが読み込まれます。
- ［用紙トレイ設定］の用紙種類は、オペレータパネルで設定されている用紙種類が読み込まれます。
- 検索方法として、IPX は未サポートです。必ず TCP/IP プロトコルで検索を行ってください。
- Windows NT 4.0/2000/XP/Windows Server 2003 では、2 回目以降の情報取得で 4、5 を省略できます。

プリンタドライバの削除

バージョンアップなどによりプリンタドライバを置き換える場合は、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。

ガイド

プリンタドライバを置き換えると、プリンタドライバのすべての設定が初期値に戻ります。

お願い

Windows NT 4.0/2000/XP/Windows Server 2003 が動作するパソコンをご使用になっている場合、管理者権限でログオンしてください。

運用編
8

プリンタドライバは、次の手順に従って削除してください。

1. ［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順に選択する（Windows XP/Windows Server 2003 の場合には、［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］をクリックする）
2. ［FUJITSU XL-C7400］を右クリックし、［削除］を選択する
3. 以降、画面の指示に従って操作する

ガイド

Windows 2000/XP/Windows Server 2003 の場合は、4へ進んでください。

4. 「プリンタ」フォルダ（Windows XP/Windows Server 2003 では［プリンタと FAX］フォルダ）の［ファイル］－［サーバーのプロパティ］を選択する
5. ［ドライバ］タブで削除する機種名を選択し、［削除］をクリックする

新しいプリンタドライバに置き換える

お願い

・必ず古いプリンタドライバを削除し、パソコンを起動し直してからこの作業を行ってください。

参照 「プリンタドライバの削除」（171 ページ）

・Windows NT 4.0/2000/XP/Windows Server 2003 が動作するパソコンをご使用になっている場合、管理者権限でログオンしてください。

Windows 98/Meの場合

バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。

1. プリンタの電源を入れた状態で Windows を起動する
2. ［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックする
3. ［FUJITSU XL-C7400］を選択し、［ファイル］メニューから［削除］をクリックする
4. プリンタの削除を確認する画面が表示されたら、［はい］をクリックする
5. Windows を再起動する

   古いプリンタドライバを削除したら、Windows を再起動します。
6. 新しいプリンタドライバをインストールする

参照 「第５章 ネットワークを利用せずにプリンタを接続する」（99 ページ）参照

参照 「第６章 ネットワークを利用してプリンタを接続する」（115 ページ）参照

ガイド

インストールの途中でドライバを使うか新しいドライバに置き換えるかを選択する画面が表示されるので、［新しいドライバに置き換える］を選択してください。

Windows NT 4.0の場合

バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。

ガイド

プリンタドライバを置き換えると、ドライバの設定がすべて初期値に戻ります。

古いプリンタドライバは、次の手順で削除します。

1. ［マイコンピュータ］の［プリンタ］をダブルクリックし、［プリンタ］フォルダを開く
2. 該当するプリンタを選択し、［ファイル］メニューから［削除］をクリックする
3. プリンタの削除を確認する画面が表示されたら、［はい］をクリックする
4. Windows を再起動する

   古いプリンタドライバを削除したら、Windows を再起動します。
5. 新しいプリンタドライバを、「ウィザードによるセットアップ　（パラレル接続：Windows 98/Me/NT 4.0/2000）」（102 ページ）の手順でインストールする

> **ガイド**
>
> インストールの途中で、現在のドライバを使うか新しいドライバに置き換えるかを選択する画面が表示されるので、［新しいドライバに置き換える］を選択してください。

Windows 2000 の場合

バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。

> **ガイド**
>
> プリンタドライバを置き換えると、ドライバの設定がすべて初期値に戻ります。

古いプリンタドライバは、次の手順で削除します。

1. ［マイコンピュータ］の［コントロールパネル］をダブルクリックし、［コントロールパネル］を開く
2. ［コントロールパネル］の［プリンタ］をダブルクリックし、［プリンタ］フォルダを開く
3. 該当するプリンタを選択し、［ファイル］メニューから［削除］をクリックする
4. プリンタの削除を確認する画面が表示されたら、［はい］をクリックする
5. ［プリンタ］フォルダの［ファイル］メニューから［サーバのプロパティ］をクリックし、［ドライバ］タブで該当するプリンタを選択し、［削除］をクリックする
6. Windows を再起動する

   古いプリンタドライバを削除したら、Windows を再起動します。

7. 新しいプリンタドライバを、「ウィザードによるセットアップ　（パラレル接続 : Windows 98/Me/NT 4.0/2000）」（102 ページ）の手順でインストールする

ガイド

インストールの途中で、現在のドライバを使うか新しいドライバに置き換えるかを選択する画面が表示されるので、［新しいドライバに置き換える］を選択してください。

Windows XP/Windows Server 2003の場合

バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。

ガイド

プリンタドライバを置き換えると、ドライバの設定がすべて初期値に戻ります。

古いプリンタドライバは、次の手順で削除します。

1. ［スタート］メニューより［プリンタと FAX］を選択する
2. 該当するプリンタを選択し、［ファイル］メニューから［削除］をクリックする
3. プリンタの削除を確認する画面が表示されたら、［はい］をクリックする
4. ［プリンタ］フォルダの［ファイル］メニューから［サーバのプロパティ］をクリックし、［ドライバ］タブで該当するプリンタを選択し、［削除］をクリックする
5. Windows を再起動する

   古いプリンタドライバを削除したら、Windows を再起動します。

6. 新しいプリンタドライバをインストールする

   参照　「第５章 ネットワークを利用せずにプリンタを接続する」（99 ページ）参照

ガイド

インストールの途中で、現在のドライバを使うか新しいドライバに置き換えるかを選択する画面が表示されるので、［新しいドライバに置き換える］を選択してください。

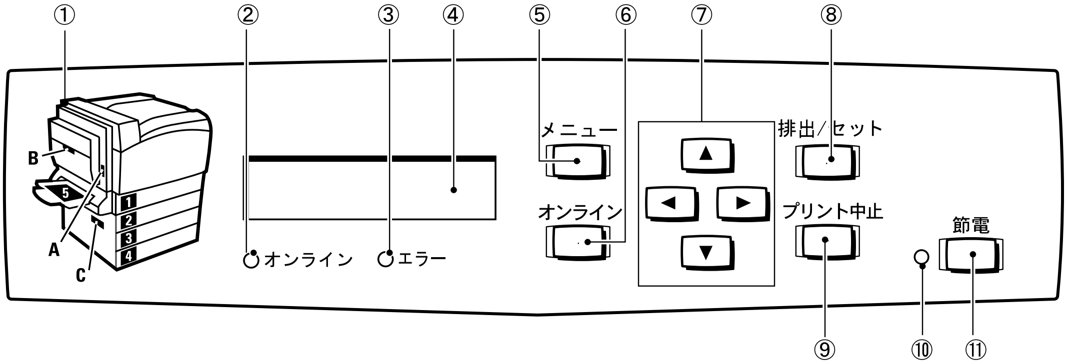
第９章

オペレータパネルの操作

この章では、オペレータパネルの液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作のしかたについて説明します。

オペレータパネルの各部の名称と機能

オペレータパネルには、操作に必要なスイッチ、表示ランプ、および液晶ディスプレイがあります。ここでは、オペレータパネルの操作について説明します。



番号	名　　称	機　　能
①	表示部	エラーが発生した場合に、メッセージに表示されるカバーや用紙トレイの位置をここで確認します。
②	オンラインランプ	本ランプもしくは節電ランプが点灯中は、パソコンからのデータを受信できる状態を表しています。
③	エラーランプ	エラー時やプリンタの異常時に点灯します。
④	液晶ディスプレイ	設定項目、プリンタの状態、メッセージなどを表示します。 参照 「液晶ディスプレイの表示内容」(177 ページ)
⑤	メニュースイッチ	メニュー操作に移行します。
⑥	オンラインスイッチ	「オンライン」スイッチを押すと、オフライン状態に移行します。オフライン中は、データの受信、印刷処理を行いません。再度押すと、オフライン状態が解除され、オンライン状態（パソコンからのデータ受信が可能な状態）に移行します。
⑦	◀ ▶ ▲ ▼ スイッチ	メニュー、項目、候補値間を移行します。本書では、「◀」「▶」「▲」「▼」スイッチで表します。 「▲」「▼」スイッチで候補値を変更するときに、スイッチを押しつづけると、連続的に表示を変えることができます。
⑧	排出 / セットスイッチ	メニューの候補値の設定を行います。レポート / リストを印刷するときにも使用します。
⑨	プリント中止	印刷を中止します。
⑩	節電ランプ	節電中に緑色に点灯します。
⑪	節電スイッチ	節電中に押すと節電状態を解除し、節電していないときに押すと節電モードに移行します。

液晶ディスプレイの表示内容

電源投入時の表示内容

プリンタの電源を入れると、プリンタが動作するために必要な診断が行われます。
診断が終わり、プリンタを使用できるようになると、液晶ディスプレイに「プリントデキマス」と表示されます。

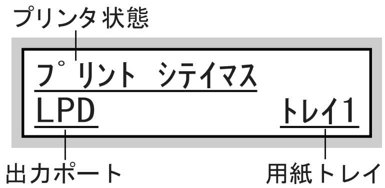
オンライン時（印刷できる状態）の表示内容

プリンタの状態を表す「プリント画面」と、プリンタに関する設定を行うための「メニュー画面」があります。

ガイド
本プリンタに取り付けられているオプションや、設定の状態によって表示されるメッセージは異なります。

プリント画面

印刷しているときやデータを待っているときは、液晶ディスプレイはプリント画面になっています。プリント画面では、次のような内容が表示されます。



メニュー画面

本プリンタに関する設定を行う画面です。
メニュー画面は、「メニュー」スイッチを押して表示します。メニュー画面に移ると、最初に次の画面が表示されます。

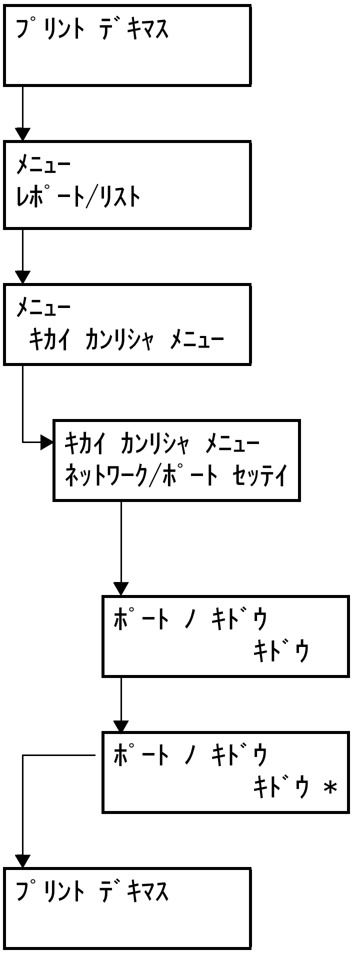


参照　メニュー画面で設定できる項目は、「メニューの項目説明」（185 ページ）参照

オペレータパネルからの設定

基本的な操作

メニュー画面を表示したり、各メニューで階層を移りながらプリンタの設定をしたりするときには、次のスイッチを押します。



・メニュー設定の画面を表示するには
プリンタの電源が入っている状態で、「メニュー」スイッチを押します。

・項目間を移動するには
「▲」または「▼」スイッチを押します。

・階層を移動するには
「▶」スイッチを押すと、１つ下の階層に移ります。
「◀」スイッチを押すと、１つ上の階層に戻ります。

・設定を変更するには「▲」または「▼」スイッチを押してポート起動の状態を選択します。

・設定を確定するには「排出 / セット」スイッチを押すと、候補値のうしろに「＊」が表示され、設定が確定します。

・プリントできる状態に戻るには
「メニュー」スイッチを押します。

ガイド

「メニュー」スイッチを押してから「プリント デキマス」のメッセージが表示されるまで、時間がかかります。

ガイド

一度「排出 / セット」スイッチを押して確定した値（「＊」が付きます）を変更するときは、はじめから設定し直してください。

運用編

9

操作例：節電モードの設定を変更する

メニューの設定方法について、節電モードの移行時間を「60 分後」に設定する場合を例に説明します。

1 「メニュー」スイッチを押す

ﾒﾆｭｰ
ﾚﾎﾟｰﾄ/ﾘｽﾄ
（メニューの表示）

2 「▲」または「▼」スイッチを何度か押す

ﾒﾆｭｰ
ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ

3 「▶」スイッチを押す

ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
ﾈｯﾄﾜｰｸ/ﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ
（機械管理者メニューの表示）

4 「▲」または「▼」スイッチを何度か押して「システム セッテイ」を選択する

ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
ｼｽﾃﾑ ｾｯﾃｲ

5 「▶」スイッチを押す

ｼｽﾃﾑ ｾｯﾃｲ
ｲｼﾞｮｳ ｹｲｺｸｵﾝ
（システム セッテイの表示）

6 「▲」または「▼」スイッチを何度か押して「セツデンモード」を選択する

ｼｽﾃﾑ ｾｯﾃｲ
ｾﾂﾃﾞﾝ ﾓｰﾄﾞ

7 「▶」スイッチを押す

ｾﾂﾃﾞﾝ ﾓｰﾄﾞ
ﾑｺｳ ＊
（節電モードの表示）
注）工場出荷時は、「ユウコウ」に設定されています。

8 「▲」または「▼」スイッチを押して節電モード機能を使用するかどうかを選択する

ｾﾂﾃﾞﾝ ﾓｰﾄﾞ
ﾕｳｺｳ

次ページに

前ページから

9 「排出／セット」スイッチを押す（節電モードの設定が確定され、＊が表示されます。）

```
ｾﾂﾃﾞﾝ ﾓｰﾄﾞ
        ﾕｳｺｳ ＊
```

節電モードを有効に設定した場合は、10 に進み節電モード移行時間を設定します。無効に設定した場合は、15 に進みます。

10 「◀」スイッチを押す

```
ｼｽﾃﾑ ｾｯﾃｲ
    ｾﾂﾃﾞﾝ ﾓｰﾄﾞ
```

（システム セッテイの表示）

11 「▲」または「▼」スイッチを何度か押して「セツデンモード イコウジカン」を選択する

```
ｼｽﾃﾑ ｾｯﾃｲ
ｾﾂﾃﾞﾝﾓｰﾄﾞ ｲｺｳｼﾞｶﾝ
```

12 「▶」スイッチを押す

```
ｾﾂﾃﾞﾝﾓｰﾄﾞ ｲｺｳｼﾞｶﾝ
       15 ﾌﾝｺﾞ ＊
```

（節電モード移行時間の表示）

13 「▲」または「▼」スイッチを何度か押して節電モードに移行する時間を設定する

15～240 分の範囲で、1 分単位に設定できます。

```
ｾﾂﾃﾞﾝﾓｰﾄﾞ ｲｺｳｼﾞｶﾝ
       60 ﾌﾝｺﾞ
```

14 「排出／セット」スイッチを押す

節電モードに移行する時間が設定され、＊が表示されます。

```
ｾﾂﾃﾞﾝﾓｰﾄﾞ ｲｺｳｼﾞｶﾝ
       60ﾌﾝｺﾞ ＊
```

15 「メニュー」スイッチを押す

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
```

（データ受信可能な状態に戻ります。）

メニューの項目一覧

本メニューでは、ネットワーク / ポート設定、システム設定（警告音、節電モード、システム時計など）、プリント設定、メモリ設定、画質補正、プリンタの設定値の初期化、フォームデータなどが操作できます。
メニューの構成は、次のとおりです。

- プリントデキマス
  - レポート / リスト
    参照「レポート / リストを印刷する」（247 ページ）参照
  - メーター　カクニン
    参照「総印刷枚数を確認する」（255 ページ）参照
  - キカイ　カンリシャ メニュー
    - ネットワーク / ポート セッテイ
      参照「ネットワーク / ポート設定」（185 ページ）参照
    - システム　セッテイ
      参照「システム設定」（193 ページ）参照
    - プリント　セッテイ
      参照「プリント設定」（196 ページ）参照
    - メモリーセッテイ
      参照「メモリー設定」（199 ページ）参照
    - ガシツ　ホセイ
      参照「画質補正」（201 ページ）参照
    - ショキカ/データサクジョ
      参照「初期化 / データ削除」（201 ページ）参照
    - エンジンクリーニング
      参照「エンジンクリーニング」（202 ページ）参照
  - コトバ　キリカエ
    本プリンタでは未サポート機能です。

お願い

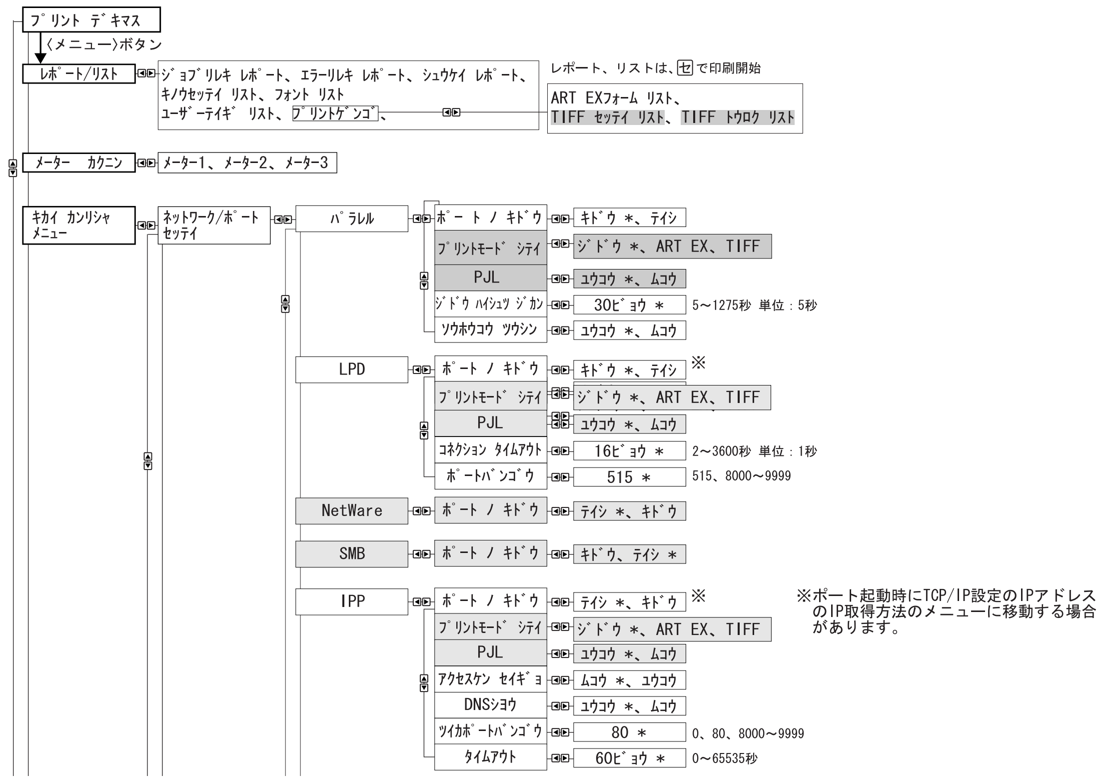
設定を変更しないでください。

●表記について

▲ ▼ ◀ ▶	「▲」「▼」「◀」「▶」スイッチを押します。	「▲」「▼」スイッチは、同階層内でメニューや項目を切り替えます。「▲」スイッチを押すと 1 つ前、「▼」スイッチを押すと 1 つあとのメニューや項目が表示されます。 「◀」「▶」スイッチは、メニューの階層を切り替えたり、設定値のカーソル (_) を左右に移動したりします。メニューで「▶」スイッチを押すと 1 つ下の階層に移り、「▶」スイッチを押すと 1 つ上の階層に戻ります。
セ	「排出 / セット」スイッチを押します。	設定を確定します（設定した値には「*」が付きます）。
	未サポート	本機能は、サポートしていません。 設定を変更しないでください。
＊	初期値	工場出荷時の設定値です。

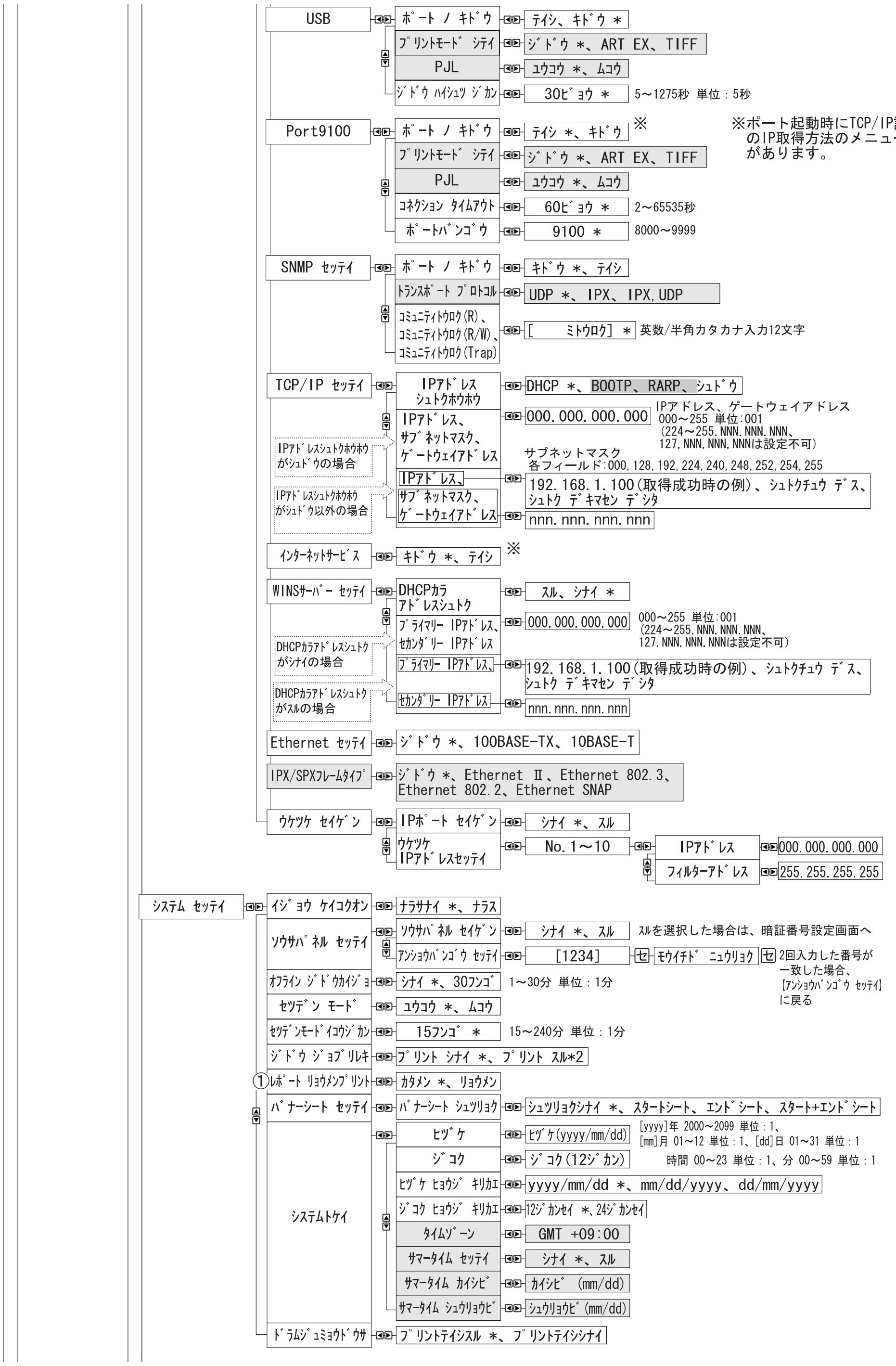
ガイド

・枠内の設定値は、「▲」、「▼」スイッチで移動します。
・メニュー画面を終了するには、「メニュー」スイッチを押します。



次ページに

前ページから

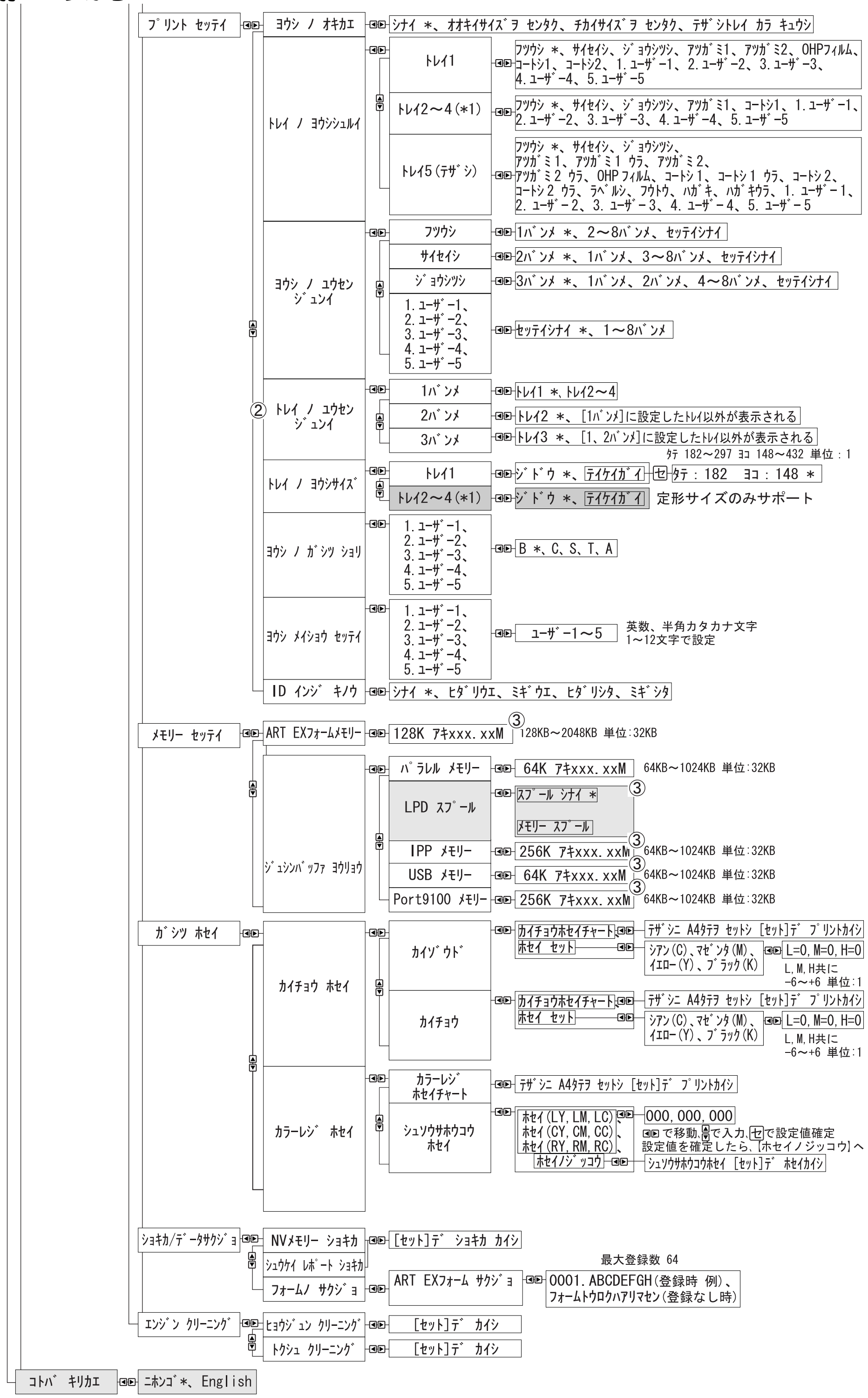


次ページに

運用編

9

前ページから



①：オプションの両面ユニットを取り付けた場合に表示されます。
②：オプションの拡張給紙ユニットを取り付けた場合に表示されます。
③：「xxxK アキ xxxM」の表示は、バッファ容量、フォーム登録等の印刷補助機能として確保されるメモリ領域を示します。「アキ xxxM」に示された領域を超えるような、メモリの設定はできません。

メニューの項目説明

ここでは、メニューモードに表示される項目とその機能を説明します。なお、設定を変更できない項目の初期値は記載していません。

参照　本プリンタで設定できるメニューの一覧は、「メニューの項目一覧」(181 ページ) 参照

ネットワーク / ポート設定

ネットワーク / ポート設定メニューは、パソコンに接続されている本プリンタのインタフェースの種類、およびその通信に必要な条件を設定するためのメニューです。

ガイド
設定項目によっては、ポートが「キドウ」に設定されている場合のみ表示されるものもあります。

パラレル		パラレルインタフェースを使う場合に設定します。 本プリンタがサポートするモードは、以下の通りです。 ・コンパチビリティモード ・ニブルモード **ガイド** ECP モードは、未サポートです。
	ポートの起動 (初期値：キドウ)	電源を入れたときに、パラレルインタフェースの状態を「起動」にするか「停止」にするかを設定します。初期値は「キドウ」で、パラレルインタフェースを使う設定になっています。 **お願い** メモリが不足した場合は、使っていないポートのポート状態を「テイシ」にするか、メモリ割り当て容量を変更してください。
	プリントモード指定 *1 (初期値：ジドウ)	印刷データの処理方法(使用するプリント言語)を設定します。 **お願い** 本プリンタで使用できるプリントモードは「ART.EX」のみです。本設定は変更しないでください。
	PJL *2 (初期値:ユウコウ)	本プリンタでは、どのプリント言語にも依存しない PJL コマンドが使えます。PJL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタドライバを使って印刷する場合に必要です。本プリンタでは、設定は初期値のまま変更しないでください。

パラレル	自動排出時間 *3 （初期値:30ビョウ）	データが受信されない状態が継続したとき、本プリンタ内に残っているデータを自動的に削除する時間を設定します。 時間は 5 ～ 1275 秒の間で、5 秒単位に設定します。最後のデータを受信してから、ここで設定した時間内に次のデータが受信されない場合は、ジョブの終了と判断されます。（印刷は行われません。）
	双方向通信 （初期値:ユウコウ）	パラレルインタフェースの双方向通信を有効にするか無効にするかを設定します。
LPD		LPD を使う場合に設定します。
	ポートの起動 （初期値：キドウ）	電源を入れたときに、LPD ポートの状態を「起動」にするか「停止」にするかを設定します。初期値は「キドウ」で、LPD を使う設定になっています。 **ガイド** LPD ポートを起動するには、IP アドレスの設定が必要です。 **お願い** ポートを「キドウ」にしたときに、メモリが不足すると、ポート状態が自動的に「テイシ」に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートのポート状態を「テイシ」にするか、メモリ割り当て容量を変更してください。
	プリントモード指定 *1 （初期値：ジドウ）	印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。 **お願い** 本プリンタで使用できるプリントモードは、「ART.EX」のみです。本設定は変更しないでください。
	PJL*2 （初期値:ユウコウ）	本プリンタでは、どのプリント言語にも依存しない PJL コマンドが使えます。PJL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタドライバを使って印刷する場合に必要です。本プリンタでは、設定は初期値のまま変更しないでください。
	コネクションタイムアウト *3 （初期値:16ビョウ）	印刷データの受信中に、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を、2 ～ 3600 秒の間で、1 秒単位に設定します。
	ポート番号 （初期値：515）	ポート番号を、515、または 8000 ～ 9999 の間で設定します。

NetWare	ポートの起動 （停止）	お願い 本プリンタでは、NetWare は未サポートです。本設定は変更しないでください。
SMB	ポートの起動 （停止）	お願い 本プリンタでは、SMB は未サポートです。本設定は変更しないでください。
IPP		IPP を使う場合に設定します。
	ポートの起動 （初期値：テイシ）	電源を入れたときに、IPP ポートの状態を「起動」にするか「停止」にするかを設定します。IPP を使う場合、「キドウ」に設定してください。 ガイド IPP ポートを起動するには、IP アドレスの設定が必要です。 お願い ポートを「キドウ」にしたときに、メモリが不足すると、ポート状態が自動的に「テイシ」に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートのポート状態を「テイシ」にするか、メモリ割り当て容量を変更してください。
	プリントモード指定 *1 （初期値：ジドウ	印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。 お願い 本プリンタで使用できるプリントモードは、「ART.EX」のみです。本設定は変更しないでください。
	PJL *2 （初期値：ユウコウ）	本プリンタでは、どのプリント言語にも依存しない PJL コマンドが使えます。PJL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタドライバを使って印刷する場合に必要です。本プリンタでは、設定は初期値のまま変更しないでください。
	アクセス権制御 （初期値：ムコウ）	印刷ジョブの中止や削除、本プリンタをポーズ状態にするときやポーズ状態の解除をするときに、アクセス権制御を有効にするか無効にするかを設定します。

IPP	DNS 使用 （初期値:ユウコウ）	本プリンタを認識するときに、DNS（Domain Name System）に登録した名前を使うかどうかを設定します。初期値は「ユウコウ」で、DNS 名を使用するようになっています。「ムコウ」にすると、IP アドレスを使って本プリンタを認識します。
	追加ポート番号 *3 （初期値：80）	追加ポート番号を 0、80、または 8000 ～ 9999 の間で設定します。
	タイムアウト （初期値:60ビョウ）	印刷データの受信中、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を、0 ～ 65535 秒の間で 1 秒単位に設定します。
USB		USB ポートを使う場合に設定します。
	ポートの起動 （初期値：キドウ）	電源を入れたときに、USB ポートの状態を「起動」にするか「停止」にするかを設定します。 お願い メモリが不足した場合は、使っていないポートのポート状態を「テイシ」にするか、メモリ割り当て容量を変更してください。
	プリントモード指定 *1 （初期値：ジドウ）	印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。 お願い 本プリンタで使用できるプリントモードは、「ART.EX」のみです。本設定は変更しないでください。
	PJL*2 （初期値:ユウコウ）	本プリンタでは、どのプリント言語にも依存しない PJL コマンドが使えます。PJL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタドライバを使って印刷する場合に必要です。本プリンタでは、設定は初期値のまま変更しないでください。
	自動排出時間 *3 （初期値:30ビョウ）	データが受信されない状態が継続したとき、本プリンタ内に残っているデータを自動的に削除する時間を設定します。 時間は 5 ～ 1275 秒の間で、5 秒単位に設定します。最後のデータを受信してから、ここで設定した時間内に次のデータが受信されない場合は、ジョブの終了と判断されます。（印刷は行われません。）

<table>
<tr><td>Port9100</td><td></td><td>Raw(Port9100) を使う場合に設定します。</td></tr>
<tr><td></td><td>ポートの起動
（初期値：テイシ）</td><td>電源を入れたときに、Port9100 ポートの状態を「起動」にするか「停止」にするかを設定します。Port9100 を使う場合、「キドウ」を設定してください。

ガイド
Port9100 ポートを起動するには、IP アドレスの設定が必要です。

お願い
ポートを「キドウ」にしたときに、メモリが不足すると、ポート状態が自動的に「テイシ」に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートのポート状態を「テイシ」にするか、メモリ割り当て容量を変更してください。</td></tr>
<tr><td></td><td>プリントモード指定 *1
（初期値：ジドウ）</td><td>印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。

お願い
本プリンタで使用できるプリントモードは、「ART.EX」のみです。本設定は変更しないでください。</td></tr>
<tr><td></td><td>PJL *2
（初期値:ユウコウ）</td><td>本プリンタでは、どのプリント言語にも依存しない PJL コマンドが使えます。PJL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタドライバを使って印刷する場合に必要です。本プリンタでは、設定は初期値のまま変更しないでください。</td></tr>
<tr><td></td><td>コネクションタイムアウト *3
（初期値：60 ビョウ）</td><td>印刷データの受信中に、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を、2 ～ 65535 秒の間で、1 秒単位に設定します。</td></tr>
<tr><td></td><td>ポート番号
（初期値：9100）</td><td>ポート番号を、9100、または 8000 ～ 9999 の間で設定します。</td></tr>
</table>

SNMP 設定		SNMP を使う場合に設定します。SNMP の設定は、複数台のプリンタをリモートで管理するアプリケーションを使う場合に必要です。プリンタの情報は SNMP で管理され、アプリケーションは SNMP からプリンタの情報を収集します。
	ポートの起動 （初期値：キドウ）	電源を入れたときに、SNMP ポートの状態を「起動」にするか「停止」にするかを設定します。初期値は「キドウ」で、SNMP を使う設定になっています。 **お願い** ポートを「キドウ」にしたときに、メモリが不足すると、ポート状態が自動的に「テイシ」に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートのポート状態を「テイシ」にするか、メモリ割り当て容量を変更してください。
	トランスポートプロトコル （初期値：UDP）	SNMP で使うトランスポート層のプロトコルを設定します。 **お願い** 本プリンタで使用できるプロトコルは、「UDP」のみです。本設定は、変更しないでください。
	コミュニティ登録(R)*4 No.1 ～ 4 の文字使用可 （初期値：ミトウロク）	プリンタの管理情報（MIB）を読み出すためのコミュニティ名を、英数 / 半角カタカナ文字を使って、1 ～ 12 文字の間で設定します。
	コミュニティ登録(R/W)*4 No.1 ～ 4 の文字使用可 （初期値：ミトウロク）	プリンタの管理情報（MIB）を読み書きするためのコミュニティ名を、英数 / 半角カタカナ文字を使って、1 ～ 12 文字の間で設定します。
	コミュニティ登録(Trap)*4 No.1 ～ 4 の文字使用可 （初期値：ミトウロク）	トラップで使用するコミュニティ名を、英数 / 半角カタカナ文字を使って、1 ～ 12 文字の間で設定します。

TCP/IP 設定	IP アドレス取得方法 （初期値：DHCP）	TCP/IP を使うために必要な情報（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス）を DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）サーバーから自動的に取得するか、手動で指定するかを設定します。手動で設定するアドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。 ガイド 「DHCP」から、「シュドウ」に変更すると、IP アドレスの設定画面が表示されるので、手動で IP アドレスを設定してください。 お願い 本プリンタでは BOOT、および RARP を使用した IP アドレス取得はサポートしていません。
	IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス *3	これらの項目は、自動で取得されたアドレスを確認する場合や手動でアドレスを設定する場合に使用します。アドレスを xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は 0 ～ 255 までの数値です。 お願い ・誤った IP アドレスを設定すると、ネットワーク全体に悪影響を及ぼすことがあります。 ・サブネットマスクの設定では、正しい値を入力しなかった場合（途中のビットを "0" に設定した場合など）、数値の設定後に「メニュー」スイッチを押しても、前回の設定値に戻ります。正しい値が設定されるまで、ほかの項目設定へ移行できません。 ・明示的にゲートウェイアドレスを指定する必要がある場合だけ設定してください。自動的にゲートウェイアドレスが設定できる環境では、設定する必要はありません。
インターネットサービス （初期値：キドウ）		「キドウ」に設定すると、「Internet Services」を利用し、Web ブラウザを介して本プリンタの状態やジョブの状態を表示したり、本プリンタの設定を変更したりできます。 ガイド インターネットサービスを起動する場合は、パソコン側、本プリンタ側ともに IP アドレスが必要です。
WINS サーバー設定	DHCP からアドレス取得 （初期値：シナイ）	WINS（Windows Internet Name Service）を利用するために必要な、WINS サーバーの IP アドレスを DHCP サーバーから自動的に取得するか、手動で取得するかを指定します。手動で設定するアドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。

WINS サーバー 設定	プライマリーIPアドレス、セカンダリーIPアドレス*3	これらの項目は、自動で取得されたアドレスを確認する場合や手動でアドレスを設定する場合に使用します。アドレスをxxx.xxx.xxx.xxxの形式で入力します。xxxは0～255までの数値です。プライマリIPアドレスが無効の場合、セカンダリIPアドレスも無効になります。 ガイド 誤ったIPアドレスを設定すると、ネットワーク全体に悪影響を及ぼすことがあります。
Ethernet 設定 （初期値： ジドウ）		Ethernetインタフェースの通信速度／コネクタの種類を設定します。 「ジドウ」 100BASE-TXと10BASE-Tを自動的に切り替えます。 「100BASE-TX」 100BASE-TXに固定して使う場合に選択します。 「10BASE-T」 10BASE-Tに固定して使う場合に選択します。 ガイド お使いになる通信 HUB が自動切り替えに対応していない場合は、本設定を固定してお使いください。
IPX/SPX フレーム タイプ （初期値： ジドウ）		IPX/SPXの動作フレームタイプを設定します。 お願い 本プリンタでは、IPX/SPXフレームタイプは指定できません。設定を変更しないでください。
受け付け 制限	IPポート制限 （初期値：シナイ）	印刷を受け付けるIPアドレスを制限するかしないかを設定します。「スル」に設定すると、登録されているIPアドレス以外からの印刷を受け付けません。 ガイド 「スル」に設定しても、登録されているIPアドレスがすべて000.000.000.000の場合は、無効となります。
	受け付けIPアドレス設定*3	受け付けるIPアドレスを制限する場合に、印刷を受け付けるIPアドレスを登録します。IPアドレスは、10個まで登録できます。 登録したIPアドレスには、アドレスマスクを設定します。IPアドレス、アドレスマスクは、xxx.xxx.xxx.xxxの形式で入力します。 xxxは0～255までの数値です。例えば、［IPアドレス］：［129.249.110.23］、［IPアドレスマスク］：［255.255.255.0］と設定した場合、印刷を受け付けるIPアドレスは、［129.249.110.*（1～254）］です。

システム設定

システム設定メニューは、警告音、節電モードなど本プリンタの動作を設定するためのメニューです。

異常警告音		本プリンタにエラーや異常が発生したときに、警告音を鳴らすかどうかを設定します。初期値は「ナラサナイ」です。音量は調整できません。
操作パネル設定 *3	操作パネル制限 （初期値：シナイ）	オペレータパネルからのメニュー操作に、パスワードによる制限をかけるかどうかを設定します。「スル」に設定すると、メニュー操作時にパスワードの入力が必要になります。 ガイド ・「スル」に設定したときにパスワードが設定されていないと、パスワード設定画面が表示されます。パスワードとして 4 桁の数字を、「▲」「▼」スイッチを押して入力してください。「◀」「▶」スイッチで桁を移動できます。 ・パスワードとして、「0000」は設定できません。 お願い パスワードは絶対に忘れないでください。
	暗証番号設定	操作パネル制限を設定している場合のパスワードを変更できます。現在設定されているパスワードを 4 桁の数字で入力すると、暗証番号を入力する画面が表示されます。新しい暗証番号を設定してください。 ガイド 操作パネル制限を「スル」に設定しないと、パスワードを変更できません。 お願い パスワードは絶対に忘れないでください。
オフライン自動解除 *3 （初期値：シナイ）		オフライン状態を自動的に解除するかどうかを設定します。解除しないか、解除する時間を 1 ～ 30 分の間で 1 分単位に設定します。
節電モード （初期値：ユウコウ）		節電モード（スリープモード）は、一定の時間が経過すると、自動的に装置の消費電力を節約する機能です。この機能を使用するかどうかを設定します。 参照　「節電を解除する」（168 ページ）参照
節電モード移行時間 *3 （初期値：15 フンゴ）		節電モード（スリープモード）に移行するまでの時間を 15 ～ 240 分の間で 1 分単位に設定します。節電モードになると、「節電」ランプが点灯します。 参照　「節電を解除する」（168 ページ）参照

運用編

9

自動ジョブ履歴 （初期値：プリントシナイ）		処理を行った印刷データに関する情報（ジョブ履歴レポート）を、自動的に印刷するかどうかを設定します。 「プリントシナイ」 ジョブ履歴レポートを自動的に印刷しません。 「プリントスル」 印刷データの履歴が、記憶領域いっぱいになった時点（50 件）で、自動的に印刷されます。実行中や実行待ちの印刷データは記録されません。 ガイド 過去の印刷データが、50 件を超えた場合、古いものから、順に削除されます。 履歴を印刷物として残したい場合は、本設定を「プリントスル」にしてください。
レポート両面プリント （初期値：カタメン）		レポート / リストを印刷するときに、片面に印刷するか両面に印刷するかを設定します。 ガイド 本設定は両面ユニット（オプション）を取り付けたときに設定可能となります。
バナーシート設定	バナーシート出力 （初期値：シナイ）	バナーシートを出力するかどうかを設定します。出力する場合は、文書のはじめに出力するか、終わりに出力するか、またははじめと終わりに出力するかを設定します。 ガイド ネットワークを利用してバナーシートを印刷すると、「ユーザ名」の他に「文書名」もシートに印刷されます。
	バナーシートトレイ	バナーシートを出力するトレイを 1 ～ 4 の用紙トレイから設定します。 ガイド バナーシートトレイには、色紙等の目立つ用紙をセットしておくと、印刷物を区別するのに便利です。

システム時計 *3		本プリンタのシステム時計の日付（年 / 月 / 日）と時刻（時 / 分）を、西暦（4 桁、2000 ～ 2099 年の範囲）、24 時間表示で設定します。ここで設定された日付 / 時刻が、レポートやリストに印刷されます。
	日付	2004 年 01 月 01 日のように、YYYY/MM/DD の形式で設定します。
	時刻	12 時 02 分のように、HH/MM の形式で設定します。
	日付表示切り替え	日付の表示順序を、YYYY/MM/DD(年 / 月 / 日)、MM/DD/YYYY（月 / 日 / 年）、DD/MM/YYYY（日 / 月 / 年）から設定します。
	時刻表示切り替え	時刻表示を、12 時間表示、24 時間表示から設定します。
	タイムゾーン	お願い 本プリンタでは未サポートです。設定しないでください。
	サマータイム設定、サマータイム開始日、サマータイム終了日	お願い 本プリンタでは未サポートです。設定しないでください。
ドラム寿命動作 (初期値：プリントテイシスル)		ドラムカートリッジの交換時期が近づくと、液晶ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージ表示後、約 750 枚は正常に印刷できます。 ドラムカートリッジの交換時期になったとき、印刷を停止するかしないかを選択します。 「プリント テイシ スル」 ドラムカートリッジ交換時期のメッセージ表示後は、新しいドラムカートリッジに交換するまで印刷は停止されます。 「プリント テイシ シナイ」 ドラムカートリッジ交換時期になっても、印刷は停止されません。ただし、交換時期が過ぎても印刷を続けると、印刷画質など本プリンタの性能に影響が出ることがあります。新しいドラムカートリッジに交換することをお勧めします。

プリント設定

プリント設定メニューは、自動トレイ選択や用紙トレイについて設定するためのメニューです。

用紙の置き換え （初期値：シナイ）	自動トレイ選択によって選択された用紙トレイに用紙がない場合に、ほかの用紙トレイにセットされている用紙に置き換えて印刷をするかどうかを設定します。置き換えをする場合は、サイズを指定します。 「シナイ」 置き換えはしないで、用紙補給のメッセージを表示します。 「オオキイサイズヲ センタク」 選択されている用紙サイズの次に大きなサイズの用紙に置き換えて、等倍で印刷します。 「チカイサイズヲ センタク」 選択されている用紙サイズに最も近いサイズの用紙に置き換えて印刷します。必要に応じて、自動的にイメージを縮小することがあります。 「テザシトレイ カラ キュウシ」 用紙トレイ５（手差し）にセットされている用紙に印刷します。 お願い 本設定にした場合、パソコンから送信される印刷データの用紙サイズと用紙トレイ５（手差し）にセットされた用紙サイズが一致しなかった場合、トナー汚れ、転写ロールの劣化が起こります。送信データと用紙トレイ５（手差し）にセットする用紙サイズの一致が保証されない環境下では、本設定は選択しないでください。 ガイド パソコン側から指定があった場合は、パソコン側の指定が優先されます。
トレイの用紙種類	用紙トレイにセットする用紙の種類を設定します。初期値はすべての用紙トレイで「フツウシ」です。ユーザー１～５には、「用紙名称設定」で設定した名称が表示されます。 ガイド 用紙トレイ ５（手差し）の用紙種類は、プリンタドライバからも設定できます。

トレイの用紙種類	トレイ１	普通紙、再生紙、上質紙、厚紙 1、厚紙 2、OHP フィルム、コート紙 1、コート紙 2、ユーザー１～５から選択します。 お願い コート紙は、用紙トレイ５（手差し）を使用してください。
	トレイ２～４	普通紙、再生紙、上質紙、厚紙 1、コート紙 1、ユーザー１～５から選択します。 お願い コート紙は、用紙トレイ５（手差し）を使用してください。 ガイド オプションの拡張給紙ユニットを取り付けた場合に表示されます。
	トレイ５（テザシ）	普通紙、再生紙、上質紙、厚紙 1、厚紙 1 うら、厚紙 2、厚紙 2 うら、OHP フィルム、コート紙 1、コート紙 1 うら、コート紙 2、コート紙 2 うら、ラベル紙、封筒、はがき、はがきうら、ユーザー1～5から選択します。
用紙の優先順位		自動トレイ選択によって選択される用紙トレイにセットされている「用紙の種類の優先順位」を設定します。ユーザー１～５には、「用紙名称設定」で指定した名称が表示されます。
	普通紙、再生紙、上質紙、ユーザー１～５	それぞれの用紙種類について、優先順位を「セッテイシナイ」、「１～８バンメ」から選択します。 異なる用紙種類に同じ優先順位の設定もできます。その場合に選択される用紙トレイは、「トレイの優先順位」によって決定します。「セッテイシナイ」に設定すると、その用紙種類が設定されている用紙トレイは、自動トレイ選択の対象となりません。初期値は普通紙「１バンメ」、再生紙「２バンメ」、上質紙「３バンメ」、それ以外は「セッテイシナイ」です。
トレイの優先順位		オプションの拡張給紙ユニット（用紙トレイ２～4）が取り付けられている場合に、用紙トレイ１～４について、自動トレイ選択によって選択される用紙トレイの優先順位を設定します。 用紙トレイ5（手差し）は、自動トレイ選択の対象外です。
	１～３番め	「１バンメ」～「３バンメ」に任意のトレイを設定します。各優先順位に同じ用紙トレイは設定できません。 「２バンメ」が設定できる用紙トレイは、「１バンメ」で設定した用紙トレイ以外です。また、「３バンメ」が設定できる用紙トレイは、「１バンメ」と「２バンメ」で設定した用紙トレイ以外になります。残りの用紙トレイが優先順位４になります。初期値の優先順位は用紙トレイ１～４の順番です。

トレイの用紙サイズ		用紙トレイにセットする用紙のサイズを設定します。 参照　各用紙トレイにセットできる用紙サイズについては、「プリンタの基本仕様」（354 ページ）参照
	トレイ１ (初期値：ジドウ)	「ジドウ」 定形サイズの用紙をセットする場合に選択します。 「テイケイガイ」 不定形サイズの用紙をセットする場合は、「テイケイガイ」を選択し、たて、よこのサイズを 1mm 単位で設定します。
	トレイ２～４ (初期値：ジドウ)	お願い 本プリンタでは、トレイ２～４の不定形サイズの設定をサポートしていません。 設定を変更しないでください。
用紙の画質処理		ユーザー１～５に対する画質処理を、B（普通紙）、C（再生紙）、S（未使用）、T（未使用）、A（上質紙）から設定します。 ガイド 例えば、青色の普通紙を使用する場合、「用紙名称設定」で［ユーザー 1］の名称を［フツウシ Blue］と設定し、［フツウシ Blue］の「用紙の画質処理」を［フツウシ］に設定します。 このように設定しておくと、「用紙の優先順位」で普通紙が最優先で給紙される設定になっていても、青色の普通紙は給紙されません。「用紙の優先順位」の［フツウシ Blue］（ユーザー 1）に設定されている優先順位で給紙されます。
用紙名称設定		「用紙の優先順位」、「用紙の画質処理」、「トレイの用紙種類」などに表示されるユーザー１～５を、任意の名称に変更できます。
	ユーザー１～５ *4	英数 / 半角カタカナ文字を使って、１～ 12 文字の間で設定します。 文字列一覧のうち、「記号」を除く No.1 ～４の文字が使用できます。
ID 印字機能 (初期値：シナイ)		特定の位置に、ユーザー ID を印刷します。 印刷位置は、「左上」「左下」「右上」「右下」の中から選べます。 ガイド 印刷領域を最大に設定して印刷した場合、ID 印字と印刷データが、重なることがあります。 その場合は、ドライバ側で余白の設定を変更してください。

メモリー設定

メモリー設定メニューは、各インタフェースの受信バッファサイズや、フォームメモリの容量の変更などを行うためのメニューです。

「▲」または「▼」スイッチで候補値を変更する場合、ボタンを押し続けると連続して表示を変えることができます。

お願い

- メモリ容量を変更すると、メモリがリセットされるので、各メモリ領域に格納されているデータは、すべて消去されます。
- メモリの全体量を超えた割り振りはできません。電源を入れたときに、設定値が搭載メモリ容量を超えた場合は、システムによって自動的に調整されます。
- ポートを起動に設定したときにメモリが不足すると、ポート状態が自動的に停止に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートを停止に設定するか、メモリの割り当て容量を変更してください。ただし、パラレル、USB ポートは自動的に停止に設定されることはありません。

ガイド

- メモリの割り当ては、プリントページバッファを除き、オペレータパネル、または Internet Services で設定できます。
- プリントページバッファは、実際の印刷イメージを描画する領域です。プリントページバッファには、ほかの用途向けにメモリを割り当てたあとの、残った領域が割り当てられます。従って、プリントページバッファの容量を直接変更できません。実際に割り当てられたプリントページバッファ容量は、機能設定リストや Internet Services で確認できます。
  解像度の高い文書を印刷するときは、プリントページバッファの容量が大きくなるように設定してください。

ART EX フォーム メモリー	ART EX プリンタドライバ用フォームのメモリ容量を指定します。 128 ～ 2048KB の間で、32KB 単位にメモリ容量を設定します。初期値は、本プリンタのメモリ容量が 64MB の場合は「128K」、256MB 以上の場合は「2048K」です。設定できる最大値はメモリの空き容量によって変化します。 **お願い** メモリに格納されているデータは、本プリンタの電源を入れ直すと消去されます。

受信 バッファ容量		インタフェースごとに、受信バッファ（パソコンから送信されるデータを一時的に蓄えておく場所）のメモリ容量を設定します。 受信バッファ容量は、使用状況と目的に応じて変更できます。受信バッファ容量を増やすと、各インタフェースに対応するパソコンの解放が早くなることがあります。設定できる最大値はメモリの空き容量によって変化します。 ガイド ・ポート状態が「テイシ」に設定されている場合は、対応する各項目は表示されません。 ・パソコンから送信されるデータ量によっては、メモリの容量を増やしてもパソコンの解放時間が変わらない場合があります。
	パラレルメモリー、IPP メモリー、USB メモリー、Port9100 メモリー	64 ～ 1024KB の間で、32KB 単位にメモリ容量を設定します。初期値はパラレル、USB は「64K」、そのほかは「256K」です。
	LPD スプール（初期値：シナイ）	「スプールシナイ」 スプール処理は行われません。あるパソコンからのLPDの印刷処理をしている間は、ほかのパソコンからの同じインタフェースでのデータを受信できません。 LPD 専用の受信バッファのメモリ容量を、64 ～ 1024KB の間で 32KB 単位に設定します。初期値は「256K」です。 お願い 本プリンタでは、スプーラ機能は使用できません。設定を変更しないでください。

画質補正

印刷画質の色階調がずれた場合は階調を、色版がずれた場合はカラーレジを補正します。

階調補正		印刷画質の色階調がずれた場合に、階調を補正できます。階調を補正することによって、本プリンタの印刷画質を一定の品質に保つことができます。階調補正には、解像度優先と階調優先の２種類があります。 参照「階調を補正する」（259 ページ）参照
カラーレジ補正		本プリンタを移動したときやドラムカートリッジなどの消耗品を交換したあとで、色版がずれて印刷された場合は、カラーレジ補正チャートを印刷し、本プリンタのカラーレジを補正します。
	カラーレジ補正チャート	カラーレジ補正チャートを印刷し、イエロー（Y）、シアン（C）、マゼンタ（M）の版がずれていないかを確認し、補正値を読み取ります。
	主走査方向補正	補正値を設定します。 参照「カラーレジを補正する」（269 ページ）参照

初期化／データ削除

NV メモリーに記憶されているプリンタ設定値、集計レポートの初期化、および本プリンタに登録されているフォームなどのデータを削除できます。

ガイド

初期化によってそれぞれの設定は、初期値に戻ります。初期値については、「メニューの項目説明」（185 ページ）を参照してください。

NV メモリー初期化	NV メモリーを初期化します。NV メモリーとは、電源を切っても本プリンタの設定内容を保持しておくことができる不揮発性のメモリのことです。 NV メモリーを初期化すると、各種項目の候補値は初期値に戻ります。
集計レポート初期化	集計レポートの初期化を行います。初期化を行うと、集計値が０になります。
フォームの削除	登録されているフォームがない場合は、【フォームトウロク　ハ　アリマセン】と表示されます。 「ART EX フォーム削除」 ART EX プリンタドライバ用フォームを削除します。

エンジンクリーニング

プリンタ内部のクリーニングができます。

お願い

- クリーニングを実行するときは、他のメニュー項目を同時に変更しないでください。
- クリーニングが始まり「ジュンビチュウデス」と表示されているときは、メニューを変更したり電源を切ったりしないでください。

標準クリーニング	プリンタエンジンのクリーニングをします。 印刷されたものにトナーの汚れなどが連続してつくときに使用します。
特殊クリーニング	トナーの排出とプリンタエンジンのクリーニングをします。 高温多湿の環境で使用している場合に、印刷されたものの全面にトナーがつくような画質不良が発生したときに使用します。 特殊クリーニングは、本プリンタが高温多湿の環境と判断したときにだけ実行できます。高温多湿の環境ではないと判断したときは、「クリーニング　ハ　フヨウデス」と表示されます。

*1：　ART-EX 以外の言語を受信した場合、そのデータは消去されます。
*2：　PJL コマンドで ART-EX 以外の言語が指定された場合、データは消去されます。
*3：　「▲」または「▼」スイッチで候補値を変更する場合、ボタンを押し続けると連続して表示を変えることができます。また、「▲」または「▼」スイッチを同時に押すと、初期値が表示されます。
*4：　文字列一覧

No	文字種	文字
1	空白	スペース
2	半角カナ	ｱｧｲｨｳｩｴｪｵｫｶｷｸｹｺｻｼｽｾｿﾀﾁﾂｯﾃﾄﾅﾆﾇﾈﾉﾊﾋﾌﾍﾎﾏﾐﾑﾒﾓﾔｬﾕｭﾖｮﾗﾘﾙﾚﾛﾜｦﾝｰﾞ
3	アルファベット	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz
4	数字	0123456789
5	記号	!"#$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`

言葉切り替え

オペレータパネルの表示言語を切り替えます。

お願い

本機能は未サポートです。設定を変更しないでください。

第 10 章
プリンタドライバの機能と利用方法

この章では、プリンタドライバの詳細と機能の利用方法について説明しています。

プロパティの開きかた

印刷に関する設定は、プリンタドライバのプロパティを開いて変更します。
プロパティの開きかたには、次の 2 種類があります。

アプリケーションソフトから開く

通常の印刷にはこの方法を使います。
操作方法はアプリケーションによって異なりますが、標準的なプロパティの開きかたは、次のとおりです。

1. ［ファイル］メニューから［印刷］を選択する
2. ［印刷］ダイアログを表示させ、［プロパティ］をクリックする

> **ガイド**
> アプリケーションソフトを閉じると、プロパティで設定した内容は初期設定に戻ります。

［プリンタ］フォルダから開く

［プリンタ］フォルダを開いてプロパティの設定を行うと、その設定値はアプリケーションソフトからプリンタのプロパティを開いたときの初期設定となります。

● Windows 98/Me/NT 4.0/2000 の場合

1. ［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順に選択する
2. 使用するプリンタのアイコンを選択し、［ファイル］から以下を選択する
3. プリンタのプロパティを表示する

·Windows 98/Me
　［プロパティ］をクリックする
·Windows NT 4.0
　［ドキュメントの既定値］をクリックする
·Windows 2000
　［印刷設定］をクリックする

● Windows XP/Windows Server 2003 の場合

1. ［スタート］－［プリンタと FAX］を選択する

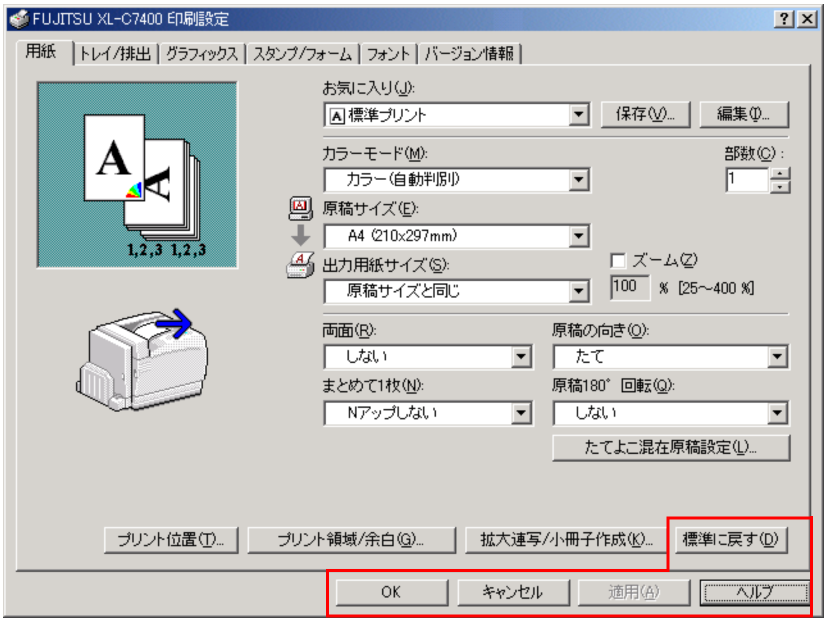
2. ［プリンタと FAX］フォルダから、使用するプリンタイコンを選択し、［ファイル］－［プロパティ］の順に選択し、［印刷設定］をクリックする

ガイド

OS が Windows NT 4.0/2000/XP/Windows Server 2003 で「初期設定」［プリンタ構成］ダイアログを開くときは、次の操作をします。
- Windows NT 4.0/2000 の場合
  ① ［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順に選択する
  ② 使用するプリンタのアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする
  ③ ［プリンタ構成］タブをクリックする
- Windows XP/Windows Server 2003 の場合
  ① ［スタート］－［プリンタと FAX］を選択する
  ② 使用するプリンタのアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする
  ③ ［プリンタ構成］タブをクリックする

プリンタドライバの設定を有効にする

プリンタドライバの各ダイアログでは、以下のボタンが表示されます。設定した内容を有効にする場合は、[OK] をクリックします。



標準に戻す	各タブの設定値を標準に戻します。
OK	設定した内容を有効にし、プリンタドライバのプロパティ画面を閉じます。
キャンセル	変更前の設定に戻し、プリンタドライバのプロパティ画面を閉じます。ただし、[適用] で有効にした設定は、[キャンセル] をクリックしても元の設定には戻りません。
適用	設定した内容を有効にします。プリンタドライバのプロパティ画面は閉じません。
ヘルプ	プリンタドライバのオンラインヘルプを表示します。

プリンタドライバで設定できる内容

プリンタドライバで設定できる内容の概要と、詳しく説明している参照先を以下に示します。

●基本設定

用紙サイズや種類、印刷の向き等の用紙に関する設定や、給紙、部単位印刷に関する設定を行います。

参照　「[用紙] ダイアログ」（211 ページ）参照

参照　「ユーザー定義用紙を登録する」（215 ページ）参照

参照　「ソートする」（218 ページ）参照

●便利な機能設定

よく使う設定を保存しておいたり、両面や 1 枚の用紙に複数ページをまとめて印刷したりするときの設定を行います。

参照　「お気に入りを設定する」（214 ページ）参照

参照　「両面印刷」（214 ページ）参照

参照　「まとめて 1 枚」（215 ページ）参照

●グラフィックス設定

解像度やディザパターン、トナーセーブに関する設定を行います。

参照　「[グラフィックス] ダイアログ」（219 ページ）参照

●プリンタ構成設定

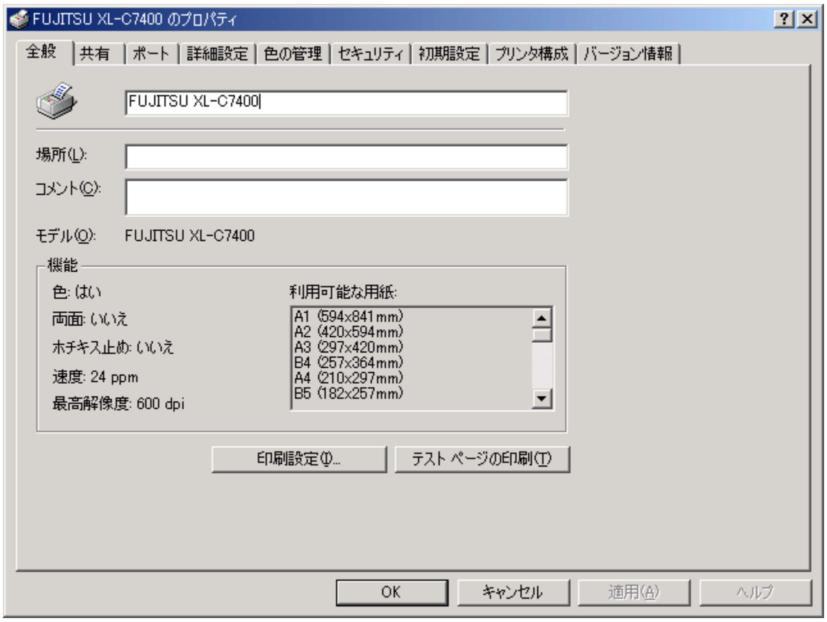
プリンタに取り付けられているオプションに関する設定を行います。

参照　「[プリンタ構成] ダイアログ」（210 ページ）参照

プロパティに関するダイアログ

［全般］ダイアログ

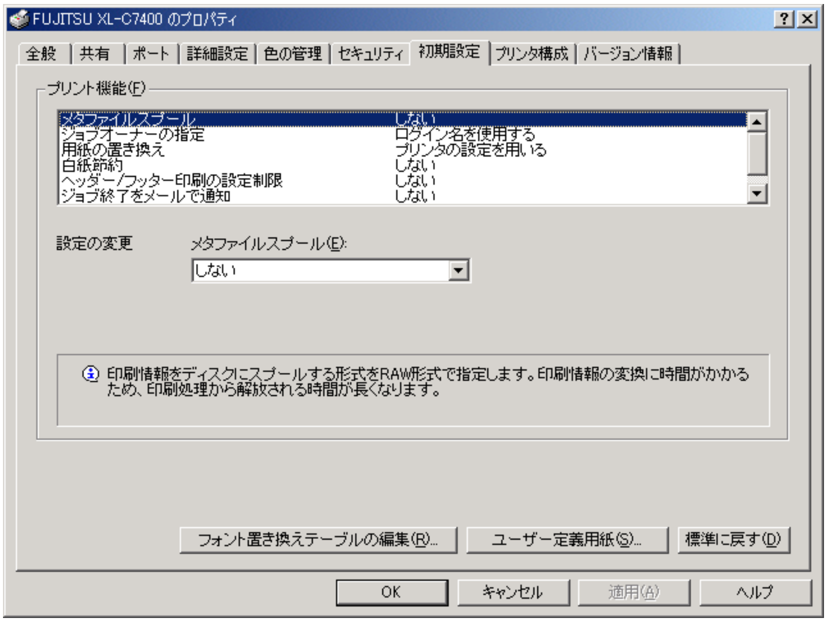
選択されたプリンタ名や現在使用できる機能が表示されます。また、プリンタドライバの変更は、このダイアログから進みます。



プリンタのアイコン	インストールされているプリンタの名前です。
場所	プリンタが設置されている場所を入力します。
コメント	プリンタに関するコメントを入力します。
モデル	インストールされているプリンタドライバの名前が表示されます。
機能	選択されたプリンタの使用できる機能について一覧表示されます。
印刷設定	印刷に関するプリンタドライバの設定を変更する場合にクリックします。
テストページの印刷	クリックすると、テストページが印刷されます。

［初期設定］ダイアログ

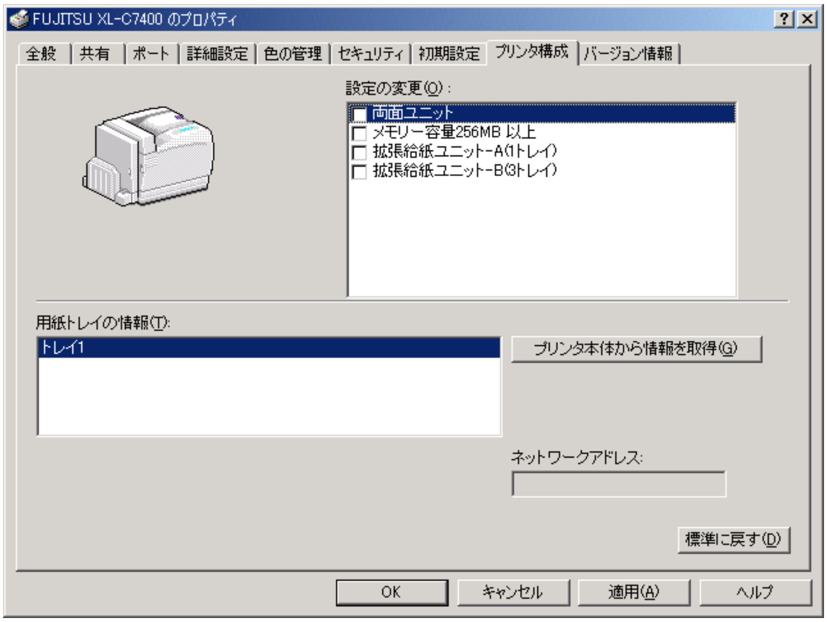
プリンタに取り付けられたオプション構成以外で、プリンタドライバの設定を変更する必要のある項目の初期設定を行います。



プリント機能	オプションの構成品以外で、プリンタドライバ側の設定を変える必要がある項目の初期設定を行えます。
設定の変更	［プリント機能］で選択した項目の変更内容が選択できます。［プリント機能］で選択した項目によって、表示される内容は変わります。
フォント置き換えテーブルの編集	フォントごとに TrueType フォントの置き換えを設定できます。
ユーザー定義用紙	不定形サイズの用紙に印刷するための用紙サイズを登録できます。

［プリンタ構成］ダイアログ

お使いのプリンタに装着されているオプションを、プリンタドライバに認識させるための設定を行います。オプション品を取り付けた場合は、必ず設定してください。

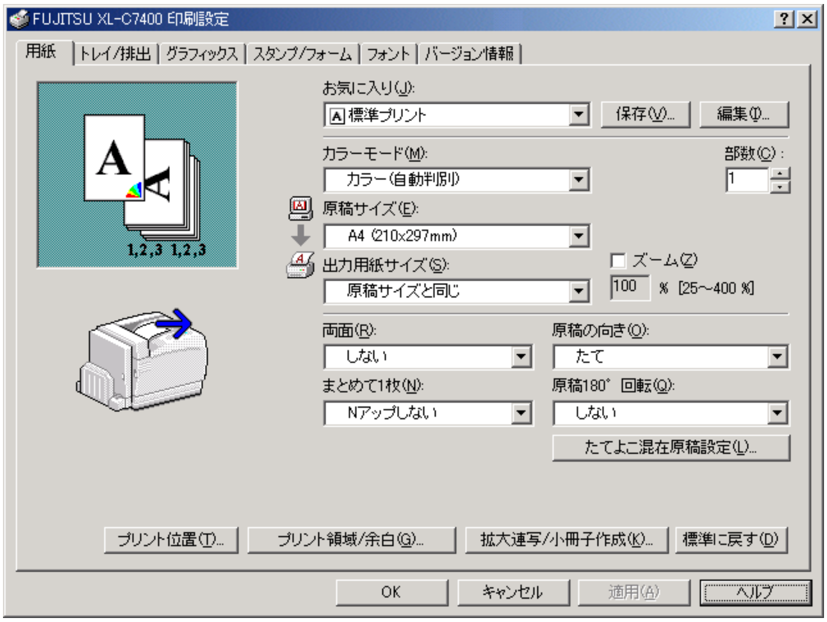


設定の変更	プリンタに取り付けられているオプションをプリンタドライバに認識させるための設定を行います。取り付けたオプションに合わせて、リストボックスの項目のチェックボックスをオン、またはオフにします。 ガイド ネットワークを利用してプリンタ使用する場合は、「プリンタ本体から情報を取得」をクリックすることで、取り付けられているオプションの情報を自動で認識することができます。
用紙トレイの情報	用紙トレイ 5（手差し）以外のトレイの用紙サイズと用紙種類を表示します。
プリンタ本体から情報を取得	接続されている印刷ポートを介して、プリンタ本体に取り付けられているオプションの状態や、各用紙トレイの用紙情報を取得します。ローカルプリンタとして使用している場合は、この機能は使用できません。
ネットワークアドレス	［プリンタ本体から情報を取得］ボタンをクリックして取得した、プリンタ本体のアドレスを表示します。

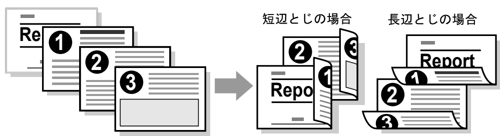
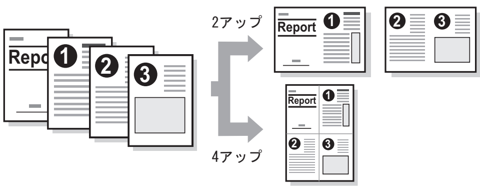
印刷に関するダイアログ

［用紙］ダイアログ

印刷についての基本的な設定を行います。一部の機能の設定内容は、左の仕上がりイメージで確認できます。



お気に入り （初期設定：標準プリント）	プリンタドライバの各設定値をあらかじめ登録しておき、メニューから項目を選択することで一括してプリンタドライバの設定を任意の設定に変更できる機能です。基本設定セットとして、［標準プリント］、［前の設定］、［まとめて 1 枚（2 アップ）/ 両面］、［はがきプリント］、［OHP フィルムプリント］、［高画質写真プリント］の 6 種類が登録されています。
カラーモード (初期設定：カラー (自動判別))	カラーモードを指定します。[白黒] または [カラー (自動判別)] を選択します。[カラー (自動判別)] は、ページごとに色を判断し、白 / 黒以外の色が使用されている場合はカラーで、白 / 黒だけが使われている場合は白黒で印刷します。
原稿サイズ (初期設定：A4)	印刷するファイルの原稿サイズを指定します。
出力用紙サイズ (初期設定：原稿サイズと同じ)	印刷に使用する用紙サイズを指定します。

部数	印刷する部数を指定します。1 ～ 999 の範囲で数値を直接入力するか、ボタンで設定します。
ズーム (初期設定 : □)	チェックボックスを ☑ にすると、任意の倍率を指定して印刷できます。倍率は、25 ～ 400% の範囲で、1% 刻みに指定できます。チェックボックスを □ にすると、[用紙] タブの［出力用紙サイズ］で選択した用紙サイズに合わせて、自動的に拡大 / 縮小して印刷します。
両面 (初期設定 : しない)	両面に印刷する / しないを指定します。両面印刷をする場合は、「長辺とじ / 短辺とじ」のいずれかに設定します。  「長辺とじ」は用紙の長辺、「短辺とじ」は用紙の短辺を軸に表と裏のイメージの上方向が一致するように印刷されます。オプションの両面ユニットを取り付けている場合に使用できます。 参照 「両面印刷」(214 ページ) 参照
まとめて 1 枚 (初期設定 :N アップしない)	連続する 2/4/8 ページ分の原稿を 1 枚の用紙にまとめて印刷する機能です。まとめて 1 枚に印刷するページ数を [2 アップ]、[4 アップ]、[8 アップ] から指定します。  [印字方向] で、用紙に割り付ける順序を指定できます。 ガイド [まとめて 1 枚] が設定されている場合、「ズーム」機能は使用できません。
印字方向 (初期設定 : 非表示)	まとめて 1 枚で複数枚印刷を指定すると選択できるようになります。1 枚に印刷する枚数に合わせて [順方向]/[逆方向] の 2 種類、または [順横方向]/[順縦方向]/[逆横方向]/[逆縦方向] の 4 種類から選択します。
原稿の向き (初期設定 : たて)	印刷する原稿の向きを [たて] または [よこ] から指定します。
原稿 180° 回転 (初期設定 : しない)	横向き、または縦向きのページを 180° 回転して印刷します。

たてよこ混在原稿設定	「まとめて 1 枚」機能を使用する場合に［たてよこ混在原稿設定］ボタンをクリックすると、［たてよこ混在原稿設定］ダイアログボックスが表示されます。印刷するファイルに縦と横のページが混在する場合に印刷方向の基準を設定できます。 自動：　アプリケーションソフトウェアから受け取る印刷データの先頭ページの向きを基準に割り付けます。 たて原稿優先：アプリケーションソフトウェアから受け取る印刷データの指定にかかわらず、「たて」を基準に割り付けます。 よこ原稿優先：アプリケーションソフトウェアから受け取る印刷データの指定にかかわらず、「よこ」を基準に割り付けます。
プリント位置	印刷データを拡大、縮小した場合に、出力用紙に対してどの位置に印刷するか設定します。
プリント領域 / 余白	印字領域を拡大することができます。「プリント領域」で［拡張］を選択すると余白が 0mm になります。また、「余白を指定する」を☑にし、用紙サイズごとの余白を 0.1 ミリ単位で変更することもできます。 **ガイド** 拡張を選択すると余白は 0mm になりますが、プリンタの制限により端まで印刷できない場合があります。
拡大連写 / 小冊子作成	ボタンをクリックすると、「拡大連写 / 小冊子作成」ダイアログが表示されます。 【拡大連写】 1 ページ分のデータを拡大し、複数枚の用紙に分割して印刷します。ポスター作成などに使用します。印刷する用紙の枚数は［2×2］、［3×3］、［4×4］から選択します。また、「のりしろの線をつける」を☑にすると、印刷された用紙を貼り合わせる目安として、各用紙の四隅と各辺にのりしろの印が印刷されます。 【小冊子作成】 複数ページの原稿を印刷して重ね合わせ、中央で 2 つ折りにしたとき、中とじ冊子（小冊子）になるように印刷します。指定した用紙サイズにページが収まるように、自動的に拡大 / 縮小して 2 ページずつ両面に長辺とじで印刷します。この機能は、オプションの両面ユニットを取り付けている場合に使用できます。

お気に入りを設定する

よく使用する設定をお気に入りとして登録します。お気に入りは初期登録されているものを含め最大 28 個まで登録できます。お気に入りを設定すると、「お気に入り」のリストに追加されます。

1. 必要に応じてプリンタドライバの各項目を設定する
2. ［用紙］タブをクリックする
3. ［お気に入り］の［保存 . . .］ボタンをクリックする
   ［お気に入りの保存］ダイアログボックスが表示されます。
4. ［名前］にお気に入りの項目に表示させる登録名を入力する
   指定できる文字数は、32 バイト（半角文字で 32 文字、全角文字で 16 文字）です。32 バイトを超えた部分は無効になります。
5. 必要に応じて、［コメント］にコメントを入力する
   指定できる文字数は、255 バイト（半角文字で 255 文字、全角文字で 127 文字）です。255 バイトを超えた部分は無効になります。
6. ［適用］または［OK］をクリックする
   任意のお気に入り項目が登録されます。

両面印刷

オプションの両面ユニットを取り付けている場合に、両面印刷を行えます。両面印刷には、「長辺とじ」と「短辺とじ」があります。とじる辺に合わせて、どちらかを選択します。変更の結果は、左上の仕上がりイメージで確認できます。

1. ［プリンタ構成］ダイアログを表示し、「両面ユニット」が選択されていることを確認する
2. ［用紙］ダイアログを表示し、「両面」で「長辺とじ」または「短辺とじ」を選択する
   長辺とじは用紙の長辺、短辺とじは用紙の短辺を軸に、表と裏のイメージの上方向が一致するように印刷されます。
3. ［適用］または［OK］をクリックする

まとめて1枚

連続する 2、4、または 8 ページ分の原稿を 1 枚の用紙にまとめて印刷できます。

1. ［用紙］ダイアログを表示し、「まとめて 1 枚」で［2 アップ］、［4 アップ］、［8 アップ］のいずれかを選択する
2. ［適用］または［OK］をクリックする

ユーザー定義用紙を登録する

不定形サイズの用紙に印刷するために、プリンタドライバに不定形サイズの用紙を登録します。不定形サイズを「ユーザー定義用紙サイズ」として登録すると、［用紙］タブの［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］から、登録した不定形サイズを選択できるようになります。

用紙サイズは 10 種類まで登録でき、用紙名を付けることができます。用紙名の最大文字数は、14 バイト（半角文字で 14 文字、全角文字で 7 文字）です。14 バイトを超える部分は無効になります。
登録する不定形サイズは、各トレイの対応用紙サイズを参考にして設定してください。

参照　「不定形サイズの用紙をセットする」（295 ページ）参照

ガイド

- Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003 では、管理者の権利があるユーザの場合にだけ設定を変更できます。権利がない場合は、内容の確認だけできます。
- ［ユーザー定義用紙］ダイアログボックスの設定は、Windows NT 4.0/ Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003 の場合、ローカルプリンタではパソコンのフォームデータベースを使用するため、パソコン上のほかのプリンタにも影響します。ネットワーク共有プリンタではプリントキューが存在するサーバ上のフォームデータベースを使用するため、別のパソコン上の同じネットワーク共有プリンタにも影響します。Windows 98/Windows Me の場合、プリンタアイコンごとに定義した用紙サイズが設定されるため、パソコン上のほかのプリンタの設定には影響しません。ネットワーク共有プリンタでも、プリンタアイコンごとに定義した用紙サイズが設定されるため、ほかのコンピュータ上の同じネットワーク共有プリンタの設定には影響しません。

1. プリンタのプロパティで［初期設定］タブをクリックし、［ユーザー定義用紙］をクリックする
   ［ユーザー定義用紙］ダイアログボックスが表示されます。
   参照　「プロパティの開きかた」（204 ページ）参照
2. ［設定一覧］リストボックスから、設定する用紙を選択する
3. ［設定の変更］で短辺と長辺の長さを指定する
   短辺の値は、範囲内でも長辺より大きくできません。長辺の値は、範囲内でも短辺より小さくできません。

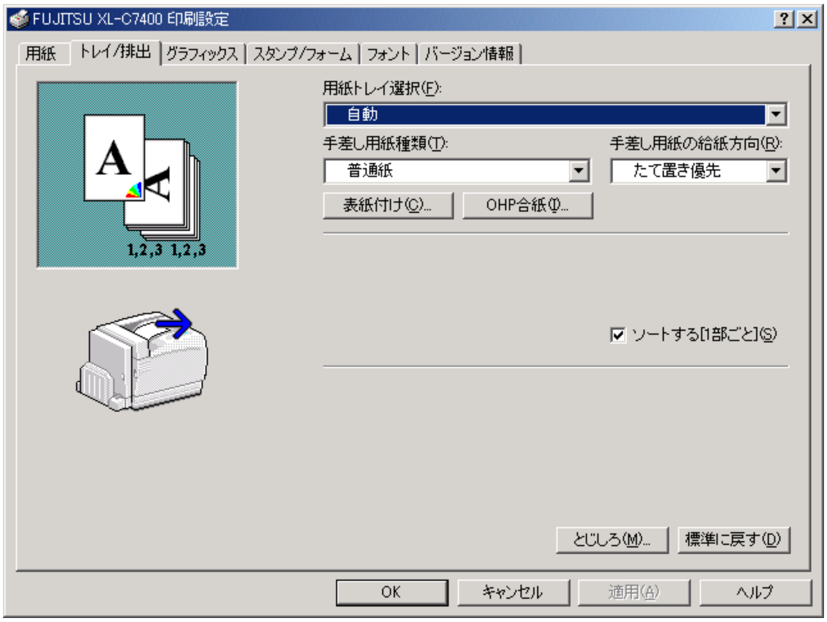
4. 用紙名を付ける場合は、[用紙名をつける] を☑にし、[用紙名] に入力する

5. 必要に応じて、2～4を繰り返し、用紙サイズを定義する

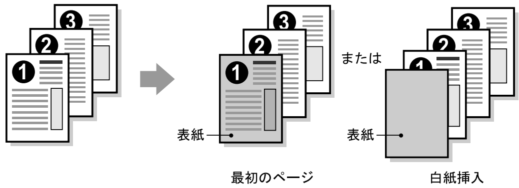
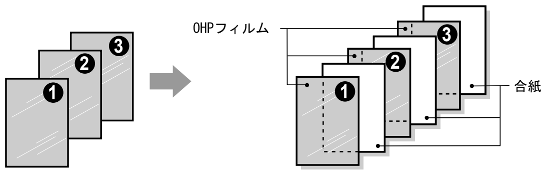
6. [OK] をクリックする

[トレイ / 排出] ダイアログ

印刷に使用する用紙トレイを選択します。



用紙トレイ選択 （初期設定：自動）	印刷に使用する用紙トレイを指定します。表示される用紙トレイは、取り付けられている用紙トレイによって異なります。
手差し用紙種類 （初期設定：普通紙）	用紙トレイ 5（手差し）を使って印刷する場合の用紙の種類を指定します。「うら面」と表示されている用紙種類は、手動で両面に印刷する場合に選択します。[ユーザー定義用紙 1 ～ 5] に設定されている用紙の種類については、プリンタの設定を確認してください。 **ガイド** ・ここで設定した用紙種類は、[表紙付け] ダイアログの [手差し用紙種類] に反映されます。 ・ 用紙トレイ 1 ～ 4 の用紙種類は、ここでは設定できません。オペレータパネルにて設定してください。
手差し用紙の給紙方向 （初期設定：たて置き優先）	用紙トレイ 5（手差し）を使用して印刷する場合の、用紙のセット方向を指定します。用紙のサイズによって向きが限定されている場合は、ここの設定は無効になり、用紙をセットした方向で印刷されます。

表紙付け	本文とは別の用紙トレイから給紙し､表紙として挿入するかどうかを設定します。[する (表紙へ印刷する)] を選択すると、原稿の最初のページを､表紙として本文とは別の用紙に印刷します。[する (表紙へは印刷しない)] を選択すると、本文とは別の用紙を原稿の前に白紙で挿入します。  ガイド 表紙用トレイに [トレイ 5(手差し)] を選択し、[手差し用紙種類] で設定した内容は、[トレイ / 排出] ダイアログの [手差し用紙種類] に反映されます。
OHP 合紙	OHP フィルムを 1 枚印刷するごとに､合紙を 1 枚自動的に挿入させるかどうかを設定します。 用紙トレイに [用紙トレイ 5(手差し)] が選択され､手差し用紙種類に [OHP フィルム] が選択されている場合に､本機能を選択できます｡[合紙のプリント] で [する] を選択すると、OHP と同じ内容が合紙に印刷されます｡[しない (白紙挿入)] を選択すると､内容は印刷されずに白紙が挿入されます。 
ソートする （初期設定：☑）	複数ページのファイルを部単位で印刷できます。
とじしろ	印刷する用紙にとじしろを付けて印刷するかどうかを設定します。とじしろは、用紙の左 / 右 / 上 / 下のどこかに付けることができ、1mm 単位で指定できます。［自動縮小する］を ☑ にすると、とじしろを付けて狭くなった印字領域内に画像が収まるように、自動的に縮小して印刷します。チェックボックスを　にすると、等倍のままとじしろの分だけ画像を平行に移動して印刷します。そのため、画像の一部が印字領域内に収まらずに欠けることがあります。

[グラフィックス] ダイアログ

画質や画像に関する設定を行います。

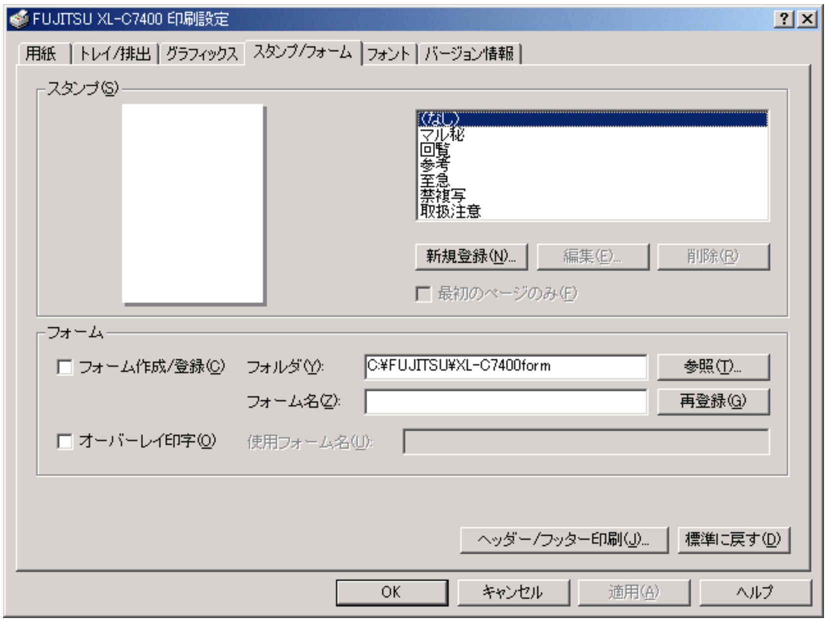


カラーモード (初期設定：カラー (自動判別))	[白黒]、または [カラー (自動判別)] から選択します。[カラー (自動判別)] は、ページごとに色を判断し、白 / 黒以外の色が使われている場合はカラーで、白 / 黒だけが使われている場合は白黒で印刷します。 **ガイド** 「スタンプ」機能を使用する場合に、[カラーモード] が [カラー (自動判別)] に設定されているときは、無彩色のページでもスタンプが有彩色であればカラーで印刷されます。
自動モードの あいまい判定	[カラーモード] が [カラー (自動判別)] の場合に、カラー白黒判定の基準を、あいまいにするかどうかを設定します。 ☑にすると、ある程度の有彩色も白黒と判定し、黒のトナーカートリッジで印刷します。
印刷モード (初期設定：標準)	印刷する速度を優先するか、画質を優先するかを [標準]、[高画質]、[高精細] から選択します。画質にこだわらず、早く印刷したい場合は、[標準] を選択します。階調をなめらかに表現したいときは [高画質] を選択します。細かい線画や地図などを印刷するときは [高精細] を選択します。

画質調整モード （初期設定：おすすめ）	画質調整モードを指定します。 ［おすすめ］、［ICM 調整（システム）］、［CMS 調整（アプリケーション）］、［色変換しない］から選択します。 変更の結果は、ダイアログ左上の画質イメージで確認できます。 ガイド ・［ICM 調整（システム）］は、Windows 98/Me、Windows 2000/XP、Windows Server 2003 の場合に表示されます。 ・［グラフィックス］タブ、または［用紙］タブの［カラーモード］が［白黒］の場合は、［ICM 調整（システム）］、［CMS 調整（アプリケーション）］、［色変換しない］は選択できません。
おすすめ画質タイプ	印刷する文書の特長に合わせて、印刷方法を指定できます。［画質調整モード］が、［おすすめ］または［ICM 調整（システム）］の場合で、選択できる項目が異なります。
画質自動補正	印刷する原稿の特長に合わせて、印刷方法を指定します。ページ内の写真などのイメージデータを、指定した画質タイプの特性に応じて、自動で補正します。［しない］、［標準］、［人物］、［風景］、［風景＋文字強調］から選択します。
画質調整	原稿全体または文字、写真などの構成要素ごとに明度 / コントラスト / 彩度を調整します。設定内容の詳細は、オンラインヘルプを参照してください。
カラーバランス	CMYK（シアン / マゼンタ / イエロー / ブラック）のトナー濃度を微調整して印刷できます。各色とも低濃度、中濃度、高濃度に対して、それぞれ -3 ～ +3 の範囲で、7 段階の調整ができます。設定内容の詳細は、オンラインヘルプを参照してください。
プロファイル指定	原稿画像を忠実に再現するために、デバイス（モニター、スキャナーなど）の特性に合わせた補正をして印刷できます。補正方法には［色温度 / ガンマ指定］と［ICC プロファイル指定］があります。設定内容の詳細は、オンラインヘルプを参照してください。
詳細設定	文字、図 / 表 / グラフ、写真の原稿要素ごと、および原稿全体に対して、詳細な画質の設定をして印刷できます。設定内容の詳細は、オンラインヘルプを参照してください。

［スタンプ / フォーム］ダイアログ

原稿と一緒に印刷するスタンプやフォームに関する設定を行います。



スタンプ	印刷データにスタンプを重ねて印刷する機能を設定できます。標準スタンプとして、［スタンプ］タブの［スタンプ］リストボックスに「マル秘」、「回覧」、「参考」、「至急」、「禁複写」、「取扱注意」の 6 種類が登録されています。［最初のページのみ］チェックボックスをオンにすると、印刷するファイルの最初のページにだけスタンプが印刷されます。オフにすると、すべてのページにスタンプが印刷されます。新しいスタンプの登録、スタンプの編集、スタンプの削除もできます。
フォーム作成 / 登録	オーバーレイ印字で使用するフォームデータファイルの作成と登録をします。 チェックボックスをオンにし、［フォルダ］と［フォーム名］を指定して、通常の印刷指示をすると、アプリケーションソフトで作成した印刷データを、プリンタにフォームとして登録します。また、同時にパソコンの［フォルダ］で指定した場所にバックアップします。 ガイド ・ここで登録したフォームは、オペレータパネルのフォームリストを印刷することで確認できます。 ・使用方法の詳細はオンラインヘルプを参照してください。

オーバーレイ印字	チェックボックスをオンにし、プリンタに登録した［使用フォーム名］指定すると、オーバーレイ印字ができます。 ガイド ・「フォーム作成 / 登録」機能とは、同時に使用できません。 ・ 使用方法の詳細はオンラインヘルプを参照してください。

フォーム使用時の注意点

ネットワークを利用して、本プリンタを共有プリンタとして使用する環境では、以下の点に注意して使用してください。

●プリンタに登録されたフォームの消去

プリンタに登録されたフォームは、電源を OFF にすると消去されます。その場合は、パソコンのバックアップを使って再登録を行ってください。

●フォームの上書き

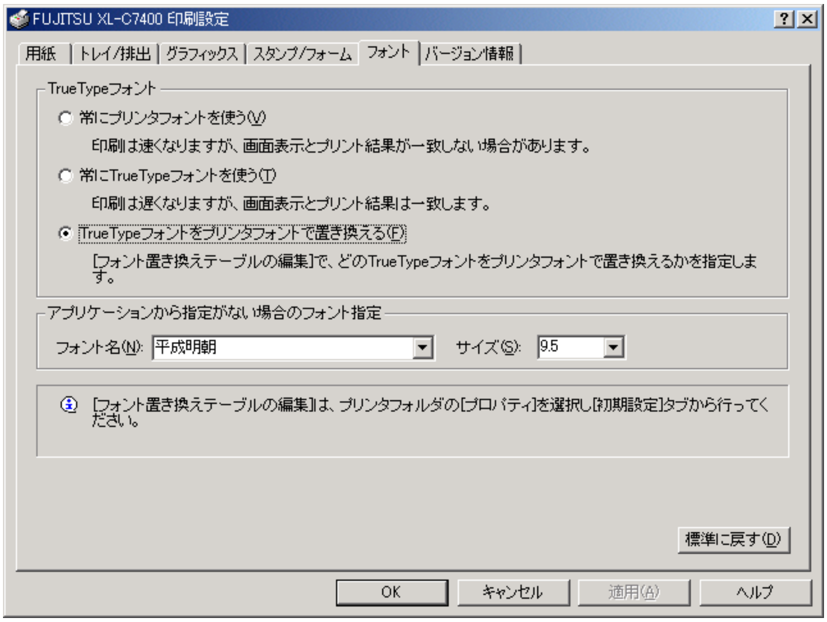
プリンタに一度登録されたフォーム名と、同じフォーム名を登録すると上書きされ、古いフォームは書き換えられます。フォームを登録する際は、同じフォーム名がすでにプリンタに登録されていないことを確認してください。

●メモリオーバ時の動作

プリンタに登録できるフォームのメモリ容量は限られています。メモリ容量を超えた場合は、そのフォームは無視されます。

［フォント］ダイアログ

TrueType フォントの印刷方法の設定を行います。



TrueType フォント（初期設定：TrueType フォントをプリンタフォントで置き換える）	TrueType フォントの印刷方法を設定します。 【常にプリンタフォントを使う】 ラジオボタンをクリックすると、すべての TrueType フォントを、プリンタフォントに置き換えて印刷します。 【常に TrueType フォントを使う】 ラジオボタンをクリックすると、すべての TrueType フォントをプリンタにダウンロードして印刷します。 【TrueType フォントをプリンタフォントで置き換える】 ラジオボタンをクリックすると、フォント置き換えテーブルの設定に従って、TrueType フォントをプリンタフォントに置き換えて印刷します。
アプリケーションから指定がない場合のフォント指定	アプリケーションからフォントの指定がない場合に、使用するフォントを指定します。

［バージョン情報］ダイアログ

プリンタドライバのバージョン情報が表示されます。



FUJITSU ホームページ	お使いのパソコンのブラウザが起動し、弊社ホームページ内にあるパソコン関連のページが表示されます。 本ページ内にあるダウンロードサービスのページから、最新のプリンタドライバが入手できます。

第 11 章

インターネットサービスの設定 (Internet Services)

この章では、Web ブラウザを通してプリンタの状態や印刷ジョブの状態表示などを行うサービスの設定方法を説明します。

ホストからプリンタを設定する (Internet Services)

Internet Services の概要

Internet Services は、TCP/IP 環境が使用できる場合に、Web ブラウザを介してプリンタの状態や印刷ジョブ状態の表示、設定の変更をするためのサービスです。
プリンタの設定では、オペレータパネルで設定する項目のうち、システム設定、各ネットワークのポート設定などに関する項目を、本サービスのプロパティ画面で設定できます。
Internet Services を利用できる環境、ホスト、および Web ブラウザは、以下のとおりです。

使用できる環境

Internet Services を利用するには、TCP/IP プロトコルを使用したネットワーク環境が必要です。また、オペレータパネルから［インターネットサービス］を「キドウ」(工場出荷時：起動) に設定しておく必要があります。

ホスト

Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の各日本語版

Web ブラウザ

- Netscape Communicator ver4.78、Netscape 6.2 日本語版
- Internet Explorer ver5.0、5.5、6.0 の日本語版

ブラウザ側の設定

本サービスを使用する場合、プロキシサーバを経由しないで直接本プリンタのアドレスを指定することをお勧めします。

ガイド

- プロキシサーバを経由して本プリンタのアドレスを指定すると、応答が遅くなったり画面が表示されないことがあります。
- 設定に関する詳細は、ご使用になっている Web ブラウザのマニュアルを参照してください。

Internet Services を正しく動作させるために、Web ブラウザで次のように設定されている必要があります。

● Netscape Communicator の場合

- Java の許可について、Java を無効にする設定以外が選択されていること
- キャッシュしたドキュメントとネットワーク上のドキュメントとの比較について、セッションごとに比較、または毎回比較する設定が選択されていること

● Internet Explorer での確認

・Java の許可について、Java を無効にする設定以外が選択されていること
・保存しているページの新しいバージョンの確認について、ページを表示するまたは Internet Explorer を起動するたびに確認する設定が選択されている

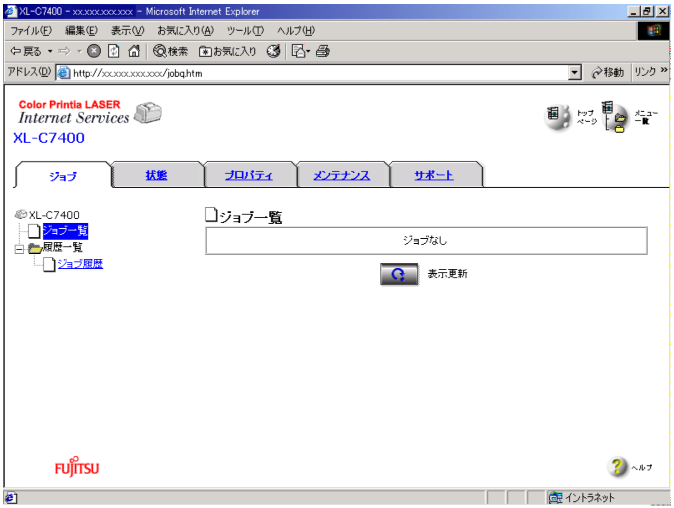
プリンタ側の設定

Internet Services を使用する場合、プリンタの IP アドレスが設定されていることと、[インターネットサービス] が「キドウ」(工場出荷時：起動) に設定されている必要があります。[インターネットサービス] を停止している場合は、オペレータパネルで起動に設定し直してください。

参照　「オペレータパネルの操作」(175 ページ)

Internet Services の画面構成

Internet Services の画面構成について説明します。



上部エリア

ウィンドウの上部に表示されるエリアです。初期状態（トップページ表示）では、ロゴマーク、機種名が表示されています。各カテゴリのページでは、ロゴマークと機種名に加えて、トップページへのリンクと、各カテゴリーに移動するためのタブ（リンク）が表示されます。

下部エリア

常に弊社のホームページへのリンク、ヘルプへのリンクが表示されています。下部エリアは、どのページにも同じ内容が表示されます。

右側エリア、左側エリア

右側エリアと左側エリアの表示内容は、各カテゴリの機能を選択するたびに大きく変化します。

Internet Services で設定できる項目

Internet Services の各タブで設定できる主な機能は次のとおりです。
＊は、Internet Services でのみ設定可能な項目です。

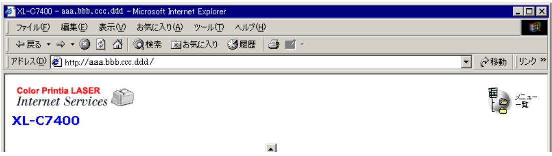
タブ名	おもな機能
ジョブ	ジョブ一覧、およびジョブ履歴一覧が表示されます。ジョブを削除することもできます。 ガイド ローカル接続環境からの印刷時は、ジョブ履歴に「ジョブ名」、「所有者名」は表示されません。
状態	用紙トレイにセットされている用紙の種類や残量、排出トレイの状態、およびトナーカートリッジなどのサプライ品残量や状態が表示されます。
プロパティ	【本体説明】 製品名やシリアル番号などが表示されます。また、E メールプリントなどを使用するときに必要な、管理者メールアドレス＊、本体メールアドレス＊などを設定できます。 【本体構成】 メモリやプリント言語などが表示されます。 【カウンター表示】 総カラー出力ページ数、総白黒出力ページ数が表示されます。 【用紙トレイの設定】 用紙トレイの優先順位を設定できます。 【用紙設定】 用紙種類ごとの優先順位を設定できます。 【節電モード設定】 スリープモード（節電モード）に移行するまでの時間を設定できます。 【階調補正】 階調補正の補正値を設定できます。 【メール通知設定＊】 メール通知サービスを使用するときの通知先や、通知間隔などを設定できます。この項目は、［ポート起動］の［メール通知］が起動に設定されている場合に表示されます。 【Internet Services＊】 Internet Services の管理者モードを使用するかどうか、使用する場合は管理者名やパスワードを設定できます。 工場出荷時の管理者は「admin」、パスワードは「x-admin」です。 【ポート起動】 各ポートの起動、停止を設定できます。 【ポート設定】 装置の外部インタフェース（Ethernet、パラレル、USB）に関する設定ができます。インタフェースに関する設定ができます。 【プロトコル設定】 次のプロトコルの詳細を設定できます。 TCP/IP、LPD、SNMP、メール、HTTP 【エミュレーション設定】 各エミュレーションの詳細が表示されます。本設定変更は使用できません。設定を変更しないでください。 【メモリー設定】 インタフェース、プロトコルが使用するメモリ容量などについて設定できます。
メンテナンス	エラー履歴情報が表示されます。
サポート	サポート情報が表示されます。設定は変更できます。

Internet Services を使用する

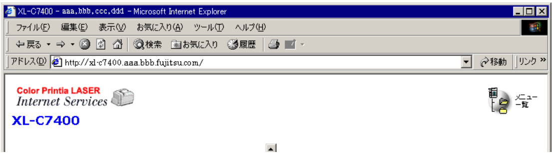
Internet Services を使用する場合は、次の手順で Web ブラウザを起動します。

1. ホストを起動し、Web ブラウザを起動する
2. Web ブラウザのアドレス入力欄に、プリンタの IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、[Enter] キーを押す

・プリンタの IP アドレスを指定した例

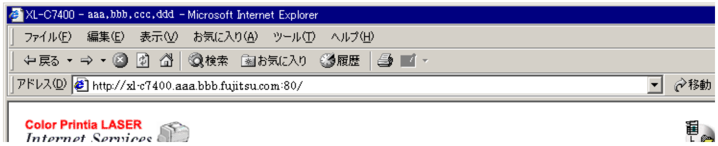


・インターネットアドレスを指定した例

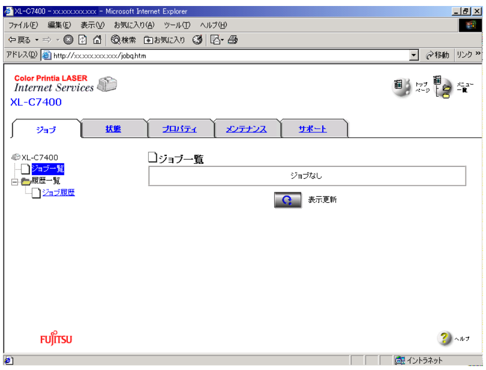


ガイド

ポート番号を指定する場合には、アドレスの後ろに「:」に続けて「80」（工場出荷時のポート番号）を指定してください。

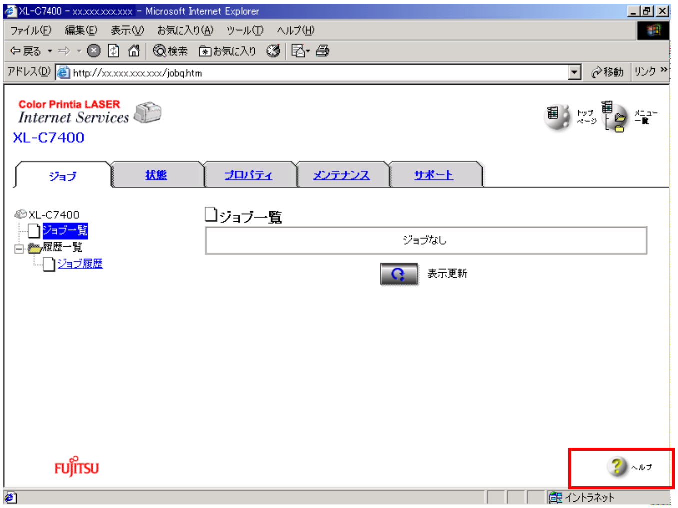


Internet Services の画面が表示されます。



オンラインヘルプの使いかた

各画面で設定できる項目の詳細は、ヘルプボタンを押して、オンラインヘルプをご覧ください。



第 12 章

日常のメンテナンス

この章では、プリンタを使用するうえで日常的に必要となる操作について説明します。

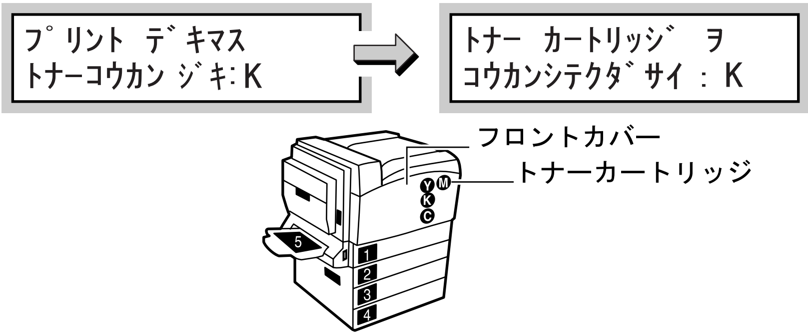
トナーカートリッジの交換と使用上のご注意

トナーカートリッジの交換のしかたと使用するときの注意事項について説明します。

トナーカートリッジ交換時のご注意

本プリンタには、ブラック（K）、シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）の 4 色のトナーカートリッジがセットされています。トナーカートリッジの残りが少なくなると、液晶ディスプレイに「プリント デキマス トナーコウカン ジキ：x」というメッセージが表示されます。新しいトナーカットリッジを用意してください。ただし、メッセージが表示されてからも、約 1,250(*) ページは通常どおり印刷できます。メッセージが「トナー カートリッジ ヲ コウカンシテクダサイ：X」に変わると、新しいトナーカートリッジに交換するまで印刷できなくなります。
オペレータパネルの左にある表示部で、該当するトナーカートリッジの位置を確認し、メッセージの色のトナーカートリッジを交換してください。

＊：印刷可能ページ数は、A4 (LEF) の用紙を使用し、印字比率 5% で連続印刷した場合の枚数です。これは、印刷内容や用紙のサイズ、種類、使用環境、プリンタ電源の入れ切れの頻度などによって異なります。



お願い

トナーカートリッジを交換するときは、プリンタの電源を入れたまま行ってください。電源を切ると、プリンタ内に残っている印刷データや、プリンタのメモリ上に蓄えられた情報が消去されます。

ガイド

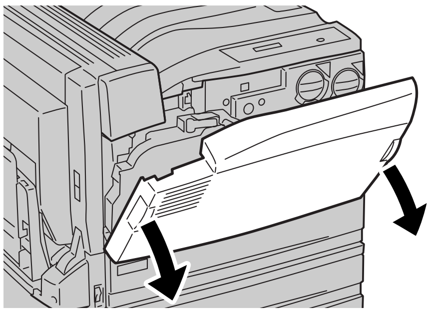
・トナー残量が少なくなってきている場合、交換時期が近いというメッセージが表示されないまま、印刷中にプリンタが停止してトナーカートリッジ交換のメッセージが表示されることがあります。その場合は、表示されている色のトナーカートリッジを交換すると、印刷は継続されます。
・液晶ディスプレイには、トナーカートリッジの色は、K、C、M、Y と表示されます。K はブラック、C はシアン、M はマゼンタ、Y はイエローです。
・トナーカートリッジを交換するとき、トナーがこぼれて床面などを汚すことがあります。あらかじめ開いたフロントカバーの上や床に、紙などを敷いて作業することをお勧めします。

⚠ 警告	やけど	・トナーカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。トナーの粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。 ・トナー、廃トナーボックス、またはトナーの入った容器を絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

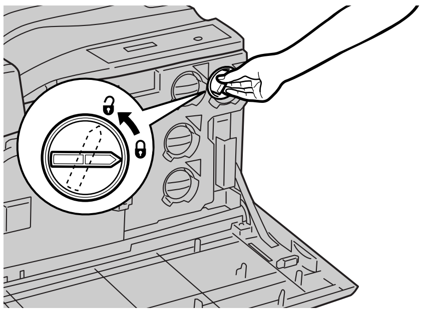
トナーカートリッジの交換

次の手順にしたがって、トナーカートリッジを交換します。

1 プリンタが印刷中でないことを確認し、フロントカバーを開ける



2 液晶ディスプレイのメッセージを確認し、表示されている色のトナーカートリッジを鍵印（🔓印）の位置まで左方向に回す



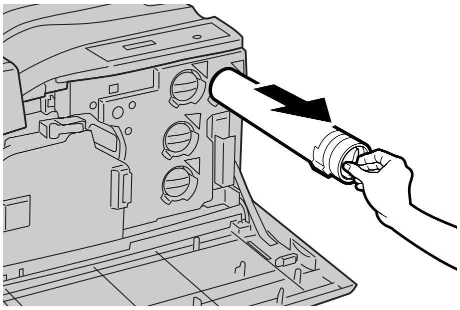
ガイド

K はブラック、C はシアン、M はマゼンタ、Y はイエローのカートリッジを表します。

運用編

12

3 トナーカートリッジを手前に静かに引いて、取り出す

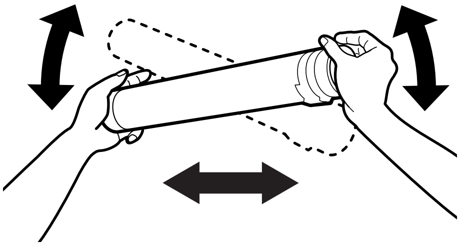


お願い

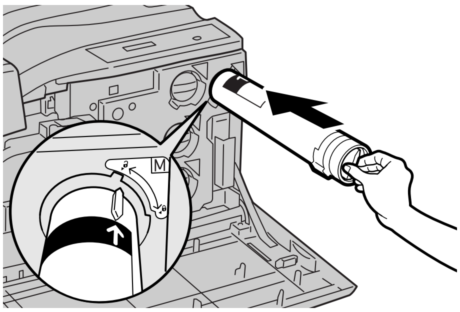
- トナーが飛び散る場合があるため、トナーカートリッジはゆっくりと引き出してください。
- 使用済みのトナーカートリッジは無償で回収しております。エコ受付センターまでご連絡ください。

参照　「使用済みカートリッジの回収サービス」（378 ページ）参照

4 取り出したトナーカートリッジと同じ色の新しいトナーカートリッジを用意し、図のように上下左右に軽く 3、4 回振り、中のトナーを均一にする

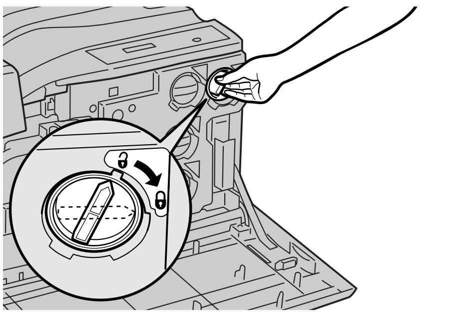


5 トナーカートリッジの矢印を鍵印（🔓印）の位置に合わせて、奥に突き当たるまで差し込む



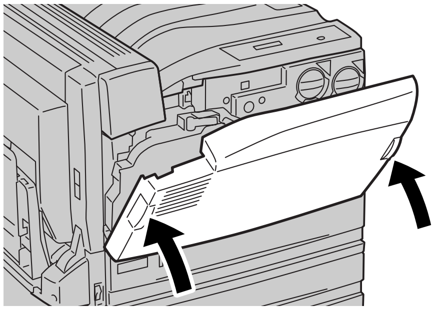
6 トナーカートリッジを、鍵印（🔒印）まで右方向に突き当たるまで回して固定する

トナーカートリッジは、正しい位置まで差し込まれないと回りません。



7 フロントカバーを閉じる

トナー補給動作後、「プリントデキマス」とメッセージが表示されます。



ガイド

フロントカバーを閉じてから「プリントデキマス」のメッセージが表示されるまで、時間がかかる場合があります。

トナーカートリッジの取り扱いと保管

本プリンタは各色 2 種類のトナーカートリッジを用意し、大容量印刷にも対応できるようになっています。標準のトナーカートリッジでは、ブラック 約 7,500 ページ、カラー 約 6,000 ページが印刷できます。また、大容量トナーカートリッジでは、ブラック 約 15,000 ページ、カラー 約 12,000 ページが印刷できます（A4 サイズ、印字率 5%、連続印刷時）。

参照　「サプライ品一覧」（362 ページ）参照

参照　「消耗品寿命について」（358 ページ）参照

トナーカートリッジを交換するときは、収納されていた箱や容器に記載されている注意事項をよく読んでから取り扱ってください。
また、トナーカートリッジを購入した場合は、次の点に注意して保管してください。
・ 箱を立てて保管しないでください。
・ 次の場所を避けてください。
　高温多湿、火気がある、直射日光があたる、ほこりが多い

運用編

12

ドラムカートリッジの交換と使用上のご注意

ドラムカートリッジの交換のしかたと使用するときの注意事項について説明します。

ドラムカートリッジの交換時のご注意

ドラムカートリッジの交換時期が近づくと、液晶ディスプレイに「プリント デキマス ドラム U2 コウカン ジキ」というメッセージが表示されます。新しいドラムカートリッジを用意してください。ただし、メッセージが表示されてからも、約 750 ページ (*) は通常どおり印刷できます。
工場出荷時の設定では、メッセージが「ドラム U2 コウカン シテクダサイ」に変わると、新しいドラムカートリッジと交換するまで印刷が停止されます。
なお、ドラムカートリッジ交換時には、廃トナーボックスも新しいものと交換します。
また、ドラムカートリッジを交換した直後に一時的に線状の汚れが発生することがありますが、問題ありません。

＊：ドラムカートリッジの印刷可能ページ数は、A4（LEF）の用紙を使用して連続印刷した場合の枚数です。また、廃トナーボックスの印刷可能ページ数は、A4（LEF）の用紙を使用し、印字比率 5% で連続印刷した場合の枚数です。これは、印刷内容や用紙のサイズ、種類、使用環境、プリンタ電源の入れ切れの頻度などによって異なります。

●［ドラム寿命動作］で【プリント テイシ スル】に設定している場合

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ ﾄﾞﾗﾑU2 ｺｳｶﾝ ｼﾞｷ	ﾄﾞﾗﾑU2 ｦ ｺｳｶﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
メッセージ表示後、 約 750 ページは正常に印刷	印刷停止

お願い

- ドラムカートリッジ、および廃トナーボックスを交換するときは、プリンタの電源を入れたまま行ってください。電源を切ると、プリンタ内に残っている印刷データや、プリンタのメモリ上に蓄えられた情報が消去されます。
- ドラムカートリッジを、直射日光や室内蛍光灯の強い光に当てないでください。
- ドラムの表面に触れたり、傷を付けたりしないでください。きれいな印刷ができなくなることがあります。

ガイド

- 交換時期になっても、印刷を停止しないこともできます。設定については、「システム設定」の「ドラム寿命動作」（195 ページ）を参照してください。
- 廃トナーボックスを交換するとき、トナーがこぼれて床面などを汚すことがあります。あらかじめ開いたフロントカバーの上や床に、紙などを敷いて作業することをお勧めします。

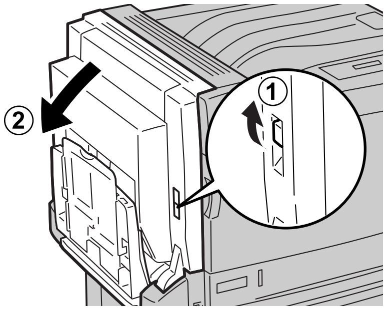
⚠ 警告

やけど　トナー、廃トナーボックス、またはトナーの入った容器を絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

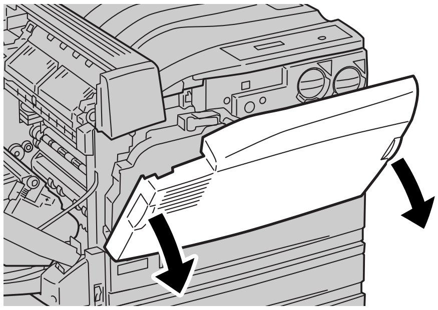
ドラムカートリッジの交換

次の手順にしたがって、ドラムカートリッジを交換します。

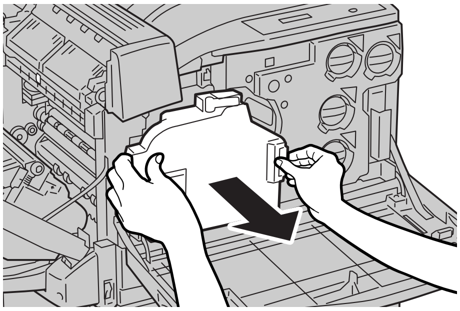
1. プリンタが印刷中でないことを確認し、A（左側）カバーのレバーを押し上げて（①）、A（左側）カバーを開ける（②）



2. フロントカバーを開ける

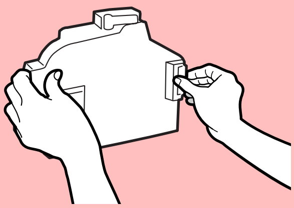


3. 図の位置を持って、廃トナーボックスを手前に引いて取り外す



お願い

・取り外した廃トナーボックスを傾けると、トナーがこぼれます。トナーがこぼれないように、図のように立てて置いてください。



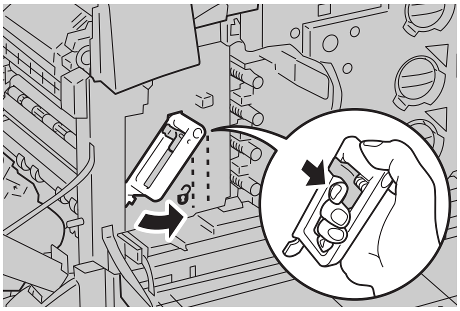
・使用済みの廃トナーボックスは無償で回収しております。エコ受付センターまでご連絡ください。

参照　「使用済みカートリッジの回収サービス」（378 ページ）参照

運用編

12

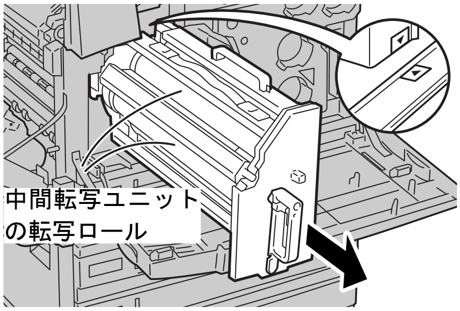
4 ハンドルの内側のレバーを手前に引きながら、ハンドルを鍵印（🔓印）のガイドラインの位置まで回す



ガイド

レバーが引きにくいときは、ハンドルを少し左に持ち上げてからレバーを引いてください。

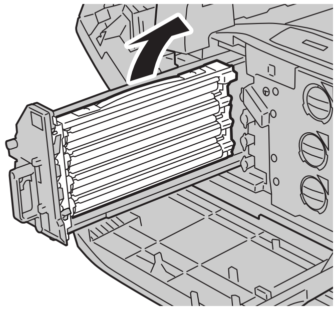
5 ハンドルを持ち、ゆっくりと確実に止まるまで中間転写ユニットを引き出す



お願い

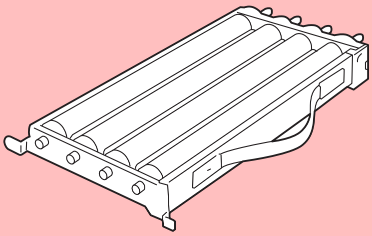
- 図の矢印の位置が合うところまで中間転写ユニットが引き出されていることを確認してください。
- 中間転写ユニットの転写ロールに触らないでください。きれいな印刷ができなくなることがあります。
- 中間転写ユニットを引き出した場合は、A（左側）カバーを絶対に閉めないでください。

6 ドラムカートリッジの取っ手を持ち、持ち上げるようにして取り外す



お願い

- ドラムカートリッジを引き出すときは、床に落とさないように注意してください。
- ドラムカートリッジに付着したトナーに触れないように注意してください。
- 使用済みのドラムカートリッジは、汚れ防止のため図のような向きで置いてください。

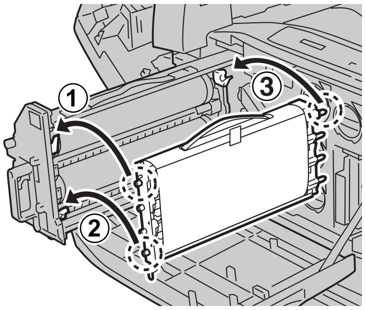


- 使用済みのドラムカートリッジは無償で回収しております。エコ受付センターまでご連絡ください。

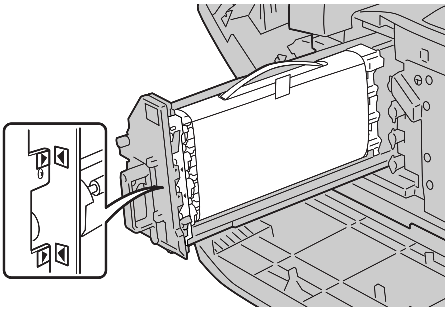
参照　「使用済みカートリッジの回収サービス」（378 ページ）参照

7 新しいドラムカートリッジを梱包箱から取り出し、梱包材を取り除く

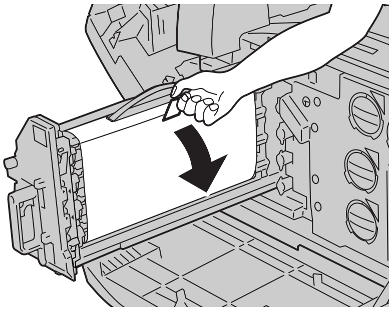
8 保護紙を付けたままドラムカートリッジの取っ手を持ち、図のように手前の突起を載せてから（①、②）奥にある側の突起を載せる（③）



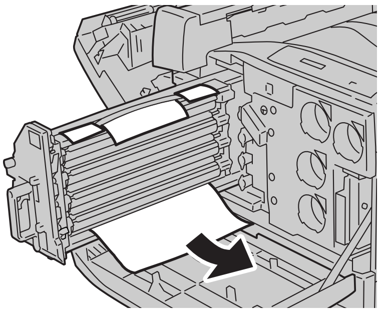
9 プリンタ本体とドラムカートリッジの 2 か所の矢印の位置が合っていることを確認する



10 ドラムカートリッジについている保護紙のつまみ部分をはがす



11 保護紙を下側から引き抜く



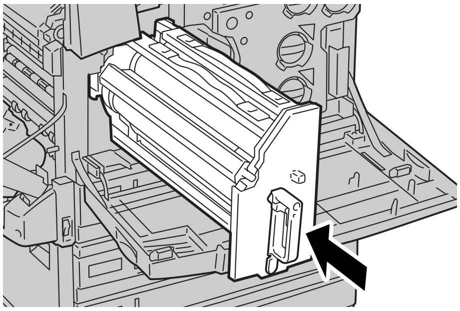
ガイド

保護紙がうまく引き抜けない場合は、一度ドラムカートリッジを軽く浮かし、下側に引っ張るようにして抜いてください。

お願い

保護紙を外したあとは、長い時間（3 分以上）そのままにしたり、強い光を当てたりしないでください。きれいな印刷ができなくなることがあります。

12 中間転写ユニットをゆっくりと奥に突き当たるまで押し込む

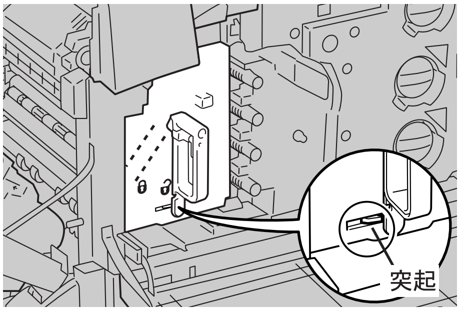


お願い

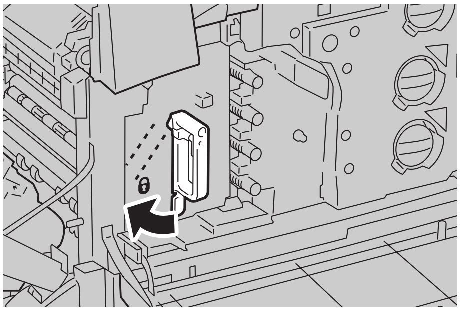
中間転写ユニットの転写ロールや、ドラムカートリッジのドラムに触らないでください。きれいな印刷ができなくなることがあります。

ガイド

中間転写ユニットが正しい位置まで戻ると、図の突起も元の位置に戻ります。



13 中間転写ユニットのハンドルを、鍵印（🔒印）のガイドラインの位置まで回す

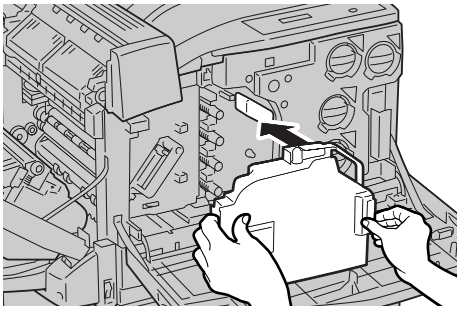


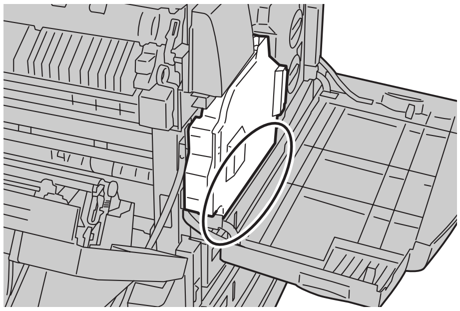
ガイド

- ハンドルが回りにくいときは、もう一度中間転写ユニットを引き出し、プリンタの奥までしっかりと押し込んでください。
- ハンドルを正しい位置まで戻すと、ハンドルが固定されます。

14 新しい廃トナーボックスを袋から取り出す

15 図の位置を持って、廃トナーボックスを取り付ける



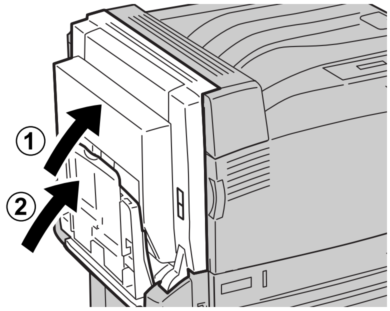


お願い

廃トナーボックスが正しくセットされていないと、フロントカバーが閉まらなかったり、オペレータパネルにメッセージが表示されたりします。廃トナーボックスは図のようにプリンタのフレーム内に正しくセットしてください。

16 「ここを押して閉めてください。」と書かれた部分を強く押し、A（左側）カバーを閉じる（①）

必要に応じて、用紙トレイ 5（手差し）を上げます（②）。

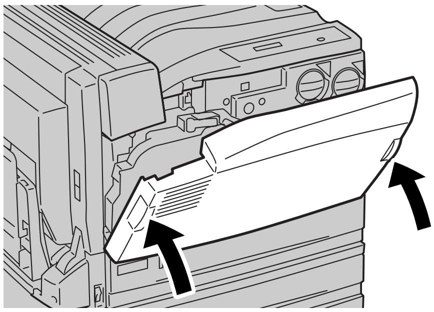


ガイド

A（左側）カバーは上部中央を持って閉じてください。
端を持って閉じると、きちんと閉まらないことがあります。

17 フロントカバーを閉じる

「プリントデキマス」とメッセージが表示されます。



ガイド

フロントカバーを閉じてから「プリントデキマス」のメッセージが表示されるまで、時間がかかる場合があります。

ドラムカートリッジの取り扱いと保管

ドラムカートリッジは、約 30,000 ページ印刷すると寿命になります（A4 (LEF) 用紙、印字率 5%、連続印刷時）。

ガイド

ドラムカートリッジの寿命は、印刷条件によって変わります。
参照「消耗品寿命について」（358 ページ）参照

参照　「サプライ品一覧」（362 ページ）参照

ドラムカートリッジを交換するときは、収納されていた箱や容器に記載されている注意事項をよく読んでから取り扱ってください。
また、ドラムカートリッジを購入した場合は、次の点に注意して保管してください。
- 箱を立てて保管しないでください。
- 使用するまでは、開封しないでください。万一、開封してしまった場合は、梱包されていたアルミ袋に入れて保管してください。
- 次の場所を避けてください。
  高温多湿、火気がある、直射日光があたる、ほこりが多い

廃トナーボックスの交換と使用上のご注意

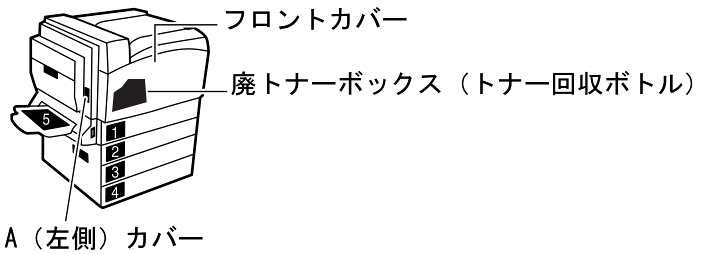
廃トナーボックスの交換のしかたと使用するときの注意事項について説明します。

廃トナーボックス交換時のご注意

廃トナーボックスの交換時期が近づくと、液晶ディスプレイに「プリント デキマス ボトル U1 コウカンジキ」というメッセージが表示されます。メッセージが表示されてからも約 1,000(*) ページは通常どおり印刷できます。新しい廃トナーボックスを用意してください。ただし、廃トナーボックスは、約 24,000 ページ印刷すると交換時期になります。メッセージが「トナーカイシュウボトル U1 ヲ コウカン シテクダサイ」に変わると、新しい廃トナーボックスに交換するまで印刷が停止されます。

*：印刷可能ページ数は、A4（LEF）の用紙を使用し、印字比率 5% で連続印刷した場合の枚数です。これは、印刷内容や用紙のサイズ、種類、使用環境、プリンタ電源の入れ切れの頻度などによって異なります。

プ゛リント デ゛キマス ボ゛トルU1 コウカンジ゛キ	→	トナーカイシュウ ボ゛トルU1ヲ コウカン シテクダ゛サイ



お願い

廃トナーボックスを交換するときは、プリンタの電源を入れたまま行ってください。電源を切ると、プリンタ内に残っている印刷データや、プリンタのメモリ上に蓄えられた情報が消去されます。

ガイド

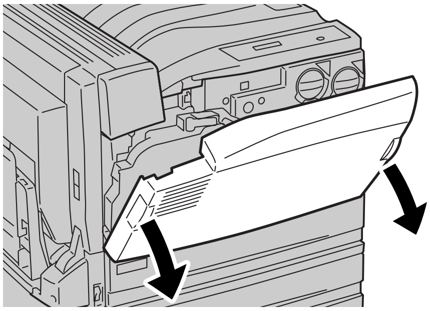
廃トナーボックスを交換するとき、回収されたトナーがこぼれて床面などを汚すことがあります。あらかじめ開いたフロントカバーの上や床に、紙などを敷いて作業することをお勧めします。

⚠ 警告	やけど	トナー、廃トナーボックス、またはトナーの入った容器を絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

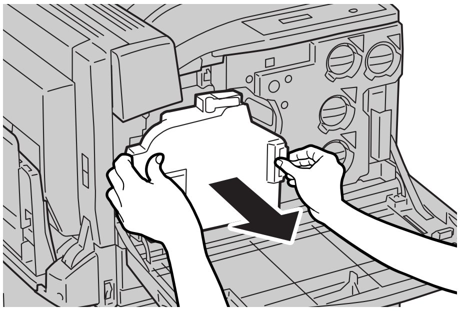
廃トナーボックスの交換

次の手順にしたがって、廃トナーボックスを交換します。

1. プリンタが印刷中でないことを確認し、フロントカバーを開ける

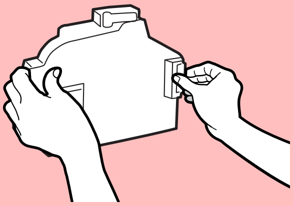


2. 廃トナーボックスを、図の位置を持って手前に引いて取り外す



お願い

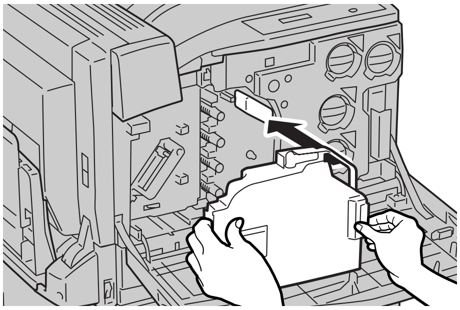
- 取り外した廃トナーボックスを傾けると、トナーがこぼれます。トナーがこぼれないように、図のように立てて置いてください。

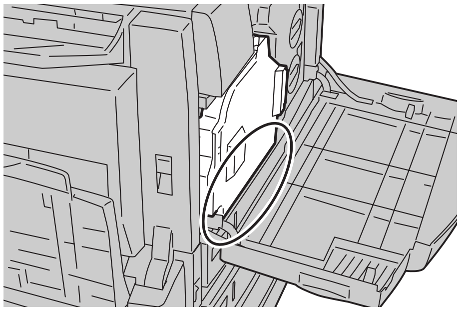


- 使用済みの廃トナーボックスは無償で回収しております。エコ受付センターまでご連絡ください。

参照　「使用済みカートリッジの回収サービス」（378 ページ）参照

3 図の位置を持って、廃トナーボックスを取り付ける



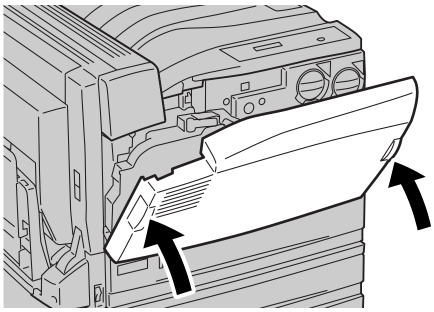


お願い

廃トナーボックスが正しくセットされていないと、フロントカバーが閉まらなかったり、オペレータパネルにメッセージが表示されたりします。図のように廃トナーボックスはプリンタのフレーム内に正しくセットしてください。

4 フロントカバーを閉じる

「プリントデキマス」とメッセージが表示されます。



ガイド

フロントカバーを閉じてから「プリントデキマス」のメッセージが表示されるまで、時間がかかる場合があります。

廃トナーボックスの取り扱いと保管

廃トナーボックスは、約24,000ページ印刷するといっぱいになります(A4 用紙、印字率5%)。

参照　「サプライ品一覧」(362 ページ)参照

廃トナーボックスを交換するときは、収納されていた箱や容器に記載されている注意事項をよく読んでから取り扱ってください。
また、廃トナーボックスを購入した場合は、次の点に注意して保管してください。
・ 使用するまでは、開封しないでください。
・ 次の場所を避けてください。
　高温多湿、火気がある、直射日光があたる、ほこりが多い

レポート / リストの印刷

ここでは、レポート / リストの種類と印刷方法について説明します。

レポート / リストの種類

本プリンタには、パソコンからの印刷データを印刷するほかに、次のレポート / リストを印刷する機能があります。

・機能設定リスト
・ジョブ履歴レポート
・エラー履歴レポート
・プリンター集計レポート
・フォントリスト
・ART EX フォーム登録リスト
・TIFF 設定リスト（本プリンタでは、使用できません。）
・TIFF 論理プリンター登録リスト（本プリンタでは、使用できません。）

レポート / リストを印刷する

レポート / リストは、オペレータパネルを操作して印刷します。ここでは、フォントリストを印刷する場合を例に説明します。ほかのレポート / リストも同様に印刷を指示してください。

1 プリンタが印刷可能であることを確認する

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
```

（メニューの表示）

2「メニュー」スイッチを押し、メニューモードにする

```
ﾒﾆｭｰ
      ﾚﾎﾟｰﾄ / ﾘｽﾄ
```

3「▶」スイッチを押す

```
ﾚﾎﾟｰﾄ / ﾘｽﾄ
 ｼﾞｮﾌﾞ ﾘﾚｷ ﾚﾎﾟｰﾄ
```

（レポート / リストの表示）

4「▲」または「▼」スイッチを何度か押して、「フォント リスト」を選択する

```
ﾚﾎﾟｰﾄ / ﾘｽﾄ
      ﾌｫﾝﾄ ﾘｽﾄ
```

5「▶」スイッチを押す

```
ﾌｫﾝﾄ ﾘｽﾄ
[ ｾｯﾄ ] ﾃﾞ  ﾌﾟﾘﾝﾄｶｲｼ
```

6「排出 / セット」スイッチを押す

```
ﾌｫﾝﾄ ﾘｽﾄ
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ ﾄﾚｲ *
```

（フォントリストが印刷されます。）

```
ﾌｫﾝﾄ ﾘｽﾄ
[ ｾｯﾄ ] ﾃﾞ  ﾌﾟﾘﾝﾄｶｲｼ
```

7「メニュー」スイッチを押す

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
```

（データ受信可能な状態に戻ります。）

レポート / リストの項目一覧

機能設定リスト

プリンタのハードウエア構成やネットワーク情報など、各種設定状態が印刷されます。詳細な項目と、印刷結果を以下に説明します。

印刷結果について

プリンタの設定によっては、表示されない項目があります。
機能設定リストの出力例については、「設定の一覧を印刷する」（69 ページ）を参照してください。

●システム設定

機械情報 （プリンタ情報）	製品名、プリンタのシリアル番号、機種コードが印刷されます。
ROM	取り付けられている ROM と、そのバージョンが印刷されます。
機械構成 （プリンタ構成）	拡張給紙ユニットや両面ユニットなど、取り付けられているオプションが印刷されます。
メンテナンス	ジョブ履歴レポート自動プリント、異常警告音、節電モード、日付 / 時刻設定、オフライン自動解除、ID 印字機能、ドラム寿命時の動作の設定状況が印刷されます。また、オプションの両面ユニットを取り付けている場合は、レポート / リストの両面プリントの設定状況も印刷されます。

●プリント設定

全体	プリントページ数、ページ記述言語、搭載フォントの状況が印刷されます。プリントページ数には、現在までに印刷したカラーと白黒の印刷ページ数と総ページ数が印刷されます。ページ記述言語には、使用できるプリント言語が印刷されます。搭載フォントには、現在搭載されている和文、欧文フォントの書体数が印刷されます。
メモリー	メモリの総容量と、プリントページバッファ、ART EX フォームメモリー、各ポートの受信バッファメモリーの設定値が印刷されます。
給紙設定	用紙トレイにセットされている用紙のサイズと向き、用紙トレイに設定されている用紙の種類、用紙トレイの優先順位の設定が印刷されます。
排紙設定	用紙置き換えの設定が印刷されます。
用紙設定	ユーザー定義用紙の名称設定と、用紙種類の優先順位、用紙種類別画質処理の設定状況が印刷されます。
バナーシート	バナーシートを出力するかどうかの設定が印刷されます。

●コミュニケーション設定

各ポートが起動しているか、停止しているかを印刷します。起動しているときは、次の項目と設定値が印刷されます。

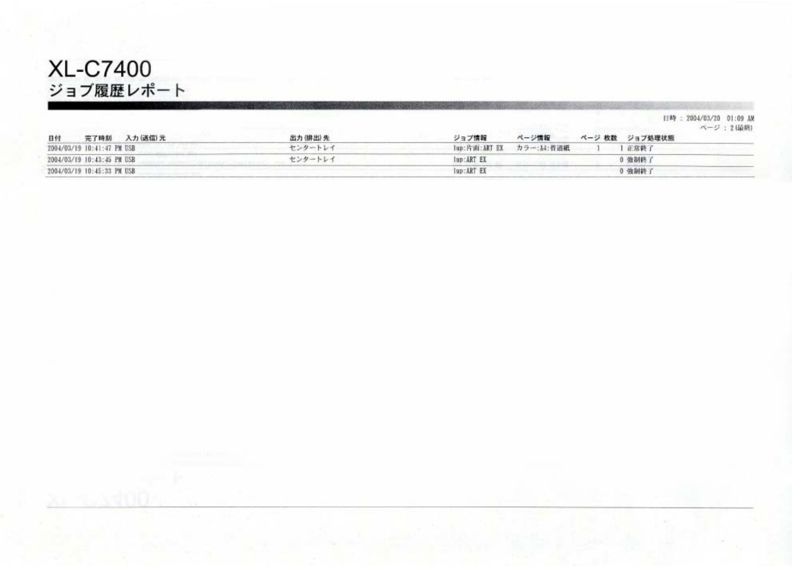
Ethernet 設定	接続タイプと MAC アドレスが印刷されます。
TCP/IP	IP アドレスの取得方法、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、受付 IP アドレス制限、ステータス情報が印刷されます。
WINS	DHCP からのアドレスの取得の設定、プライマリ WINS サーバー、セカンダリ WINS サーバーの設定が印刷されます。
DNS	DHCP からのアドレスの取得、DNS 優先サーバーアドレス、DNS 代替サーバーアドレス 1、DNS 代替サーバーアドレス 2、ドメイン名、DNS の動的更新、ステータス情報が印刷されます。
SNMP	ポート状態と、トランスポートプロトコルが印刷されます。
Internet Services	ポートの状態が印刷されます。
パラレル	ポート状態、プリントモード指定、PJL、自動排出時間、双方向通信の設定が印刷されます。
USB	ポート状態、プリントモード指定、PJL、自動排出時間が印刷されます。
NetWare	本プリンタでは、未サポートの機能です。
LPD	ポート状態、プリントモード指定、PJL、コネクションタイムアウト、ポート番号が印刷されます。
SMB	本プリンタでは、未サポートの機能です。
IPP	ポート状態、プリントモード指定、PJL、アクセス権制御、DNS 使用、ポート番号、追加ポート番号、タイムアウトが印刷されます。
RAW(Port9100)	ポート状態、プリントモード指定、PJL、ポート番号、タイムアウトが印刷されます。
メール通知サービス	ポート状態が印刷されます。
メール	受信プロトコル、SMTP サーバーアドレス、本体メールアドレス、受信ドメインの制限が印刷されます。

ジョブ履歴レポート

パソコンから送られた印刷データが、正しく印刷されたか、実行結果を印刷します。ジョブ履歴レポートには、最新の 50 件までの印刷ジョブが印刷されます。
このジョブ履歴レポートは、50 件を超えるごとに自動的に印刷させるかどうかを、オペレータパネルで設定できます。

> **ガイド**
> 自動的に印刷する設定にした場合、ジョブ履歴印刷後、履歴がクリアされます。

●ジョブ履歴レポートの出力例



XL-C7400
ジョブ履歴レポート

日時 : 2004/03/20 01:09 AM
ページ : 2 (最終)

日付	完了時刻	入力 (送信) 元	出力 (排出) 先	ジョブ情報	ページ情報	ページ	枚数	ジョブ処理状態
2004/03/19	10:41:47 PM	USB	センタートレイ	1up:片面:ART EX	カラー:A4:普通紙	1	1	正常終了
2004/03/19	10:43:45 PM	USB	センタートレイ	1up:ART EX			0	強制終了
2004/03/19	10:45:33 PM	USB		1up:ART EX			0	強制終了

●印刷結果について

ジョブ履歴レポートには、最新の 50 件までの印刷ジョブについて、次の項目が印刷されます。

日付	印刷を指示した日付が印刷されます。
完了時刻	印刷が完了した時間が印刷されます。
入力（送信）元	印刷データを受け付けたポートが印刷されます。
出力（排出）先	排出されたトレイが印刷されます。
ジョブ情報	片面印刷、両面印刷、まとめて 1 枚（N アップ）の設定、使用されたプリンタドライバの種類などが印刷されます。
ページ情報	カラー印刷、白黒印刷、出力用紙サイズ、用紙種類などが印刷されます。
ページ	印刷されたページ数が印刷されます。
枚数	印刷された用紙の枚数が印刷されます。
ジョブ処理状態	正常に印刷が終了したかどうかが印刷されます。エラー終了の内容が印刷されることがあります。

●ジョブのエラー終了について

「ジョブ処理状態」に、次のエラー終了の内容が記載されることがあります。

印字内容	原因と処置	
プリントパラメータ異常	【原因】	不定形サイズを指定して、[用紙トレイ選択] を [自動] に設定しているなど、プリントパラメータの組み合わせが不正です。
	【処置】	印刷データを確認してください。上記の場合は、用紙トレイ 5（手差し）を選択してください。
ART　EX 使用メモリー不足	【原因】	メモリが不足したため、ART EX の印刷データを処理できませんでした。
	【処置】	[印刷モード] が [高精細] の場合は [高画質] にして、もう一度印刷を指示してください。それでも状態が改善されない場合は、[標準] にして印刷を指示してください。 参照　プリンタドライバのオンラインヘルプを参照
プリントページバッファ不足	【原因】	プリントページバッファが不足したため、ART EX の印刷データを処理できませんでした。
	【処置】	次のどれかの方法で処置してください。 ・[印刷モード] が [高精細] の場合は [高画質] にする ・状態が改善されない場合は、[標準] にする ・ページ印刷モードを利用する ・プリントページバッファを増やす ・メモリーを増設する お願い [印刷モード]、[ページ印刷モード] についてはプリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。
予期しないエラー	【原因】	印刷処理中エラーが発生しました。次の原因が考えられます。 メニューの [プリント設定] の [用紙の優先順位] がすべての用紙で「シナイ」に設定されているときに、自動トレイ選択で印刷を指示している
	【処置】	自動トレイ選択で印刷をする場合は、[用紙の優先順位] で、用紙のいずれかを「シナイ」以外に設定してください。 参照　「用紙の優先順位」（197 ページ）参照
プリント言語自動判定エラー	【原因】	プリントモード指定が「ジドウ」の場合に、プリント言語を自動的に選択できませんでした。
画像伸長エラー	【原因】	イメージ処理中エラーが発生しました。
	【処置】	[印刷モード] を [高画質] にして、もう一度印刷を指示してください。それでも印刷できない場合は、ページ印刷モードで印刷してください。 参照　プリンタドライバのオンラインヘルプを参照

印字内容		原因と処置
プリント言語非搭載	【原因】	サポートされていないプリント言語が指定されました。
	【処置】	XL-C7400 用プリンタドライバで印刷してください。
PJL コマンドエラー	【原因】	PJL コマンドの構文エラーが発生しました。
	【処置】	XL-C7400 用プリンタドライバで印刷してください。
フォーム登録不能（領域不足）（116-712）	【原因】	ART EX フォームメモリが不足して、フォームが登録できませんでした。
	【処置】	ART EX フォームメモリの領域を増やしてください。 参照 「ART EX フォーム メモリー」（199 ページ）参照
指定のフォームは未登録	【原因】	指定した ART EX 用フォームは登録されていません。
	【処置】	「ART EX フォーム登録リスト」を印刷して、フォームの登録状態とフォーム名を確認してください。 参照 「レポート / リストを印刷する」（247 ページ）参照
フォームと用紙のサイズ / 方向不一致（116-711）	【原因】	指定した ART EX フォームのサイズと向きが、印刷する用紙と合っていません。
	【処置】	用紙のサイズと向きを、指定した ART EX フォームに合わせて、もう一度印刷を指示してください。
メモリ不足により両面印刷不能（116-701）	【原因】	メモリが不足したため、両面印刷ができませんでした。
	【処置】	プリントページバッファを増やして、もう一度印刷を指示してください。
代替フォントにより印刷（116-702）	【原因】	代替フォントで印刷されました。
	【処置】	印刷データを確認してください。
フォーム登録不能（登録上限数超過）（116-715）	【原因】	ART EX フォームの登録上限数に達したので、フォームが登録できませんでした。
	【処置】	不要なフォームを削除してください。各フォームの登録上限数は、64 です。 参照 「メニューの項目説明」（185 ページ）参照
116-750	【原因】	バナーシートの給紙トレイが故障しています。
	【処置】	バナーシートの給紙トレイを、正常な状態にしてください。または、オペレータパネルでバナーシートの給紙トレイを変更してください。

エラー履歴レポート

プリンタに発生した最新の 50 件までのエラーに関する情報が印刷されます。

●印刷結果について

日付	エラーが発生した日付が印刷されます。
時刻	エラーが発生した時刻が印刷されます。
エラーコード	エラーコードが印刷されます。 参照「「オペレータパネルのエラーコード」(341 ページ) 参照
エラー分類	エラー内容の簡単な説明が印刷されます。

プリンタ集計レポート

パソコン別(ジョブオーナー別)に、本プリンタで印刷した総ページ数、使用した用紙の総枚数を確認できます。印刷枚数は、カラーと白黒別にカウントされています。プリンタ集計レポートは、データを初期化した時点からのカウントになります。

ガイド

- プリンタ集計レポートの詳細については、「プリンタ集計レポートを印刷して確認する」(256 ページ) を参照してください。
- プリンタ集計レポートのデータを初期化できます。詳細については、「メニューの項目説明」(185 ページ) を参照してください。

●印刷結果について

ジョブオーナー名	印刷を指示したユーザ名が印刷されます。
ページ数 (カラーサイズ、カラー総ページ数、白黒総ページ数)	カラー印刷については、用紙サイズ別 (A3、A4、B4、B5、その他) にページ数がカウントされます。 カラー印刷された総ページ数、白黒印刷された総ページ数、[カラー総ページ数] と [白黒総ページ数] を合計した [総ページ数] が印刷されます。
枚数 (カラー総枚数、白黒総枚数)	カラー印刷された用紙の総枚数、白黒印刷された用紙の総枚数、[カラー総枚数] と [白黒総枚数] を合計した [総枚数] が印刷されます。

フォントリスト

ART EX で使用できるフォントの一覧が印刷されます。

●印刷結果について

フォントリストには、標準の ART EX で使用できるフォントの名称とサンプル文字列が印刷されます。

ART EX フォーム登録リスト

オーバーレイ印字機能で、フォームとして登録した文書の一覧が印刷されます。

参照　プリンタドライバのオンラインヘルプ

●印刷結果について

トータル登録フォームサイズ制限	フォーム容量の最大値が印刷されます。この値を超えてフォームを登録することはできません。
登録番号	フォームの登録番号が印刷されます。
登録フォーム名	登録したフォーム名が印刷されます。
バイト数	登録したフォームの容量が印刷されます。

TIFF 設定リスト

本プリンタでは使用できません。

TIFF 論理プリンタ登録リスト

本プリンタでは使用できません。

総印刷枚数を確認する

本プリンタでの総印刷枚数の確認方法について説明します。
総印刷枚数のカウントの仕方には２種類あり、確認方法も異なります。１つは、カラー印刷または白黒印刷など、印刷のカラーモードで区分されているメーター別に印刷総枚数を確認する方法です。もう１つは、印刷を指示したパソコン別に本プリンタで印刷した総ページ数を確認する方法です。

オペレータパネルで確認する

オペレータパネルの液晶ディスプレイの表示で、メーター別の総印刷枚数を確認できます。メーターは、カラーモードによって区分されています。

メーター１	白黒印刷
メーター２	通常は使用しません。
メーター３	カラー印刷

ガイド

アプリケーション側で ICC プロファイルなどを使って色変換した印刷データを、［自動（カラー / 白黒）］で印刷した場合、モニター上で白黒に見える原稿でもカラーで印刷されます。また、その場合、メーターはメーター３（カラー印刷）がカウントされます。

次の手順にしたがって、オペレータパネルで総印刷枚数を確認します。

1 プリンタが印刷可能であることを確認する

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
```

2 「メニュー」スイッチを押し、メニューモードにする

```
ﾒﾆｭｰ
    ﾚﾎﾟｰﾄ / ﾘｽﾄ
```

3 「▲」または「▼」スイッチを何度か押し、「メーター カクニン」を選択する

```
ﾒﾆｭｰ
    ﾒｰﾀｰ ｶｸﾆﾝ
```

4 「▶」スイッチを押す

```
ﾒｰﾀｰ 1
          12345
```

（メーター確認の表示）

次ページへ

前ページから

5 「▲」または「▼」スイッチを何度か押して、確認したいメーターを選択する

```
ﾒｰﾀｰ 3
            123
```

6 「メニュー」スイッチを押す

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
```

（データ受信可能な状態に戻ります。）

プリンタ集計レポートを印刷して確認する

パソコン別（ジョブオーナー別）に、本プリンタで印刷した総ページ数、使用した用紙の総枚数が、プリンタ集計レポートで確認できます。印刷枚数は、カラーと白黒別にカウントされています。プリンタ集計レポートは、データを初期化した時点からのカウントになります。
プリンタ集計レポートは、オペレータパネルを操作して印刷します。

プリンタ集計レポートの印刷結果について

プリンタ集計レポートには、次の項目が印刷されます。

初期化日時	プリンタ集計データを初期化した日時です。
レポート作成日時	プリンタ集計レポートを印刷した日時です。

ジョブオーナーごとに、次の項目が印刷されます。

ジョブオーナー名	最大 200 ユーザーまでのオーナー名が印刷されます。管理対象になるユーザー名はプリンタドライバの［ジョブオーナーの指定］で設定します。ジョブオーナーの指定をしない場合、または 201 人め以降のユーザーの印刷ジョブは、最後から 2 つめの「UnknownUser」欄に集計されます。レポート / リストの出力は、最後の「Report/List」欄に集計されます。
カラー A3 ページ数	A3 以上のサイズの用紙にカラーで印刷したページ数です。
カラー A4 ページ数	A4 サイズの用紙にカラーで印刷したページ数です。
カラー B4 ページ数	B4 サイズの用紙にカラーで印刷したページ数です。
カラー B5 ページ数	B5 サイズの用紙にカラーで印刷したページ数です。
カラーその他ページ数	B5 より小さなサイズの用紙にカラーで印刷したページ数です。
カラー総ページ数	カラーで印刷した総ページ数です。
白黒総ページ数	白黒で印刷した総ページ数です。
総ページ数	実際に印刷した総ページ数です。1 印刷ジョブが終了するたびにカウントされます。

カラー枚数	カラーで印刷に使用した用紙の枚数です。
白黒枚数	白黒で印刷に使用した用紙の枚数です。
総枚数	印刷に使用した用紙の総枚数です。1 印刷ジョブが終了するたびにカウントされます。

ガイド

プリンタ集計レポートのデータは初期化できます。機能の詳細は「メニューの項目説明」（185 ページ）を参照してください。

プリンタ集計レポートの印刷

1 プリンタが印刷可能であることを確認する

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ

（メニューの表示）

2「メニュー」スイッチを押し、メニューモードにする

ﾒﾆｭｰ
ﾚﾎﾟｰﾄ / ﾘｽﾄ

3「▶」スイッチを押す

ﾚﾎﾟｰﾄ / ﾘｽﾄ
ｼﾞｮﾌﾞﾘﾚｷ ﾚﾎﾟｰﾄ

（レポート / リストの表示）

4「▲」または「▼」スイッチを何度か押して、「シュウケイ　レポート」を選択する

ﾚﾎﾟｰﾄ / ﾘｽﾄ
ｼｭｳｹｲ ﾚﾎﾟｰﾄ

5「▶」スイッチを押す

ｼｭｳｹｲ ﾚﾎﾟｰﾄ
[ｾｯﾄ] ﾃﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄｶｲｼ

6「排出 / セット」スイッチを押す

ｼｭｳｹｲ ﾚﾎﾟｰﾄ
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ ﾄﾚｲ *

（プリンタ出力集計レポートが印刷されます。）

ｼｭｳｹｲ ﾚﾎﾟｰﾄ
[ｾｯﾄ] ﾃﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄｶｲｼ

7「メニュー」スイッチを押す

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ

（データ受信可能な状態に戻ります。）

プリンタ集計のデータ初期化

1 プリンタが印刷可能であることを確認する

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
```
（メニューの表示）

2 「メニュー」スイッチを押し、メニューモードにする

```
ﾒﾆｭｰ
 ﾚﾎﾟｰﾄ / ﾘｽﾄ
```

3 「▲」または「▼」スイッチを何度か押して、「キカイ　カンリシャ　メニュー」を選択する

```
ﾒﾆｭｰ
 ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
```

4 「▶」スイッチを押す

```
ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
ﾈｯﾄﾜｰｸ / ﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ
```
（機械管理者メニューの表示）

5 「▲」または「▼」スイッチを何度か押す

```
ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
 ｼｮｷｶ / ﾃﾞｰﾀｻｸｼﾞｮ
```

6 「▶」スイッチを押す

```
ｼｮｷｶ / ﾃﾞｰﾀｻｸｼﾞｮ
  NV ﾒﾓﾘｰ ｼｮｷｶ
```
（初期化 / データ削除の表示）

7 「▲」または「▼」スイッチを押す

```
ｼｮｷｶ / ﾃﾞｰﾀｻｸｼﾞｮ
ｼｭｳｹｲ ﾚﾎﾟｰﾄ ｼｮｷｶ
```

8 「▶」スイッチを押す

```
ｼｭｳｹｲ ﾚﾎﾟｰﾄ ｼｮｷｶ
[ ｾｯﾄ ] ﾃﾞ ｼｮｷｶ ｶｲｼ
```

9 「排出 / セット」スイッチを押す

```
ｼｭｳｹｲ ﾚﾎﾟｰﾄ ｼｮｷｶ
ｼｮｷｶ ｼﾃｲﾏｽ
```

```
ｼｭｳｹｲ ﾚﾎﾟｰﾄ ｼｮｷｶ
[ ｾｯﾄ ] ﾃﾞ ｼｮｷｶ ｶｲｼ
```

10 「メニュー」スイッチを押す

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
```
（データ受信可能な状態に戻ります。）

階調を補正する

階調補正について

印刷画質の色階調がずれた場合に、階調を補正することができます。
階調を補正することによって、プリンタの印刷画質を一定の品質に保つことができます。
階調補正には、「解像度優先」と「階調優先」の２種類があります。
テキストのように精細度を重視する部分を補正する場合は「解像度優先」を選択します。グラデーションなどを含むグラフィックスや写真イメージのように階調の滑らかさを補正する場合は「階調優先」を選択します。
C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）各色の低濃度（Low）/ 中濃度（Mid）/ 高濃度（High）を調整することができます。
濃度設定値を初期値（工場出荷時の値）に戻すときは、すべての値を「0」に設定してください。「0」にすると印刷時に階調補正は働きません。

ガイド

- 階調補正をしてもたびたび色階調がずれるような場合は、ご購入元または「ハードウェア修理相談センター」（378 ページ）にお問い合わせください。
- 濃度設定値を工場出荷時の値（すべて「0」）にしても、設置時の画質に戻るということではありません。お使いの期間が長くなると、プリンターの経時変化、環境変化、印刷枚数などの影響によって、設置時の画質とは異なります。

階調補正を行う

階調補正を行う場合の操作は、次のように行います。

階調補正

（Internet Servicesを利用）

1. 手差しトレイに A4の用紙を ▯方向にセット
   参照 「用紙トレイ 5(手差し)に用紙をセットする」(291 ページ) 参照
2. 階調補正チャート(解像度優先/階調優先)の印刷
   参照 「チャートの印刷」(260 ページ) 参照
3. 濃度設定値の決定
   参照 「設定値の決め方」(262 ページ) 参照
4. Webブラウザで濃度設定値の入力 → 新しい設定を適用する を押す
   参照 「設定値の入力の仕方」(265 ページ) 「Web ブラウザでの入力」(265 ページ) 参照

ネットワークが使用できない場合

- プリンタのオペレータパネルでの濃度設定値の入力
  参照 「設定値の入力の仕方」(265 ページ)、「オペレータパネルでの入力」(266 ページ) 参照

チャートの印刷

階調補正チャートは、用紙トレイ 5（手差し）を使用して A4 ▯（LEF）の用紙に印刷します。階調優先の階調補正チャートを印刷する例で説明します。

> **ガイド**
> 解像度優先の階調補正チャートを印刷する場合は、以下の操作手順の 8 で「カイゾウド」を選択してください。

1 プリンタが印刷可能であることを確認する

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
```

（メニューの表示）

2 「メニュー」スイッチを押し、メニューモードにする

```
ﾒﾆｭｰ
 ﾚﾎﾟｰﾄ / ﾘｽﾄ
```

3 「▲」または「▼」スイッチを何度か押して、「キカイ　カンリシャ　メニュー」を選択する

```
ﾒﾆｭｰ
 ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
```

次ページに

前ページから

4 「▶」スイッチを押す

ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
ﾈｯﾄﾜｰｸ / ﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ

（機械管理者メニューの表示）

5 「▲」または「▼」スイッチを何度か押す

ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
ｶﾞｼﾂ ﾎｾｲ

6 「▶」スイッチを押す

ｶﾞｼﾂ ﾎｾｲ
ｶｲﾁｮｳ ﾎｾｲ

（画質補正の表示）

7 「▶」スイッチを押す

ｶｲﾁｮｳ ﾎｾｲ
ｶｲｿﾞｳﾄﾞ

（階調補正の表示）

8 「▲」または「▼」スイッチを押して、印刷したいチャート（「カイゾウド」または「カイチョウ」）を選択する

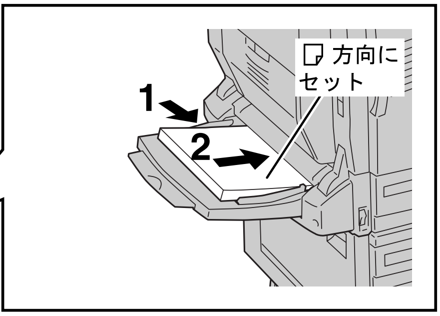
ｶｲﾁｮｳ ﾎｾｲ
ｶｲﾁｮｳ

9 「▶」スイッチを押す

ｶｲﾁｮｳ
ｶｲﾁｮｳﾎｾｲﾁｬｰﾄ

10 「▶」スイッチを押す

ﾃﾞｻﾞｼﾆ A4 ﾀﾃﾖ ｾｯﾄｼ
[ｾｯﾄ] ﾃﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄｶｲｼ



11 「排出 / セット」スイッチを押す

ｶｲﾁｮｳﾎｾｲﾁｬｰﾄ
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ

（チャートが印刷されます。）

ﾃﾞｻﾞｼﾆ A4 ﾀﾃﾖ ｾｯﾄｼ
[ｾｯﾄ] ﾃﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄｶｲｼ

12 「メニュー」スイッチを押す

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ

（データ受信可能な状態に戻ります。）

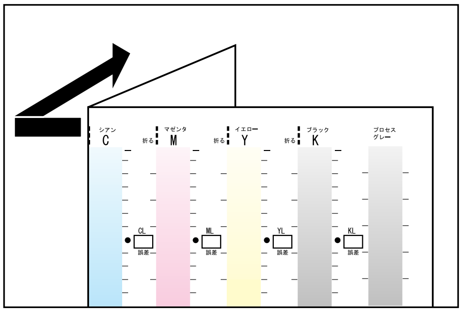
設定値の決め方

濃度設定値は、印刷した「階調補正チャート」とプリンタに添付されている階調補正用色見本の濃度を比較して決定します。
階調補正チャートの補正パッチから、色見本の濃度に近いものを探します。設定範囲は、-6 ～ +6 の 13 段階です。
階調補正用色見本に記載されている手順も参照し、設定してください。

ガイド

工場出荷時の濃度設定値はすべて「0」です。

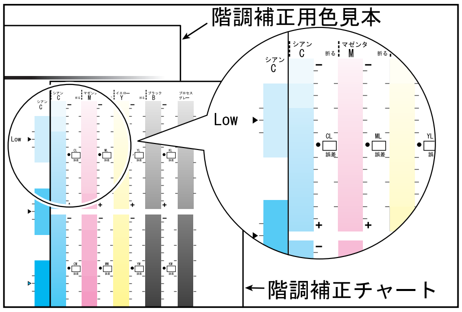
1 **印刷した階調補正チャートを、補正する色の上下のガイド（点線）に沿って山折りにする**



2 **チャートの補正する濃度を、色見本の同じ濃度の場所に合わせる**

ガイド

低濃度（L）の補正をする場合は、Low と Low を合わせます。

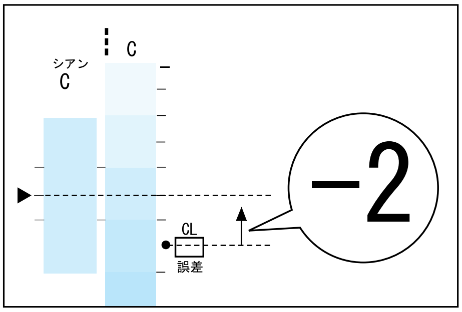


3 **色見本の［▶］印にチャートの同じ濃度の部分が来るように、チャートを上下にずらす**

同じ濃度の部分が決まったら、チャートの［･］印と色見本の［▶］印との誤差を目盛りから読み取ります。

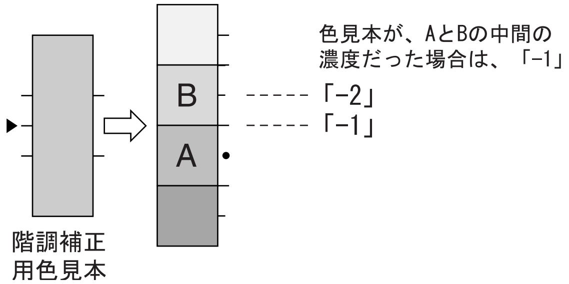
お願い

マイナス（-）とプラス（+）の方向に注意して読み取ってください。



ガイド

・色見本の色が、階調補正チャートの補正パッチの色と色の中間の濃度だった場合は、境界線の目盛り（右の例では -1）を読み取ってください。
・誤差が設定範囲（-6 ～ +6）を超える場合、ここでは最大値を誤差として補正を行い、再度補正を行ってください。



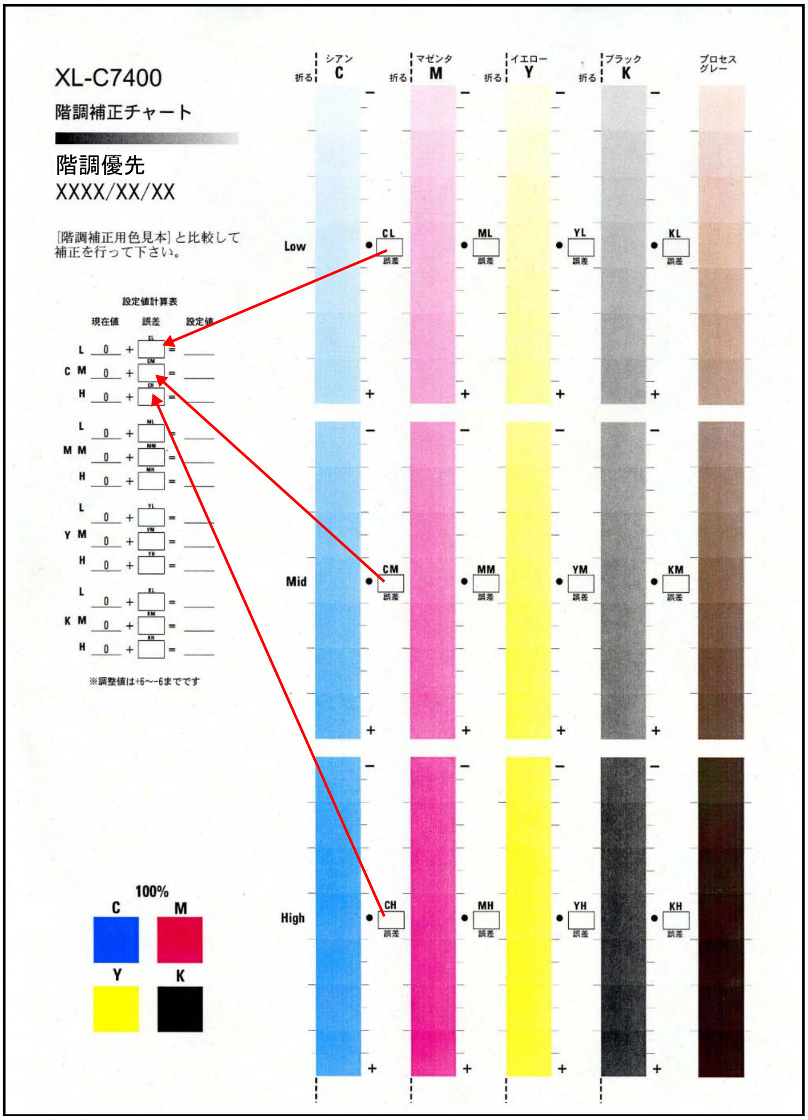
4 該当する「誤差」ボックスに、誤差を記入する

5 同じ色のほかの 2 つの濃度も同様に誤差を読み取りる

6 同様に CMYK の残りの色に対して **1** ～ **5** を繰り返し、誤差を読み取る

7 すべての色の濃度誤差を記入したら、チャートの左側にある「設定値計算表」の「誤差」の該当する箇所に書き写す

以下は、シアンの例です。



8 計算表の式に従って設定値を求め、「設定値」に記入する

「現在値」には、前回の補正時に入力した値が表示されます。

設定値の入力の仕方

「階調補正チャート」の設定値計算表の「設定値」に記入した濃度設定値をプリンタに設定します。TCP/IP 環境が使用できる場合は、「Internet Services」を使用して、Web ブラウザ上で入力します。TCP/IP 環境が使用できない場合は、オペレータパネルから入力します。

● Web ブラウザでの入力

参照　「ホストからプリンタを設定する (Internet Services)」（226 ページ）参照

1. パソコン上で Web ブラウザを起動する

2. Web ブラウザのアドレス入力欄に、プリンタの IP アドレス、または URL を入力し、キーボードの〈Enter〉キーを押す

   Internet Services の画面が表示されます。

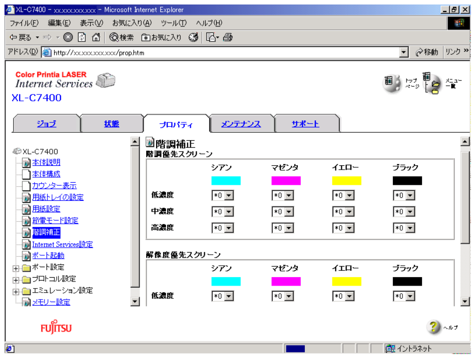


3. ［プロパティ］をクリックする

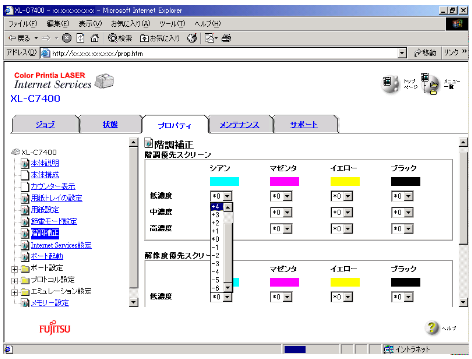
   ［プロパティ］タブが表示されます。

4. 左側エリアの［階調補正］をクリックする

   右側エリアに、次の画面が表示されます。



5. 該当する色の濃度のメニューから値を選択する



6. 同じ色のほかの 2 つの濃度も同様にメニューから値を選択する

7 CMYK の残りの色に対しても同様にメニューから値を選択する

8 すべての色の濃度設定値が入力できたら、[新しい設定を適用する] をクリックする

補正の結果を確認するには、「チャートの印刷」(260 ページ) を参照して、該当するチャートを印刷します。
結果に満足できないときは、再度補正を行います。
[プロセスグレー] は、CMY を掛け合わせて作られているグレーです。補正が正常に行われると、このグレーがブラックと同様に色味がないグレーになります。プロセスグレーの中に、CMY のどれかの色が強く感じられる場合は、その色を再度補正します。

●オペレータパネルでの入力

濃度設定値の入力方法は、次のとおりです。
ここでは、階調優先のシアンの中濃度 (M) を例に説明します。

参照　「第 9 章　オペレータパネルの操作」(175 ページ) 参照

1 プリンタが印刷可能であることを確認する

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
```
(メニューの表示)

2 「メニュー」スイッチを押し、メニューモードにする

```
ﾒﾆｭｰ
 ﾚﾎﾟｰﾄ / ﾘｽﾄ
```

3 「▲」または「▼」スイッチを何度か押して、「キカイ　カンリシャ　メニュー」を選択する

```
ﾒﾆｭｰ
 ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
```

4 「▶」スイッチを押す

```
ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
ﾈｯﾄﾜｰｸ / ﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ
```
(機械管理者メニューの表示)

5 「▲」または「▼」スイッチを何度か押して、補正したいモードを選択する

```
ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
    ｶﾞｼﾂ ﾎｾｲ
```

6 「▶」スイッチを押す

```
ｶﾞｼﾂ ﾎｾｲ
    ｶｲﾁｮｳ ﾎｾｲ
```
(画質補正の表示)

7 「▶」スイッチを押す

```
ｶｲﾁｮｳ ﾎｾｲ
     ｶｲｿﾞｳﾄﾞ
```
(階調補正の表示)

次ページに

前ページから

8 「▲」または「▼」スイッチを押して、補正したいモードを選択する

```
ｶｲﾁｮｳ ﾎｾｲ
      ｶｲﾁｮｳ
```

9 「▶」スイッチを押す

```
ｶｲﾁｮｳ
  ｶｲﾁｮｳﾎｾｲﾁｬｰﾄ
```

10 「▲」または「▼」スイッチを押す

```
ｶｲﾁｮｳ
     ﾎｾｲ ｾｯﾄ
```

11 「▶」スイッチを押す

```
ﾎｾｲ ｾｯﾄ（ｶｲﾁｮｳ）
     ｼｱﾝ (C)
```

（補正セット（階調）の表示）

12 「▲」または「▼」スイッチを押して、補正する色を選択する

```
ﾎｾｲ ｾｯﾄ（ｶｲﾁｮｳ）
     ｼｱﾝ (C)
```

13 「▶」スイッチを押す

```
ｼｱﾝ (C) ｶｲﾁｮｳ
L= 0,M= 0,H= 0 *
```

14 「▶」スイッチを押して、補正する濃度（L- 低濃度、M- 中濃度、H- 高濃度）を選択する

選択した濃度の数値の下にアンダーラインが表示されます。値を変更するまで右端に「*」が表示されます。

```
ｼｱﾝ (C) ｶｲﾁｮｳ
L= 0,M= 0,H= 0 *
```

15 「▲」または「▼」スイッチを押して、チャートの計算表の「設定値」の値を入力する

```
ｼｱﾝ (C) ｶｲﾁｮｳ
L= 0,M= 1,H= 0
```

16 「排出 / セット」スイッチを押す

```
ｼｱﾝ (C) ｶｲﾁｮｳ
L= 0,M= 1,H= 0 *
```

（濃度調整値が確定します。）

17 ほかの色も補正する場合は「◀」スイッチを何度か押して「ホセイ　セット」まで戻り、手順 12 ～ 16 までの操作を繰り返す

18 目的の色の補正が終わったら「メニュー」スイッチを押す

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
```

（データ受信可能な状態に戻ります。）

補正の結果を確認するには、「チャートの印刷」（260 ページ）を参照して、該当するチャートを印刷します。
結果に満足できないときは、再度補正を行います。
［プロセスグレー］は、CMY を掛け合わせて作られているグレーです。補正が正常に行われると、このグレーがブラックと同様に色味がないグレーになります。プロセスグレーの中に、CMY のどれかの色が強く感じられる場合は、その色を再度補正します。

カラーレジを補正する

カラーレジ補正について

ドラムカートリッジなどを交換したあとの印刷結果に色版のずれが発生した場合は、カラーレジ補正チャートを印刷して設定値を確認し、カラーレジを補正します。

カラーレジ補正

1. 手差しトレイにA4の用紙を方向にセット
   参照 「用紙トレイ5(手差し)に用紙をセットする」(291 ページ) 参照
2. カラーレジ補正チャートの印刷
   参照 「カラーレジ補正チャートを印刷する」(270 ページ) 参照
3. 補正値の決定
   参照 「補正値の決めかた」(271 ページ) 参照
4. 補正値を入力する
   参照 「補正値を入力する」(272 ページ) 参照

カラーレジ補正を行う場合は、オペレータパネルから操作します。

参照 「第９章 オペレータパネルの操作」(175 ページ) 参照

カラーレジ補正チャートを印刷する

1 プリンタが印刷可能であることを確認する

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
```
（メニューの表示）

2 「メニュー」スイッチを押し、メニューモードにする

```
ﾒﾆｭｰ
 ﾚﾎﾟｰﾄ / ﾘｽﾄ
```

3 「▲」または「▼」スイッチを何度か押して、「キカイ　カンリシャ　メニュー」を選択する

```
ﾒﾆｭｰ
 ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
```

4 「▶」スイッチを押す

```
ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
ﾈｯﾄﾜｰｸ / ﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ
```
（機械管理者メニューの表示）

5 「▲」または「▼」スイッチを何度か押して、「ガシツ　ホセイ」を選択する

```
ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
    ｶﾞｼﾂ ﾎｾｲ
```

6 「▶」スイッチを押す

```
ｶﾞｼﾂ ﾎｾｲ
    ｶｲﾁｮｳ ﾎｾｲ
```
（画質補正の表示）

7 「▲」または「▼」スイッチを何度か押す

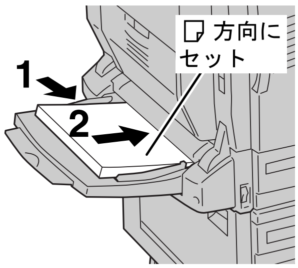
```
ｶﾞｼﾂ ﾎｾｲ
  ｶﾗｰ ﾚｼﾞ  ﾎｾｲ
```

8 「▶」スイッチを押す

```
ｶﾗｰ ﾚｼﾞ  ﾎｾｲ
ｶﾗｰﾚｼﾞ  ﾎｾｲ ﾁｬｰﾄ
```

9 「▶」スイッチを押す

```
ﾃｻﾞｼﾆ A4 ﾀﾃﾖ ｾｯﾄｼ
[ ｾｯﾄ ] ﾃﾞ  ﾌﾟﾘﾝﾄｶｲｼ
```



10 「排出 / セット」スイッチを押す

```
ｶﾗｰﾚｼﾞ  ﾎｾｲ ﾁｬｰﾄ
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ
```
（カラーレジ補正チャートが印刷されます。）

```
ﾃｻﾞｼﾆ A4 ﾀﾃﾖ ｾｯﾄｼ
[ ｾｯﾄ ] ﾃﾞ  ﾌﾟﾘﾝﾄｶｲｼ
```

11 「メニュー」スイッチを押す

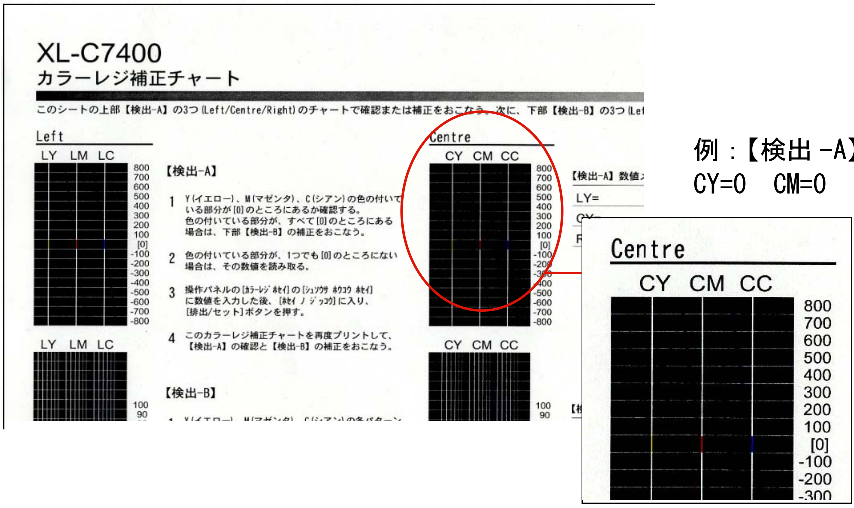
```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
```
（データ受信可能な状態に戻ります。）

補正値の決めかた

印刷したカラーレジ補正チャートから、次の手順に従って［Left］、［Centre］、［Right］の値を読み取ります。ここでは、［Centre］を例に説明します。

1　［検出 -A］で、［Centre］の［CY］、［CM］、［CC］のもっとも目立つ数値を読み取る

［Left］、［Right］についても同じ方法で読み取ります。



例：【検出 -A】
CY=0　CM=0　CC=0

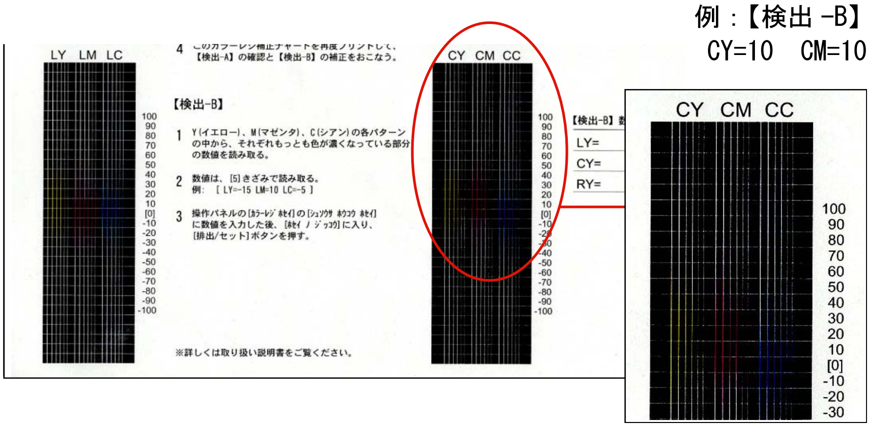
・読み取った数値が［0］以外の場合
ここで読み取った数値が補正値です。「補正値を入力する」（272 ページ）を参照して、補正値を設定してください。設定したら、カラーレジ補正チャートを印刷して、もう一度設定値を読み取ってください。

・読み取った数値が［0］の場合
手順 2 に進んでください。

2　［検出 -B］で、［Centre］の［CY］、［CM］、［CC］のもっとも目立つ数値を読み取る

［Left］、［Right］についても同じ方法で読み取ります。

例：【検出 -B】
CY=10　CM=10　CC=−10



読み取った数値が補正値です。「補正値を入力する」（272 ページ）を参照して、補正値を設定してください。

補正値を入力する

1. プリンタが印刷可能であることを確認する

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
```

2. 「メニュー」スイッチを押し、メニューモードにする

```
ﾒﾆｭｰ
 ﾚﾎﾟｰﾄ / ﾘｽﾄ
```

3. 「▲」または「▼」スイッチを何度か押して、「キカイ　カンリシャ　メニュー」を選択する

```
ﾒﾆｭｰ
 ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
```

4. 「▶」スイッチを押す

```
ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
ﾈｯﾄﾜｰｸ / ﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ
```

（機械管理者メニューの表示）

5. 「▲」または「▼」スイッチを何度か押す

```
ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
    ｶﾞｼﾂ ﾎｾｲ
```

6. 「▶」スイッチを押す

```
ｶﾞｼﾂ ﾎｾｲ
    ｶｲﾁｮｳ ﾎｾｲ
```

（画質補正の表示）

7. 「▲」または「▼」スイッチを押す

```
ｶﾞｼﾂ ﾎｾｲ
  ｶﾗｰ ﾚｼﾞ ﾎｾｲ
```

8. 「▶」スイッチを押す

```
ｶﾗｰﾚｼﾞ ﾎｾｲ
ｶﾗｰﾚｼﾞ ﾎｾｲ ﾁｬｰﾄ
```

9. 「▲」または「▼」スイッチを押す

```
ｶﾗｰﾚｼﾞ ﾎｾｲ
 ｼｭｿｳｻ ﾎｳｺｳ ﾎｾｲ
```

次ページに

前ページから

10 「▶」スイッチを押す

```
ｼｭｿｳｻ ﾎｳｺｳ ﾎｾｲ
 ﾎｾｲ (LY, LM, LC)
```

11 「▲」または「▼」スイッチを押す

```
ｼｭｿｳｻ ﾎｳｺｳ ﾎｾｲ
 ﾎｾｲ (CY, CM, CC)
```

12 「▶」スイッチを押す

```
ﾎｾｲ (CY, CM, CC)
  000,  000,  000
```

13 「▶」スイッチを押して、補正するフィールドを移動する

```
ﾎｾｲ (CY, CM, CC)
  000,  000,  000
```

14 「▲」または「▼」スイッチで補正値を変更する

```
ﾎｾｲ (CY, CM, CC)
  000, +100,  000
```

15 「排出 / セット」スイッチを押す

```
ｼｭｿｳｻ ﾎｳｺｳ ﾎｾｲ
 ﾎｾｲ (CY, CM, CC)
```

16 ほかの主走査方向も補正する場合は、11～15までの操作を繰り返す

17 「▲」または「▼」スイッチを何度か押す

```
ｼｭｿｳｻ ﾎｳｺｳ ﾎｾｲ
  ﾎｾｲ ﾉ ｼﾞｯｺｳ
```

18 「▶」スイッチを押す

```
ｼｭｿｳｻ ﾎｳｺｳ ﾎｾｲ
[ｾｯﾄ]ﾃﾞ ﾎｾｲ ｶｲｼ
```

19 「排出 / セット」スイッチを押す

```
ｼｭｿｳｻ ﾎｳｺｳ ﾎｾｲ
  ﾎｾｲ ﾉ ｼﾞｯｺｳ
```

20 メニュー」スイッチを押す

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
```

(データ受信可能な状態に戻ります。)

プリンタの清掃

プリンタを良好な状態に保ち、いつもきれいな印刷ができるように、約 1 カ月に 1 回、プリンタ外部を清掃してください。また、プリンタの内部は必要に応じて清掃してください。

プリンタ外部の清掃

⚠ 警告

感　電	プリンタを清掃する場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 電源スイッチを切らずに製品を清掃すると、感電の原因となるおそれがあります。
火　災	ベンジン、シンナーなどの揮発性のものを使用したり、殺虫剤をかけたりしないでください。 火災やカバー類の変色、変形、ひび割れの原因となります。

1 プリンタの外側を水でぬらして固く絞った柔らかい布でふく

汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めの中性洗剤を少量含ませ、軽くふいてください。

お願い

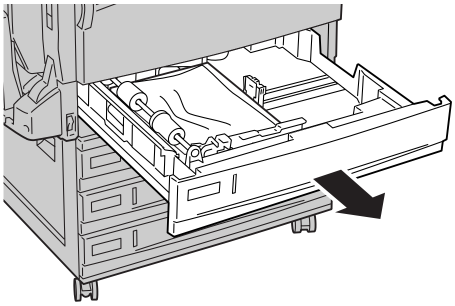
水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。

2 柔らかい布で、水分をふき取る

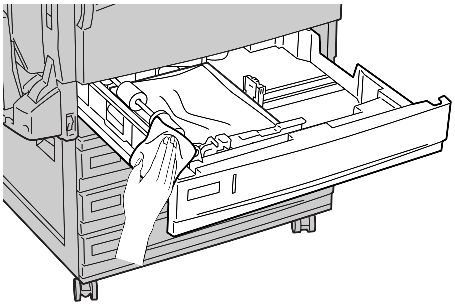
プリンタ内部の清掃

給紙ローラの清掃

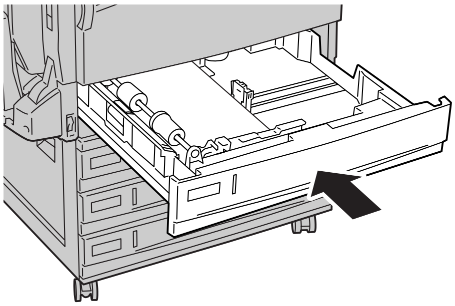
1. 用紙トレイを引き出す



2. 水でぬらして固く絞った柔らかい布で給紙ローラをふく



3. 奥に突き当たるところまで、用紙トレイをゆっくりと押し込む



フューザの清掃

定着不良やフューザ付近での紙づまりなどにより、用紙に写らなかったトナーが残留し、印刷不良の原因となることがあります。印字汚れが発生したときは、白紙データを数枚印刷し、フューザについたトナーを除去してください。

●白紙の印刷方法（例）

ワードパッド等で 10.5 ポイント文字 1 文字を入力した文書を作成し、印刷してください。

プリンタを長時間使用しないとき

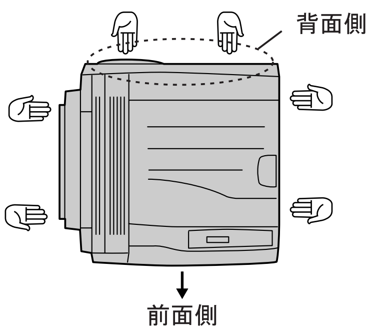
1 週間以上プリンタを使用しないときは、電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いておきます。また、用紙を用紙トレイから取り出し、湿気やほこりの少ない場所に置きます。下記「プリンタを移動するとき」の❶～❸を参照してください。

プリンタを移動するとき

トラックで長距離運搬するなどの、大きな振動を伴なったプリンタの移動手順について説明します。

⚠ 注意

けが
・本プリンタの重さは約 59kg（オプション品を除く）です。必ず３人以上で持ち運んでください。なお、プリンタを持ち運ぶときは、必ずオプショントレイを本体から取り外してください。
・本プリンタを持ち上げるときには、十分にひざを折り、腰を痛めないように注意してください。本プリンタを３人で持ち上げるときは、持ち手のいない面（前面側）に傾きやすいので十分に注意して持ち上げてください。
・本プリンタを持ち上げるときは、プリンタの左右と背面に向かって、左右両側、背面側の下方にあるくぼみを両手でしっかりと持ってください。両側、背面側のくぼみ以外を持って、持ち上げることは絶対にしないでください。



・本プリンタを移動する場合は、プリンタを 10°以上に傾けないでください。転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。

感　電
・アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から抜いてから行ってください。

1 電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く

警告	感 電	電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあります。

注意	感 電	・電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。 ・アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から抜いてから行ってください。

2 電源コードおよびインタフェースケーブルなどすべての接続コードを外す

3 用紙トレイから用紙を取り出し、湿気やホコリがない場所に保管する

4 輸送時の振動でフロントカバーが開かないように、フロントカバー上面部をテープでしっかりと固定する

5 オプションの拡張給紙ユニット -A(1 トレイ) または、拡張給紙ユニット -B(3 トレイ) を取り付けている場合は取り外す

参照　「拡張給紙ユニットを取り外す」(91 ページ) 参照

6 プリンタを傷つけないように梱包し、運搬する

第 13 章
用紙について

この章では、本プリンタで使用できる用紙とその保管のしかた、および用紙のセットのしかたについて説明します。

使用できる用紙

本製品で使用できる用紙について、給紙方法、用紙サイズ、および用紙の種類ごとに説明します。

給紙方法と用紙のサイズ

一般に市販されている用紙（一般紙と呼びます）に印刷する場合は、下表の規格に合った用紙を使用してください。ただし、より鮮明に印刷するためには、次ページで紹介する標準紙の使用をお勧めします。

用紙トレイ	仕様
用紙トレイ 1	収納枚数：　560 枚（64g/m^2）または用紙高さ 54mm 以下 対応坪量：　64g/m^2 ～ 216g/m^2 連量：　55 ～ 185kg 用紙種類：　上質紙、普通紙、再生紙、厚紙 1（106g/m^2 ～ 169g/m^2）、厚紙 2（170g/m^2 ～ 216g/m^2）、OHP フィルム 用紙サイズ：定形サイズ【自動検知可能】 A3、B4、A4、A4 (LEF)、B5、B5 (LEF)、A5 (LEF)、8.5 × 11″（レター）、8.5 × 11″（レター (LEF))、8.5 × 14″（リーガル） 不定形サイズ 最小サイズ：　幅 182mm ×長さ 98.4mm 最大サイズ：　幅 297mm ×長さ 420mm（A3） 長さが 420mm を超える場合は、幅 279.4mm ×長さ 431.8mm（リーガル）
用紙トレイ2～4（オプション）	収納枚数：　560 枚（64g/m^2）または用紙高さ 54mm 以下× 3 段カセット 対応坪量：　64g/m^2 ～ 169g/m^2 連量：　55 ～ 145kg 用紙種類：　上質紙、普通紙、再生紙、厚紙 1（106g/m^2 ～ 169g/m^2） 用紙サイズ：定形サイズ A3、B4、A4、A4 (LEF)、B5、B5 (LEF)、8.5 × 11″（レター）、8.5 × 11″（レター (LEF))、8.5 × 14″（リーガル） ＊：不定形サイズは未サポートです。
用紙トレイ 5（手差し）	収納枚数：　180 枚（64g/m^2）または用紙高さ 18mm 以下 対応坪量：　64g/m^2 ～ 216g/m^2 連量：　55 ～ 185kg 用紙種類：　上質紙、普通紙、再生紙、厚紙 1（106g/m^2 ～ 169g/m^2）厚紙 2（170g/m^2 ～ 216g/m^2）、OHP フィルム、コート紙 1（106 ～ 169 g/m^2）、コート紙 2（170g/m^2 ～ 216g/m^2）、ラベル紙、はがき、封筒 収納可能用紙サイズ： 最小サイズ：幅 90mm ×長さ 98mm 最大サイズ：幅 304.8mm ×長さ 457.2mm *1：フレッシュ紙を使用してください。 *2：用紙の長さが 457.2mm を超える用紙（長尺紙）は 1 枚ずつ手差しで給紙するか、オプションの長尺ガイドを使用してください。なお、この場合は幅 210mm 以上の用紙を使用してください。 *3：長尺紙（長さ 457.3mm ～ 1200mm）は、127g/m^2 または 157g/m^2（いずれも OK プリンス上質紙）を使用してください。
両面ユニット	対応坪量：　64g/m^2 ～ 105g/m^2 連量：　55 ～ 90kg 用紙サイズ：最小サイズ：幅 165mm ×長さ 139.7mm 最大サイズ：幅 304.8mm ×長さ 457.2mm

運用編

13

お願い

プリンタドライバで選択した用紙サイズや用紙種類と異なる用紙で印刷したり、適応していない用紙トレイにセットして印刷したりすると、画質不良を起こしたり、紙づまりの原因になります。適正な印刷をするために、正しい用紙サイズ、用紙種類、用紙トレイを選択してください。

ガイド

メートル坪量とは、1 ㎡の用紙 1 枚の質量をいいます。連量とは、四六判（788 × 1,091mm）の用紙 1,000 枚の質量をいいます。

推奨紙

本製品の推奨紙は、次のとおりです。

用紙名		用紙種類設定		概要	用紙の特長と使用上の注意
		プリンタドライバ*	オペレータパネル		
オフィス用紙 W	A3	普通紙	フツウシ	500 枚× 3　普通紙（富士通コワーコ（株）提供）	メートル坪量：64g/m² 社内配布資料や一般のオフィス用の中厚口用紙
	B4			500 枚× 5　普通紙（富士通コワーコ（株）提供）	
	A4(Y)				
	B5(Y)				
	A5(Y)				
	レター (Y)				
	リーガル (Y)				

一般推奨紙

本製品が一般紙の中で推奨する用紙は、次のとおりです。

用紙名		用紙種類設定		概要	用紙の特長と使用上の注意
		プリンタドライバ*	オペレータパネル		
再生オフィス用紙 EC100（注）	A3	普通紙	フツウシ	500 枚× 3　普通紙（富士通コワーコ（株）提供）	メートル坪量：67g/m² 古紙パルプ 100%の再生紙
	B4			500 枚× 5　普通紙（富士通コワーコ（株）提供）	
	A4				
	B5				
オフィス用紙 MP	A3	普通紙	フツウシ	500 枚× 3　普通紙（富士通コワーコ（株）提供	メートル坪量：64g/m² コピー、インクジェットプリンタ、熱転写プリンタ、普通紙 FAX 等、様々な用途に使用できる用紙
	B4			500 枚× 5　普通紙（富士通コワーコ（株）提供）	
	A4				
	B5				

注：片面印刷時の排出容量は約 400 枚です。

*：プリンタドライバからの用紙種類の設定は、用紙トレイ 5（手差し）に対してのみ行えます。

特殊用紙

本製品では、次の用紙にも印刷できます。これらの用紙を特殊紙と呼びます。

用紙名	用紙種類設定		概要	用紙の特長と使用上の注意
	プリンタドライバ*	オペレータパネル		
JE001	OHP フィルム	OHP フィルム	富士ゼロックスオフィスサプライ株式会社	OHP フィルム用紙（白枠なし）は、用紙トレイ 5（手差し）、または用紙トレイ 1 にセットしてください。 排出された OHP フィルムは貼り付きのおそれがあるので、約 20 枚を目安に排出トレイから取り出し、よくさばいて温度を下げてください。
V516	OHP フィルム	OHP フィルム	富士ゼロックスオフィスサプライ株式会社	
カラーレーザー用ラベル紙（12 面付）TA-LPCL2	ラベル紙	ラベルシ	10 枚 サンワサプライ（株）提供	用紙は、用紙トレイ 5（手差し）にセットしてください。
長尺紙 OK プリンス 上質（297×1200）	厚紙 1	アツガミ 1	富士ゼロックスオフィスサプライ株式会社	メートル坪量：127.9g/m² 常温低湿環境に放置すると濃度ムラが発生します。
長尺紙 OK プリンス 上質（297 × 900）	厚紙 1	アツガミ 1	富士ゼロックスオフィスサプライ株式会社	メートル坪量：157g/m² 常温低湿環境に放置すると濃度ムラが発生します。
官製はがき	はがき	ハガキ	－	用紙は、用紙トレイ 5（手差し）に（LEF）の向きでセットすることを推奨します。
封筒	封筒	フウトウ	－	アラビアのり付きの封筒 用紙は、用紙トレイ 5（手差し）にセットしてください。

＊：プリンタドライバからの用紙種類の設定は、用紙トレイ 5（手差し）に対してのみ行えます。

普通紙

本製品では、PPC 用紙（コピー用紙）および普通紙を使用することができます。しかし、一般の市販品には本製品に適さないものもあります。できるだけ推奨用紙をご使用ください。

参照　推奨用紙の詳細は、「サプライ品一覧」（362 ページ）参照

プレプリント紙 / カラー紙

カラー紙の着色顔料やプレプリント用のインクは、耐熱性で 190 ℃でも変質せず、紙質は普通紙と同等のものをご使用ください。プレプリント用紙に耐熱性の低いインクを使用した場合やインクが乾いていない状態で用紙を使用した場合、インクが本製品の定着器、感光ドラムおよびローラなどに付着し、印字品質の低下、ジャム、装置破損の原因となります。

お願い

- 金属混入インク、導電性インク、コールドセットインク、ラバーベースインクで印刷された用紙は絶対に使用しないでください。
- 印刷枠を設ける場合、次の印刷位置のバラツキを十分考慮に入れて設計してください。
  - 位置精度 A4 サイズで± 2mm 程度
  - 用紙の傾き 100mm 当たり± 1mm 程度
  - 画像の伸縮 100mm 当たり± 1mm 程度

長尺紙

- 縦や横に長いデータ（最大長さ 1200mm まで）を印刷することができます。ただし、長さが 457.2mm を超える場合は、幅 210mm 以上の用紙を使用してください。
- 長尺紙は、用紙トレイ 5（手差し）からのみ印刷できます。

参照　用紙トレイ 5（手差し）に用紙をセットする方法は、「用紙トレイ 5（手差し）に用紙をセットする」（291 ページ）参照

- プリンタドライバで長尺紙用のユーザー定義サイズを設定し、印刷します。

参照　ユーザー定義サイズを登録する方法は、「ユーザー定義用紙を登録する」（215 ページ）参照

参照　長尺紙をセットする方法は、「不定形サイズの用紙をセットする」（295 ページ）参照

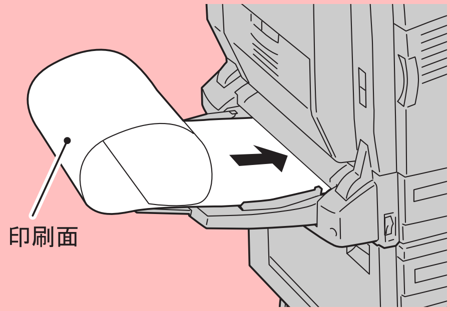
- 長尺紙は、本プリンタの仕様に適応する用紙をご使用ください。適応していない用紙を使用した場合は、シワ、印刷ずれ、定着不良、および汚れが発生することがあります。

参照　適応する用紙の詳細は、「特殊用紙」（282 ページ）参照

- 長尺紙の全領域（全長）に印刷する場合は、用紙のスキュー、印刷位置のばらつきを考慮して、充分な余白を設定して印刷してください。
  試し印刷で、位置ずれ等を確認することをお勧めします。

お願い

- 幅が 210mm 未満の長尺紙は絶対に使用しないでください。プリンタが故障する恐れがあります。
- アプリケーションソフトによっては長尺紙に印刷できない場合があります。
- 長尺紙に印刷する場合は、下端（用紙方向：縦の場合）、または左端（用紙方向：横の場合）余白を十分に（10mm 以上）とって印刷してください。全領域（全長）に印刷すると、下端が欠けることがあります。
- 長尺紙は、1 枚ずつセットしてください。
- 長尺紙をセットするときは、次の図のようにまるめてください。



- 印刷が始まったら、長尺紙に無理な力を加えないでください。紙づまりの原因になります。また、排紙口から出てくる長尺紙は次の図のように手で支えてください。



ガイド

長尺ガイド（オプション）を使用すると、最大 10 枚までセットすることができます。

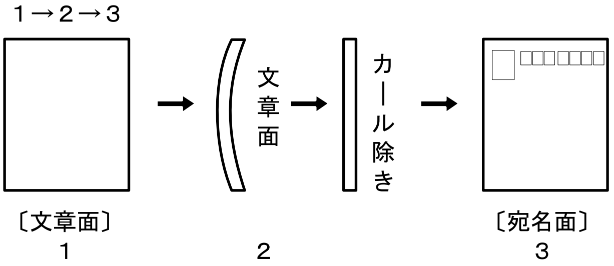
参照 長尺ガイドに用紙をセットする方法については「長尺ガイドの取り付けかた」（92 ページ）参照

官製はがき

はがきに印刷するときは、文章面→宛名面の順に片面ずつ印刷してください。（両面印刷機能には、対応していません。）

参照　「プリント設定」（196 ページ）参照

宛名面→文章面の順で印刷すると、はがきの反りの影響できれいに印刷できないことがあります。反りがあるときは上向きに約 2mm 以内の反りになるように修正してから印刷してください。



官製はがきをセットするときは、次の点に留意してください。
- 印刷面を下にしてセットしてください。
- ご使用になるアプリケーションソフトの設定内容と印刷方向に合わせて官製はがきをセットしてください。試し印刷で方向を確認されることをお勧めします。

お願い

かもめーるなどの絵入り官製はがきに印刷する場合、はがきの粉が給紙ローラに付着し給紙できなくなる場合があります。このような場合には「給紙ローラの清掃」（275 ページ）を参照して清掃してください。

OHP フィルム

定着時の熱（約 190 ℃）で溶けたり、変質したりしないものをご使用ください。

ガイド

OHP フィルムは用紙トレイ 1（標準）および用紙トレイ 5（手差し）で印刷できます。

お願い

- 白枠つきの OHP フィルムは使用できません。
- OHP フィルムをご使用になるときは、レーザプリンタ用のものをお買い求めください。市販のものの中には本製品に適さないものがありますので、ためし印刷などで確認したうえでご使用ください。

ラベル紙

ツルツルした台紙面が表面になく、台紙全体がラベルで覆われているレーザプリンタ用のものをご使用ください。また、粘着剤が定着時の熱（約 190 ℃）で溶けたり変質したりしないものをご使用ください。

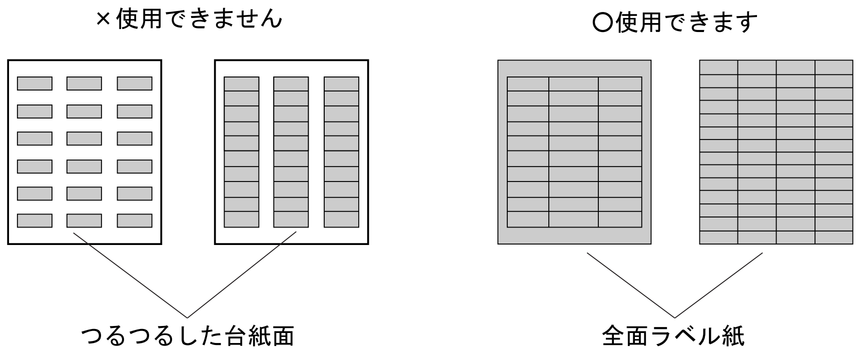
お 願 い

ラベル紙をご使用になるときは、レーザプリンタ用のものをお買い求めください。市販のものの中には本製品に適さないものがありますので、ためし印刷などで確認したうえでご使用ください。

使用できない用紙

以下に挙げる用紙は、紙づまりを起こしたり、きれいに印刷できなかったり、またはプリンタ本体の故障の原因となったりしますので、使用しないでください。

- 厚すぎる用紙や、薄すぎる用紙
- 湿っている用紙や、濡れている用紙
- 一度印刷された用紙
- 貼り合わせた用紙や、糊などがついている用紙
- 反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
- カールしている用紙
- 静電気で密着している用紙
- 長方形以外の用紙や、バインダー用の穴またはミシン目のある用紙
- 表面を加工、または特殊なコーティングをおこなった用紙（感熱紙、カーボン紙、メールシール紙など）
- オフセット印刷用の用紙や酸性紙（中性紙をご使用ください）
- 用紙の全面または大部分にあらかじめ印刷されているプレプリント用紙
- インクに導電材料（金属、カーボンなど）を使用したり、190 ℃の熱でガスが発生するインクを使用したプレプリント用紙
- 190 ℃の熱で溶けたり、変質する用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- 裁断部のバリが大きい用紙
- 紙粉の多い用紙
- カラーページプリンタ用の OHP フィルム（白枠つき）
- インクジェット専用紙
- 台紙全体がラベルで覆われてなく、かつレーザプリンタ用以外のラベル用紙



用紙の保管上のご注意

用紙は水分を吸収しやすい特性を持っているため、非常に変化しやすいものです。製造条件を厳重に管理して製造した用紙でも、保管状態が悪いと品質が損なわれ、印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えます。以下に示す保管上の注意事項を守って、最良の状態に保ってください。
用紙は次のような場所に保管してください。
・ 暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
・ 平らなパレットの上
・ 温度 20 ℃、湿度 50%RH 前後の環境

次のような場所は避けてください。
・ 床の上に直接置く
・ 直射日光の当たる場所
・ 外壁の内側の近く
・ 段差や、曲がりのある場所
・ 静電気が発生するところ
・ 過度の温度上昇と、急激な温度変化のあるところ
・ 複写機、空調機、ヒーター、ダクトのそば

次のような状態で保管してください。
・ 開封後の残りの用紙は、ほこりが付かないよう、また吸湿乾燥しないよう、包装してあった紙に包む
・ 長期間プリンタを使用しないときは、用紙トレイや手差しユニットから用紙を抜き取り、包装してあった紙に包む

用紙をトレイにセットする前に以下の事項を守ってください。
・ バラバラになった用紙を寄せ集めて使用しないでください。
・ 折りめ、しわが入った用紙は使用しないでください。
・ 波をうったような用紙や、カールした用紙は、使用しないでください。
・ サイズや用紙種類が異なる用紙を重ねてセットしないでください。
OHP フィルムやラベル用紙は、紙づまりを起こしたり複数枚同時に送られることがあるので、よくさばいてからご使用ください。

ガイド

長期間放置した用紙を使用した場合、うまく印刷できないことがあります。

用紙のセット

用紙トレイに用紙がなくなったときや、印刷したい用紙がセットされていないときは、次の手順に従って用紙をセットします。

参照　長尺紙に印刷するときの留意事項については、「長尺紙」（283 ページ）参照

用紙トレイに用紙をセットする

用紙トレイ 1 〜 4 に用紙をセットする方法について説明します。

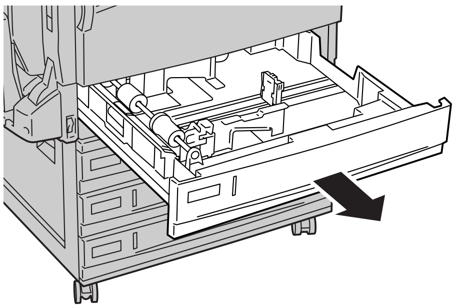
ガイド

- 印刷中に用紙がなくなると、オペレータパネルのディスプレイにメッセージが表示されます。用紙を補給すると自動的に印刷が再開されます。
- 用紙トレイに用紙をセットして印刷したときに、表面に指紋跡が印刷されることがあります。

お願い

用紙トレイに用紙をセットする場合、電源を入れてからセットしてください。

1 用紙トレイを止まるまで手前に引き出す



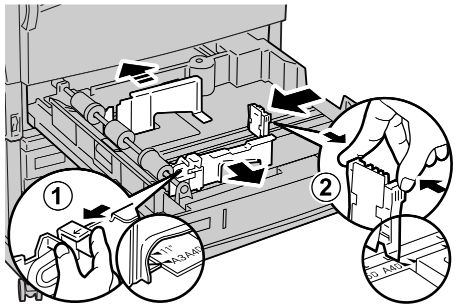
⚠ 注意	けが	用紙トレイを引き出すときは、ゆっくりと引き出してください。トレイを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。

❷ 2 か所（①、②）の用紙ガイドのクリップをつまみながら、用紙ガイドの先端をセットする用紙サイズの目盛りに合わせる

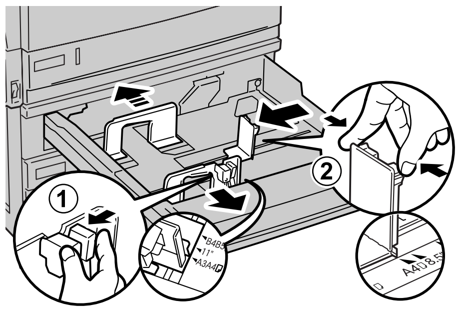
お願い

- 用紙ガイドが、目盛りの穴にぴったりはまっていることを確認してください。用紙ガイドがサイズの目盛りにあっていないと、用紙サイズを自動検出できない場合があります。このときは、用紙ガイドをずらしてから、再度目盛りに合わせてください。
- 必ず 2ヶ所の用紙ガイドを用紙サイズの目盛りに合わせてセットしてください。ガイドで合わせられる幅以下の用紙をセットしないでください。正しくセットしないで印刷すると、用紙が斜めに給紙されたり、プリンタが故障する場合があります。

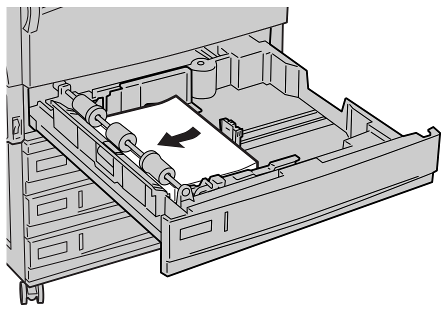
用紙トレイ 1 の場合



用紙トレイ 2 の場合



❸ 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にして用紙をセットする



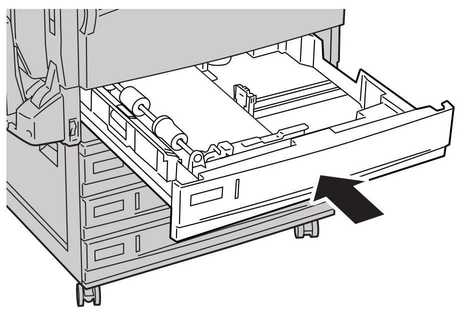
お願い

- 種類が異なる用紙を一緒にセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- 用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。

ガイド

用紙トレイ 1 に少量の用紙をセットする場合に用紙がたわむことがありますが、問題ありません。

❹ 奥に突き当たるまで、用紙トレイをゆっくりと押し込む



お願い

無理な力でいきおいよく押し込まないようにしてください。

5 セットする用紙種類を変更した場合は、オペレータパネルの用紙種類の設定を変更する

参照　用紙種類については、「第 13 章　用紙について」（279 ページ）参照

参照　用紙種類の設定方法については、「プリント設定」（196 ページ）参照

用紙種類の設定を変更したら、「プリンタの設定情報を取得する」（169 ページ）を参照し、プリンタドライバで本プリンタの構成情報を取得してください。

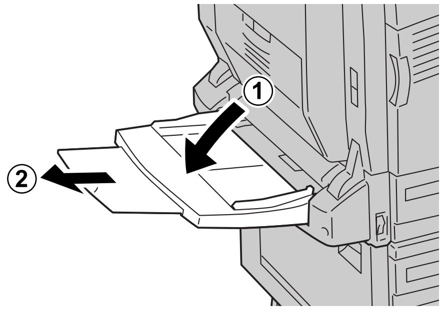
用紙トレイ 5（手差し）に用紙をセットする

用紙トレイ 1 ～ 4 にセットできない、はがき、封筒、長尺紙を含む不定形サイズの用紙に印刷する場合は、用紙トレイ 5（手差し）を使用します。ここでは、用紙トレイ 5（手差し）への用紙のセット方法について説明します。

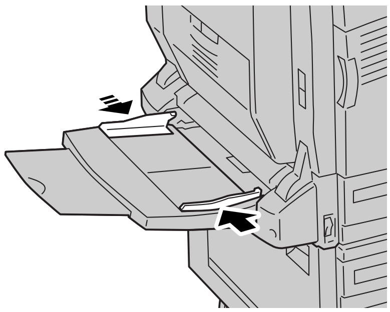
> **ガイド**
> 用紙種類は、プリンタドライバの「トレイ / 排出」タブで設定します。

1 用紙トレイ 5（手差し）を開く

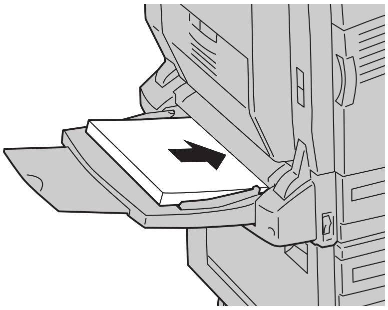
必要に応じて、延長トレイ（②）を引き出します。



2 用紙トレイ 5（手差し）の用紙ガイドの位置を確認する



3 印刷する面を下に向け、軽く奥に突き当たるまで差し込む



お願い

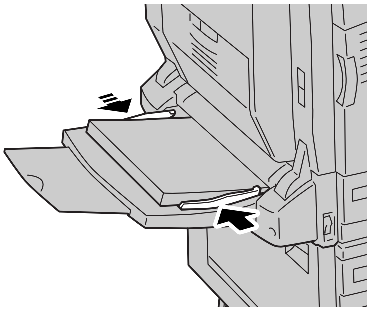
- 用紙サイズや用紙種類が異なる用紙は、まとめてセットできません。紙づまりの原因になります。
- 用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になります。
- はがきなどの厚い紙がカールしているときは、カールを直してからセットしてください。ただし、用紙を曲げすぎたり、折れ目をつけてしまうと、紙づまりの原因になります。

ガイド

はがき、封筒、長尺紙を含む不定形サイズの用紙をセットする場合は、用紙によってセット方法が異なります。

参照 「はがき / 封筒 /OHP フィルムをセットする」（293 ページ）参照
「不定形サイズの用紙をセットする」（295 ページ）参照

4 ガイドをセットする用紙サイズに合わせる



5 セットする用紙種類を変更した場合は、プリンタドライバで用紙種類の設定を変更する

参照 「［トレイ / 排出］ダイアログ」（217 ページ）参照

はがき / 封筒 /OHP フィルムをセットする

はがきをセットする

官製はがきは、用紙トレイ 5（手差し）にセットします。ここでは、はがきのうら面（文書面）にデータを印刷する手順を、基本的な設定に従って印刷するときを例にとって説明します。

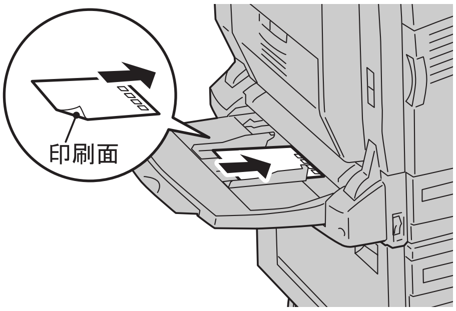
ガイド

かもめーるなどの多色刷りのはがき、インクジェット用のはがきは使用できません。

1 はがきの印刷する面を下に向ける

2 はがきをセットする

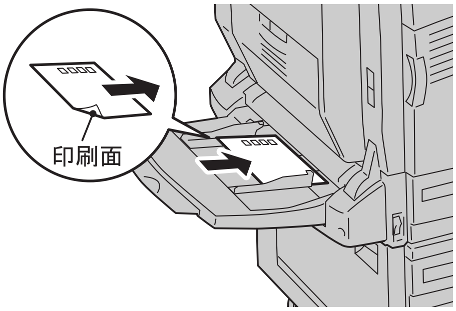
・はがきをの向きでセットする場合
郵便番号枠側が給紙口側になるようにセットします。



ガイド

はがきがプリンタに送られないときは、はがきの先端を上向きにカールさせてからセットしてください。

・はがきをの向きでセットする場合
郵便番号枠側が奥側になるようにセットします。



封筒をセットする

本プリンタで使用できる封筒のサイズは、次のとおりです。

・洋形４号（105 × 235mm）
・長形３号（120 × 235mm）
・長形３号［洋］（120 × 235mm）

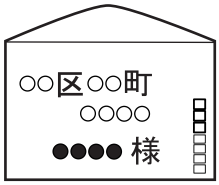
封筒は、用紙トレイ ５（手差し）にセットします。洋形 ４ 号、長形 ３ 号［洋］はの向きで、長形３号はの向きでセットします。

お願い

・封筒は、のり付け部分にテープがついていないものを使用してください。あらかじめのり付けされている封筒は、のり付け部分の状態によっては使用できないことがあります。
・封筒のうら面には、印刷できません。

封筒のおもて面にあて名を印刷する手順を例に説明します。

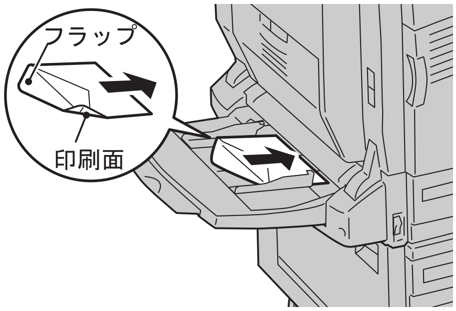
1 封筒の印刷する面を下に向ける



2 フラップを開いて、フラップ部分が後端になるようにセットする

お願い

・封筒のフラップは、しっかりと開いてセットしてください。
・用紙上限線を超えて、セットしないでください。



OHP フィルムをセットする

OHP フィルムは、用紙トレイ 5（手差し）、または用紙トレイ 1 にセットします。

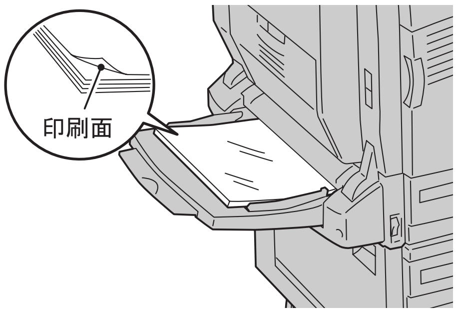
ガイド

白い枠付きの OHP フィルムは使用できません。

●用紙トレイ 5（手差し）の場合

1 OHP フィルムの印刷する面を下に向ける

2 少量ずつよくさばいてからセットする



●用紙トレイ 1 の場合

用紙トレイ 1 に OHP フィルムをセットする方法は、定形サイズの用紙をセットする方法と同じです。

参照　「用紙トレイに用紙をセットする」（289 ページ）参照

また、トレイに対する用紙種類を OHP フィルムに設定する必要があります。

参照　「プリント設定」（196 ページ）参照

不定形サイズの用紙をセットする

長尺紙などの不定形サイズの用紙に印刷する方法について説明します。
本プリンタで設定できる用紙サイズは、次のとおりです。

お願い

プリンタドライバでユーザ定義サイズを設定して印刷するときは、必ず各トレイの対応サイズに合ったサイズを設定してください。

参照　各トレイで設定できる用紙のサイズについては、「給紙方法と用紙のサイズ」（280 ページ）参照

ガイド

- 用紙トレイ 2 ～ 4 には不定形サイズの用紙をセットすることはできません。
- 長尺サイズ（長さ：431.9 ～ 1200mm）の用紙に印刷するためには、256MB のメモリが必要です。
- 長尺紙の場合、[印刷モード] の [高精細] では印刷できません。

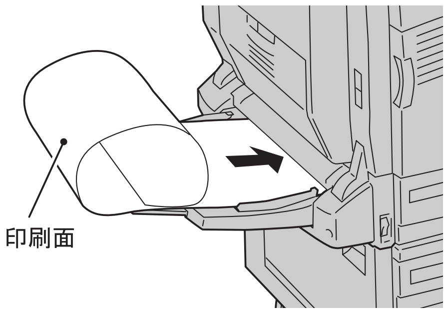
用紙トレイ 5（手差し）の場合

用紙トレイ 5（手差し）に、長尺サイズの用紙をセットする例で説明します。

参照　長尺サイズ以外の不定形サイズの用紙をセットする場合は、
「用紙トレイ 5（手差し）に用紙をセットする」（291 ページ）参照

参照　長尺ガイド（オプション）を使用する場合は、
「長尺ガイド（オプション）を使用する場合」（296 ページ）参照

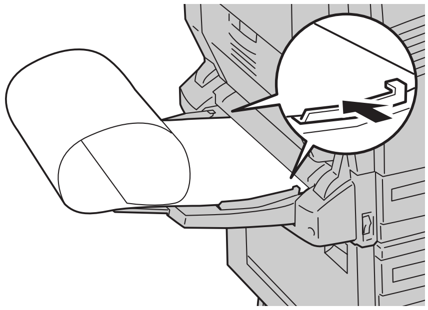
1 長尺紙の印刷する面を下に向けて、図のように後端をまるめ、用紙トレイ 5（手差し）にセットする



お願い

- 長尺紙の後端は、用紙の差込口からできるだけ離れた位置でまるめてください。差込口に近いと、まるめた用紙の後端が引き込まれるなど、用紙が折れたりしわの原因になることがあります。
- 用紙は、1 枚ずつセットしてください。

2 用紙サイズ合わせガイドを長尺紙のサイズに合わせる



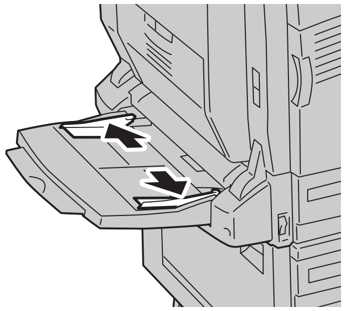
お願い

紙づまりを防ぐために、排出された用紙は 1 枚ずつ取り出してください。

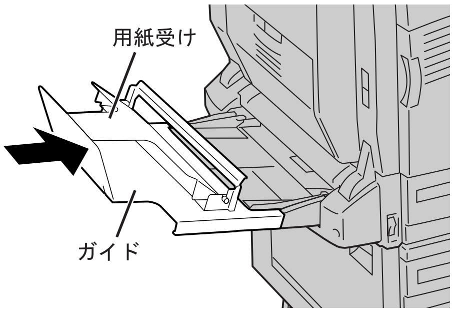
長尺ガイド（オプション）を使用する場合

長尺ガイド（オプション）を用紙トレイ 5（手差し）に取り付けると、長辺 1,200mm までの用紙を 10 枚までセットできます。

1 用紙トレイ 5（手差し）の用紙ガイドをいっぱいまで開く



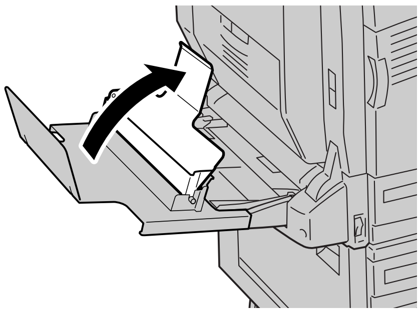
2 長尺ガイドを用紙トレイ 5（手差し）に差し込む



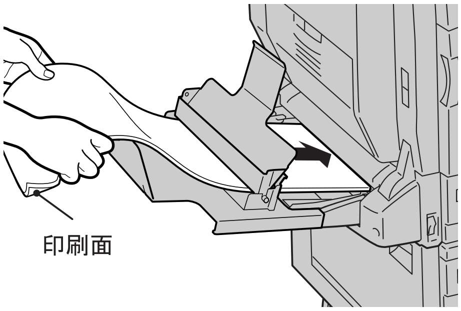
お願い

本体に突き当たるまで、しっかりと差し込んでください。

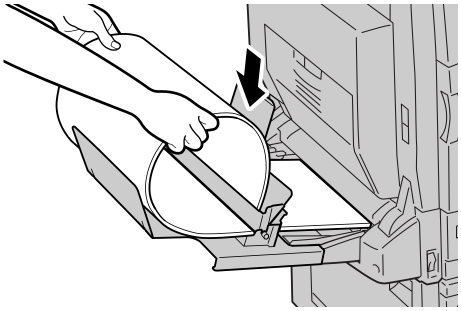
3 用紙受けを本体に向けて立てる



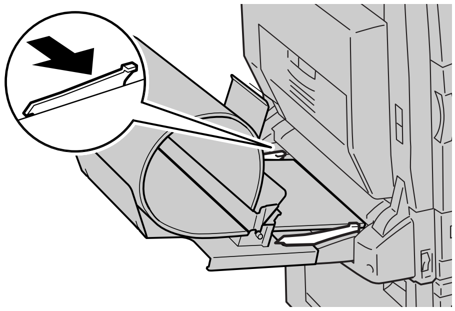
4 長尺紙の印刷する面を下に向け、用紙受けの下を通し、用紙ガイドに沿って軽く奥に突き当たるまで差し込む



5 用紙の後端を図のように丸め、用紙受けに差し込む



6 用紙トレイ 5（手差し）の用紙ガイドをセットした用紙のサイズに合わせる



お願い

- 紙づまりを防ぐために、排出された用紙は 1 枚ずつ取り出してください。
- 印刷終了後は、必ず長尺ガイドを取り外し、安全な場所に保管してください。

用紙トレイ 1 の場合

用紙トレイ 1 に不定形サイズの用紙をセットする方法は、定形サイズの用紙をセットする方法と同じです。用紙トレイ 2 ～ 4 には、不定形サイズの用紙をセットすることはできません。

参照　「用紙トレイに用紙をセットする」（289 ページ）参照

お願い

不定形サイズの用紙を使用する場合は、あらかじめプリンタドライバおよびオペレータパネルで次の設定を行っておいてください。
　プリンタドライバ：プリンタドライバで不定形サイズを登録する
　参照「プリンタドライバでの設定」（299 ページ）参照
　オペレータパネル：不定形サイズの用紙の設定
　参照「不定形サイズの用紙を設定する」（298 ページ）参照

不定形サイズの用紙を設定する

オペレータパネルでの設定

用紙トレイ 1 に、幅（たて）：200mm、長さ（よこ）：300mm の用紙を設定する例で説明します。

注意	
	故　障　正しい用紙サイズを設定しないで印刷すると、プリンタが故障する場合があります。

ガイド

不定形サイズの用紙を用紙トレイ 5（手差し）にセットする場合は、オペレータパネルでの設定は必要ありません。

参照　用紙トレイの用紙種類の設定を変更する場合は、「用紙トレイに用紙をセットする」（64 ページ）　参照

1. プリンタが印刷可能状態であることを確認する

```
ﾌﾟﾘﾝﾄﾃﾞｷﾏｽ
```

2. メニュースイッチを押し、メニューモードにする

```
ﾒﾆｭｰ
 ﾚﾎﾟｰﾄ / ﾘｽﾄ
```

3. 「▲」または「▼」スイッチを何度か押し、［ キカイ　カンリシャ　メニュー ］を選択する

```
ﾒﾆｭｰ
 ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
```

4. 「▶」スイッチを押す

```
ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
ﾈｯﾄﾜｰｸ / ﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ
```

（機械管理者メニューの表示）

5. 「▲」または「▼」スイッチを何度か押し、［ プリント　セッテイ ］を選択する

```
ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
   ﾌﾟﾘﾝﾄ ｾｯﾃｲ
```

6. 「▶」スイッチを押す

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｾｯﾃｲ
   ﾖｳｼﾉ ｵｷｶｴ
```

（プリント設定の表示）

次ページに

前ページから

7 「▲」または「▼」スイッチを何度か押し、[トレイノ　ヨウシサイズ] を選択する

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｾｯﾃｲ
 ﾄﾚｲﾉ ﾖｳｼｻｲｽﾞ
```

8 「▶」スイッチを押す

```
ﾄﾚｲﾉ ﾖｳｼｻｲｽﾞ
ﾄﾚｲ 1      ｼﾞﾄﾞｳ ＊
```

9 「▶」スイッチを押す（カーソルが「ジドウ」に移動します。）

```
ﾄﾚｲﾉ ﾖｳｼｻｲｽﾞ
ﾄﾚｲ 1      ｼﾞﾄﾞｳ ＊
```

10 「▼」スイッチを押す

```
ﾄﾚｲﾉ ﾖｳｼｻｲｽﾞ
ﾄﾚｲ 1      ﾃｲｹｲｶﾞｲ
```

11 「排出 / セット」スイッチを押す

```
ﾄﾚｲ 1 ﾉ ﾃｲｹｲｶﾞｲ
ﾀﾃ :182 ﾖｺ :148  ＊
```

12 「▲」または「▼」スイッチで数値を入力し、「▶」「◀」スイッチでカーソルを移動する

```
ﾄﾚｲ 1 ﾉ ﾃｲｹｲｶﾞｲ
ﾀﾃ :200 ﾖｺ :300
```

13 「排出 / セット」スイッチを押す

```
ﾄﾚｲ 1 ﾉ ﾃｲｹｲｶﾞｲ
ﾀﾃ :200 ﾖｺ :300  ＊
```

14 「メニュー」ボタンを押す

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
```

（データ受信可能な状態に戻ります。）

プリンタドライバでの設定

不定形サイズの用紙の登録は、[ユーザー定義用紙] ダイアログで行います。

⚠ 注意	故　障　正しい用紙サイズを設定しないで印刷すると、プリンタが故障する場合があります。

参照　「ユーザー定義用紙を登録する」（215 ページ）参照

自動的に使用するトレイを切り替える

プリンタドライバのプロパティダイアログボックスで、[トレイ / 排出] タブの「用紙トレイ選択」を「自動」にして印刷を指示すると、印刷する原稿のサイズと向きから、該当する用紙トレイを選択します。これを、自動トレイ選択と呼びます。
自動トレイ選択で、該当する用紙トレイが複数ある場合は、用紙種類に対する優先順位の設定に従って用紙トレイが選択されます。複数の用紙種類に同じ優先順位を設定している場合は、用紙トレイに対する優先順位に従って用紙トレイが選択されます。

ガイド

- 用紙種類に対する優先順位を設定していない種類の用紙は、自動トレイ選択の対象にはなりません。
- 自動トレイ選択で該当する用紙トレイがなかったときは、用紙補給を促がすメッセージが表示されます。このメッセージを表示しないで、原稿サイズに近いサイズの用紙か、大きい用紙に印刷するよう設定することもできます。(用紙の置き換え)
- 印刷中に用紙がなくなったときは、印刷していた用紙と同じサイズで同じ向きの用紙が入ったトレイを選択して、印刷を続けます（自動トレイ切り替え)。このとき、[用紙の優先順位] を［しない］に設定している種類の用紙が入ったカセットには、切り替えません。
- 用紙種類や用紙トレイに対する優先順位の設定は、オペレータパネルで行います。

運用編

13

給紙に制限をつける（応用例）

本プリンタはオペレータパネルからの設定により、自動給紙を行う用紙の種類を制限できます。プリンタを複数のユーザーで共有して使用するときに、決められたユーザーに特定の用紙を優先的に使用させたい場合などに設定します。
本操作例は、次の条件で使用する場合を例に説明しています。
・オプションの拡張給紙ユニット -B が取り付けられている
・用紙トレイ 1 ～ 3 には普通紙、用紙トレイ 4 には上質紙がセットされている
・普通紙：一般的なユーザーが使用する
　上質紙：特定のユーザーが使用する

1 「メニュー」スイッチを押す

```
ﾒﾆｭｰ
 ﾚﾎﾟｰﾄ/ﾘｽﾄ
```
（メニューの表示）

2 「▲」または「▼」スイッチを何度か押して「キカイ カンリシャ メニュー」を選択する

```
ﾒﾆｭｰ
ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
```

3 「▶」スイッチを押す

```
ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
  ﾈｯﾄﾜｰｸ/ﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ
```

4 「▲」または「▼」スイッチを何度か押して「プリント セッテイ」を選択する

```
ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
  ﾌﾟﾘﾝﾄ ｾｯﾃｲ
```

5 「▶」スイッチを押す

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｾｯﾃｲ
  ﾖｳｼ ﾉ ｵｷｶｴ
```

6 「▲」または「▼」スイッチを何度か押して、「トレイ　ノ ヨウシシュルイ」を選択する

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｾｯﾃｲ
  ﾄﾚｲ ﾉ ﾖｳｼｼｭﾙｲ
```

7 「▶」スイッチを押す

```
ﾄﾚｲ ﾉ ﾖｳｼｼｭﾙｲ
  ﾄﾚｲ 1
```

8 「▲」または「▼」スイッチを何度か押して「トレイ 4」を選択する

```
ﾄﾚｲ ﾉ ﾖｳｼｼｭﾙｲ
  ﾄﾚｲ4
```

9 「▶」スイッチを押す

```
ﾄﾚｲ4
  ﾌﾂｳｼ
```

次ページに

前ページから

10 「▲」または「▼」スイッチを何度か押して、「ｼﾞｮｳｼﾂｼ」を選択する

ﾄﾚｲ4 ｼﾞｮｳｼﾂｼ

11 「排出 / セット」スイッチを押す

上質紙の選択が確定され、＊が表示されます。

ﾄﾚｲ4 ｼﾞｮｳｼﾂｼ*

12 「◀」スイッチを 2 度押して「プリント セッテイ」画面に戻る

ﾌﾟﾘﾝﾄ ｾｯﾃｲ ﾄﾚｲ ﾉ ﾖｳｼｼｭﾙｲ

13 「▲」または「▼」スイッチを何度か押して「ヨウシ ノ ユウセンジュンイ」を選択する

ﾌﾟﾘﾝﾄ ｾｯﾃｲ ﾖｳｼ ﾉ ﾕｳｾﾝｼﾞｭﾝｲ

14 「▶」スイッチを押す

ﾖｳｼ ﾉ ﾕｳｾﾝｼﾞｭﾝｲ ﾌﾂｳｼ

15 「▲」または「▼」スイッチを何度か押して「ジョウシツシ」を選択する

ﾖｳｼ ﾉ ﾕｳｾﾝｼﾞｭﾝｲ ｼﾞｮｳｼﾂｼ

16 「▶」スイッチを押す

ｼﾞｮｳｼﾂｼ 3 ﾊﾞﾝﾒ *

17 「▲」または「▼」スイッチを何度か押して「セッテイシナイ」を選択する

ｼﾞｮｳｼﾂｼ ｾｯﾃｲｼﾅｲ

18 「排出 / セット」スイッチを押す

（「上質紙を自動選択しない」が確定され、＊が表示されます。）

ｼﾞｮｳｼﾂｼ ｾｯﾃｲｼﾅｲ*

19 「メニュー」スイッチを押す

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ

（データ受信可能状態に戻ります。）

20 プリンタドライバの設定を変更する

上質紙を使用したいユーザーは［トレイ / 排出］ダイアログの「用紙トレイ選択」で「トレイ４」を選択し、一般的なユーザーは「自動」を選択します。

参照 「［トレイ / 排出］ダイアログ」（217 ページ）参照

給紙中の用紙トレイから普通紙がなくなった場合、普通紙がセットされた別の用紙トレイから普通紙が自動給紙されます。
ただし、上質紙をセットした用紙トレイは自動給紙の対象から外れているため、用紙トレイ１～３のすべての用紙がなくなった場合も給紙されません。

第 14 章
こんなときには

この章では、故障が発生したと思われるとき、紙づまりのとき、各種メッセージが表示されたときの処置のしかたについて説明します。

よくある質問

ここでは、よくある質問とその解決方法について説明します。

プリンタの設定状況を確認したい

オペレータパネル上で「メニュー」→「レポート / リスト」→「機能設定リスト」の順に見ると、現在のプリンタの設定状況が確認できます。

参照　機能設定リストについては、「レポート / リストを印刷する」（247 ページ）参照

どんな印刷機能があるか知りたい

本プリンタ専用のプリンタドライバでは、まとめて 1 枚、両面印刷、拡大連写、小冊子作成など、様々な印刷機能が使用できます。

参照　各機能については、「プリンタドライバで設定できる内容」（207 ページ）参照

用紙トレイの用紙サイズを変えたい

用紙トレイ 1 ～ 4 にセットされている用紙以外のサイズの用紙を一時的に使用する場合は、用紙トレイ５（手差し）を使用すると便利です。
また、用紙トレイ 1 ～ 4 の用紙サイズを変えることもできます。

参照　用紙トレイ５（手差し）への用紙セット方法や、用紙トレイ 1 ～ 4 の用紙サイズ変更については、「用紙のセット」（289 ページ）参照

はがきに印刷したい

本プリンタでは、用紙トレイ 5（手差し）を使用して、官製はがきに印刷できます。

参照　印刷方法については、「はがきをセットする」（293 ページ）参照

モノクロ印刷したい

モノクロ原稿は、自動的に判断してモノクロ印刷されます。カラー原稿をモノクロ印刷したい場合は、プリンタドライバのプロパティでグラフィックスタブの［カラーモード］を［白黒］に設定します。

参照　カラーモードの設定については、「プリンタドライバで設定できる内容」（207 ページ）参照

特殊用紙に印刷したい

用紙トレイ５（手差し）を使用して、はがき、厚紙、OHP フィルム、ラベル紙などに印刷できます。

参照　印刷方法については、「プリンタドライバで設定できる内容」（207 ページ）参照

原稿に合わせた画質で印刷したい

原稿の種類（写真、文字、プレゼンテーション、Web など）に合わせて印刷したり、細かいカラーに関しての設定ができます。

参照　原稿の種類に合わせて印刷する場合や、細かいカラーの印刷設定については「プリンタドライバで設定できる内容」（207 ページ）参照

印刷を指示したのに印刷されない

ジョブ履歴レポート、またはエラー履歴レポートを印刷して、印刷を指示した印刷ジョブを確認してください。

参照　ジョブ履歴レポート、エラー履歴レポートについては、「レポート / リストを印刷する」（247 ページ）参照

OS をバージョンアップして、本プリンタを使用したい

プリンタドライバは、各 OS 専用のものがあります。新しい OS に対応したプリンタドライバをインストールし直してください。

参照　プリンタドライバのインストール方法については、「第 5 章 ネットワークを利用せずにプリンタを接続する」参照

印刷を指示したジョブが出力されたか確認したい

Internet Services を使用すると、お使いのコンピュータから印刷ジョブの状態が確認できます。

参照　Internet Services については、「ホストからプリンタを設定する (Internet Services)」（226 ページ）参照

印刷枚数を確認したい

プリンタ出力集計レポートを印刷すると、ホスト別（ジョブオーナー別）の印刷枚数を確認できます。

参照　印刷枚数の確認については、「総印刷枚数を確認する」（255 ページ）参照

印刷面が汚れる、残像がでる

使用している用紙に合わせた設定を確認してください。

参照　「用紙の種類の確認と設定をする」（66 ページ）参照

参照　「[トレイ / 排出] ダイアログ」（217 ページ）参照

参照　「フューザの清掃」（275 ページ）参照

参照　「印刷品質が低下したとき」（324 ページ）参照

用紙の給紙に制限をつけたい

特定の用紙を自動給紙の対象から外し、用紙の使用を制限できます。

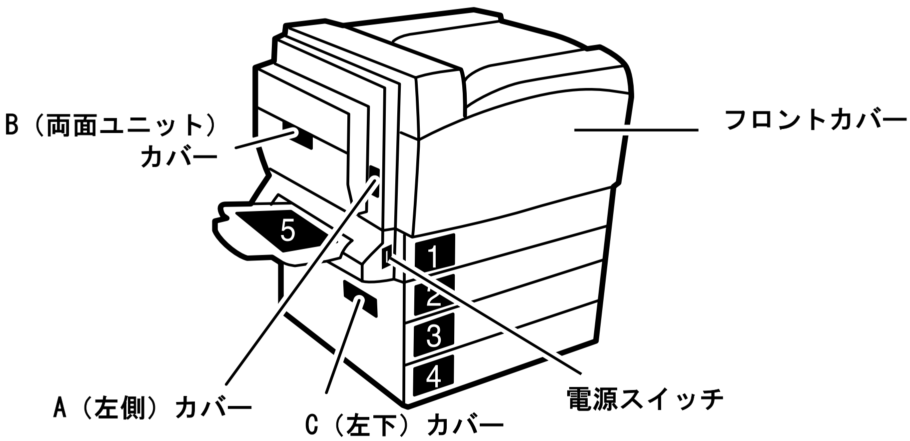
参照　「給紙に制限をつける（応用例）」（301 ページ）参照

紙づまりになったとき

用紙がつまると、つまった箇所に応じてオペレータパネルの液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示され、印刷を停止します。また、システム設定で異常警告音を「ナラス」に設定した場合は、プリンタが停止してアラームが鳴ります。

参照　「システム設定」（193 ページ）参照

表示されている紙づまりの位置を、オペレータパネルの左にある表示部で確認して、つまっている用紙を取り除いてください。
紙づまりの処置が終了すると、自動的に用紙がつまる前の状態から印刷が再開されます。



注意	やけど　つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災の原因となるおそれがあります。なお、紙片や用紙が定着部の見えない部分およびローラーに巻き付いているときは、無理に取らないでください。ケガやけどの原因となるおそれがあります。直ちに電源スイッチを切り、ご購入元、または「ハードウェア修理相談センター」（378 ページ）に連絡してください。

お願い

- 紙づまりが発生したとき、紙づまり位置を確認しないで用紙トレイを引き出すと、用紙が破れてプリンタの中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、紙づまりの位置を確認してから処置をしてください。
- 紙片がプリンタ内に残っていると、紙づまりの表示は消えません。
- 紙づまりの処置をするときは、プリンタの電源を入れたまま行ってください。電源を切ると、プリンタ内に残っている印刷データや、プリンタのメモリに蓄えられた情報が消去されます。
- プリンタ内部の部品には触れないでください。印字不良の原因になります。

紙づまりの予防

紙づまりを防ぐために、以下のことにご注意ください。

・プリンタの内部を清掃する

参照　「プリンタ内部の清掃」（275 ページ）参照

・プリンタを水平に設置する
・適切な用紙を使用する
・給紙カセットや給紙ユニットに用紙を正しくセットする
・用紙ガイドを正しくセットする
・カールしていない用紙を使用する
・給紙カセットを奥に突き当たるまで、しっかりと押し込む

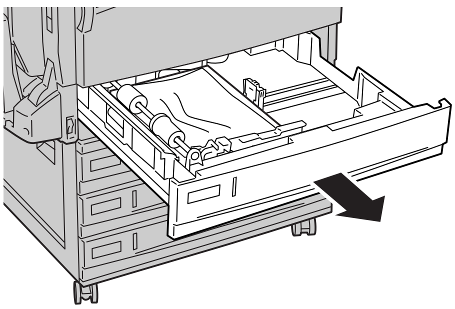
カセット付近でつまった用紙を取り除く

用紙トレイ 1 ～ 4 で用紙がつまったときは、液晶ディスプレイに表示された用紙トレイをオペレータパネルにある表示部で確認して、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

ガイド

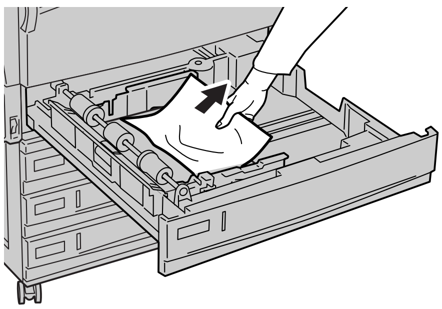
トレイ 2 ～ 4 での紙づまりメッセージは、オプションの拡張給紙ユニット -B(3 トレイ)、または拡張給紙ユニット -A(1 トレイ) を取り付けている場合に表示されます。

1 液晶ディスプレイに表示されている、紙づまりが発生した用紙トレイを引き出す

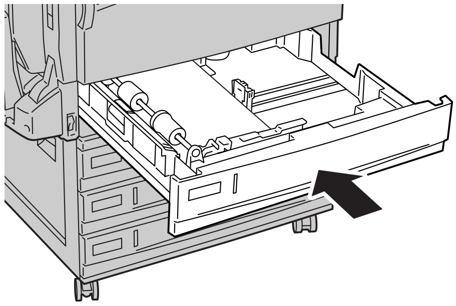


2 つまっている用紙を取り除く

用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認してください。



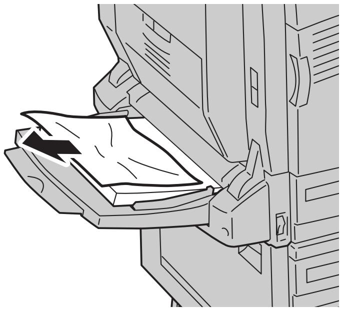
3. 奥に突き当たるまで、用紙トレイをゆっくりと押し込む



用紙トレイ 5(手差し)でつまった用紙を取り除く

用紙トレイ 5(手差し)で用紙がつまったときは、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

1. 用紙トレイ 5（手差し）の奥（用紙の差し込み口付近）を点検し、つまった用紙がある場合には取り除く



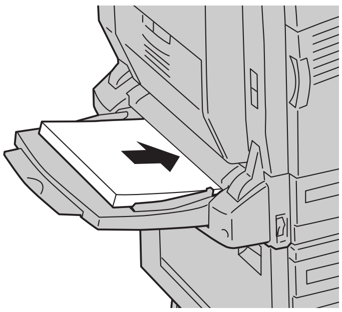
お願い

用紙を複数枚セットしていた場合は、いったんすべての用紙を取り出してください。

ガイド

コート紙、ラベル紙、封筒などは、1 枚ずつセットすることをお勧めします。

2. 取り出した用紙の四隅を揃え、印刷したい面を下にして、差し込み口に軽く突き当たるまで入れる



拡張給紙ユニットでつまった用紙を取り除く

拡張給紙ユニットの左側の C（左下）カバー内で用紙がつまったときは、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

ガイド

トレイ 2 ～ 4 での紙づまりメッセージは、オプションの拡張給紙ユニット -A（3 トレイ）、または拡張給紙ユニット -B（3 トレイ）を取り付けている場合に表示されます。

拡張給紙ユニット-A（1 トレイ）の場合

1. リリースレバーを引きながら、C（左下）カバーをゆっくりと開く

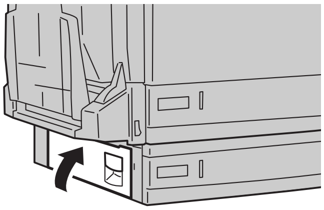


2. つまっている用紙を取り除く

用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認してください。

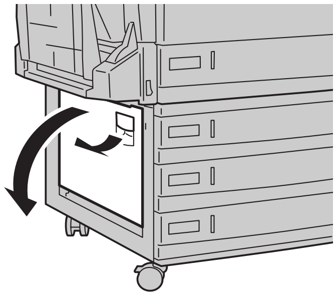


3. C（左下）カバーの中央部を押して C（左下）カバーをゆっくりと閉じる



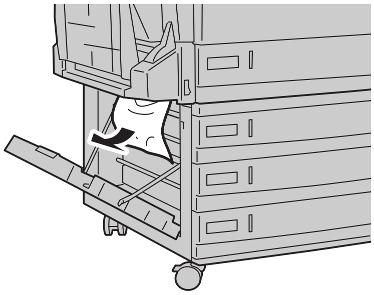
拡張給紙ユニット-B（3 トレイ）の場合

1. リリースレバーを引きながら、C（左下）カバーをゆっくりと開く

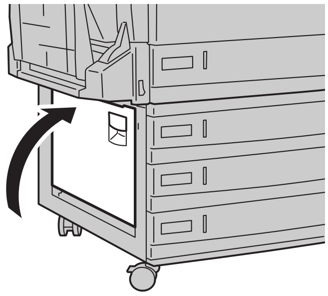


2. つまっている用紙を取く

用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認してください。



3. C（左下）カバーの中央部を押してC（左下）カバーをゆっくりと閉じる

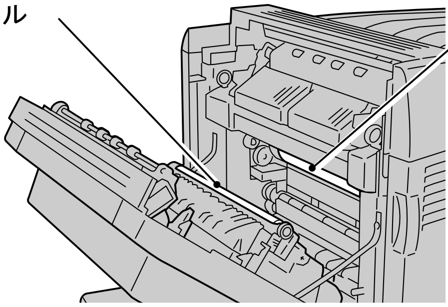


プリンタ内部でつまった用紙を取り除く

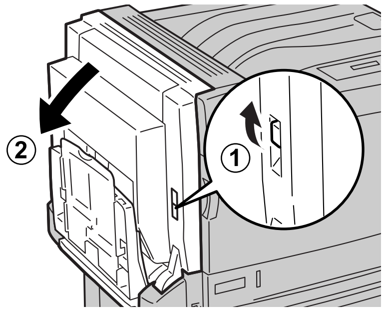
A（左側）カバー内で用紙がつまったときは、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。なお、長尺サイズ用紙の紙づまりの場合は、用紙やプリンタの損傷、およびけがを防ぐため、「つまった長尺紙を取り除く」（315 ページ）の手順に従って、用紙を取り除いてください。

お願い

転写ユニットの転写ロール（黒いゴム状のローラー）、および中間転写ユニットの転写ロールに画像が付いていることがあります。用紙を取り除くときは、これらの転写ロールに触れないでください。画質に影響を及ぼしたり、転写ロールが損傷して交換が必要になることがあります。



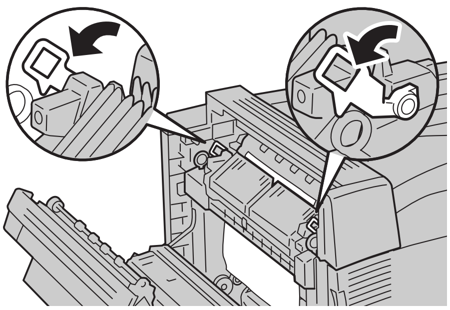
1. リリースレバーを上げながら（①）、A（左側）カバーをゆっくりと開く（②）



2. 図の位置にある緑色のレバーを手前に倒す

お願い

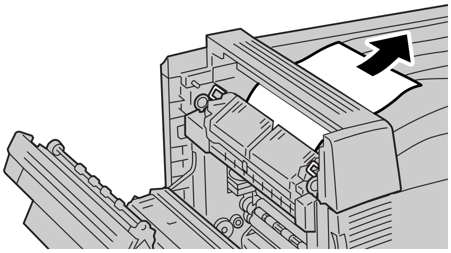
黒いレバーは、動かさないでください。



3 つまっている用紙の先端が排出トレイの方向に出ている場合は、排出方向にまっすぐに引いて用紙を取り除く

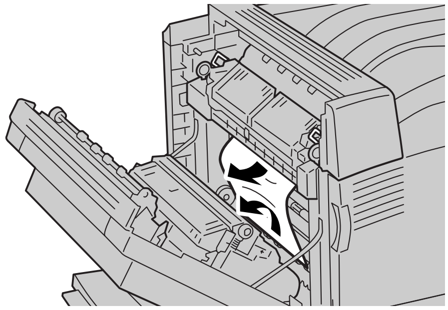
ガイド

つまっている用紙を取り除いたあとの印刷物が、数枚汚れることがあります。

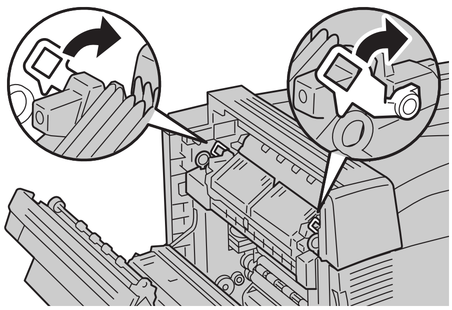


⚠ 注意	やけど	「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着部やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。なお、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、ご購入元、または「ハードウェア修理相談センター」(378 ページ)にご連絡ください。

4 つまった用紙を取り除く。用紙の先端が排出トレイから出ていないときは、図の方向に引っ張り、つまっている用紙を取り除く

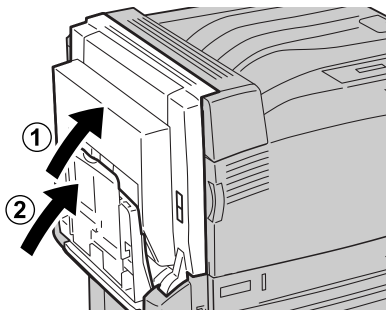


5 図の位置にある緑色のレバーを元の位置に戻す



6 「ここを押して閉めてください。」と書かれた部分を強く押し、A（左側）カバーを閉じる（①）

必要に応じて、用紙トレイ 5（手差し）を上げます（②）。

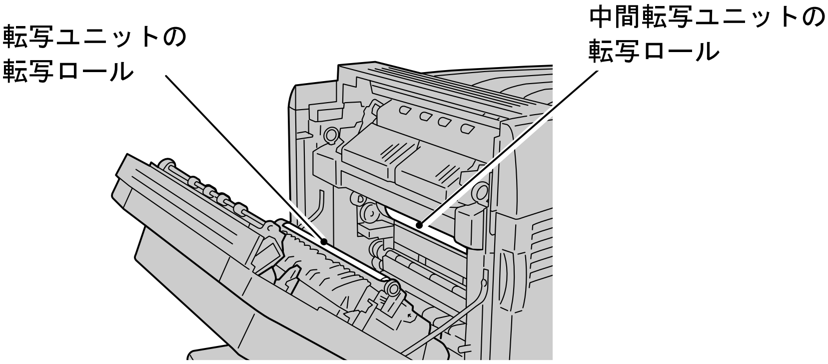


つまった長尺紙を取り除く

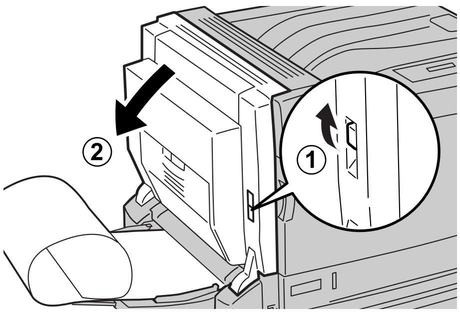
長尺サイズの用紙がつまったときは、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

お願い

転写ユニットの転写ロール（黒いゴム状のローラー）、および中間転写ユニットの転写ロールに画像が付いていることがあります。用紙を取り除くときは、これらの転写ロールに触れないでください。画質に影響を及ぼしたり、転写ロールが損傷して交換が必要になることがあります。

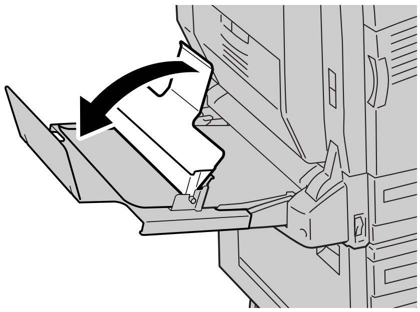


1 リリースレバーを上げながら（①）、A（左側）カバーをゆっくりと開く（②）

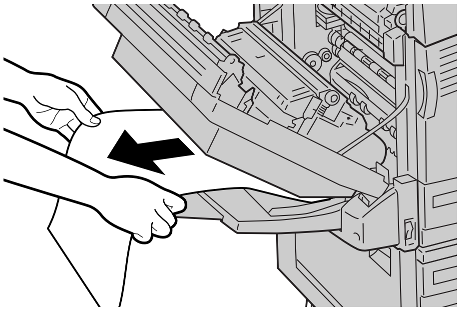


ガイド

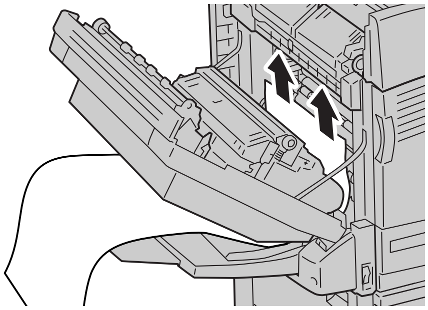
長尺ガイドを取り付けている場合は、用紙受けを手前に倒します。また、長尺ガイドに複数枚の用紙がセットされている場合は、それらの用紙をいったん取り除いてください。



2 A（左側）カバーを開けたときに、用紙の先端が見えない場合、または、用紙の先端をつかむことができない場合は、図のように用紙を矢印の方向へ引き抜く



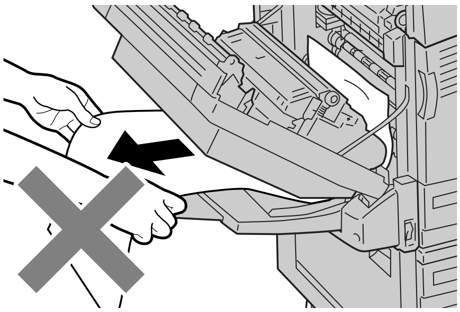
3 用紙が定着部（フューザユニット）に送られていない場合は、真上（矢印方向）に、両手でまっすぐに引き抜く



⚠ 注意	やけど	「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着部やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。なお、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、ご購入元、または「ハードウェア修理相談センター」（378 ページ）にご連絡ください。

お願い

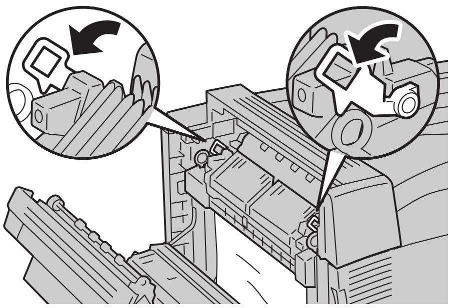
このとき、用紙を用紙トレイ 5（手差し）側から引き抜かないでください。定着していないトナーがローラーに付いて、次の用紙を汚してしまうことがあります。



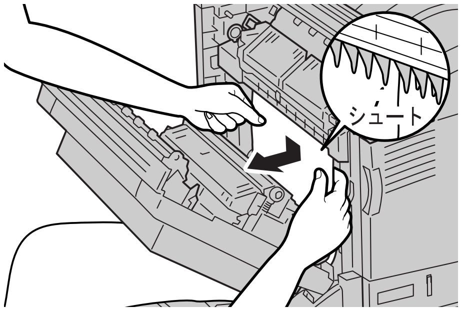
4 用紙の先端が定着部（フューザユニット）の中で止まっている場合は、図の位置にある緑色のレバーを手前に倒す

お願い

黒いレバーは、動かさないでください。



5 用紙を両手で持ち、矢印方向に引いて、用紙の先端を引き出す



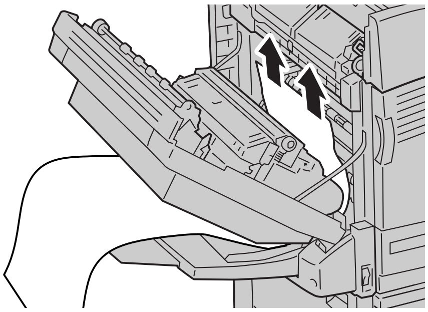
お願い

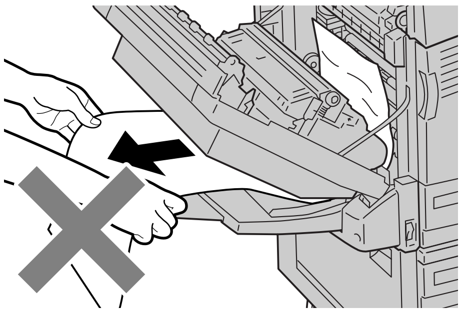
用紙は、シュートに当たらないように引き出してください。

⚠ 注意

やけど	「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着部やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。なお、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、ご購入元、または「ハードウェア修理相談センター」(378 ページ)にご連絡ください。

6 **5**で引き出した用紙を、真上（矢印方向）に、両手でまっすぐに引き抜く

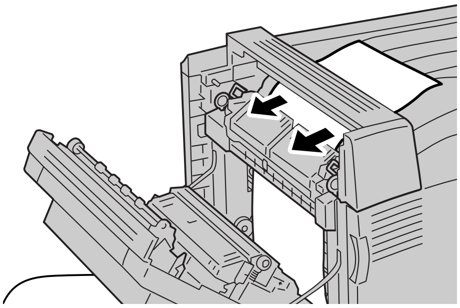




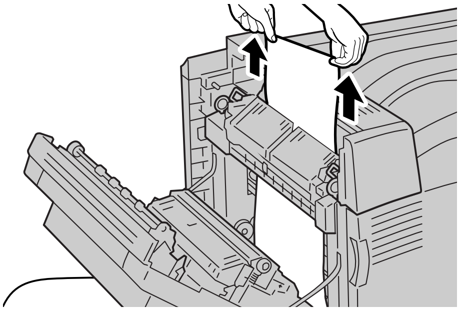
お願い

このとき、用紙を用紙トレイ５（手差し）側から引き抜かないでください。定着していないトナーがローラーに付いて、次の用紙を汚してしまうことがあります。

7 用紙の先端が排出トレイ側に出ている場合は、用紙の両端を両手で持ち、矢印方向にまっすぐに引いて、用紙の先端を引き出す



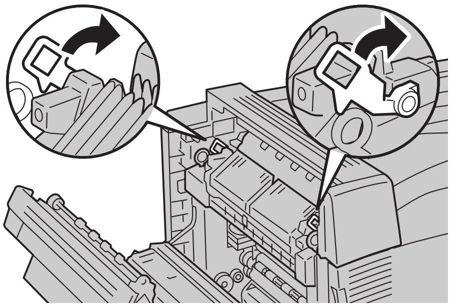
8 **7**で引き出した用紙を両手で真上（矢印方向）に、まっすぐに引き抜く



ガイド

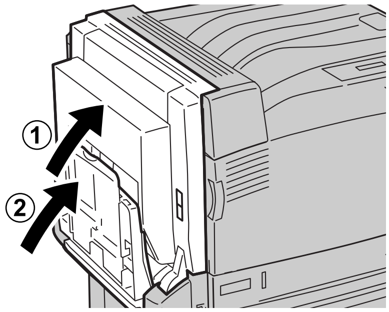
- 引き抜くときに、少し重たく感じられることがあります。
- 矢印方向にまっすぐに引き抜かないと、用紙が途中で切れてプリンタの中に残り、トラブルになる可能性があります。

9 図の位置にある緑色のレバーを元の位置に戻す



10 「ここを押して閉めてください。」と書かれた部分を強く押し、A（左側）カバーを閉じる（①）

必要に応じて、用紙トレイ 5（手差し）を上げます（②）。



ガイド

長尺ガイドを取り付けている場合は、用紙受けを本体側に向けて立てます。

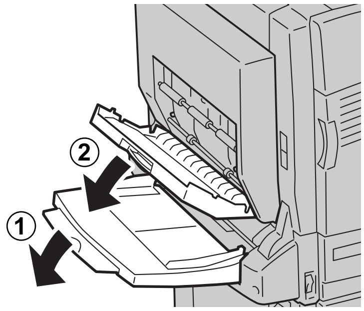
両面ユニットにつまった用紙を取り除く

両面ユニット内で用紙がつまったときは、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

ガイド

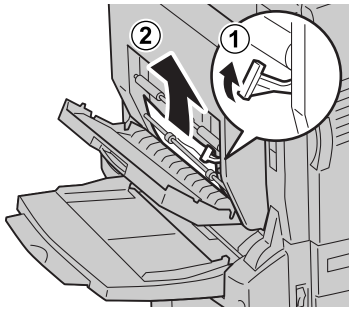
両面ユニットでの紙づまりメッセージは、両面印刷機能付きの場合に表示されます。

1. 用紙トレイ 5（手差し）を開き（①）、B（両面ユニット）カバーをゆっくりと開く（②）



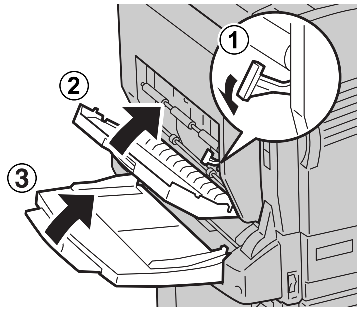
2. 図の位置にあるレバーを上げて（①）、つまった用紙を取り除く（②）

   用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認してください。



3. レバーを戻し（①）、B（両面ユニット）カバーを閉じる（②）

   必要に応じて、用紙トレイ 5（手差し）を上げます（③）。



故障かなと思ったとき

故障かなと思ったときに、もう一度、プリンタの状態を確認してください。
それでも問題が解決しない場合は、「印刷品質が低下したとき」(324 ページ)、および「メッセージ一覧」(332 ページ)へ進んで、適切な処置を行ってください。

⚠ 注意

感　電	ネジで固定されているパネルやカバーなどは、取扱説明書で指示している箇所以外絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
火　災	本装置を改造したり、部品を変更して使用しないでください。火災のおそれがあります。

ガイド

- 印刷処理が正しく行われなかったときの情報は、「ジョブ履歴レポート」に保存されます。印刷処理がされていない場合は、「ジョブ履歴レポート」を印刷して、印刷処理状況を確認してください。なお、正しく処理できない印刷データは破棄されることがあります。
- 「ジョブ履歴レポート」の印刷方法については、「レポート / リストを印刷する」(247 ページ)を参照してください。

症　状	原　因	処　置
電源が入らない	電源スイッチが切れていませんか?	電源スイッチを入れてください。 参照 「電源を入れる」(62 ページ)参照
	電源コードが抜けていませんか?	電源スイッチをいったん切り、電源コードを確実に差し込んでください。そのあと、電源スイッチを入れてください。 参照 「電源を入れる」(62 ページ)参照
	電源の電圧が適切ですか?	電源が 100V(ボルト)、15A(アンペア)であることと、プリンタの最大消費電力 999W以下に見合った電源容量が確保されていることを確認してください。 参照 「安全上のご注意」(16 ページ)参照

症　状	原　因	処　置
印刷できない	「オンライン」ランプが消灯していませんか？	プリンタがオフライン状態、またはメニューを設定している状態になっています。下記の表示状態に応じて処置してください。 ・「オフライン」 「オンライン」スイッチを押して、オフライン状態を解除します。 ・その他 「メニュー」スイッチを押して、メニューを設定している状態を解除します。 参照　「オペレータパネルの各部の名称と機能」（176 ページ）参照
	オペレータパネルの液晶ディスプレイにメッセージが表示されていませんか？	表示されているメッセージに従って処置してください。 参照　「メッセージ一覧」（332 ページ）参照
	パソコンは、双方向通信に対応していますか（パラレルインタフェースケーブルで接続している場合）。	工場出荷時、プリンタの双方向通信の設定は、「ユウコウ」になっています。パソコンが双方向通信に対応していないと、印刷できません。この場合は、オペレータパネルで、双方向通信の設定を「ムコウ」にしてから印刷してください。 参照　「パラレル」（185 ページ）参照
	メモリ容量が不足していませんか？	次の方法で再印刷してみてください。 ・［印刷モード］が［高精細］の場合は、［高画質］にする。状態が改善されない場合は、［標準］にする。 ・プリントページバッファを増やすまたはオプションのプリンタ RAM モジュールを取り付けて、メモリを増設してください。 参照　［印刷モード］についてはプリンタドライバのオンラインヘルプを参照
印刷を指示したのに「オンラインランプ」が点滅、点灯しない	インタフェースケーブルが抜けていませんか？	電源スイッチをいったん切り、インタフェースケーブルの接続を確認してください。
	使用するインタフェースが設定されていますか？	インタフェースのポート状態を確認してください。 参照　「メニューの項目説明」（185 ページ）参照
	パソコンの環境が正しく設定されていますか？	プリンタドライバなどパソコンの環境を確認してください。

症　　状	原　因	処　置
印刷を指示していないのに、「プリントシテイマス」が表示される（パラレルインタフェース使用時）	プリンタの電源を入れたあとに、パソコンの電源を入れませんでしたか？	「プリント中止」スイッチを押して、印刷を中止します。 ガイド プリンタの電源を入れるときには、パソコンの電源が入っていることを確認してください。
正しい文字が印字されない（文字化けが起こる）	プリンタに標準で搭載されていないフォントを使用して印刷しています。	アプリケーションまたはプリンタドライバの設定を確認してください。
画面表示と印刷結果が一致しない	TrueType フォントをプリンタフォントに置き換える設定になっていませんか？	TrueType フォントの印刷方法を変更してください。 参照　プリンタドライバのオンラインヘルプ参照
オンラインランプが点灯、点滅したまま排紙されない	データがプリンタ内部に残っています。	印刷の中止、または残っているデータの強制排出をしてください。 参照　「印刷を中止する」（164 ページ）、「印刷データを強制的に排出する」（167 ページ）参照
印刷に時間がかかる	受信バッファ容量の不足が考えられます。	解像度の高い文書を印刷するときは、オペレータパネルの［メモリ設定］で使用しない項目のメモリ容量を減らして、プリントページバッファの容量が大きくなるようにしてください。 受信バッファ容量を増やすと、印刷処理が速くなることがあります。印刷するデータの量に応じて、バッファ容量を調整してください。 また、使用していないポートは、ポート状態を停止にして、ほかの用途向けにメモリを割り当てることをお勧めします。 参照　「メモリー設定」（199 ページ）参照
	［印刷モード］の設定で、［高画質］、［高精細］が選択されていませんか？	［印刷モード］の設定を［標準］に変更すると、印刷にかかる時間を短縮できることがあります。 参照　プリンタドライバのオンラインヘルプ参照
	TrueType フォントの印刷方法によっては、印刷に時間がかかることがあります。	TrueType フォントの印刷方法を変更してください。 参照　プリンタドライバのオンラインヘルプ参照

症　　状	原　因	処　置
用紙トレイの出し入れができない	印刷中にカバーを開けたり、電源を切ったりしませんでしたか？	無理に用紙トレイを出し入れしないで、電源を切ってください。数秒経過後、電源を入れ、オペレータパネルの指示に従って、用紙がつまっていないか確認してください。「プリント　デキマス」と表示されたら用紙トレイの出し入れを行ってください。
エラーランプが点灯している	オペレータパネルの液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されていませんか？	オペレータパネルに表示されているエラーメッセージを確認して、エラーの対処をしてください。 参照 「メッセージ一覧」(332 ページ)参照
印字品質がよくない	画像トラブルが発生しているおそれがあります	後述の「印字品質が低下したとき」を参照して処置してください。 参照 「印刷品質が低下したとき」(324 ページ) 参照

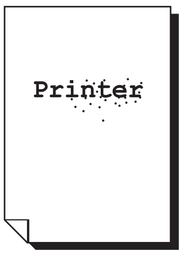
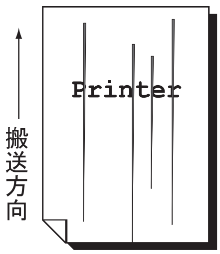
運用編

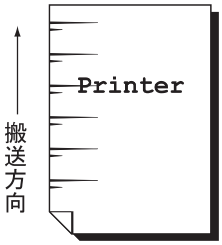
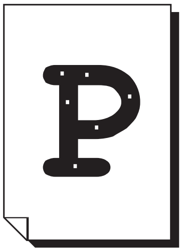
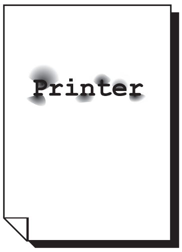
14

印刷品質が低下したとき

きれいに印刷されない

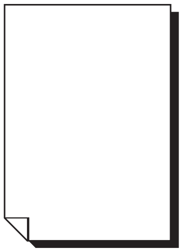
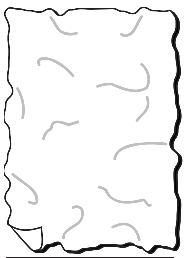
印字品質が悪い場合は、次の表から最も近い症状を選び、処置してください。
該当する処置をしても印字品質が改善されない場合は、ご購入元、または「ハードウェア修理相談センター」（378 ページ）にご連絡ください。

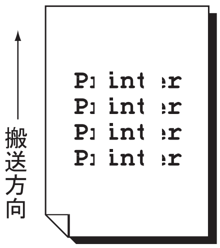
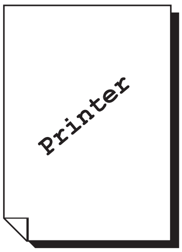
症　状	原　因	処　置
印刷がうすい（かすれる、不鮮明） 	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 参照「用紙のセット」（289 ページ）参照
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照「ドラムカートリッジの交換」（237 ページ）参照
	トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。	新しいトナーカートリッジと交換してください。 参照「トナーカートリッジの交換」（233 ページ）参照
色点が印刷される 	中間転写ドラムが汚れています。	クリーニングを実行してください。 参照「エンジンクリーニング」（202 ページ）参照
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照「ドラムカートリッジの交換」（237 ページ）参照
色線が印刷される 	中間転写ドラムが汚れています。	クリーニングを実行してください。 参照「エンジンクリーニング」（202 ページ）参照
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照「ドラムカートリッジの交換」（237 ページ）参照

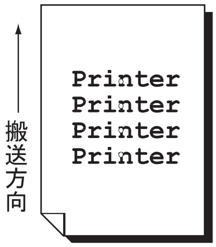
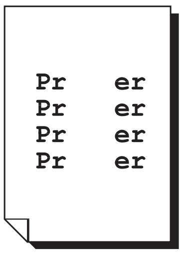
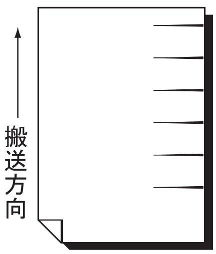
症　状	原　因	処　置
等間隔に汚れが起きる 	用紙搬送路に汚れが付着しています。	数枚印刷してください。それでも直らない場合はクリーニングしてください。 参照 「エンジンクリーニング」（202 ページ）参照
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照 「ドラムカートリッジの交換」（237 ページ）参照
色でぬりつぶされた部分に白点が現れる 	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照 「用紙のセット」（289 ページ）参照
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照 「ドラムカートリッジの交換」（237 ページ）参照
指でこするとかすれる トナーが定着しない 用紙がトナーで汚れる 	用紙トレイにセットした用紙とオペレータパネルや、プリンタドライバで設定した用紙種類が合っていません。	用紙トレイにセットした用紙に適する用紙種類をオペレータパネルで設定してください。 参照 「第 13 章 用紙について」（279 ページ）参照 参照 「用紙の種類の確認と設定をする」（66 ページ）参照
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 参照 「用紙のセット」（289 ページ）参照
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照 「使用できる用紙」（280 ページ）参照
用紙全体がぬりつぶされて印刷される 	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照 「ドラムカートリッジの交換」（237 ページ）参照
	高圧電源の故障が考えられます。	ご購入元、または「ハードウェア修理相談センター」（378 ページ）にご連絡ください。

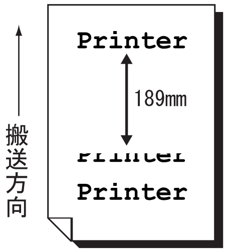
運用編

14

症　状	原　因	処　置
何も印刷されない 	一度に複数枚の用紙が搬送されています（重送）。	用紙をよくさばいてからセットし直してください。 参照 「用紙のセット」（289 ページ）参照
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照 「ドラムカートリッジの交換」（237 ページ）参照
	用紙の継ぎ足しをしています。	トレイにセットしてある用紙を使いきる前に、用紙を継ぎ足すと起こることがあります。セットしている用紙をよくさばいてから、もう一度セットしてください。用紙を補給するときは、セットしている用紙を使い切ってから補給してください。
白抜けや白筋が出る 	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 参照 「用紙のセット」（289 ページ）参照
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照 「使用できる用紙」（280 ページ）参照
	高圧電源の故障が考えられます。	ご購入元、または「ハードウェア修理相談センター」（378 ページ）にご連絡ください。
用紙にシワが付く 文字がにじむ  	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照 「用紙のセット」（289 ページ）参照
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 参照 「用紙のセット」（289 ページ）参照
	用紙トレイにセットした用紙とオペレータパネルやプリンタドライバで設定した用紙種類が合っていません。	用紙トレイにセットした用紙に適する用紙種類をオペレータパネルで設定してください。 参照 「第 13 章 用紙について」（279 ページ）参照 参照 「用紙の種類の確認と設定をする」（66 ページ）参照

症　　状	原　　因	処　　置
縦長に白抜けする 	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照　「ドラムカートリッジの交換」（237 ページ）参照
	トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。	新しいトナーカートリッジと交換してください。 参照　「トナーカートリッジの交換」（233 ページ）参照
斜めに印刷される 	用紙トレイのガイドクリップが正しい位置にセットされていません。	縦横のガイドクリップを正しい位置にセットしてください。 参照　「用紙のセット」（289 ページ）参照
全体がうっすらと印刷される 	プリンタドライバで選択した用紙サイズと実際にセットされている用紙のサイズが異なります。または、一度に複数枚の用紙が搬送されています。	正しいサイズの用紙をセットするか、用紙をよくさばいてからセットしてください。 参照　「用紙のセット」（289 ページ）参照
	トナーセーブがオンになっていませんか。	プリンタドライバの［グラフィックス］タブの［詳細設定］で、トナーセーブをオフに設定してください。 参照　プリンタドライバのオンラインヘルプ参照
	N アップ印刷すると線や文字がうすい	プリンタドライバの［グラフィックス］タブの設定を「高画質」、または、「高精細」に設定してください。ただしその場合は、データサイズによってはメモリ増設が必要になることがあります。 参照　「［グラフィックス］ダイアログ」（219 ページ）参照 参照　「プリンタ RAM モジュール」（75 ページ）参照

症　　状	原　　因	処　　置
等間隔の白点が印刷される 	ドラムカートリッジが劣化または損傷しています。	新しいカートリッジと交換してください。 参照 「ドラムカートリッジの交換」（237 ページ）参照
残像が出る 	用紙トレイにセットした用紙とオペレータパネルやプリンタドライバで設定した用紙種類が合っていません。	用紙トレイにセットした用紙に適する用紙種類をオペレータパネルで設定してください。 参照 「第 13 章 用紙について」（279 ページ）参照 参照 「用紙の種類の確認と設定をする」（66 ページ）参照
	フューザが汚れています。	フューザを清掃してください。 参照 「フューザの清掃」（275 ページ）参照
高温多湿環境下で白抜けする 	トナーが吸湿することによる現像不良です。	使用している環境を、推奨環境に 1 時間くらいなじませてからお使いください。 参照 「基本仕様」（354 ページ）参照
低温低湿環境下で等間隔の汚れが起きる 	多量のトナーがドラムカートリッジに現像されることによる転写不良です。	使用している環境を推奨環境に 1 時間くらいなじませてからお使いください。 参照 「基本仕様」（354 ページ）参照

症　　状	原　　因	処　　置
推奨環境下で等間隔の汚れが発生する	印刷枚数が運用条件を超えて使用したことによるドラムカートリッジの劣化が原因です。	12 時間以上、プリンタを放置してください。それでも改善されない場合は、新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照 「寿命（耐用期間）について」（357 ページ）参照 参照 「ドラムカートリッジの交換」（237 ページ）参照
189mm 間隔で白抜けが発生する  	電源が切れているときに A（左側）カバーを開閉したことが原因です。	電源を入れ、「プリント デキマス」と表示されたら電源を切り、12 時間以上プリンタを放置してください。 ただし、電源を切った状態では、A（左側）カバーを開閉しないでください。 参照「電源を切る」（71 ページ）参照

特殊用紙などにきれいに印刷されない

症　状	チェック項目	処　置
OHP フィルムにきれいに印刷されない	適切な OHP フィルムを使用していますか。	本プリンタで使用できる OHP フィルムは、次のとおりです。 ・V516（OHP フィルム） ・JE001（OHP フィルム） 参照 「特殊用紙」（282 ページ）参照
	用紙の種類を[OHP フィルム］に設定していますか。	**・OHP フィルムを用紙トレイ 5（手差し）にセットしている場合** プリンタドライバのプロパティで、用紙の種類を［OHP フィルム］に設定してください。 参照 「［トレイ / 排出］ダイアログ」（217 ページ）参照 **・OHP フィルムを用紙トレイ 1 にセットしている場合** オペレータパネルで用紙の種類を「OHP フィルム」に設定してください。 参照 「用紙種類の設定を変更する」（67 ページ）参照
はがきにきれいに印刷されない	適切なはがきを使用していますか。	本プリンタで使用できるはがきは、官製はがきのみです。 参照 「使用できる用紙」（280 ページ）参照
	用紙の種類を［はがき］に設定していますか。	プリンタドライバの［用紙 / 出力］ダイアログで、用紙の種類を［はがき］に設定してください。 参照 「［トレイ / 排出］ダイアログ」（217 ページ）参照
封筒にきれいに印刷されない	適切なサイズの封筒を使用していますか。	本プリンタで使用できる封筒のサイズは、洋形４号、長形３号、および長形３号［洋］です。使用できる封筒をセットしてください。 参照 「使用できる用紙」（280 ページ）参照
	プリンタドライバで、用紙の種類を［封筒］に設定していますか。	プリンタドライバのプロパティで、種類を［封筒］に設定してください。 参照 「［トレイ / 排出］ダイアログ」（217 ページ）参照

症　状	チェック項目	処　置
きれいに印刷されない	プリンタドライバで、トナーセーブ機能や、解像度を低く設定していませんか。	プリンタドライバの［グラフィックス］ダイアログで、設定を変更してください。 参照 「［グラフィックス］ダイアログ」（219 ページ）参照
厚紙印刷時のカールが大きい	用紙の向きによってはカール量が大きくなることがあります。	用紙のセットを縦置き（LEF）から横置き（SEF）にして使用してみてください。

メッセージ一覧

ここでは、プリンタのディスプレイに表示されるメッセージとエラーコードについて説明します。

オペレータパネルのエラーメッセージ

メッセージには、プリンタの状態を表すものとエラーを表すものがあります。
エラーメッセージについては、「原因」と「処置」を記載しています。
なお、下表にないメッセージが表示された場合は、「ハードウェア修理相談センター」（378 ページ）にご相談ください。

ガイド

- エラーメッセージが表示されたときは、プリンタ内に残っている印刷データや、プリンタのメモリ上に蓄えられた情報は保証されません。
- 「*」は英数字を表します。「xxxx」は印刷しているレポート / リスト、入力ポート、用紙サイズまたは用紙サイズと方向のどれかを表します。「YYYY」は用紙種類を表します。

メッセージ	原因 / 処置
xxxx プリント シテイマス トレイ＊	【状態】　レポート / リストを印刷しています。 **ガイド** レポート / リストを印刷中は、パソコンからの印刷データを受信できません。
エラー シュウリョウ シマシタ ***-***	【原因】　エラーが発生して、正しく印刷されませんでした。 【処置】　液晶ディスプレイに表示されているエラーコード「***-***」を確認して処置してください。 参照　「オペレータパネルのエラーコード」（341 ページ）参照

メッセージ	原因 / 処置
オフライン	【状態】 「オンライン」スイッチを押して、オフライン状態になっています。オフライン状態を解除するには、再び「オンライン」スイッチを押してください。 ガイド オフライン状態のときは、パソコンからの印刷データは受信できません。
オフライン データ アリ	【状態】 印刷中に、「オンライン」スイッチを押して、オフライン状態になっています。オフライン状態を解除するには、再び「オンライン」スイッチを押してください。受信途中のデータ処理を再開します。なお、オフライン状態のときは、パソコンからの印刷データは受信できません。
オマチクダサイ	【状態】 ・プリンタのシステム状態を診断 / 初期化しています。電源スイッチを入れたときや、システムリセット時に表示されます。しばらくすると、「プリントデキマス」のメッセージに変わります。 ・プリンタ内部に残っている印刷データを強制的に排出するための、ウォームアップ中です。 ・パソコンからの印刷データは受信できません。
カバー A マタハ カバー B ヲ アケテ ヨウシヲ ジョキョ	【原因】 プリンタの A（左側）カバー内、または B（両面ユニット）カバー内で紙づまりが発生しています。 【処置】 プリンタの A（左側）カバー、または B（両面ユニット）カバーを開いて、つまっている用紙を取り除いてください。 参照 「紙づまりになったとき」（308 ページ）参照
カバー＊ヲ アケテ ナケレバ トレイ＊カラ ヨウシヲジョキョ	【原因】 プリンタの＊カバー内、または用紙トレイ＊で紙づまりが発生しています。 【処置】 プリンタの＊カバーを開いてつまっている用紙があるかを確認してください。＊カバー内につまっている用紙がない場合は、用紙トレイ＊を引き出して、確認してください。 参照 「紙づまりになったとき」（308 ページ）参照

メッセージ	原因 / 処置
カバー＊ヲ アケテ ヨウシヲ トリノゾイテ クダサイ	【原因】　プリンタの＊カバー内で紙づまりが発生しています。 【処置】　＊ カバーを開いて、つまっている用紙を取り除いてください。
カバー＊ヲ トジテ クダサイ	【原因】　＊カバーが開いています。 【処置】　＊カバーを閉じてください。 参照　「各部の名称と機能」(40 ページ）参照
カミヅマリデス OHP ヨウシヲ トリノゾイテクダサイ	【原因】　白い枠付きの OHP フィルムを使用したため、紙づまりが発生しました。 【処置】　A（左側）カバーを開けて、つまっている OHP フィルムを取り除いてください。プリンタでは、白い枠付きの OHP フィルムは使用できません。枠なしの OHP フィルムを使用してください。 参照　「紙づまりになったとき」（308 ページ）参照
カミヅマリデス トレイ＊ニ ツマッテイルヨウシヲジョキョ	【原因】　用紙トレイ＊で紙づまりが発生しています。 【処置】　用紙トレイ＊につまっている用紙を取り除いてください。 参照　「紙づまりになったとき」（308 ページ）参照
カミヅマリデス＊ヲアケテ ヨウシヲトリノゾイテクダサイ	【原因】　＊ カバー部で紙づまりが発生しています。 【処置】　液晶ディスプレイに表示されたカバーの位置を状態表示部で確認して、つまっている用紙を取り除いてください。 参照　「紙づまりになったとき」（308 ページ）参照
コウカン ジキ 010-420 セツメイショ ヲ カクニン	【原因】　部品の交換時期になりました。 【処置】　「010-420」を、ご購入元、または「ハードウェア修理相談センター」（378 ページ）にご連絡ください。
シバラク オマチクダサイ XXXX	【状態】　プリンタ内部に残っている印刷データを強制排出するための、ウオームアップ中です。なお、パソコンからの印刷データは受信できます。

メッセージ	原因 / 処置
スベテ ノ データ ヲ チュウシ シテイマス	【状態】　プリンタ内部に残っている印刷データを破棄中です。 このとき、パソコンからの印刷データは受信できません。
スベテ ノ データ ヲ ハイシュツ シテイマス トレイ＊	【状態】　プリンタ内部に残っている印刷データを強制排出中です。このとき、パソコンからの印刷データは受信できません。
チュウシ シテイマス xxxx　　トレイ＊	【状態】　印刷中のデータを破棄しています。なお、パソコンからの印刷データは受信できます。
テザシ ノ ヨウシヲ カクニン xxxx　　　　YYYY	【原因】　用紙トレイ 5（手差し）に正しい用紙がセットされていません。 【処置】　用紙トレイ 5（手差し）に、サイズと方向が xxxx で、用紙種類が YYYY の用紙を補給してください。
テザシヲ カクニン [セット] xxxx　　　YYYY	【原因】　何らかの原因で用紙トレイ 5（手差し）からの走行が中断されました。 【処置】　用紙トレイ 5（手差し）にサイズと方向が xxxx で、用紙種類が YYYY の用紙をセットするか、サイズと方向が xxxx で、用紙種類が YYYY の用紙がセットされているか確認してください。そのあと、オペレータパネルの「排出 / セット」スイッチを押すと印刷が開始します。 参照　「用紙のセット」（289 ページ）参照
データ マチデス xxxx	【状態】　印刷データを待っている状態です。なお、パソコンからの印刷データは受信できます。
デンゲン ヲ オフ - オン シテクダサイ　　＊＊＊-＊＊＊	【原因】　エラーが発生しました。 【処置】　「＊＊＊-＊＊＊」の表示内容を書き写してください。電源スイッチを切り、5 秒以上待ってから、再度電源スイッチを入れてください。再び同じメッセージが表示された場合は、電源スイッチを切り、オペレータパネルの液晶ディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜き、ご購入元、または「ハードウェア修理相談センター」（378 ページ）にご連絡ください。

メッセージ	原因／処置
トナー カートリッジヲ コウカン シテクダサイ：C	【原因】　シアントナーカートリッジのトナーがなくなりました。 【処置】　新しいシアントナーカートリッジに交換してください。 参照 「トナーカートリッジの交換」（233 ページ）参照
トナー カートリッジヲ コウカン シテクダサイ：K	【原因】　ブラックトナーカートリッジのトナーがなくなりました。 【処置】　新しいブラックトナーカートリッジに交換してください。 参照 「トナーカートリッジの交換」（233 ページ）参照
トナー カートリッジヲ コウカン シテクダサイ：M	【原因】　マゼンタトナーカートリッジのトナーがなくなりました。 【処置】　新しいマゼンタトナーカートリッジに交換してください。 参照 「トナーカートリッジの交換」（233 ページ）参照
トナー カートリッジヲ コウカン シテクダサイ：Y	【原因】　イエロートナーカートリッジのトナーがなくなりました。 【処置】　新しいイエロートナーカートリッジに交換してください。 参照 「トナーカートリッジの交換」（233 ページ）参照
トナー カートリッジヲ セット シテクダサイ：*	【原因】　* のトナーカートリッジがセットされていません。 【処置】　* のトナーカートリッジをセットしてください。 参照 「トナーカートリッジの交換」（233 ページ）参照
トナー カイシュウ ボトル U1 ヲ コウカン シテクダサイ	【原因】　廃トナーボックスがいっぱいになりました。 【処置】　新しい廃トナーボックスに交換してください。 参照 「廃トナーボックスの交換」（244 ページ）参照

メッセージ	原因 / 処置
トナーカイシュウ ボトル U1 ヲ セット シテクダサイ	【原因】　廃トナーボックスがセットされていません。 【処置】　廃トナーボックスをセットしてください。 参照 「廃トナーボックスの交換」（244 ページ）参照
ドラム U2 ヲ コウカン シテクダサイ	【原因】　ドラムカートリッジの交換時期です。 【処置】　新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照 「ドラムカートリッジの交換」（237 ページ）参照
ドラム U2 ヲ セット シテクダサイ	【原因】　ドラムカートリッジがセットされていません。 【処置】　ドラムカートリッジをセットしてください。 参照 「ドラムカートリッジの交換」（237 ページ）参照
トレイ *(ユウセン) ニ セット xxxx　　　　YYYY	【原因】　用紙トレイ * のサイズと方向が xxxx で、用紙種類が YYYY の用紙は、用紙切れです。 【処置】　用紙トレイ * にサイズと方向が xxxx で、用紙種類が YYYY の用紙を補給してください。 参照 「用紙のセット」（289 ページ）参照
トレイ * ニ ヨウシヲ ホキュウ xxxx　　　　YYYY	【原因】　用紙トレイ * のサイズと方向が xxxx で、用紙種類が YYYY の用紙は、用紙切れです。 【処置】　用紙トレイ * にサイズと方向が xxxx で、用紙種類が YYYY の用紙を補給してください。 参照 「用紙のセット」（289 ページ）参照
トレイ * ノ ヨウシヲ カクニン xxxx　　　　YYYY	【原因】　用紙トレイ * に正しい用紙がセットされていません。 【処置】　用紙トレイ * にサイズと方向が xxxx で、用紙種類が YYYY の用紙をセットしてください。 参照 「用紙のセット」（289 ページ）参照

メッセージ	原因 / 処置
トレイ＊ノ ヨウシヲ カクニン シロワクノ OHP ハ ツカエマセン	【原因】 用紙トレイ*に白い枠付きのOHPフィルムがセットされています。プリンタでは、白い枠付きの OHP フィルムは使用できません。 【処置】 つまっている用紙がある場合は取り除き、弊社が推奨する OHP フィルムをセットしてください。 「用紙のセット」（289 ページ）参照
トレイ＊ノ ヨウシヲ カクニンシテクダサイ	【原因】 用紙トレイ＊にセットされているサイズの用紙には印刷できません。 【処置】 印刷できる用紙をセットしてください。 「用紙のセット」（289 ページ）参照
トレイ＊ヲ オシコンデ クダサイ	【原因】 用紙トレイ＊が引き出されています。 【処置】 用紙トレイ＊を正しくセットしてください。 「用紙のセット」（289 ページ）参照
ハイシュツ シテイマス xxxx　　トレイ＊	【状態】 印刷データを排出しています。なお、パソコンからの印刷データは受信できます。
ブヒン コウカン 010-422 セツメイショ ヲ カクニン	【原因】 部品の交換時期です。 【処置】 「010-422」を、ご購入元、または「ハードウェア修理相談センター」（378 ページ）にご連絡ください。
ブヒン コウカン ヲ イライ シテクダサイ　　***-***	【原因】 部品の交換時期です。 【処置】 「***-***」の表示内容を、ご購入元、または「ハードウェア修理相談センター」（378 ページ）にご連絡ください。
フロントカバー ヲ トジテ クダサイ	【原因】 フロントカバーが開いています。 【処置】 フロントカバーを閉じてください。 「各部の名称と機能」（40 ページ）参照
プリント シテイマス xxxx	【状態】 印刷データ処理中です。なお、パソコンからの印刷データは受信できます。
プリント シテイマス xxxx　　トレイ＊	【状態】 トレイ＊を使用して印刷中です。使用中のトレイは、引き出さないでください。なお、パソコンからの印刷データは受信できます。

メッセージ	原因 / 処置
プリント デキマス	【状態】 パソコンからの印刷データを受信できる状態です。
プリント デキマス ***-***	【原因】 プリンタに何らかの不具合が発生しています。 【処置】 電源スイッチを切り、5 秒以上待ってから、再度電源スイッチを入れてください。再びエラーコードが表示された場合は、液晶ディスプレイに表示されているエラーコード「***-***」を確認して処置してください。 参照 「オペレータパネルのエラーコード」（341 ページ）参照
プリント デキマス DNS サーバ コウシン フカ	【原因】 DNS から IP アドレスを取得できませんでした。 【処置】 DNS の設定と IP アドレスの取得方法の設定を確認してください。 参照 「IP アドレスの設定」（119 ページ）参照
プリント デキマス IP アドレス シュトク フカ	【原因】 DHCP サーバからの IP アドレスの取得に失敗しました。 【処置】 手動で IP アドレスを設定してください。 参照 「IP アドレスの設定」（119 ページ）参照
プリント デキマス IP アドレス チョウフク	【原因】 IP アドレスが重複しています。 【処置】 IP アドレスを変更してください。 参照 「IP アドレスの設定」（119 ページ）参照
プリント デキマス コウカン ジキ　　***-***	【原因】 部品の交換の時期が近づいています。 【処置】 「***-***」の表示内容を、ご購入元、または「ハードウェア修理相談センター」（378 ページ）にご連絡ください。
プリント デキマス トナー コウカン ジキ：C	【状態】 シアントナーカートリッジの残量が少なくなっています。新しいシアントナーカートリッジを準備してください。なお、印刷処理、およびパソコンからの印刷データは受信できます。 参照 「トナーカートリッジの交換」（233 ページ）参照

メッセージ	原因／処置
プリント デキマス トナー コウカン ジキ：K	【状態】　ブラックトナーカートリッジの残量が少なくなっています。新しいブラックトナーカートリッジを準備してください。なお、印刷処理、およびパソコンからの印刷データは受信できます。 参照「トナーカートリッジの交換」（233 ページ）参照
プリント デキマス トナー コウカン ジキ：M	【状態】　マゼンタトナーカートリッジの残量が少なくなっています。新しいマゼンタトナーカートリッジを準備してください。なお、印刷処理、およびパソコンからの印刷データは受信できます。 参照「トナーカートリッジの交換」（233 ページ）参照
プリント デキマス トナー コウカン ジキ：Y	【状態】　イエロートナーカートリッジの残量が少なくなっています。新しいイエロートナーカートリッジを準備してください。なお、印刷処理、およびパソコンからの印刷データは受信できます。 参照「トナーカートリッジの交換」（233 ページ）参照
プリント デキマス ドラム U2 コウカン	【原因】　ドラムカートリッジの交換時期です。なお、印刷処理、およびパソコンからの印刷データは受信できます。 【処置】　新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照「ドラムカートリッジの交換」（237 ページ）参照
プリント デキマス ドラム U2 コウカン ジキ	【状態】　ドラムカートリッジの交換時期が近づいています。新しいドラムカートリッジを準備してください。なお、印刷処理、およびパソコンからの印刷データは受信できます。 参照「ドラムカートリッジの交換」（237 ページ）参照
プリント デキマス ボトル U1 コウカン ジキ	【状態】　廃トナーボックスの交換時期が近づいています。新しい廃トナーボックスを準備してください。

オペレータパネルのエラーコード

エラーが発生して印刷が正常に終了しなかった場合やプリンタに故障が発生した場合は、次のようなメッセージとエラーコード（*** ─ ***）が表示されます。

ｴﾗｰ ｼｭｳﾘｮｳ ｼﾏｼﾀ ***−***

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ ***−***

下表でエラーコードを参照して、処置してください。
なお、下表にないメッセージが表示された場合は、「ハードウェア修理相談センター」（378 ページ）にご相談ください。

ガイド

- エラーコードが表示されたときは、プリンタ内に残っている印刷データや、プリンタのメモリ上に蓄えられた情報は保証されません。
- プリンタの電源を切ると、プリンタ内の残っている印刷データやプリンタのメモリ上に蓄えられた情報は消去されます。

エラーコード	原因 / 処置	
003-747	【原因】	オペレータパネルで用紙トレイ 1 ～ 4 の［トレイの用紙サイズ］を［自動］に設定、プリンタドライバの［用紙トレイ選択］を［自動］に設定し、不定形サイズの印刷を指示するなど、プリントパラメーターの組み合わせが正しくありません。
	【処置】	印刷指示を確認してください。
007-250	【原因】	本体とオプションのトレイ（用紙トレイ 2、または用紙トレイ 2 ～ 4）との間で、通信エラーが発生しました。
	【処置】	プリンタの電源を切り、トレイのコネクターケーブルが本体背面にあるコネクターに、正しく接続されていることを確認してください。 そのあとで、プリンタの電源を入れても状態が改善されないときは、ご購入元、または「ハードウェア修理相談センター」（378 ページ）にご連絡ください。なお、用紙トレイ 1 は使用できます。
007-271	【原因】	用紙トレイ 2 が故障しました。
	【処置】	プリンタの電源を切り、入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、ご購入元、または「ハードウェア修理相談センター」（378 ページ）にご連絡ください。なお、用紙トレイ 2 以外の用紙トレイは使用できます。

エラーコード	原因 / 処置	
007-272	【原因】	用紙トレイ 3 が故障しました。
	【処置】	プリンタの電源を切り、入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、ご購入元、または「ハードウェア修理相談センター」（378 ページ）にご連絡ください。なお、用紙トレイ 3 以外の用紙トレイは使用できます。
007-273	【原因】	用紙トレイ 4 が故障しました。
	【処置】	プリンタの電源を切り、入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、ご購入元、または「ハードウェア修理相談センター」（378 ページ）にご連絡ください。なお、用紙トレイ 4 以外の用紙トレイは使用できます。
009-414 ～ 421、438 ～ 441、914 ～ 917、919	【原因】	部品の交換時期になりました。
	【処置】	「***-***」の表示内容を、ご購入元、または「ハードウェア修理相談センター」（378 ページ）にご連絡ください。
010-420、422、906	【原因】	部品の交換時期になりました。
	【処置】	「***-***」の表示内容を、ご購入元、または「ハードウェア修理相談センター」（378 ページ）にご連絡ください。
016-500	【原因】	SMTP サーバの名前が正しく設定されていません。
	【処置】	Internet Services で、SMTP サーバの設定が正しいかを確認してください。また、DNS サーバの設定も確認してください。 参照 「第 11 章 インターネットサービスの設定（Internet Services）」（225 ページ）参照
016-501	【原因】	POP3 サーバの名前が正しく設定されていません。
	【処置】	Internet Services で、POP3 サーバの設定が正しいかを確認してください。また、DNS サーバの設定も確認してください。 参照 「第 11 章 インターネットサービスの設定（Internet Services）」（225 ページ）参照
016-502	【原因】	POP3 サーバへのログインに失敗しました。
	【処置】	Internet Services で、POP3 で使用するユーザ名とパスワードが正しいかを確認してください。 参照 「第 11 章 インターネットサービスの設定（Internet Services）」（225 ページ）参照

エラーコード	原因 / 処置
016-503	【原因】 SMTP サーバの名前が正しく設定されていません。 【処置】 Internet Services で、SMTP サーバの設定が正しいかを確認してください。また、DNS サーバの設定も確認してください。 参照 「第 11 章 インターネットサービスの設定（Internet Services）」（225 ページ）参照
016-504	【原因】 メール送信時に行う［POP before SMTP］で、POP3 サーバの名前が正しく設定されていません。 【処置】 Internet Services で、POP3 サーバの設定が正しいかを確認してください。また、DNS サーバの設定も確認してください。 参照 「第 11 章 インターネットサービスの設定（Internet Services）」（225 ページ）参照
016-505	【原因】 メール送信時に行う［POP before SMTP］で、POP3 サーバへのログインに失敗しました。 【処置】 Internet Services で、POP3 で使用するユーザ名とパスワードが正しいかを確認してください。 参照 「第 11 章 インターネットサービスの設定（Internet Services）」（225 ページ）参照
016-701	【原因】 メモリが不足したため、ART EX の印刷データを処理できませんでした。 【処置】 ［印刷モード］が［高精細］の場合は［高画質］にして、もう一度印刷を指示し、それでも状態が改善されないときは、［標準］にして印刷を指示してください。または、オプションのプリンタ RAM モジュールを取り付け、メモリを増設してください。 参照 プリンタドライバのオンラインヘルプ参照

エラーコード	原因 / 処置	
016-702	【原因】	プリントページバッファが不足したため、印刷データを処理できませんでした。
	【処置】	次のどれかの方法で処置してください。 ・［印刷モード］が［高精細］の場合は［高画質］にする それでも状態が改善されないときは、［標準］にする ・ページ印刷モードを利用する ・プリントページバッファを増やす ・メモリを増設する ガイド ［印刷モード］についてはプリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。
016-721	【原因】	印刷処理中エラーが発生しました。次の原因が考えられます。 メニューの［プリント設定］の［用紙の優先順位］がすべての用紙で【セッテイシナイ」に設定されているときに、自動トレイ選択で印刷を指示している。
	【処置】	自動トレイ選択で印刷をする場合は、［用紙の優先順位］で、用紙のどれかを「セッテイシナイ」以外に設定してください。また、ユーザー定義用紙を選択すると、自動的に［用紙の優先順位］が「セッテイシナイ」に設定されてしまうので、注意してください。 参照 「用紙の優先順位」（197 ページ）参照
016-726	【原因】	プリントモード指定が「ジドウ」の場合に、プリント言語を自動的に選択できませんでした。
	【処置】	XL-C7400用プリンタドライバで印刷してください。
016-730	【原因】	サポートされていないコマンドを検知しました。
	【処置】	印刷データを確認し、エラーを引き起こすコマンドを削除して、もう一度印刷を指示してください。
016-749	【原因】	PJL コマンドの構文エラーが発生しました。
	【処置】	印刷設定を確認するか、PJL コマンドを訂正してください。

エラーコード	原因 / 処置
016-761	【原因】　イメージ処理中にエラーが発生しました。 【処置】　［印刷モード］が［高精細］の場合は［高画質］にして、もう一度印刷を指示してください。それでも印刷できない場合は、［ページ印刷モード］を［する］に設定して印刷してください。 参照　［印刷モード］、［ページ印刷モード］についてはプリンタドライバのオンラインヘルプを参照
016-762	【原因】　実装されていないプリント言語が指定されました。 【処置】　印刷設定を確認してください。
016-764	【原因】　SMTP サーバに接続できませんでした。 【処置】　SMTP サーバの管理者にご相談ください。
016-765	【原因】　SMTP サーバのハードディスクの容量がいっぱいのため、メール送信できませんでした。 【処置】　SMTP サーバの管理者にご相談ください。
016-766	【原因】　SMTP サーバでエラーが発生しました。 【処置】　SMTP サーバの管理者にご相談ください。
016-767	【原因】　宛て先のメールアドレスを間違って指定したため、メール送信ができませんでした。 【処置】　宛て先のメールアドレスを確認し、もう一度送信してください。 参照　「第 11 章 インターネットサービスの設定 (Internet Services)」(225 ページ) 参照
016-768	【原因】　プリンタのメールアドレスが正しくないため、SMTP サーバに接続できませんでした。 【処置】　プリンタのメールアドレスを確認してください。 参照　「第 11 章 インターネットサービスの設定 (Internet Services)」(225 ページ) 参照
016-781	【原因】　ネットワーク設定が正しくないため、SMTP サーバに接続しました。 【処置】　プリンタのネットワーク設定（サブネットマスク、ゲートウェイアドレス）を確認してください。

エラーコード	原因／処置	
016-796	【原因】	メール受信時に添付文書だけを印刷するように設定している場合に、文書が添付されていないメールを受信したので、そのメールが破棄されました。
	【処置】	メール本文やメールヘッダー情報なども印刷したい場合は、Internet Services のプロパティ画面で、設定を変更してください。 参照　「第 11 章 インターネットサービスの設定（Internet Services）」（225 ページ）参照
109-906	【原因】	部品の交換時期になりました。
	【処置】	「109-906」を、ご購入元、または「ハードウェア修理相談センター」（378 ページ）にご連絡ください。

ソフトウェアに関するトラブルシューティング

本体の注意と制限

ここでは、プリンタを使用するうえでの注意、および制限について説明します。

印刷結果が設定と異なるとき

プリントページバッファの容量不足が原因で、次のように、設定と異なる結果になることがあります。この場合、メモリの増設をお勧めします。

・両面印刷の指定が片面印刷で印刷される
・ジョブが中止される（プリントページバッファに展開できない場合、そのページを含むジョブが中止されます）

オプションについて

・プリンタで、長尺サイズ（長さ：431.9 ～ 1200mm）の用紙に印刷する場合は、オプションのプリンタ RAM モジュール（256MB のメモリ）が必要です。

両面印刷でのメーターのカウントについて

両面印刷で出力する場合、使用しているアプリケーションによっては、部数を指定するときの条件などにより、自動的にページ調整の白紙を挿入することがあります。この場合、アプリケーションが挿入する白紙出力は 1 ページとして数えられます。

両面印刷に使用できる用紙について

両面印刷に使用する用紙は、「給紙方法と用紙のサイズ」（280 ページ）を参照して、適切な用紙を指定してください。

TCP/IP（lpd）

TCP/IP（lpd）での注意 / 制限事項は、次のとおりです。

プリンタ側の設定について

- IP アドレスの設定には十分注意してください。IP アドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- ネットワーク環境によっては、サブネットマスクやゲートウェイアドレスの設定が必要になります。ネットワーク管理者に相談のうえ、必要な項目の設定をしてください。
- ポート状態を「起動」に設定したときメモリが不足すると、ポート状態が自動的に「停止」に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートを「停止」にするか、メモリ割り当て容量を変更するか、メモリを増設してください。

パソコン側の設定について

IP アドレスの設定には十分注意してください。IP アドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。

電源を切るとき

印刷中のデータを含め、プリンタの受信バッファにスプールされた印刷データはすべて削除されます。再び電源を入れたときは、印刷データは存在しません。
ただし、印刷指示の直後に電源を切った場合、印刷データがパソコン上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたときは、新しく印刷指示が行われた場合でも、保存されている印刷データから順に印刷されます。

印刷するとき

あるパソコンから印刷要求を受け付けていた場合、別のパソコンからの印刷要求を受け付けることができません。

セットアップ時のトラブルシューティング

TCP/IP環境使用時のトラブル

ここでは、TCP/IP の環境で使用している場合のトラブルについて、原因や確認方法、処置方法を記載しています。そのほかの環境でのトラブルについては、本マニュアルやオンラインヘルプを参照してください。

●印刷されないとき（Windows 98/Windows Me の場合）

お使いのパソコンの［スタート］メニューの［設定］から、［プリンタ］をクリックし、表示されたウィンドウで、プリンタの状態が「印刷不可状態（NetworkError)」と表示された場合の対処方法について説明します。

原因	確認方法	処置
プリンタが、パソコンと異なるネットワークに接続されている。	ネットワークのシステム管理者に、パソコンが接続されているネットワークと、プリンタが接続されているネットワークの間に、ルーターやゲートウェイが介在しているか確認する。	プリンタを、パソコンが接続されているネットワークに直接接続する。
パソコンからプリンタまでのネットワーク上に障害が発生して、コネクションが確立できない。	「印刷不可状態（NetworkError)」と表示される。	ネットワークのシステム管理者に、ネットワーク障害について調べてもらう。
プリンタの IP アドレスを誤って入力している。	「印刷不可状態（NetworkError)」と表示される。プリンタイコンの［ファイル］メニューの［プロパティ］を選択し、［詳細］タブの［ポートの設定］を選択する。表示された［FUJITSU TCP/IP Direct Print Utility ポートの設定］ダイアログボックスのＩＰ アドレスと、機能設定リストの IP アドレスを比較する（機能設定リストのプリント方法は、「レポート / リストを印刷する」(247 ページ）を参照してください)。	［FUJITSU TCP/IP Direct Print Utility ポートの設定］ダイアログボックスのIPアドレスに、プリンタに設定されているIPアドレスを正しく入力する。
パソコンから印刷指示をしたあと、プリンタの電源が切れたり、電源が入っていないプリンタへパソコンから印刷を指示した。	「印刷不可状態（NetworkError)」と表示される。プリンタの電源が入っているか調べる。	プリンタの電源を入れる。
プリンタに対して、多数のパソコンから同時に印刷を指示している。	「印刷不可状態（NetworkError)」と表示される。	なし（自動的に印刷が再開されます)。
パソコンのディスク容量が不足しているので、印刷するファイルをスプールできない。	「印刷不可状態（SpoolError）」と表示される。［マイコンピュータ］を開き、Windows 98、Windows Me がインストールされているディスク（例 :C ドライブ）を右クリックする。表示されたメニューから［プロパティ］を選択し、空き領域を確認する。	不要なファイルを削除して、ディスクの空き領域を確保したあと、［プリンタ］ウィンドウの［ドキュメント］メニューの［一時停止］を選択し、停止状態を解除する（印刷が再開されます)。

●印刷されないとき（Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003 の場合）

原　因	確認方法	処　置
正しいIPアドレスが設定されていない。	ネットワーク管理者に、プリンタの IP アドレスが正しいかどうか調べてもらう。	プリンタに、正しい IP アドレスを設定する。
印刷処理中に対処不可能な障害が発生した。	オペレータパネルの液晶ディスプレイでエラーが表示されていないか確認する。	電源スイッチを入れ直す。
パソコンと一致するトランスポートプロトコルを選択していない。	選択されているトランスポートプロトコルを確認する。	パソコンと一致するトランスポートプロトコルを選択する。

Internet Services 使用時のトラブル

項目名	内　容
Internet Services に接続できない。	プリンタは正常に作動していますか。 プリンタの電源が入っているか確認してください。
	インターネットサービスは起動していますか。 機能設定リストを印刷して確認してください。
	インターネットアドレスは正しく入力されていますか。 インターネットアドレスをもう一度確認してください。接続できない場合は、IP アドレスを入力して接続してください。
	プロキシサーバを使用していますか。 プロキシサーバによっては、接続できない場合があります。プロキシサーバを使わずに、Web ブラウザの設定を「プロキシサーバを使用しない」にするか、接続したいアドレスを「プロキシサーバを使用しない」に設定してください。
	お使いの Web ブラウザの Java が無効になっていませんか。 その場合は、有効に設定してください。
Web ブラウザで「しばらくお待ちください」等のメッセージが表示されたままになる。	そのまましばらくお待ちください。 状態が変わらない場合は、Web ブラウザの表示を更新してみてください。状態が変わらない場合は、プリンタが正常に作動しているかを確認してください。
［更新］が機能しない。	指定されている OS や Web ブラウザを使用していますか。 「Internet Services の概要」（226 ページ）を参照して、使用している OS や Web ブラウザが Internet Services に対応しているかどうか確認してください。
左側エリアのメニューを選択しても、右側エリアが更新できない。	
画面の表示が崩れる。	Web ブラウザのウィンドウサイズを変更してください。
最新の情報が表示されない。	［更新］をクリックしてください。
日本語が正しく設定できない。	シフト JIS コードを使用してください。また、半角カナ文字は使用できない場合があります。
［新しい設定を適用する］をクリックしても反映されない。	入力した値は正しいですか。 入力できる値以外を入力した場合は、自動的に制限値内に変更されます。
［新しい設定を適用する］をクリックすると、Web ブラウザに「無効なまたは認識されない応答をサーバが返しました」や「データがありません」などのメッセージが表示される。	ユーザ名とパスワードは正しいですか。 正しいユーザ名とパスワードを入力してください。
	プリンタを再起動してください。

付　録

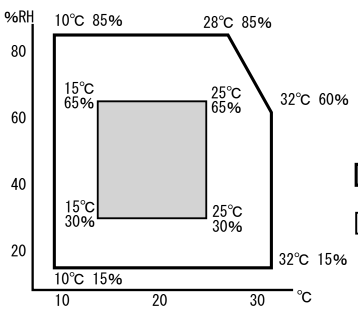
ここでは、プリンタを使用する際に補助的に必要となることがらについて説明します。

プリンタの基本仕様

基本仕様

以下に、プリンタの仕様を示します。

> **ガイド**
> 耐用期間は、プリンタの設置環境・使用頻度により大幅に変動します。

形 式	デスクトップタイプ
印刷方式	乾式レーザーゼログラフィー
ウオームアップ時間	30 秒以内
印刷速度 *1*2 （コピー動作による連続印刷時）	用紙トレイ 1 ～ 4 から給紙 普通紙：片面：24 ページ / 分（A4（LEF））、18 ページ / 分（A4（SEF））、15 ページ / 分（B4）、13 ページ / 分（A3） 両面：20 ページ / 分（A4（LEF））、9.5 ページ / 分（A4（SEF））、8.5 ページ / 分（B4）、7.8 ページ / 分（A3） 厚紙 1 / 厚紙 2： 片面：12ページ / 分（A4（LEF））、6.5ページ / 分（A3）
	用紙トレイ 5（手差し）から給紙 OHP フィルム：片面：6 枚 / 分（A4（LEF）） はがき（LEF）：12 枚 / 分 封筒（LEF）：12 枚 / 分
解像度	出力解像度：1200dpi（47.2 ドット /mm）、600dpi 多値（23.6 ドット /mm）
使用環境条件 *3	・温湿度条件 温度：10 ～ 32 ℃ 湿度：15 ～ 85%RH（ただし結露がないこと）  ・運用条件（印刷枚数）*4 連続印刷時：3,000 枚 / 日 1 枚間欠印刷時：1,000 枚 / 日

使用範囲で急激な温度変化があった場合、印字品質が低下する場合があります。プリンタを周囲の温度や湿度に慣らすために、1時間以上放置してからご使用ください。

：使用環境　本プリンタでの使用温湿度範囲を示します。

：推奨環境　本プリンタの性能が十分に発揮される使用温湿度範囲を示します。

用紙サイズ	用紙トレイ 1： ・定形サイズ（用紙サイズを自動検知できるサイズ） A3、B4、A4、A4(LEF)、B5、B5(LEF)、A5(LEF)、8.5 × 11˝（レター）、8.5 × 11˝（レター(LEF))、8.5 × 14˝（リーガル）、 ・不定形サイズ 最小サイズ：幅 182mm ×長さ 98.4mm 最大サイズ：幅 297mm ×長さ 420mm（A3） 長さが 420mm を超える場合は、幅 279.4mm ×長さ 431.8mm（リーガル）
	用紙トレイ 2 〜 4： 定形サイズ（用紙サイズを自動検知できるサイズ） A3、B4、A4、A4(LEF)、B5、B5(LEF)、8.5 × 11˝（レター）、8.5 × 11˝（レター(LEF))、8.5 × 14˝（リーガル） ＊：不定形サイズは未サポートです。
	用紙トレイ 5（手差し）： 最小サイズ：幅 90mm ×長さ 98mm 最大サイズ：幅 304.8mm ×長さ 457.2mm 注）457.2mm を超える用紙（長尺紙）は 1 枚ずつ手差しで給紙するか、オプションの長尺ガイドを使用してください。なお、この場合、幅 210mm 以上の用紙を使用してください。
給紙容量 *5	標準： 用紙トレイ 1（560 枚）、用紙トレイ 5（手差し）（180 枚）
	標準＋拡張給紙ユニット -A（1 トレイ）： 用紙トレイ 1、2（各 560 枚）、用紙トレイ 5（手差し）（180 枚）
	標準＋拡張給紙ユニット -B（3 トレイ）： 用紙トレイ 1 〜 4（各 560 枚）、用紙トレイ 5（手差し）（180 枚） ※ 2,420 枚（最大）
排出トレイ容量とサイズ *5	標準排出トレイ： 容量 約 500 枚（再生紙片面印刷時は約 400 枚） サイズ 本製品で扱えるすべてのサイズ
両面印刷	オプション
CPU	PPC 603e-250MHz
メモリ	標準 64MB、最大 320MB
	オプション：プリンタ RAM モジュール（256MB）
文字・書体	標準：アウトラインフォント（平成明朝体 W3、平成角ゴシック体 W5、欧文 15 書体） 文字コード JIS X0208-1990 準拠
PDL	Windows 専用
インタフェース	標準： 100Base-TX/10Base-T LAN ポート 双方向パラレル（IEEE1284-B） USB1.1
	オプション：USB2.0
対応プロトコル	パラレル：Compatible、Nibble
	Ethernet： ネットワークプロトコル TCP/IP、NetBEUI、UDP/IP ネットワークサービス LPD、SNMP、HTML/HTTP、DHCP、WinsClient、DNS、IPP、Raw(Port9100)

騒 音 *6	稼動時：6.3B（A）、51dB（A） 待機時：4B（A）、25dB（A）
OS	Windows 98/Windows Me/Windows NT 4.0/ Windows 2000/Windows XP/Windows ServerTM 2003
電 源	100V・12A、50/60Hz 共用
消費電力	動作時 999W 以下、平均消費電力 400W 以下 節電時 *7 4.0W 以下
外形寸法	標準： 幅 678 ×奥行 631 ×高さ 473mm
	標準＋拡張給紙ユニット -A（1 トレイ）： 幅 678 ×奥行 631 ×高さ 588mm
	標準＋拡張給紙ユニット -B（3 トレイ）： 幅 678 ×奥行 631 ×高さ 830mm
質 量 （消耗品を含む）	標準：60kg 以下 標準＋拡張給紙ユニット -A（1 トレイ）：74kg 標準＋拡張給紙ユニット -B（3 トレイ）：92kg
耐用期間	5 年 (一般的な運用環境）または 60 万ページ（A4 (LEF)）のいずれか早い方 参照「寿命（耐用期間）について」（357 ページ）参照

*1：OHP フィルム以外の用紙は、白黒、カラー共にプリント速度は同じです。
*2：幅の狭い用紙（幅 148mm 以下）に印刷する場合、フューザ部過熱防止のため印刷速度を落として動作することがあります。
*3: 使用環境が高温多湿で推奨環境から外れて使用する場合には、印字がかすれることがあります。その場合は、推奨環境内に 1 時間ほどなじませてからご使用ください。やむを得ず推奨環境外でご使用になる場合には、除湿効果のあるディレッションヒータを用意しています。詳しくは、ご購入元またはサービスマンにお問い合わせください。
*4：本条件を超えて使用した場合には、印字品質が低下（印刷面汚れ）することがありますので、運用条件内での使用をお勧めします。

参照「きれいに印刷されない」の「推奨環境下で等間隔の汚れが発生する」（329 ページ）参照

*5：用紙はすべて A4 サイズ、オフィス用紙 W の場合
*6：ISO7779 に基づく
単位 B(A)：音響パワーレベル
単位 dB(A)：放射音圧レベル（バイスタンダ位置）
*7：本製品は、電源プラグがコンセントに差し込まれていても、電源スイッチが切れた状態では電力の消費はありません。

寿命（耐用期間）について

装置寿命について

本製品の装置寿命枚数は 60 万ページです。60 万ページを印刷するまで安定してご使用いただくためには、以下の定期交換部品（フューザユニット等）の交換が必要になります。交換時期の目安は、下表を参照してください。

定期交換部品

部品名	交換目安 *1					
	片面			両面		
	1 ページ間欠	3 ページ間欠	連続	2 ページ間欠	4 ページ間欠	連続
フューザユニット	10 万ページ	10 万ページ	10 万ページ	10 万ページ	10 万ページ	10 万ページ
転写ユニット	6 万ページ	10 万ページ	10 万ページ	8.7 万ページ	10 万ページ	10 万ページ
中間転写ユニット	6 万ページ	10 万ページ	10 万ページ	8.7 万ページ	10 万ページ	10 万ページ
現像器（Y、M、C、K）	19.3 万ページ	30 万ページ	30 万ページ	20 万ページ	30 万ページ	30 万ページ
30 万定期交換キット	30 万ページ *2					

*1： ページのカウントは、必ずしも印刷された枚数とは一致しません。以下の場合は、印刷枚数が 1 枚であっても複数ページとしてカウントされます。
- A4 縦置き（LEF）より長い用紙は、そのサイズによって 1 枚印刷あたり 2 ページ以上としてカウントされます。
- 両面印刷時は、1 枚印刷あたり 2 ページとしてカウントされます。

*2： 定期交換部品の交換メッセージが表示されたときに、総ページ数が 30 万ページ前後のときは、部品交換作業が必要となります。その場合は、ご購入元または「ハードウェア修理相談センター」（378 ページ）へご連絡ください。

また、本製品には上記定期交換部品の他にも有寿命部品が含まれています。それらの寿命の目安は、使用頻度や条件によって異なりますが、下記の通り一般的な運用環境では 5 年です。

一般的な運用環境

項目	運用環境
使用時間	8 時間以内 / 日、200 時間以内 / 月
印刷枚数	連続印刷時：3,000 ページ / 日 1 ページ間欠印刷時：1,000 ページ / 日
温湿度環境	20 ℃± 5 ℃、30 ～ 65%RH

ただし、個々の製品には個体差があるため、必ずしも 5 年間の動作を保証するものではありません。また、動作保証環境内の運用であっても上記の寿命を保証するものではなく、特に動作保証環境の上限 / 下限での連続使用による故障は、無償修理期間内であっても有償となる場合があります。一般的な運用環境を超えて使用した場合は、早期の部品交換が必要となります。
部品の交換は、「ハードウェア修理相談センター」（378 ページ）にご連絡ください。

ガイド

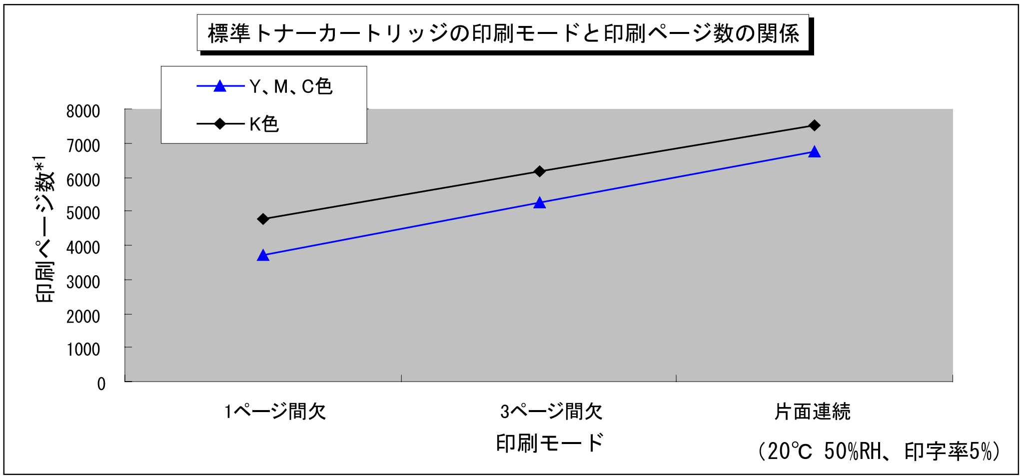
A4 より大きく長い用紙を使用する場合は、定期交換部品、および装置の寿命が 60 万ページより短くなります。また、用紙サイズが A4 サイズであっても、横置き（SEF）で使用した場合は、同様に寿命が 60 万ページより短くなります。

付

消耗品寿命について

本製品の消耗品には以下のものがあります。
- トナーカートリッジ
- ドラムカートリッジ
- 廃トナーボックス

それぞれの消耗品は、使用頻度、運用環境により寿命が変化します。
以下にトナーカートリッジ、ドラムカートリッジの寿命の目安を示します。



ドラムカートリッジ

部品名	交換目安 *1、2					
	片面			両面		
	1 ページ間欠	3 ページ間欠	連続	2 ページ間欠	4 ページ間欠	連続
ドラムカートリッジ	2.1 万ページ	3 万ページ	3 万ページ	3 万ページ	3 万ページ	3 万ページ

*1： ページのカウントは、必ずしも印刷された枚数とは一致しません。以下の場合は、印刷枚数が 1 枚であっても複数ページとしてカウントされます。
- A4 縦置き（LEF）より長い用紙は、そのサイズによって 1 枚印刷あたり 2 ～ 6 ページ（6 ページ：長さ 1,200mm の場合）としてカウントされます。
- 両面印刷時は、1 枚印刷あたり 2 ページとしてカウントされます。

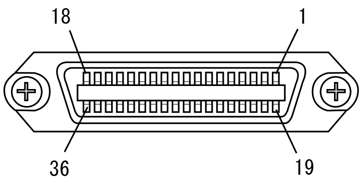
*2： 印字率は各色 5%です。

インタフェース仕様

パソコンとのインタフェースは、パラレルインタフェースおよび USB インタフェースを採用しています。

●パラレルインタフェース仕様とコネクタピン配列

・基本仕様
IEEE 1284 に準拠した双方向パラレルインタフェース
・インタフェースコネクタ
IEEE 1284- タイプ B
・コネクタピン配列



インタフェースコネクタ（36ピン）

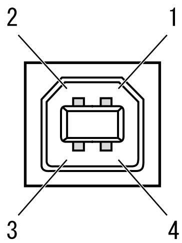
ピン番号	信号名称	I/O	ピン番号	信号名称	I/O
1	＊Strobe	I	19	-RET	－
2	Data 1	I	20	-RET	－
3	Data 2	I	21	-RET	－
4	Data 3	I	22	-RET	－
5	Data 4	I	23	-RET	－
6	Data 5	I	24	-RET	－
7	Data 6	I	25	-RET	－
8	Data 7	I	26	-RET	－
9	Data 8	I	27	-RET	－
10	＊Ack	O	28	-RET	－
11	Busy	O	29	-RET	－
12	Perror	O	30	-RET	－
13	Select	O	31	＊Init	I
14	＊AutoFd	I	32	＊Fault	O
15	—	－	33	-RET	－
16	SG	－	34	—	－
17	FG	－	35	—	－
18	+5Vsignal	O	36	＊SelectIn	I

注)・“＊”は、負論理信号であることを示します。
・-RET 信号は、すべて SG に接続されています。

付

● USB インタフェース仕様とコネクタピン配列

・基本仕様
USB Revision1.1 準拠
・インタフェースコネクタ
B レセプタクル（メス）
・ケーブル
XL-CBLU2 または、5m 以下の USB 仕様 Revision1.1 以上に適合したケーブル（雑音対策にはツイストペア線を使用し、シールドされていること。）
（オプションの USB2.0 拡張キットを使用する場合は、Revision2.0 に適合したケーブルを使用してください。なお XL-CBLCU2 は Revision1.1、2.0 の両方に適合しています。）
・伝送モード
フルスピード（最大 12Mbps）
・電力制御
セルフパワーデバイス
・USB ピン配列



ピン番号	信号名称	機能
1	vbus	電源（+5v）
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド

オプション品一覧

本プリンタは、次のオプションを用意しています。必要に応じてお買い求めください。

●拡張給紙ユニット*

品名	型名	内容
拡張給紙ユニット -A（1 トレイ）	XL-EF56CA	2 段目の給紙ユニットとして使用できます。
拡張給紙ユニット -B（3 トレイ）	XL-EF168CA	2 段目、3 段目、4 段目の給紙ユニットとして使用できます。

*：拡張給紙ユニット -A と拡張給紙ユニット -B は、プリンタに同時に取り付けることはできません。

●両面ユニット

品名	型名	内容
両面ユニット	XL-DUPCA	両面印刷用のユニットです。両面ユニットを装着する場合は、メモリを増設してください。

●プリンタ RAM モジュール

品名	型名	内容
プリンタRAMモジュール-256MB	XL-EM256M7	RAM を 256MB 搭載したメモリモジュールです。

●プリンタケーブル

・パラレルインタフェースケーブル

品名	型名	内容
プリンタケーブル	FMV-CBL712	FMV シリーズ、各社 AT 互換機に接続できます。
プリンタケーブル	FMS-CBL711	PRIMERGY GRANPOWER 5000 シリーズに接続できます。

・USB ケーブル

品名	型名	内容
プリンタ USB ケーブル	XL-CBLU2	Windows 98/Me/2000/XP/Windows Server 2003 が動作するパソコンに接続できます。

● USB2.0 拡張キット

品名	型名	内容
USB2.0 拡張キット	XL-USB2CA	USB2.0 を使用できるようになります。

●長尺ガイド

品名	型名	内容
長尺ガイド	XL-PG10CA	長さ 1200mm までの長尺紙を、10 枚までセットできます。長尺サイズの用紙に印刷するには、256MB のメモリが必要です。

サプライ品一覧

サプライ用品の商品番号を次の表に示します。
これらの品物については、本製品をお買い求めの販売店へご相談ください。

品名	商品番号	仕様番号	JAN コード	備考
トナーカートリッジ CL111A（ブラック）	0807110	CP199692-xx	T4988618915489	標準
トナーカートリッジ CL111A（イエロー）	0807120	CP199693-xx	T4988618915496	標準
トナーカートリッジ CL111A（マゼンタ）	0807130	CP199694-xx	T4988618915502	標準
トナーカートリッジ CL111A（シアン）	0807140	CP199695-xx	T4988618915519	標準
トナーカートリッジ CL111B（ブラック）	0807150	CP199696-xx	T4988618915526	大容量
トナーカートリッジ CL111B（イエロー）	0807160	CP199697-xx	T4988618915533	大容量
トナーカートリッジ CL111B（マゼンタ）	0807170	CP199698-xx	T4988618915540	大容量
トナーカートリッジ CL111B（シアン）	0807180	CP199699-xx	T4988618915557	大容量
ドラムカートリッジ CL111	0807410	CP199700-xx	T4988618915564	廃トナーボックスが同梱されています。
廃トナーボックス CL111	0807710	CP199701-xx	T4988618915571	

●推奨紙

用紙名		商品番号	備考
オフィス用紙 W	A3	0411650	500 × 3 冊 普通紙（富士通コワーコ（株）提供）
	B4	0411620	500 × 5 冊 普通紙（富士通コワーコ（株）提供）
	A4(Y)	0411612	
	B5(Y)	0411645	
	A5(Y)	0411635	
	レター	0411660	
	リーガル	0411670	

●一般推奨紙

用紙名		商品番号	備考
再生オフィス用紙 EC100（*）（100%再生紙）	A3	0414315	500 × 3 冊 普通紙（富士通コワーコ（株）提供）
	B4	0414325	500 × 5 冊 普通紙（富士通コワーコ（株）提供）
	A4	0414335	
	B5	0414345	
オフィス用紙 MP	A3	0416140	500 × 3 冊 普通紙（富士通コワーコ（株）提供）
	B4	0416120	500 × 5 冊 普通紙（富士通コワーコ（株）提供）
	A4	0416110	
	B5	0416130	

＊：片面印刷時の排出容量は約 400 枚となります。

推奨紙以外の使用確認用紙

弊社が走行性を確認している用紙は、次のとおりです。各用紙の特長と使用上の注意、またオペレータパネルの用紙種類の設定時の参考資料としてご使用ください。

用紙名	メートル坪量（単位：g/m^2）	用紙種類設定		用紙の特長と使用上の注意
		プリンタドライバ*	オペレータパネル	
マルチエース	64	普通紙	フツウシ	インクジェットプリンタや熱転写式のプリンタでも使用できる用紙
E Color	81	再生紙	サイセイシ	新聞古紙を主原料にした、再生パルプを100% 使用した用紙。グリーン購入法にも適合した環境配慮型の用紙（エコマーク対応用紙）
N Color	81	普通紙	フツウシ	高白色のカラー用紙 植林木 100% で環境に配慮した用紙
	104	普通紙	フツウシ	
WR100	67	再生紙	サイセイシ	古紙パルプ 100%で、上質紙と同等の白色度の高い再生紙
N Color	157	厚紙 1	アツガミ 1	高白色のカラー用紙 植林木 100% で環境に配慮した用紙 A3 サイズの横目用紙を（SEF）の向きにセットした場合、高温多湿（温度 25 ℃、湿度 70% 以上）で使用できません。
	209	厚紙 2	アツガミ 2	高白色のカラー用紙 植林木 100% で環境に配慮した用紙
OK プリンス 297×1200	127	厚紙 1	アツガミ 1	長尺サイズの用紙 用紙は、用紙トレイ 5（手差し）にセットしてください。 常温低湿で転写不良の可能性があります。
OK プリンス 297 × 900	157	厚紙 1	アツガミ 1	
V524	-	OHP フィルム	OHP フィルム	-
アスクル スーパーエコノミー	-	普通紙	フツウシ	-
アスクル スーパーマルチペーパー	-	普通紙	フツウシ	-
アスクル コピーペーパー再生紙 100	-	再生紙	サイセイシ	-
三菱 PPC	-	普通紙	フツウシ	-
三菱 PPC RE	-	再生紙	サイセイシ	-
コクヨ KB 用紙	64	普通紙	フツウシ	-

用紙名	メートル坪量（単位：g/m^2）	用紙種類設定		用紙の特長と使用上の注意
		プリンタドライバ*	オペレータパネル	
コクヨ KB 用紙 - 共用ホワイト再生紙	64	再生紙	サイセイシ	-
レーザー対応名刺・カードスッキリ	-	厚紙 1	アツガミ1	うら面にシールがある名刺用紙 用紙は、(SEF) の向きにセットしてください。 用紙の段差がある部分で印刷濃度に差が出る場合があります。
レーザーロイヤル No9	-	厚紙 1	アツガミ1	用紙は、(SEF) の向きにセットしてください。
再生紙 名刺カード８面	-	厚紙 1	アツガミ1	-
エーワンマルチカード兼用紙	-	厚紙 2	アツガミ2	-
専用オープンはがき（高画質専用）	-	はがき	ハガキ	-
専用オープンはがき（再生紙）	-	はがき	ハガキ	-
専用オープンはがき（上質 90K）	-	はがき	ハガキ	-
往復官製はがき	-	はがき	ハガキ	-
4 連官製はがき	-	はがき	ハガキ	-
ミラーコートプラチナ	-	コート紙 1、2	コートシ 1、2	高温多湿で使用する場合は、用紙トレイ 5（手差し）に 1 枚ずつセットしてください。
J コート	95	上質紙	ジョウシツシ	白色度が高く発色性に優れ、カラー印刷に幅広く活用できるコート紙 高温多湿の場合、用紙トレイ 5（手差し）に 1 枚ずつセットしてください。
JD コート	105	上質紙	ジョウシツシ	両面印刷が可能な光沢紙 リーフレット、カタログ、パンフレットなどの印刷に適した用紙 高温多湿の場合、用紙トレイ 5（手差し）に 1 枚ずつセットすることを推奨します。
デジタルコートつや消し	150	コート紙 1	コートシ1	高温多湿で使用する場合は、用紙トレイ 5（手差し）に 1 枚ずつセットしてください。
OK トップコート	157	コート紙 1	コートシ1	高温多湿で使用する場合は、用紙トレイ 5（手差し）に 1 枚ずつセットしてください。
リサイクルコート	105	上質紙	コートシ1	高温多湿で使用する場合は、用紙トレイ 5（手差し）に 1 枚ずつセットしてください。

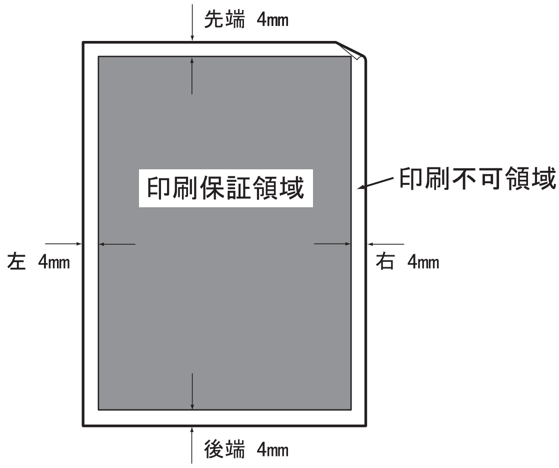
用紙名	メートル坪量（単位：g/m²）	用紙種類設定		用紙の特長と使用上の注意
		プリンタドライバ*	オペレータパネル	
リサイクルコート	127	コート紙１	コートシ１	高温多湿で使用する場合は、用紙トレイ５（手差し）に１枚ずつセットしてください。
ロストンカラーホワイト	-	上質紙 厚紙１ 厚紙２	ジョウシツシ アツガミ１ アツガミ２	高温多湿で使用する場合は、用紙トレイ５（手差し）に１枚ずつセットしてください。 低温低湿の場合、印刷結果に白点抜けが発生することがあります。
OKホワイトL	-	上質紙 厚紙１ 厚紙２	ジョウシツシ アツガミ１ アツガミ２	高温多湿で使用する場合は、用紙トレイ５（手差し）に１枚ずつセットしてください。 低温低湿の場合、塗りつぶされた部分に白点抜けが発生することがあります。
OKプリンス上質	-	上質紙 厚紙１ 厚紙２	ジョウシツシ アツガミ１ アツガミ２	低温の場合、定着不良が発生することがあります。 高温多湿の場合、画質不良が発生することがあります。
Color Copy	-	上質紙 厚紙１ 厚紙２	ジョウシツシ アツガミ１ アツガミ２	低温の場合、定着不良が発生することがあります。 高温多湿の場合、シアン、マゼンタ、イエローによって作り出される黒色が、青みがかって印刷されることがあります。
フルカラー複写機用紙	-	上質紙	ジョウシツシ	用紙は、用紙トレイ５（手差し）にセットしてください。
L紙穴あき用紙	-	普通紙	フツウシ	用紙は（SEF）の向きにセットしてください。 用紙のうら面汚れを防ぐために、用紙の穴の部分に印字されないように原稿を作成してください。
カラー穴あき用紙	64	普通紙	フツウシ	
JE401	-	OHPフィルム	OHPフィルム	用紙は、用紙トレイ５（手差し）に１枚ずつセットしてください。
ホワイトフィルム	-	厚紙１	アツガミ１	高温多湿の場合、シアン、マゼンタ、イエローによって作り出される黒色が、青みがかって印刷されることがあります。

＊：プリンタドライバからの用紙種類の設定は、トレイ５（手差し）に対してのみ行えます。

用紙関係

印刷可能領域

本プリンタで印刷できる領域は以下のとおりです。



長尺紙（長さ 457.3mm 以上）使用時は、上記の印刷範囲は保証されません。

内蔵フォント

標準で以下のアウトラインフォントを使用できます。

	名称
和文	平成明朝体 TMW3
	平成角ゴシック体 TMW5
欧文	Arial
	Arial Bold
	Arial Italic
	Arial Bold Italic
	Courier
	Courier Bold
	Courier Italic
	Courier Bold Italic
	Times New Roman
	Times New Roman Bold
	Times New Roman Italic
	Times New Roman Bold Italic
	Century
	Symbol
	Wingdings

用語の解説

● 10BASE-T

ツイストペアケーブルを使った Ethernet の接続方法のことです。伝送速度は 10bps です。

● 100BASE-TX

10BASE-T の拡張版で、FastEthernet（ファーストイーサネット）とも呼ばれるものの 1 つです。通信速度が 100Mbps で、10BASE-T の 10Mbps から大幅に高速になっています。

● CMYK

カラー印刷などでの色の表現方法です。
C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）の 4 色に分解し、その 4 種類の色を重ね合わせて印刷します。

● DHCP

Dynamic Host Configuration Protocol の略で、DHCP サーバから DHCP クライアントに IP アドレスを自動的に割り当てるプロトコルのことです。

● DNS

Domain Name System の略で、インターネットでホスト名から対応する IP アドレスを取得するための名前解決サービスです。

● DPI

Dot Per Inch の略で、1 インチ幅に印字できるドット数を表す単位です。
解像度を示す単位として使います。

● HTTP

インターネット上で WWW サーバと通信をするためのプロトコルのことです。

● ICM

Image Color Matching の略で、Windows 98/Me/2000/XP/Windows Server 2003 で採用されている色管理用ソフトウェアです。デバイスによる色の違いを補正し、画面とプリンタによる印刷結果の色を一致させます。

● IPP

Internet Printing Protocol の略で、RFC として規格化されたインターネット経由での印刷をサポートした印刷制御プロトコルです。ファイル転送のプロトコル HTTP（HyperText Transfer Protocol）を使用しており、LAN を超えた環境でもアクセスできることが特徴です。

● IP アドレス

TCP/IP プロトコルによるネットワークで使用されるアドレスです。小数点で区切られた 4 つの数値（10 進数）で表します。

● LEF

Long Edge Feed の略で、長辺がプリンタに給紙される用紙の置き方を指します。（= 縦置き、）

● lpd

Line Printer Daemon の略で、ホストからの lpr（LPR）印刷要求に対し、受信制御を行います。

● lpr（LPR）

Line Printer Remote の略で、TCP/IP 標準の印刷制御プロトコルです。
Windows 2000/XP/Windows Server 2003/NT 4.0 では、UNIX 用印刷サービスまたは TCP/IP 印刷サービスとして標準添付されています。

● Java

米国サン・マイクロシステムズ社がインターネットのホームページ上などで機能するソフトウエアのために開発したプログラム言語の 1 つです。Java 言語で開発されたアプリケーションをアプレットと呼びます。

● N アップ

複数ページ分を 1 枚の用紙に印刷する機能です。本プリンタでは、2、4、8 アップ印刷ができます。

● NV メモリ

電源を切ってもプリンタの設定内容を保持しておくことが可能な、不揮発性のメモリです。

● Raw（Port9100）

Windows 95/98/Me/2000/XP/Windows Server 2003 上でデータを送信できるネットワーク通信方法です。
Windows 2000/XP/Windows Server 2003 の場合は、標準 TCP/IP ポートモニタ上で使用できます。

● RAM

Random Access Memory の略で、情報の読み出しと書き込みができる記憶装置（メモリ）です。

● ROM

Read Only Memory の略で、情報の読み出し専用の記憶装置（メモリ）です。

● SEF

Short Edge Feedの略で、短辺がプリンタに給紙される用紙の置き方を指します。（=横置き、）

● TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略で、インターネットやイントラネットで使われている最も代表的なプロトコル（通信の手段）の名称です。

● USB

Universal Serial Bus の略で、パソコンと周辺機器との間のデータ転送方式の 1 つです。電源を入れたままで接続できる「ホットプラグ」機能に対応しており、パソコンと周辺機器を簡単に接続できます。

● WINS

Windows Internet Name Services の略で、TCP/IP 環境でコンピュータ名から IP アドレスを取得するための名前解決サービスです。

●アドレス

ネットワーク上のノード（各コンピュータや端末など）を識別するために割り当てられる情報（一意の識別子）のことです。また、メモリに個別に割り当てられた番地のこともアドレスと呼びます。

●アンインストール

パソコンに組み込んだソフトウエアを削除することをいいます。

●印刷キュー（プリントキュー）

特定のプリンタに印刷するために、パソコンから印刷データを一時的に格納しておく場所のことです。

●印字領域

用紙に対して実際に印字可能な領域です。

●インストール

ソフトウエアやハードウエアをパソコンや周辺機器に組み込み、使えるようにすることです。プリンタドライバなどのソフトウエアをパソコンのシステムに組み込むことや、ネットワーク拡張カードをプリンタに組み込むことをいいます。このマニュアルでは、主にパソコンにソフトウエアを組み込むことを「インストール」と呼びます。

●インタフェースケーブル

複数の装置を相互に接続するケーブルのことです。
プリンタとパソコンを直接接続するプリンタケーブルやプリンタ USB ケーブル、プリンタをネットワークに接続する LAN ケーブルなどがあります。

●オーバーレイ印刷機能

決められた固定の書式（フォーム）をプリンタにあらかじめ記憶させておき、印刷時にそれを指定することで、送信された印刷データにそのフォームを上書きした形で印刷する機能です。本機能を利用することで、プリンタとパソコン間でやりとりをするデータ転送量の軽減が可能になります。

参照 「[スタンプ / フォーム] ダイアログ」（221 ページ）参照

●解像度

画像の細かさを表します。通常 1 インチあたりのドット数（単位は dpi）で表し、この数値が大きいほど解像度が高い（細部まで表現できる）といいます。

●階調

色と色のなめらかさをいいます。グラデーションのステップ数で階調数を表し、その数値が大きいほどなめらかになります。

●グラデーション

写真やイラストなどに見られる、連続した色の濃さの変化をいいます。

●サーバ

ネットワーク上で情報を蓄積し、ほかのコンピュータにサービスを提供するコンピュータのことをいいます。

●受信バッファ

バッファとはホストから送信されたデータを、一時的に蓄えておく場所です。受信バッファのメモリ容量を増やすことによって、ホストの解放を早くすることができます。

●初期値

工場出荷時、および NV メモリ初期化時の設定です。

●ジョブ

ひとまとまりの印刷データのことです。印刷の中止や排出はジョブ単位で行われます。

付

●スクリーン

プリンタなどで、印刷物の濃さを表すための点を網点といい、印刷するときの網点の列、または線の数をスクリーン線数といいます。スクリーン線数によって、表現できる階調が変化します。

●スムージング

白黒の境目を滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。

●双方向通信

2 つの装置間で互いに情報を送信したり、受信したりする通信のことです。双方向通信によって、パソコンから印刷データを送るだけでなく、プリンタからパソコンに印刷状況などの情報を送ることができます。

●ソート

複数部数を印刷したとき、1 部ごとに 1 ページ目、2 ページ目、3 ページ目 ...1 ページ目、2 ページ目、3 ページ目 ... の順で排出することを「ソート」と呼びます。

●ネットワークパス

ネットワーク上の目的のパソコンやファイルまでの経路のことです。
サーバ名を指定する場合などに使用します。

●ネットワークプリンタ

このマニュアルでは、イーサネットケーブルでネットワークに接続したプリンタを「ネットワークプリンタ」と呼びます。

●パラレルインタフェース

パソコンと周辺機器との間のデータ伝送方式の 1 つです。複数ビットのデータを同時に転送します。代表的なものに IEEE1284 があり、プリンタなどの周辺機器との接続に使用します。

●フォーム登録機能

オーバーレイ印刷を行うときの固定書式(フォーム)を登録する機能です。本プリンタでは、フォームとして使用するデータを任意のアプリケーションで作成し、プリンタドライバの [スタンプ / フォーム] ダイアログで登録作業を行います。

参照　「[スタンプ / フォーム] ダイアログ」(221 ページ)参照

●フォント

書体や字体のことです。統一性を持ったデザインでまとめられた文字の 1 セットを指します。

●プラグアンドプレイ

周辺機器をパソコンに取り付けるだけで自動的に動作環境が設定され、すぐに周辺機器を使用できるようにする機能です。

●プロトコル

データ通信を行うために必要な通信規約です。

●プリントページバッファ

印刷データを実際に展開し、蓄えておく場所です。

●プリンタドライバ

アプリケーションで作成したデータを、プリンタが解釈できるデータに変換するソフトウェアです。

●フルカラー

パソコン画面に表示できる最大の色数で、約 1,677 万色です。

●ポート

パソコンが周辺装置と情報をやりとりするための接続部分のことです。

●メートル坪量

1m^2 の用紙 1 枚の質量です。

●ローカルプリンタ

このマニュアルでは、プリンタケーブルまたはプリンタ USB ケーブルでパソコンと直接接続したプリンタを「ローカルプリンタ」と呼びます。

HyperPrint の概要

「HyperPrint」を使用すると、印刷機能を持つアプリケーションであれば、種類を問わず、印刷データを利用したさまざまな機能を利用できるようになります。
「HyperPrint」による印刷機能を利用することにより、印刷コストの削減と、効率的な印刷を実現できます。

特　長

●印刷コストの削減

・プレビュー上で詳細確認と不要なページのカット
・両面印刷、縮小印刷による印刷用紙の削減
・印刷データのファイル保存

●アプリケーション導入コストの削減

・データを確認するためのアプリケーションが不要
・アプリケーションのバージョン / レベルなどの整合性への意識不要

●業務の効率化

・送付先のパソコン環境を意識することが不要
・帳票作成時と同様の鮮明度

動作環境

とくに制限はありません。

「HyperPrint お試し版」の機能制限

・プレビュー左下に「お試し版を利用して作成した」旨のメッセージを表示します。
・プレビュー表示 30 回で製品購入を促すメッセージを表示します。

RepoAgent の概要

「RepoAgent」は、ビジネス帳票を作成、印刷するためのソフトウェアです。
さまざまなビジネス帳票をワープロを使用する感覚でビジュアルに作成できます。また、帳票の印刷はアプリケーションから制御できます。

特　長

●帳票印刷プログラムの生産性を大幅に向上

ワープロを使用する感覚で手軽に帳票設計ができ、帳票印刷プログラムの生産性を大幅に向上します。また、運用中に会社のロゴを変更するといった作業も、帳票印刷プログラムを変更することなく対応できます。

●多彩な帳票設計

以下の多彩な表現手段の提供により、複雑な帳票もかんたんに設計できます。
　罫線、網かけ、文字装飾、バーコード（11 種）、画像、
　データ内容に応じた小計／見出し／改ページの自動挿入　など

●容易なアプリケーション連携

アプリケーション側では、帳票に埋め込むデータを CSV テキスト形式で出力し、RepeAgent を呼び出すだけで帳票印刷を実現できます。CSV テキストは Unicode にも対応しています。
また、アプリケーションからの呼び出しインタフェースには、コマンド、API、ActiveX コントロール、Java クラスの 4 種類を用意しています。お使いの開発環境や運用形態に応じて選択できます。

動作環境

対応 OS	Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP
対応パソコン	FMV シリーズおよび AT 互換機
メモリ	64MB 以上
ディスプレイ解像度	800 × 600 以上（1024 × 768 以上を推奨）
ハードディスク	空き容量 23MB 以上 （インストール時は、さらに作業域として 10MB 必要）
プリンタ	Windows から印刷できるプリンタ （バーコード印刷時は印刷解像度 300dpi 以上を推奨）

「RepoAgent お試し版」の機能制限

お試し版で作成したレポート定義ファイルは、RepoAgent では使用できません。

プリンタドライバの入手方法

最新版のプリンタドライバは、インターネットの「FMWORLD.NET」からダウンロードすることができます。「FMWORLD.NET」ではサポートサービスなどに関するさまざまな情報も提供しています。
下記に示した URL よりプリンタドライバをダウンロードしてください。
FMWORLD.NET URL: http://www.fmworld.net/

ガイド

・「FMWORLD.NET」をご利用になる際は、Web ブラウザおよびインターネットに接続できる環境が必要です。
・添付の CD-ROM には、製品出荷時での最新版ドライバが収められおり、「FMWORLD.NET」からダウンロードできるものと同一の可能性があります。お使いのプリンタドライバのバージョンを確認してからダウンロードを行ってください。

プリンタドライバのバージョンを確認する方法

プリンタドライバのバージョンは、以下の方法で確認できます。

● Windows 98/Me/NT 4.0/2000 の場合

1. ［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順に選択する
2. 使用するプリンタのアイコンをクリックする
3. プリンタのプロパティを表示する
   - Windows 98/Me
     ［ファイル］メニュー -［プロパティ］をクリックする
   - Windows NT 4.0
     ［ファイル］メニュー -［ドキュメントの既定値］をクリックする
   - Windows 2000
     ［ファイル］メニュー -［印刷設定］をクリックする
4. 「バージョン情報」タブをクリックする

● Windows XP/Windows Server 2003 の場合

1. ［スタート］ー［プリンタと FAX］を選択する
2. 使用するプリンタアイコンをクリックする
3. ［ファイル］メニュー -［印刷設定］の順に選択する
4. 「バージョン情報」タブをクリックする

アフターサービスについて

・お買い求めの際に販売店でお渡しする保証書は、大切に保管してください。
・保証書は日本国内のみで有効です。
・無償保証期間は、お買い上げ日より６ケ月です。詳細は保証書をご覧ください。
・保守部品の供給期間は、このプリンタの製造中止後６年です。ご了承ください。
・分解、改造などを行わないでください。無償保証の期間内でも無償修理が受けられないことがあります。
・プリンタのご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。
純正のサプライ用品以外の用品をお使いになったことによる製品の誤動作および故障に関しましては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。

「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」

0120-950-222（フリーダイヤル）
- おかけ間違いのないよう、ご注意ください。
- ダイヤル後、音声ガイドに従い、ボタン操作を行ってください。お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。
- 営業時間 9:00 ～ 17:00（土・日・祝日およびシステムメンテナンス日を除く）

・ハードウェア修理相談センターの連絡先は、下記のとおりです。

「ハードウェア修理相談センター」

0120-422-297（フリーダイヤル）
- 受付時間：平日 9:00 ～ 17:00（土曜・日曜・祝日および当社指定の休日を除く）

お願い

・修理のためにプリンタの返却が必要と判断された場合は、「設定の一覧を印刷する」（69 ページ）を参照して設定内容の一覧を印刷し、プリンタと一緒に送付してください。
・プリンタを移送する場合は、「第 12 章　日常のメンテナンス」「プリンタを移動するとき」（276 ページ）を参照し、正しく取り扱ってください。

●使用済みカートリッジの回収サービス

富士通株式会社では、地球環境への配慮から使用済みカートリッジを無償で回収しております。下記の『エコ受付センター』にご連絡をいただければ、回収便にて引き取りにうかがいます。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。

『エコ受付センター』

フリーダイヤル：0120-30-0693
平日 8:40 ～ 12:00 および 13:00 ～ 17:30
（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）

本製品の廃棄について

製品(付属品を含む)を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

●法人、企業のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託する必要があります。
弊社は、「富士通リサイクル受付センター」を用意し、お客様の廃棄のお手伝いをしておりますのでご利用ください。
詳しくは、ホームページ(http://eco.fujitsu.com)の「富士通リサイクルシステム」をご覧ください。

●個人のお客様へ

個人のお客様は、上記「富士通リサイクル受付センター」をご利用いただけません。本製品を廃棄する場合は、必ず弊社専用受付窓口「富士通パソコンリサイクル受付センター」までお申込みください。
受付窓口の電話番号、お申込み方法などについては AzbyClub ホームページ(http://azby.fmworld.net/recycle/)をご覧ください。

索　引

な

ね

は

ひ

ふ

ページプリンタ　XL-C7400
オンラインマニュアル
B5WY-0641-01 Z0-00
発行日　2004年5月
発行責任　富士通株式会社